

平成 15 年度
科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書
平成15年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B)
研究課題番号 12480055

現職英語教員の教育研修の実態と 将来像に関する総合的研究

A Comprehensive Study of
In-Service English Teacher Education in Japan
—from status quo to renovations—

英語教員研修研究会
(Teacher Education Research Group)
研究代表者 石田 雅 近 (清泉女子大学)
平成16年(2004年) 3 月

研 究 組 織

研究代表者	石 田 雅 近 (Ishida, Masachika) ishida-m@seisen-u.ac.jp	清泉女子大学文学部英語英文学科・ 大学院人文科学研究科教授 (Professor, Seisen University)
研究分担者	緑 川 日出子 (Midorikawa, Hideko) hmidori@swu.ac.jp	昭和女子大学人間文化学部 英語コミュニケーション学科教授 (Professor, Showa Women's University)
研究分担者	久 村 研 (Hisamura, Ken) DZJ01411@nifty.ne.jp	田園調布学園大学短期大学部 人間文化学科助教授 (Associate Professor, Den-en Chofu University Junior College)
研究分担者	酒 井 志 延 (Sakai, Shien) GAF05744@nifty.com	千葉商科大学商経学部経営学科教授 (Professor, Chiba University of Commerce)
研究分担者	笹 島 茂 (Sasajima, Shigeru) sasajima@saitama-med.ac.jp	埼玉医科大学医学部講師 (Assistant Professor, Saitama Medical School)

交付決定額（配分額）

（金額単位：千円）

	直接経費	間接経費	合 計
平成12年度	3,800	0	3,800
平成13年度	3,800	0	3,800
平成14年度	3,300	0	3,300
平成15年度	3,000	0	3,000
総計	13,900	0	13,900

研究発表

(1) 学会誌等

- 石田雅近「戦略構想（行動計画）と英語教員研修—課題と展望—」『桜美林シナジー』第2号 平成16年3月31日
- 笹島 茂「戦略構想と（小・）中・高・大の連携」『桜美林シナジー』第2号 平成16年3月31日
- 酒井志延「英語教授力の枠組み」『英語教育』第52巻12号 平成16年3月1日
- 石田雅近「英語教員研修の今後の課題—研修しやすい環境作りと研修内容を中心として—」『全英連会誌』40号 平成14年11月1日
- 笹島 茂“Current Situation of Secondary EFL Teachers in Japan” *English Language Teaching* (Pan-Korean English Teachers Association) Vol.14, No.2 平成14年11月
- 石田雅近、緑川日出子、久村 研、酒井志延、笹島 茂“A Comprehensive Study of In-service English Teacher Education in Japan” IATEFL Slovenia (Special Issue) 平成14年9月
- 緑川日出子「韓国の英語教育視察レポート」『英語展望』 平成12年8月25日

(2) 口頭発表

- 石田雅近、久村 研、酒井志延「英語教員が備えておくべき英語力の目標値・英語力をどう授業に生かすか」「英語が使える日本人」の育成のためのフォーラム2004（文部科学省主催） 平成16年3月28日
- 石田雅近「英語教員が備えておくべき英語力の目標値—『英語が使える日本人』育成のキー・ポイントとして」ELEC 英語教育特別講演会 平成15年12月5日
- 久村 研、酒井志延「英語授業力の枠組みを求めて—フィールドワークからのアプローチ—」 平成15年11月15日
- 石田雅近、緑川日出子、久村 研「英語教員が備えておくべき英語力の目標値をめぐって」大学英語教育学会第42回全国大会 平成15年9月5日
- 酒井志延“Problems with Japanese high school mid-term and term-end examinations: A nation-wide study” (Oral) 第13回 AILA 国際応用言語学会 平成14年12月21日
- 石田雅近、緑川日出子、久村 研、酒井志延、笹島 茂“In Search of In-service EFL English Teacher Training and Professional Development in Japan” (Poster) 第13回 AILA 国際応用言語学会 平成14年12月19日
- 石田雅近、久村 研他“English Teacher Training Curriculum in Japan” (Poster) 第13回 AILA 国際応用言語学会 平成14年12月19日
- 石田雅近、久村 研、酒井志延、笹島 茂、小泉 仁「現職英語教員の研修実態と課題」大学英語教育学会第40回全国大会 平成13年9月15日
- 久村 研他「英語科教員養成カリキュラムの諸問題」大学英語教育学会第41回全国大会 平成14年9月8日
- 酒井志延「英語教員と研修のあり方」全国英語教育学会第28大会 平成14年8月22日

石田雅近、緑川日出子、笹島 茂「アジア近隣諸国の英語教育事情」大学英語教育学会月例会 平成14年 5 月18日

(3) 出 版 物

石田雅近、緑川日出子他『「英語が使える日本人」の育成のための英語教員研修ガイドブック』平成15年 8 月30日 開隆堂

久村 研、酒井志延他『中等教育英語科教員養成カリキュラムの諸問題』大学英語教育学会教育問題研究会 平成15年 4 月15日

石田雅近、緑川日出子、久村 研、酒井志延、笹島 茂『現職英語教員の教育研修の実態と将来像に関する総合的研究』（平成14年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書)』平成15年 3 月20日 丹精社

石田雅近他『修士課程における「教科に関する科目」と「教職に関する科目」の内容の連携について—英語科教育関連科目を中心として—』平成14年度文部科学省初等中等教育局委嘱研究・教職課程における教育内容・方法の開発研究事業報告書 平成15年 3 月20日 十一房印刷

石田雅近、緑川日出子、久村 研、酒井志延、笹島 茂 *A Questionnaire Based Report on the National In-service Training for Teachers of English*. Teacher Education Research Group. Grand-in-Aid for Scientific Research (Japan Society for the Promotion of Science) 平成14年12月

石田雅近他『修士課程における「教科に関する科目」と「教職に関する科目」の内容の連携について—英語科教育関連科目を中心として—』平成13年度文部科学省初等中等教育局委嘱研究・教職課程における教育内容・方法の開発研究事業報告書 平成14年 3 月20日 十一房印刷

石田雅近、緑川日出子、久村 研、酒井志延、笹島 茂『現職英語教員の教育研修の実態と将来像に関する総合的研究』（平成13年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書)』平成14年 3 月20日 丹精社

石田雅近、緑川日出子、久村 研、酒井志延、笹島 茂『全国現職英語教員アンケート調査結果』英語教員研修研究会 平成14年 3 月20日

石田雅近、緑川日出子、久村 研、酒井志延、笹島 茂『現職英語教員の教育研修の実態と将来像に関する総合的研究』（平成12年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書)』平成13年 3 月20日 十一房印刷工業

石田雅近、久村 研他『新時代の英語教員養成—現状と展望—』大学英語教育学会教育問題研究会 平成12年11月 2 日

は し が き

平成11年度に発足した「英語教員研修研究会」(Teacher Education Research Group)は、平成12年度科学研究補助金基盤研究(B)の交付を受け、「現職英語教員の教育研修の実態と将来像に関する総合的研究」という研究課題のもとに、平成15年度までの4年間にわたる研究を行ってきた。

この4～5年間に限っても、英語教育改革の動きは目覚しく急速な進展が見られた。まず、教育に対する国民の信頼回復を目指して「教育改革国民会議」が招集され、平成12年12月に最終報告がまとめられた。その教育改革のための施策が、『21世紀教育新生プラン』として平成13年1月に提示されたのが「7つの重点戦略」が示された。これがさらに、平成14年7月の『「英語が使える日本人」の育成のための戦略構想』として示され、翌年には『行動計画』として具体化した。

この『行動計画』には、日本における英語教育を抜本的に改善する目的で、「英語力・国語力増進プラン」が含まれており、そのうち、特に次の3つの目標が注目される。

- (1) 「学習者のモチベーションの高揚」(年間1万人の高校生の海外留学、平成18年度に実施を目標とした大学入試センターのリスニングテスト導入)、先進的な英語教育を推進する「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」を100校に拡大)
- (2) 「小学校の英会話活動の充実」(総合的な学習の時間等で英会話活動を行う場合、その3分の1回程度は、外国人教員や中学校等の英語教員による指導を可能にするための支援))
- (3) 「英語教員の資質向上及び指導体制の充実」(英語教員が備えておくべき英語力の目標値の設定、平成15年度から5ヵ年計画で公立の中学・高校の全英語教員6万人に集中的な研修の実施、中学・高校の英語授業に週1回以上外国人が参加できるようにJETプログラム等による外国人教員を11,500人までに拡大、英語に堪能な地域の人材を特別非常勤講師制度等で採用可能)

特に、私共の科学研究補助金研究に直接かわる具体目標としては、(3)のうち「英語教員が備えておくべき英語力の目標値の設定」と「英語教員の集中的な研修の推進」がある。文部科学省は、平成15年度から平成19年度までの5年間に、「全ての英語教員が、実践的コミュニケーション能力育成のための指導力向上を図る研修を受けるよう、国レベルの研修と合わせ、都道府県教育委員会が行う集中的な研修を支援する」ことを発表し、同時に、この取り組みについては「研修の受講状況は英語教育の改善実施状況調査により把握する」方針も打ち出した。

このような状況を踏まえて、「英語教員研修研究会」では、平成15年度に英語教育史上、未だかつて例を見ない全国規模で実施される「英語教員集中研修」に的を絞り、その研修受講者を対象に「アンケート調査」を行うこととなった。その主旨は、今回の「悉皆研修」が現職英語教員にどのような影響・効果をもたらすのかを

調査し、平成19年度まで継続される「集中研修」のあるべき内容や形態を探り、さらに効果的な研修計画や研修の実施、研修効果を高めるための一助になることを願ったことである。

今年度は、集中研修受講者に対して全国規模の調査を行ったが、幸い多くの関係団体・諸機関の方々から積極的な協力が得られた。所期の目的を達成することができたことをご報告し、ここに改めて厚く御礼を申し上げたい。特に、文部科学省初等中等教育局国際教育課からは終始ご支援を頂戴した。また、調査協力にご快諾くださった各自治体の教育委員会研修企画担当者に対しては、研修実施の多忙な時期にもかかわらず、研修会場でのアンケート書類の配布、回答用紙の回収・返送等をお引き受けくださったことを心から感謝している。また、平成15年度実施の「研修プログラム関係資料」をご提供くださった教育委員会関係諸氏にも特段の御礼を申し上げる次第である。

アンケート回答データの処理に当たっては、千葉商科大学の学部生の惜しみない協力が得られた。また、清泉女子大学文学部英語英文学科助手渡辺里少氏には、4年間にわたり私共の科研費研究に関する膨大な事務作業を一手に引き受け、労をいとわず処理してくれた。そのお蔭で本研究が円滑に進んだこと特記して感謝の意を表したい。

『研究成果報告書』をまとめるに際しては、研究分担者全員が終始、協同で作業・分析を進め、全28回に渡る会議で意見を交わしながら最終原稿を執筆したため、分担の切り分けが不能である。本報告書は全編にわたり共同執筆であったことを申し添えておきたい。

平成16年 3 月20日
石田 雅近



研 究 組 織	1
は し が き	4
Ⅰ 研究経過	7
Ⅱ 調査目的	9
Ⅲ 調査方法等.....	10
Ⅳ 結果(1)—アンケート（多肢選択）結果—.....	11
1. アンケート結果の概要.....	11
2. 「研修直後」のアンケート結果	21
3. 「研修2ヶ月後」のアンケート結果	33
Ⅴ 資 料.....	45
Ⅵ 結果(2)—研修直後のアンケート（自由記述）—1,369人の先生の声	65
1. 行く前は不安だった。でも行ってよかった.....	66
2. 知恵の実もらった.....	67
3. 仲間に出会えた。仲間が教えてくれた.....	77
4. 元気の素もらった.....	80
5. 反省しています.....	83
6. 背中を押してもらった.....	87
7. また、参加したいんですけど.....	106
8. この研修、誇りに思います.....	109
9. やっぱり、テストは.....	110
10. ありがとうございます.....	113
11. こうしたらどうでしょう.....	120
12. 意見を聞いてください.....	143
13. 私の悩みを聞いてください.....	151
14. こんな願いを聞いてくれたら.....	151
15. このアンケートについて.....	155
Ⅶ 研修プログラム紹介.....	157

I 研究経過

英語教員研修研究会は、英語教育の改革に直接係わる要因として、教員の資質向上と教員を取り巻く環境に問題があると捉え、その改善の方策を研究する目的で科研費基盤研究(B)を申請し、これが受理されて平成12年度から研究を開始した。当初の研究目的は次の4点である。

- (1) 各都道府県で行われている「5年次および10年次教員対象の研修」に参加した教員にアンケート調査を実施し、彼等の研修と授業に対する意識調査を行う。それにより、彼等の研修を妨げている原因・理由を特定し、それを是正する方策と共に、改善研修プログラムを提案する。
- (2) 各都道府県で行われている英語教員研修を主催する指導主事に面接して、行政側から見た研修プログラムの有用性、問題点等について実態を把握する。それを基に、英語教員研修がより効果的に行うための改善策を具体的に提示する。
- (3) 海外の先進的教員研修プログラムを調査し、その先進性をわが国で導入する可能性を検討する。調査対象は、韓国、中国、シンガポールの英語担当教員対象プログラム、アメリカ・カナダのESL (English as a Second Language) 担当教員対象プログラム等である。
- (4) 上記の研究に基づき、わが国の英語教員を対象とした「コミュニケーション指導技術および英語運用力を向上させるプログラム」を作成し、同時に教科指導力を評価する枠組みを提示する。

本研究の初年度である平成12年度は、群馬県、福島県、茨城県、高知県、埼玉県、青森県の初任者研修会、5年次ないし10年次研修会、および文部省指導者講習会に参加した中学校・高校現職教員計344名を対象に「自己研修に関する実態調査」を行った。その結果、「日常的に自己研修をしている教員」の数は、そうでない教員の数より少ないものの、「自己研修の必要を感じている教員」の数は、「感じていない教員」の数より圧倒的に多いことが判明した。また、同時に教員が望んでいる自己研修の目的は、(1)「英語のコミュニケーション能力を高めるため」、(2)「授業力を高めるため」、(3)「総合的な英語力を高めるため」が圧倒的な多数を占めることも明らかになった。

平成13年度は、前年度の調査結果を踏まえて、調査の規模を拡大し全国調査を実施した。調査対象校として中学校1,891(全国11,191校の16.9%)および高校1,110校(全国5,479校の20.3%)の計3,001校を抽出し、多肢選択法によるアンケートを行った。質問内容は、(1)「教授法や指導に関する研修について」(研修場所・期間・方法、校外研修機関、希望する研修内容)、(2)「教員の英語運用力について」(望ましい英語運用力、英語運用力を向上させるための研修)、(3)「英語科内の研修について」(活発にする方法、研修の可能性、研修の費用、研修評価に対する賛否、研修成果の評価者、研修評価の方法)、(4)「教員の英語力について」(英語能力試験の受験の有無、試験結果、英語授業を行う英語力、英語力向上のための実践方法)、

(5)「定期試験について」(定期試験の実施回数、試験範囲、試験項目、試験実施の目的)等である。

平成14年度当初の研究目的は、各都道府県で主催する英語教員研修の担当研修指導主事を対象として、行政側から見た研修プログラムの問題点等について実態調査をすることであった。しかし、平成14年7月に文部科学省から『「英語が使える日本人」の育成のための戦力構想』が発表され、平成15年度から全国の公立中学・高等学校の現職英語教員を対象に、悉皆研修を実施することが決まった。それに伴い、各都道府県の研修指導主事に文部科学省から具体的な研修の指針が提示され、15年度に全国規模で研修実施される可能性が高いことが予測されたために、当初の研究計画を急遽変更することとなった。国内の研修プログラム調査の代わりに、アジア近隣諸国にモデルを求めることを目的として中華人民共和国(中国)とシンガポールの先進的研修プログラムを調査した。特に、中国においては政府教育部、師範大学、師範学院等の諸機関に赴き、言語政策、教員養成・現職教員研修の責任者に面接調査を行い、関係資料・情報を入手した。また同時に、国内研究として「英語教員が備えるべき教授力」について国内外の文献研究を行った。さらに、国内では「英語教授力に関する試行調査」を実施した。

最終年度の平成15年度では、全国的に実施された「英語教員集中研修」の受講者を対象に、「研修直後」のアンケートと「研修2ヶ月後」のアンケート調査を実施した。この目的は研修を受講した教員の意識の変化を探り、より効果的な研修を策定するための基礎資料を入手することであった。「研修直後」のアンケートは、「英語運用能力の向上に関する項目」、「授業方法に工夫に関する項目」、「授業の反省・評価・計画・準備の工夫に関する項目」、「専門知識や指導技術に関する項目」、「研修の自己評価に関する項目」および自由記述を含め25項目、「研修2ヶ月後」のアンケートは、「授業外の英語使用量に関する項目」、「授業方法の工夫に関する項目」、「授業の反省・計画・準備の工夫に関する項目」、「自己および協同研修に関する項目」について22の質問項目から成っている。これらのアンケート調査結果をまとめたものが本『研究成果報告書』である。

Ⅱ 調査目的

本調査の目的は、「英語教員集中研修」の受講者が研究参加によって何を学び、いかなる影響を受けたと感じたか、さらに研修に対してどのような評価をしたかを全国規模で調査することによって、今後の集中研修をさらに充実させるための資料を入手することである。この目的のために、アンケート調査の実施時期を「研修直後」と「研修2ヶ月後」とした。これらのアンケートには多肢選択法を採用したが、「研修直後」のアンケートには、自由記述法も採用した。

「研修直後」のアンケートには、「英語運用力の向上」、「授業方法の工夫」、「授業の反省・評価・計画・準備工夫」、「専門知識や指導技術」、「研修の自己評価」、「授業および指導の変化」等に関する24項目と自由記述欄を、「2ヶ月後」のアンケートには、「授業外の英語使用量」、「授業方法の工夫」、「授業の反省・評価・計画・準備の工夫」、「自己および協同研修」、「授業および指導の変化」に関する22の質問項目を設けた。

これら2種類のアンケートの中で、特に「授業方法の工夫」、「授業の反省・評価・計画・準備工夫」、「授業および指導の変化」については類似の質問を用いた。その理由は、研修後の時間的経過によって受講者の研修に対する意識がどのように変化したかを調査するためである。

Ⅲ 調査方法等

調査対象の教育センター・教育委員会、および調査対象者の選定は、次の方法に拠った。

1. 調査対象の教育センター・教育委員会の選定

全国の都道府県・政令指定都市・中核市教育委員会（95団体）のすべてにアンケート協力依頼文書を送付した。その結果、平成15年度に「英語教員集中研修」を実施予定の66教育委員会のうち、調査協力の回答を得た32教育委員会に対して、正式にアンケート調査の要請を行った。

2. 調査対象者

「研修直前」および「2ヶ月後」のアンケートの対象者は、調査協力に応じた教育委員会主催の「英語教員集中研修」の受講者である。「研修直後」のアンケート回答数は2,292通、「2ヵ月後」のアンケート回答数は1,082通である。なお、文科省が発表した平成15年度に「英語教員集中研修」を実施した教育委員会は66、またその受講者総数は8,053名であった。

3. 回答方法

「研修直後」のアンケートにはマークシートと自由記述用紙、そして「2ヶ月後」のアンケートには、回答用紙を用いた。また、アンケートは、マークシートおよび自由記述共に無記名回答とした。

4. 送付方法

「研修直後」のアンケート、および「2ヶ月後」のアンケートの回答に必要な文書類は、調査協力を引き受けてくれた教育委員会の研修担当主事宛に一括送付し、両アンケートを研修会場で受講者に配布するよう依頼した。

5. 回収方法

「研修直後」のアンケートは、「研修終了までに回答し、回答用マークシートを研修担当者に提出後、担当者が一括して本研究会に返送」の方法を採った。また、「2ヶ月後」のアンケートは、研修終了後に受講者が持ち帰り、回答方法は回答用マークシートを受講者が添付の料金後納封筒を用いて本研究会に返送するか、ファックス、インターネット、Eメールを利用して本研究会宛に直接返送してもらうこととした。

IV 結果(1)—アンケート（多肢選択）結果—

「研修直後」と「研修2ヵ月後」のアンケート回答数の内訳は表1の通りである。

表1 アンケート回答数（通）

	中学校	高 校	その他	無回答	合 計
研修直後	1,129	1,080	36	47	2,292
研修2ヵ月後	541	477	17	47	1,082

表1の「その他」は主に養護学校、「無回答」は学校種の記載がない回答である。本稿では、この2種の回答を除き、「中学校」「高校」からの回答のみを対象とする。ただし、すべての項目別回答数および構成比は資料に掲載する。

また、結果報告が複雑で読みにくくなることを防ぐために、まず自由記述を除くアンケート結果の概要を示し、その後に個別の項目を扱う。個別の項目では、質問の内容に沿って項目を分類し、必要な情報のみを図によって示す。構成は以下の通りである。

1. アンケート結果の概要

- (1) 「研修直後」のアンケート結果の概要（質問項目1～21）
- (2) 「研修2ヵ月後」のアンケート結果の概要（質問項目1～19）
- (3) 結果概要(1)(2)からの考察
- (4) 授業および指導の変化に関する回答結果と考察（直後：質問項目22～24、2ヵ月後：質問項目20～22）

2. 「研修直後」のアンケート結果

- (1) 英語運用能力の向上に関する項目
- (2) 授業方法の工夫に関する項目
- (3) 授業の反省・評価・計画・準備の工夫に関する項目
- (4) 専門知識や指導技術に関する項目
- (5) 研修の自己評価に関する項目

3. 「研修2ヵ月後」のアンケート結果

- (1) 授業外の英語使用量に関する項目
- (2) 授業方法の変化に関する項目
- (3) 授業の反省・評価・計画・準備の変化に関する項目
- (4) 自己および協同研修に関する項目

1. アンケート結果の概要

(1) 「研修直後」のアンケート結果の概要

① アンケート調査項目

「直後」のアンケート調査項目は以下の通りである。回答方法は、1～21に関しては、それぞれの項目に対して、次のスケールでマークシートにマークして頂いた。

-
- 5 そう思う
 - 4 どちらかというと思う
 - 3 どちらとも言えない
 - 2 どちらかというと思わない
 - 1 そう思わない
 - 0 該当せず

なお、各項目の文尾の括弧内の語句はそれぞれの項目の略語で、今後は各項目標記としてこの略語を使用するものとする。

【アンケート質問項目】

1. 自分自身の発音能力の向上に役立った。(発音向上)
2. 自分自身の語彙力や文法力の向上に役立った。(自分語彙)
3. 自分自身の英語運用能力を向上させるために、今後は自己研鑽に努めたりその方法を工夫したりする。(自己研鑽)
4. 生徒の「聞く力」を向上させるために、今後は授業方法を一層工夫する。(聴力工夫)
5. 生徒の「読む力」を向上させるために、今後は授業方法を一層工夫する。(読力工夫)
6. 生徒の「書く力」を向上させるために、今後は授業方法を一層工夫する。(書力工夫)
7. 生徒の「話す力」を向上させるために、今後は授業方法を一層工夫する。(話力工夫)
8. 生徒に対する評価の方法を今後は一層工夫する。(評価工夫)
9. 自分が行っている授業を批判的な態度で反省しながら、今後は絶えず改善していく。(授業改善)
10. 生徒の動機付けの方法を今後は一層工夫する。(動機付け)
11. 4技能の関連を図った指導について、今後は一層工夫する。(4技能工夫)
12. 自分の今後の授業に様々なコミュニケーション活動を増やす。(コミュ活動)
13. Special Lectures を聞いて参考になった。(Lecture)
14. 自分が考えている英語指導のアイデアを発展させることができた。(自分アイデア)
15. 研修に参加した他の先生の英語指導についてのアイデアが参考になった。(他人アイデア)
16. 研修に参加するために用意した My Own Goals (自己到達目標) を達成することができた。(My Goals)
17. 研修に参加するために用意した Self-diagnosis (自己診断) は適切であった。(Self-diagnosis)
18. ポートフォリオを今後有効に活用する。(ポートフォリオ)
19. 今回の研修は、英語教師に必要な英語運用能力の向上に効果があった。(運用能力)
20. 今回の研修は、英語指導に必要な「専門知識や指導技術」の向上に効果があった。(知識技術)
21. 今回の研修は、英語能力試験 (英検、TOEFL、TOEIC 等) の受験に役立つと思う。(能力試験)

② 結果概要

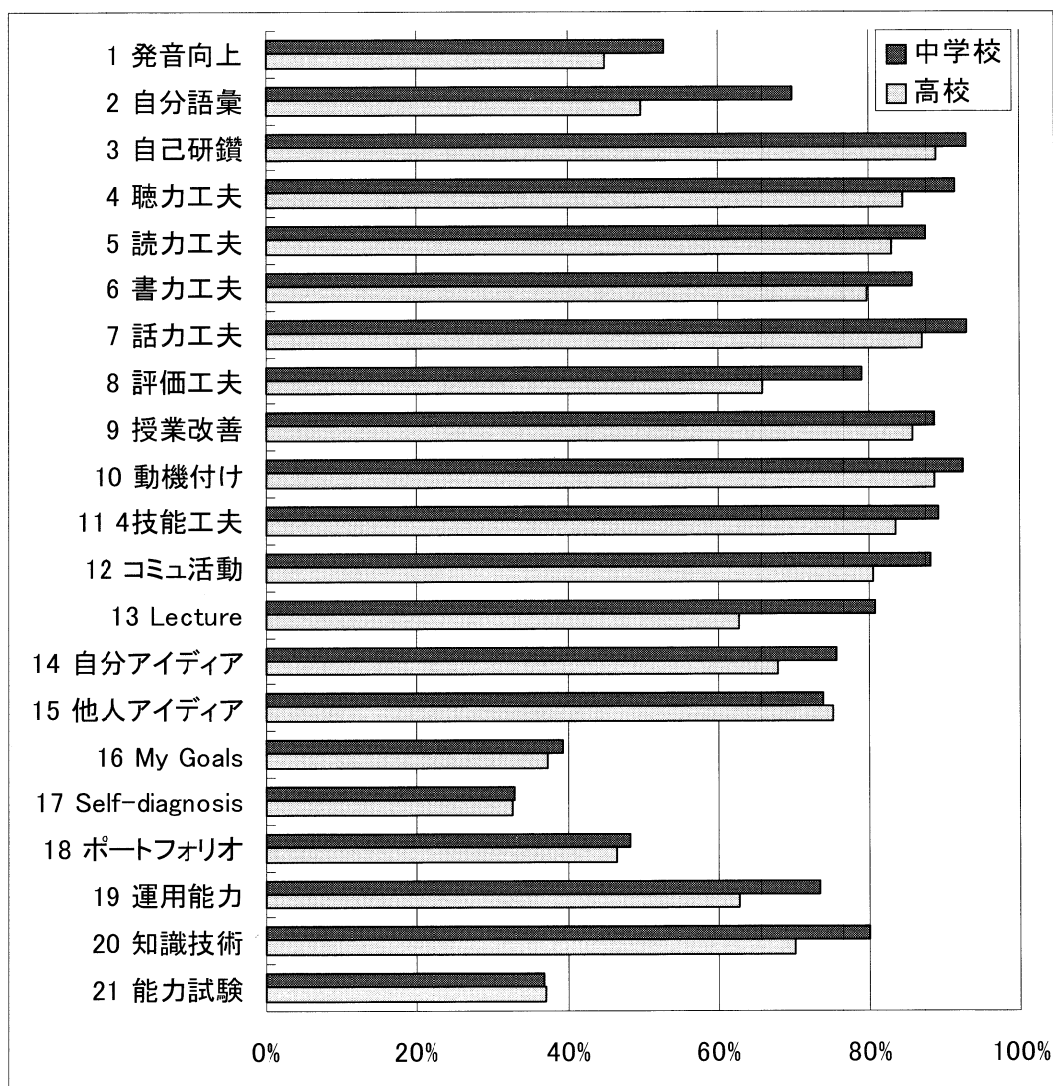


図1 直後：「どちらかというと思う」「そう思う」の合計構成比

図1は、質問項目1～21の回答のうち、「4 どちらかというと思う」（以降4レベル）、「5 そう思う」（以降5レベル）の合計構成比を中学校・高校別に集計したものである。

(2) 「研修2ヶ月後」のアンケート結果の概要

① アンケート調査項目

「2ヶ月後」のアンケート調査項目は以下の通りである。回答方法は、1～19に関しては、それぞれの項目に対して、次のスケールで回答用紙にマークして頂いた。

-
- 5 そう思う
 - 4 どちらかというと思う
 - 3 どちらとも言えない
 - 2 どちらかというと思わない
 - 1 そう思わない
 - 0 該当せず

なお、各項目の文尾の括弧内の語句はそれぞれの項目の略語で、今後は各項目標記としてこの略語を使用するものとする。

【アンケート質問項目】

1. 研修受講前と比べて自分自身の日常的に英語を読む量や機会が増えた。
(英語読量)
2. 研修受講前と比べて自分自身の日常的に英語を聞く量や機会が増えた。
(英語聴量)
3. 研修受講前と比べて自分自身の日常的に英語を話す量や機会が増えた。
(英語話量)
4. 研修受講前と比べて自分自身の日常的に英語を書く量や機会が増えた。
(英語書量)
5. 研修受講前と比べて自分自身の日常的に授業で英語を使う量や機会が増えた。
(授業英使)
6. 研修受講前と比べて英語指導に必要な専門知識や指導技術が向上した。
(知技向上)
7. 研修受講前と比べて自分自身の英語の発音に自信が持てるようになった。
(発音自信)
8. 生徒の「聞く力」を向上させるための授業方法が研修受講前と比べて変化した。
(聴力授業)
9. 生徒の「読む力」を向上させるための授業方法が研修受講前と比べて変化した。
(読力授業)
10. 生徒の「書く力」を向上させるための授業方法が研修受講前と比べて変化した。
(書力授業)
11. 生徒の「話す力」を向上させるための授業方法が研修受講前と比べて変化した。
(話力授業)
12. 研修受講前と比べて生徒に対する評価方法が変化した。
(評価変化)
13. 研修受講前と比べて、自分が行っている授業を批判的な態度で反省しながら、
絶えず改善するようになった。
(批判改善)
14. 研修受講前と比べて、生徒の動機付けの方法が変化した。
(動機付変化)
15. 4技能の関連を図った指導の方法が研修受講前と比べて変化した。
(4技能指導)
16. 研修受講前と比べてコミュニケーション活動を自分の授業に多く取り入れている。
(コミュ授業)
17. ポートフォリオを有効に活用している。
(ポート活用)
18. 研修受講前に比べて自主研修の目標や方法が明確になった。
(自主研修)

19. 自校や周囲の学校の教員間で、授業研究などのコミュニケーションを図る機会が増えた。
(授業研究)

② 結果概要

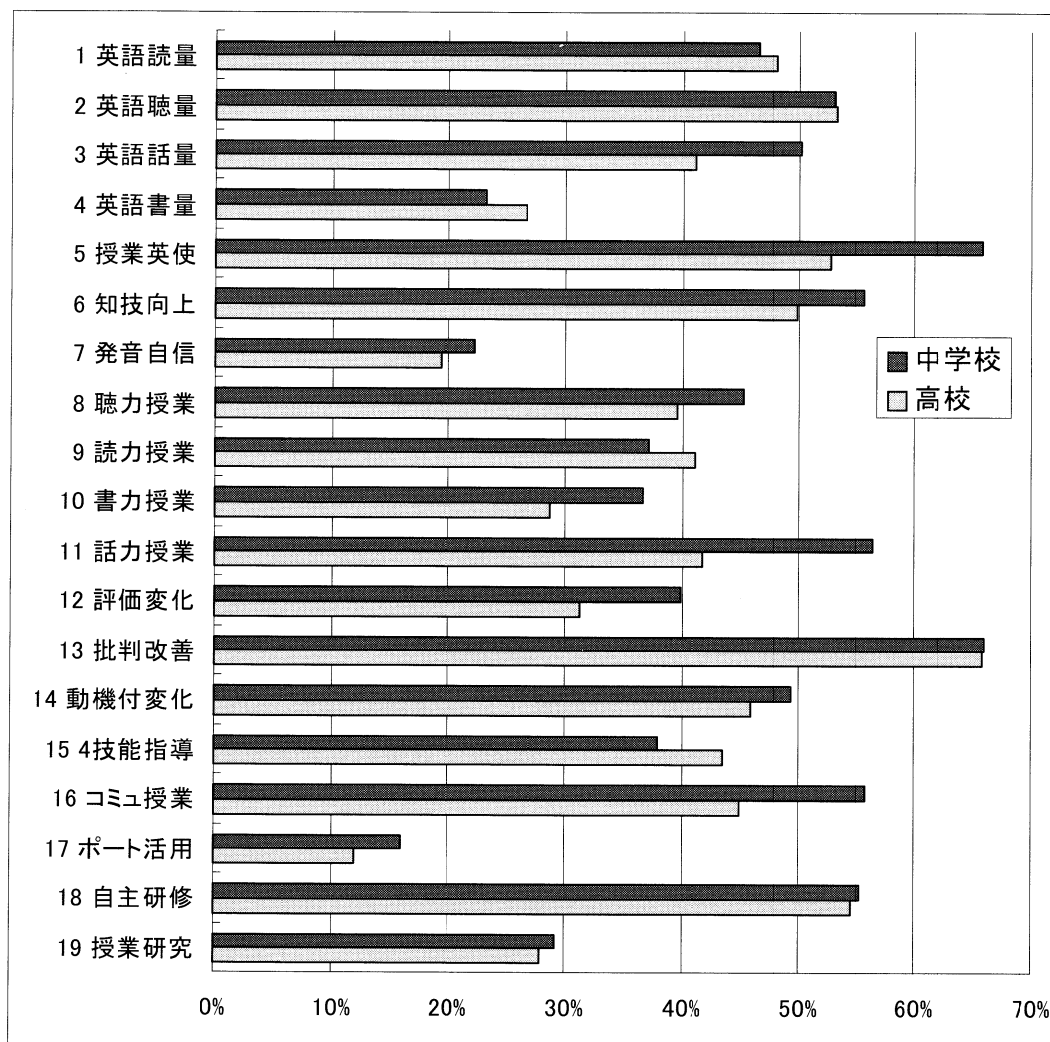


図2 2ヶ月後：「どちらかというと思う」「そう思う」の合計構成比

図2は、質問項目1～19の回答のうち、4レベル、5レベルの合計構成比を中学校・高校別に集計したものである。

(3) 結果概要(1)(2)からの考察

- 1) 今回の研修は、全体として効果があったと考えられる。研修のインパクトは、高校教員より中学校教員の方が大きかったと判定できる。
- 2) 今回の研修で最も効果が現れたのは、中・高を問わず、「授業を批判的な態度で反省しながら、絶えず改善する」という項目である。
- 3) 直後において、日常の自己研修と関連する「My Own Goals（自己到達目

標)の達成」、および、「Self-diagnosis (自己診断)の適切さ」に対する4レベル以上の肯定的回答構成比は、他の項目と比べ低かったが、2ヵ月後において「自主研修の目標や方法が明確になった」が中・高そろって構成比が高かった。これは、今回の研修が、教員の自主あるいは自己研修に対する意識を変化させるのに役立った結果と推測される。

- 4) 直後において「話す力を向上させるための授業の工夫」と「コミュニケーション活動を増やす」ことを心がけようとする肯定的回答の構成比(85%前後)が高かった。2ヵ月後でも、特に多くの中学校教員において、この傾向が保持されていると考えられる。これは、中学校では2ヵ月後の「日常的に授業で英語を使う量や機会が増えた」の構成比が高いことと何らかの相関があると考えられる。一方、高校では、中学ほど直後の構成比を保持しているとはいえない。中学校と高校での教科書、教材、言語材料、指導法などの違いが出ているものと推測される。
- 5) 直後において「動機付けの方法を一層工夫する」が最も高い構成比(85%程度)を示した項目のひとつであったが、2ヵ月後では50%を割った。教育現場と生徒の多様化の中、動機付け方法の難しさを物語るものと考えられる。
- 6) 直後で最も高い構成比を示しているもうひとつの項目は、「英語運用能力を向上させるために、今後自己研鑽に努めたりその方法を工夫したりする」である。2ヵ月後の結果では、「聞く量」の増えた比率が中・高とも50%を超えて一番高い。また、「話す量」は中学校で50%程度であるが、高校では40%強となる。一方、「読む量」「書く量」では高校のほうが高いが、「書く量」は20%台で4技能では最も低くなっている。英語運用力向上のための自己研修のやりやすさは、「聞く」「話す」「読む」「書く」の順になるであろうことが推測される。研修直後の刺激から考えると、2ヵ月後の結果は物足りなさを感じるが、研修によって英語運用力向上に対する意識改革が進んだと見るほうが妥当であろう。
- 7) 「ポートフォリオ」については、まだ十分理解されていないと考えられる。
- 8) 中学校と高校で肯定的構成比に大きな差が出た項目については、今後の研修において、別個のプログラムを用意する必要があると考えられる。

(4) 授業および指導の変化に関する回答結果と考察

この質問項目のねらいは、悉皆研修を終了した直後に、各教員が自分の授業において増やしたいと思う活動と2ヵ月後にそれがどう変化したのかを調査し、研修の成果を評価することにある。

①「研修直後」の結果

質問項目22～24では、今後、変えたいと思う点を順番に3つ選んでもらった。

【選択項目】

1. 教師の英語使用を増やす(英語使用)
2. 授業計画をきちんと立てる(授業計画)
3. 音読を工夫する(音読指導)
4. 生徒の発表の機会数を増やす(発表機会)
5. コミュニケーション活動を増やす(コミ活動)

6. 語彙指導を工夫する（語彙指導）
7. 読解指導を工夫する（読解指導）
8. 英作文指導を工夫する（作文指導）
9. 変えるところはない
10. その他、お手数ですが、このシートの右にあります「その他の欄」にお書きください。

データ処理方法は、教員が1番目として選んだ項目に3ポイント、2番目として選んだ項目に2ポイント、3番目として選んだ項目に1ポイント与えて、各項目の総ポイントを集計した。構成比を示すために、各項目の総ポイントを6と回答者の総数で割り、百倍したものをパーセントで表示した。

表2 研修直後のアンケート結果

項 目	中 学	高 校	その他	無回答	合 計
教室内での自身の英語使用を増やす	24.5%	20.8%	19.4%	18.1%	655人
明確な授業計画を立てる	18.8%	17.6%	18.1%	16.0%	577人
コミュニケーション活動を増やす	21.9%	18.6%	23.6%	22.0%	449人
生徒の発表の機会を増やす	11.2%	12.3%	11.1%	18.1%	166人
読解指導を工夫する	3.5%	8.1%	1.4%	6.0%	122人
音読指導を工夫する	5.9%	7.3%	4.6%	8.5%	116人
リスニング指導を工夫する	5.0%	5.8%	4.2%	2.1%	69人
英作文指導を工夫する	3.7%	2.9%	0.5%	2.1%	42人
語彙指導を工夫する	2.9%	2.8%	5.1%	1.8%	35人
文法指導を工夫する	1.7%	1.6%	5.1%	1.1%	19人
無回答とその他	0.9%	2.3%	6.9%	4.3%	42人
合計人数	1,129	1,080	36	47	2,292

研修直後のアンケートでは、「教室内での自身の英語使用を増やす」、「明確な授業計画を立てる」、「コミュニケーション活動を増やす」が、中学校の先生及び高校の先生が、今後増やしたい活動のベスト3であった。これを上位7項目までに広げ、グラフ化したものが図3である。

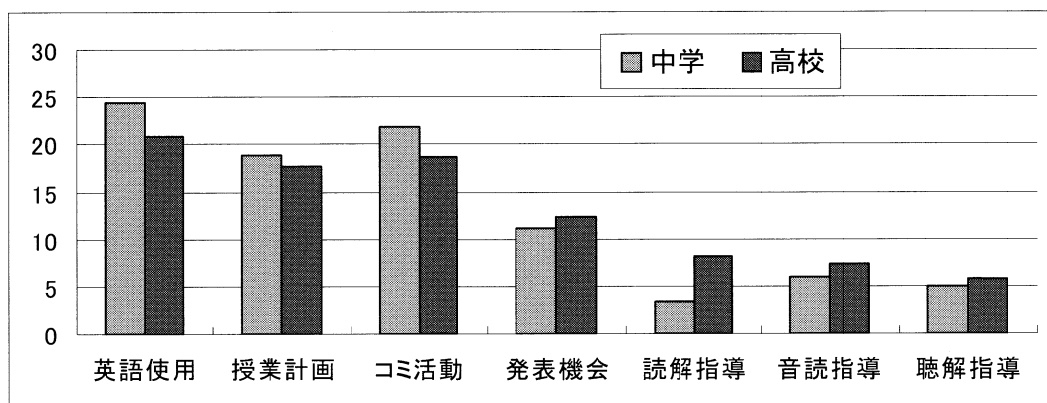


図3 研修直後の中学校と高校の教員が増やしたいと思った上位7項目

上位7項目までで考えてみると、中学校の先生と高校の先生で大きな差が出てくるのが「読解指導」であることがわかる。これは、高校の先生の方が、大学入試を意識した結果であると考えられる。

② 「研修2ヶ月後」の結果

質問項目20～22は、以下の項目で、研修受講前とその後の授業を比較して変化した点を順番に3つ選んでもらった。データ処理方法は、直後と同様である。

【選択項目】

1. 明確な目標を持った授業計画を立てている（授業計画）
2. 教室での自信の英語使用を増やしている（英語使用）
3. 生徒の発表の機会を増やしている（発表機会）
4. コミュニケーション活動を増している（コミ活動）
5. リスニング指導を工夫している（聴解指導）
6. 音読指導を工夫している（音読指導）
7. 語彙指導を工夫している（語彙指導）
8. 読解指導を工夫している（読解指導）
9. 英作文指導を工夫している（作文指導）
10. 文法指導を工夫している（文法指導）

表3 研修2ヶ月後のアンケート結果

項 目	中 学	高 校	その他	無回答	合 計
教室内での自身の英語使用を増やしている	25.0%	18.8%	23.5%	23.0%	330人
コミュニケーション活動を増やしている	19.3%	12.5%	18.6%	17.7%	156人
明確な授業計画を立てている	11.4%	11.9%	10.8%	12.4%	144人
音読指導を工夫している	9.8%	11.8%	4.9%	9.6%	116人
生徒の発表の機会を増やしている	11.6%	12.4%	11.8%	10.3%	99人
読解指導を工夫している	2.2%	8.2%	0.0%	3.9%	54人
リスニング指導を工夫している	5.9%	7.7%	5.9%	4.6%	48人
文法指導を工夫している	4.0%	4.2%	0.0%	1.1%	33人
語彙指導を工夫している	3.0%	4.5%	2.9%	4.6%	26人
英作文指導を工夫している	4.3%	2.4%	2.9%	0.4%	23人
無回答	3.5%	5.5%	18.6%	12.4%	53人
合計人数	541	477	17	47	1,082

調査対象の数が研修2ヶ月後のアンケートは半数になったが、この2ヶ月後のアンケートでは、「教室内での自身の英語使用を増やす」、「明確な授業計画を立てる」、「コミュニケーション活動を増やす」が、中学校の先生及び高校の先生が、現在変化している活動のベスト3であった。これを上位7項目までに広げ、グラフ化したものが図2である。

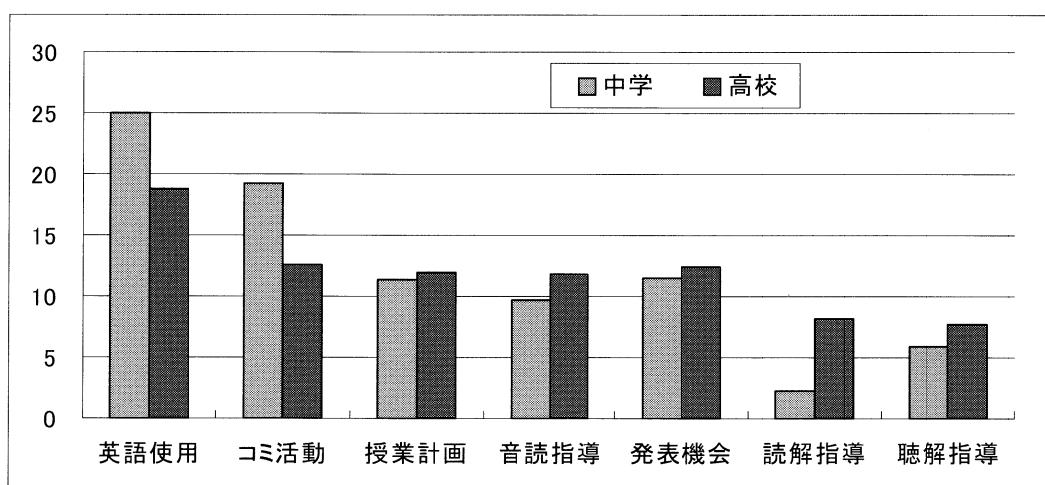


図4 研修2ヶ月後の中学校と高校の教員が変化していると答えた上位7項目

研修を受講して、2ヶ月たった時点では、「教室内での自身の英語使用の増加」

と「コミュニケーション活動の増加」において、変化が見られ、中学校の教員と高校の教員では差が開いたといえる。

③「研修直後」と「研修２ヵ月後」の比較

表４ 中学校と高校の「研修直後」と「研修２ヶ月後」の比較表

項 目	研修直後		２ヶ月後	
	中 学	高 校	中 学	高 校
教室内での自身の英語使用を増やす	24.5%	20.8%	25.0%	18.8%
コミュニケーション活動を増やす	21.9%	18.6%	19.3%	12.5%
生徒の発表の機会を増やす	11.2%	12.3%	11.6%	12.4%
明確な授業計画を立てる	18.8%	17.6%	11.4%	11.9%
音読指導を工夫する	5.9%	7.3%	9.8%	11.8%
リスニング指導を工夫する	5.0%	5.8%	5.9%	7.7%
読解指導を工夫する	3.5%	8.1%	2.2%	8.2%
文法指導を工夫する	1.7%	1.6%	4.0%	4.2%
語彙指導を工夫する	2.9%	2.8%	3.0%	4.5%
英作文指導を工夫する	3.7%	2.9%	4.3%	2.4%
無回答とその他	0.9%	2.3%	3.5%	5.5%
合計人数	1129	1080	541	477

次に、中学校の教員が、研修直後に「変化させたいと思っていた活動」と２ヶ月後経って「変わっていると思っている活動」を上位７項目で比較をしてみたのが図５である。

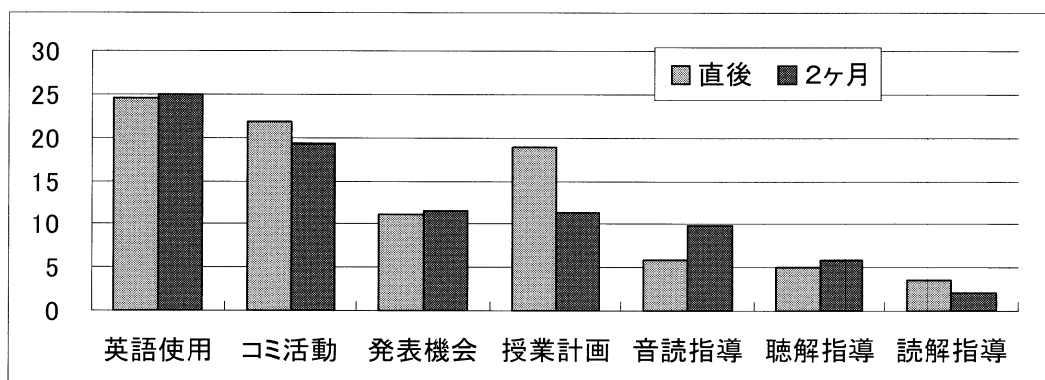


図５ 中学教員の研修直後と２ヶ月後の比較

図５から、中学校の教員の研修直後と２ヶ月後大きく変化しているのが「明確な

授業計画を立てる」ことと「音読指導を工夫する」である。研修直後に感じていたより実際に実施してみると、明確な計画は立てにくいということであろう。また、「読解指導」は、思っていたより工夫しやすいと言えるのであろう。

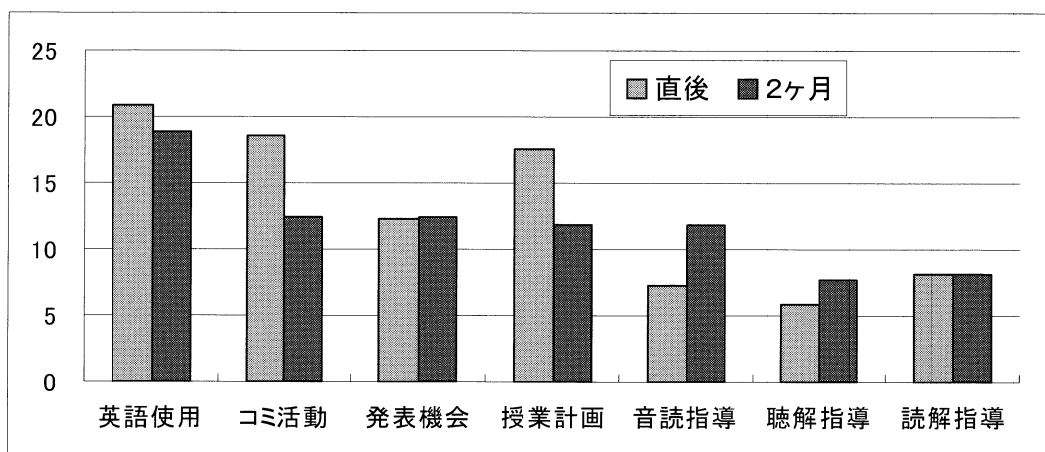


図6 高校教員の研修直後と2ヶ月後の比較

図6から、高校の教員の研修直後と2ヶ月後大きく変化しているのが、「コミュニケーション活動を工夫する」、「明確な授業計画を立てる」ことと「音読指導を工夫する」である。研修直後に感じていたより実際に実施してみると、高校では「コミュニケーション活動がしにくい」という実態があるのであろう。明確な計画は立てにくいということと「読解指導」は、中学校の結果と同じで興味深い。

2. 「研修直後」のアンケート結果

1～21の質問項目に対する回答結果を、次のように分類して検討する。

(1) 英語運用能力の向上に関する項目

1. 発音向上
2. 自分語彙
3. 自己研鑽
19. 運用能力
21. 能力試験

(2) 授業方法の工夫に関する項目

4. 聴力工夫
5. 読力工夫
6. 書力工夫
7. 話力工夫
11. 4技能工夫
12. コミュ活動

(3) 授業の反省・評価・計画・準備の工夫に関する項目

8. 評価工夫
9. 授業改善

- 10. 動機付け
- 14. 自分アイディア
- 15. 他人アイディア
- 18. ポートフォリオ
- (4) 専門知識や指導技術に関する項目
 - 13. Lecture
 - 20. 知識技術
- (5) 研修の自己評価に関する項目
 - 16. My Goals
 - 17. Self-diagnosis

(1) 英語運用能力の向上に関する項目

25問の質問項目のうち、英語運用能力に関わる項目は、

1. 発音向上 2. 自分語彙 3. 自己研鑽 19. 運用能力 21. 能力試験の5問である。この5問は教授力や授業力よりも英語力そのものに焦点をあてている。英語力の目標値が設定された以上、英語力向上をテーマの一つとして研修が行われたであろうとの推測に基づく項目である。

① 1. 発音向上

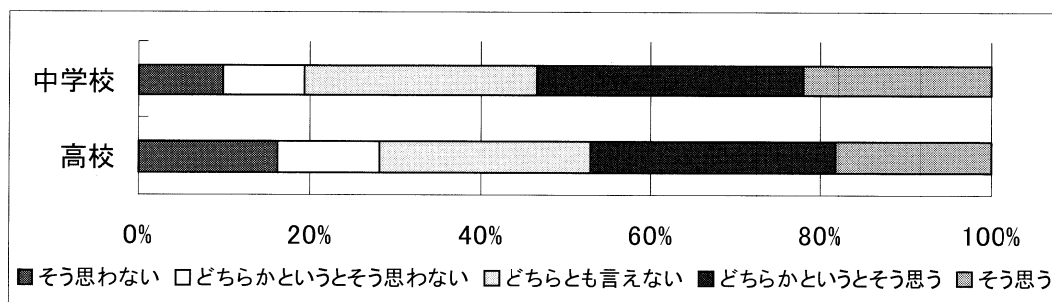


図7 直後：発音向上

中学校の教員では、4「どちらかというと思う」、5「そう思う」のレベルを合せると52%余りが「役に立った」と回答している。一方、高校では約45%である。どちらも低い数値とは言えない。「どちらかというと思わない」（以降2レベル）と「そう思わない」（以降1レベル）を合せると、中学校では20%弱、高校でも27%程度なので、この研修が、かなり多くの教員の英語発音能力向上に寄与した部分があったことを窺がわせる。（資料－表1参照）

② 2. 自分語彙

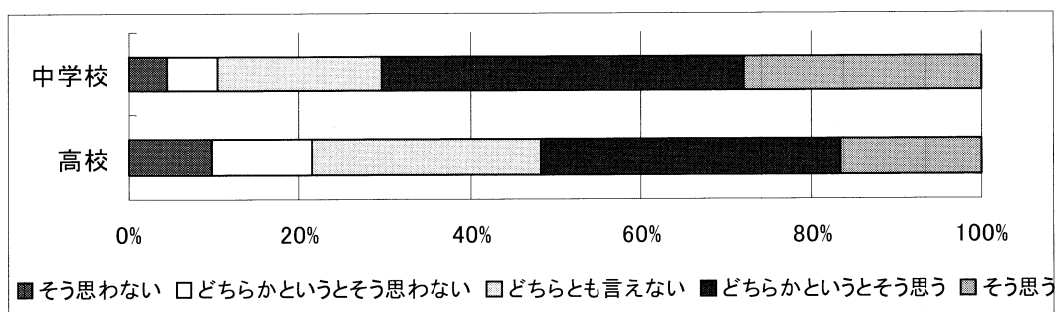


図8 直後：自分語彙

発音と比べ、中・高とも4レベル以上の比率が高い。特に、中学校では4と5レベルを合せると、約70%が向上したと答えている。それに対し高校は50%弱で、中・高の差が歴然と現れている。1、2レベルでは、中学校が10%強、高校が20%強で4と5レベルほどの差はない。中学校教員にとって、この研修が語彙・文法力の必要性を認識させる効果が十分にあったと言える。また、高校教員にとっても、研修が有効なものであったと考えられる。(資料－表2 参照)

③ 3. 自己研鑽

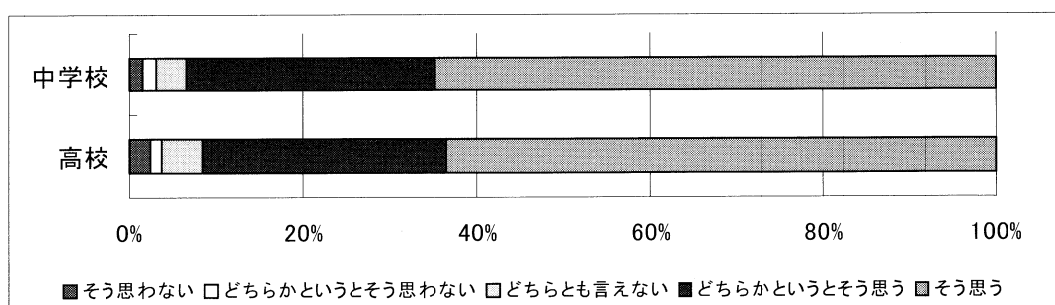


図9 直後：自己研鑽

中学校では92%、高校でも89%が4レベル以上、さらに、5レベルで中・高そろって60%以上の回答をしているのは、この研修が英語力向上への動機や意欲を十分に掻き立てるものであったと言える。ただし、研修の直後は、概して興奮状態であるため、この種の質問に関してはこのような結果が出やすい。2ヵ月後の調査結果を見て、研修の効果を判断する必要がある。(資料－表3 参照)

④ 19. 運用能力

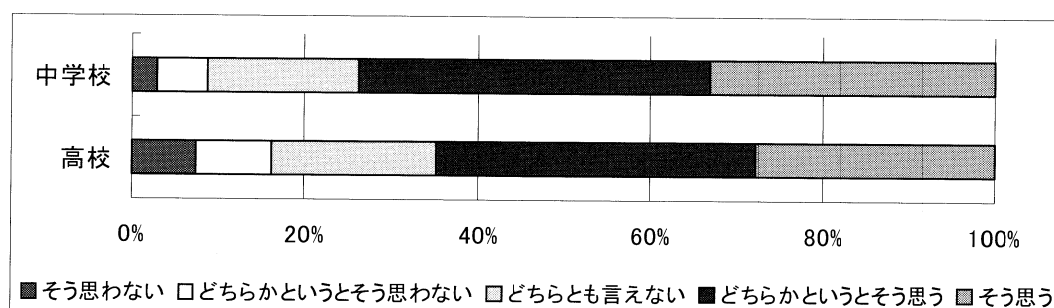


図10 直後：運用能力

中・高平均で70%近く、高校でも60%以上の教員が4レベル以上の段階で効果があったことを認めている。一方、1、2レベルの構成比の合計は、中学校9%弱、高校でも16%未満であった。しかし、この結果から直ちに、研修によって多くの教員に英語力がついたと考えるのは短絡であろう。短期間で急速に英語運用力がつくなどとは考えられないから、むしろ、多くの教員が自分の英語力を向上させる契機ととらえた、と解釈した方が妥当だろう。(資料－表4 参照)

⑤ 21. 能力試験

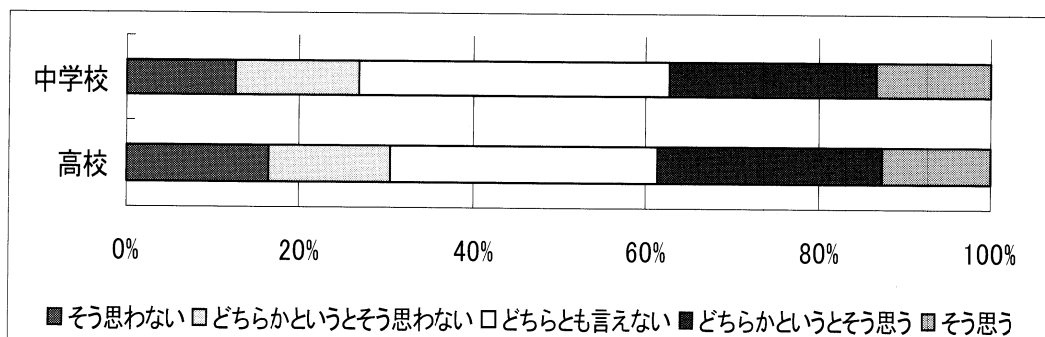


図11 直後：能力試験

「役立つ」(4、5レベル)と回答した割合は、中・高とも37%程度で、高いとは言えない。「英語運用能力の向上」の項目の中では、肯定的な回答比率が1番低い。逆に「役に立たない」(1、2レベル)は、中学校26%強、高校30%弱で、否定的な回答比率が1番高い。これは、全国的に見て、研修が能力試験対策に偏っていないことを推測させる。(資料－表5 参照)

(2) 授業方法の工夫に関する項目

本項で扱う項目は、4. 聴力工夫、5. 読力工夫、6. 書力工夫、7. 話力工夫、11. 4技能工夫、12. コミュ活動の6項目で、いずれも研修後授業方法を工夫するかどうかを問うものである。

① 4. 聴力工夫

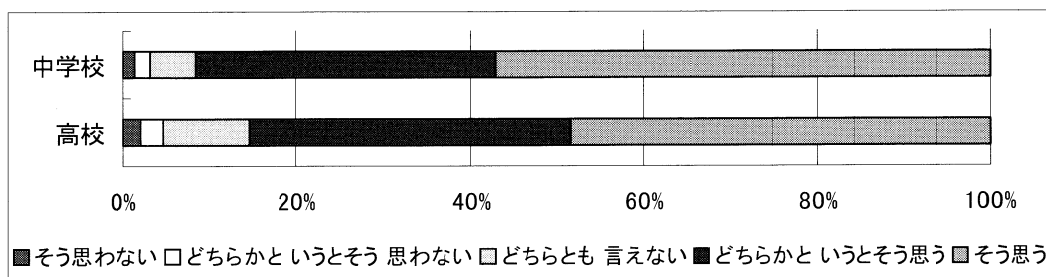


図12 直後：聴力工夫

研修直後に参加教員が感じた「聞く力」を向上させるための今後の授業方法に一層工夫を加えたいという意識は、程度の差はあっても中学校では91.5%、高校では84.6%であるから、研修直後に参加者に与えたインパクトが大きかったことが推測できる。これに比べて否定的な気持ちを頂いた教員は中学校・高校共に僅少である。(資料－表6 参照)

② 5. 読力工夫

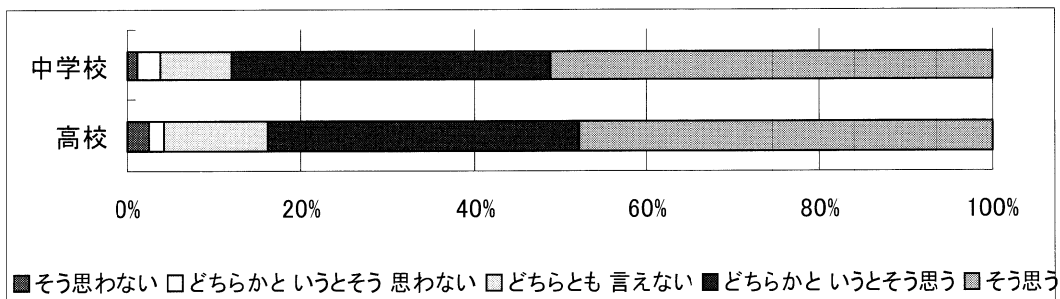


図13 直後：読力工夫

「読む力」を向上させるための今後の授業方法を一層工夫することに対して、4レベル以上の肯定的な気持ちを抱いた教員は、中学校では87.6%、高校では83.1%であるから、大多数の教員が授業の工夫を決意した様子が窺える。これに対してどちらとも言えないと答えた教員は中学校では8.4%、高校では11.8%となっている。否定的な気持ちを抱いた教員は、中学校より高校のほうがやや多いとはいえ、授業方法の一層の工夫を決意した教員に比べて、ごく僅少である。(資料－表7 参照)

③ 6. 書力工夫

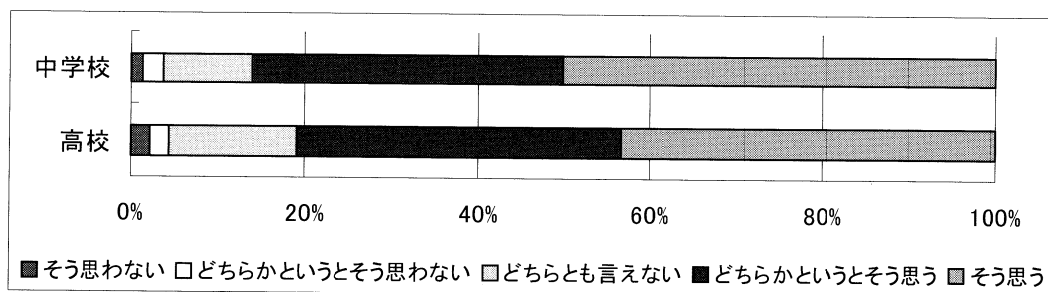


図14 直後：書力工夫

「書く力」を向上させるための今後の授業方法を一層工夫することについては、中学校では半数の教員が、高校でも約43%の教員が強く肯定（5レベル）している。やや肯定派を加えれば、校種にかかわらず、参加者の80%以上が生徒の「書く力」を向上させるために授業に一層の工夫を加えるという決意を示している。研修が「書く力」の向上のための授業の工夫に適切なものであったか決めかねていると思われる教員は中学校では10.3%、高校では14.6%であるが、否定的意見は中学校、高校共に僅少である。（資料－表8参照）

④ 7. 話力工夫

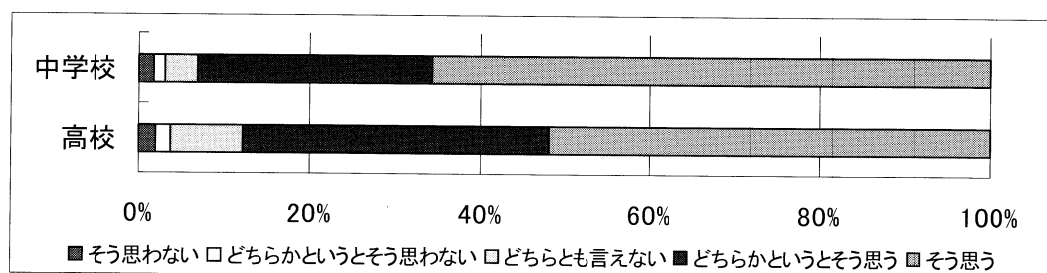


図15 直後：話力工夫

「話す力」を向上させるための今後の授業方法を一層工夫することを強く肯定した中学校の教員は65.6%に達し、高校教員は51.4%に及んでいる。4レベル以上の教員の数を含めると、中学校93%、高校は87%に達する。どちらとも言えないと否定派を含めると中学校では6.9%、高校では12.2%に留まっているので、研修直後には生徒に「話す力」を付けさせるための授業のさらなる工夫をするという気持ちが高まっている様子が窺える。（資料－表9参照）

⑤ 11.4技能工夫

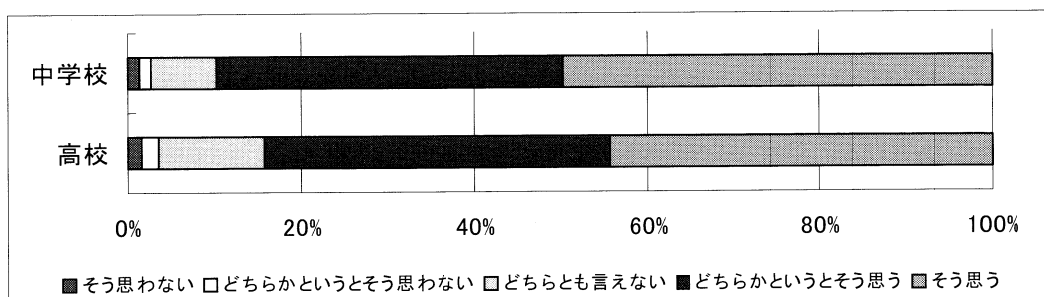


図16 直後：4 技能工夫

中学校では、49.5%の教員が、高校では43.8%の教員が、4技能の関連を図った指導を行うために一層の工夫をすることに強く決意していると思われる。どちらかと言えばそうしよう（4レベル）と考える教員を合わせると中学校では、89.3%、高校では83.6%の教員が4技能を関連づけて指導することに一層工夫を加えたいと感じたことになる。これに比べて、それを決めかねていたり、否定したりした教員は中学校では10.2%、高校ではそれより若干多い15.4%になっている。（資料－表10参照）

⑥ 12. コミュ活動

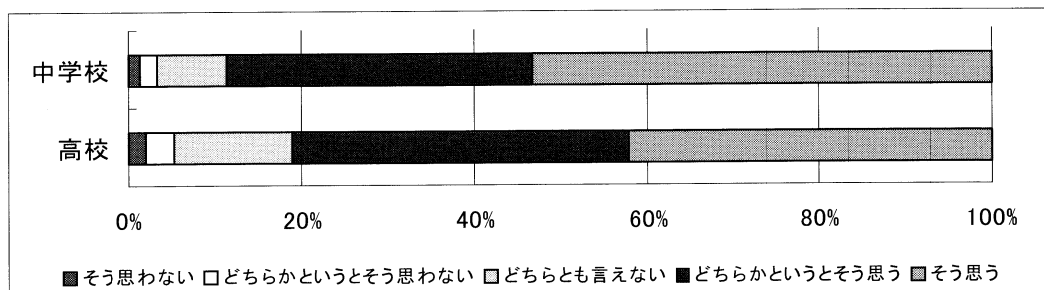


図17 直後：コミュ活動

自分の今後の授業に様々なコミュニケーション活動を増やすことを強く決意したと思われる教員は、中学校では53.1%、高校では41.8%と高い数値を示している。やや決意したと答えた教員を合わせると中学校では88.4%、高校でも80.5%に達している。研修直後に教室のコミュニケーション活動の必要性を強く意識したであろうことが窺える数値である。（資料－表11参照）

(3) 授業の反省・評価・計画・準備の工夫に関する項目

ここでは、8. 評価工夫、9. 授業改善、10. 動機付け、14. 自分アイデア、15. 他人アイデア、18. ポートフォリオの6項目を扱う。いずれも授業の準備段階、あるいは、授業の終了段階に関わる事項である。

① 8. 評価工夫

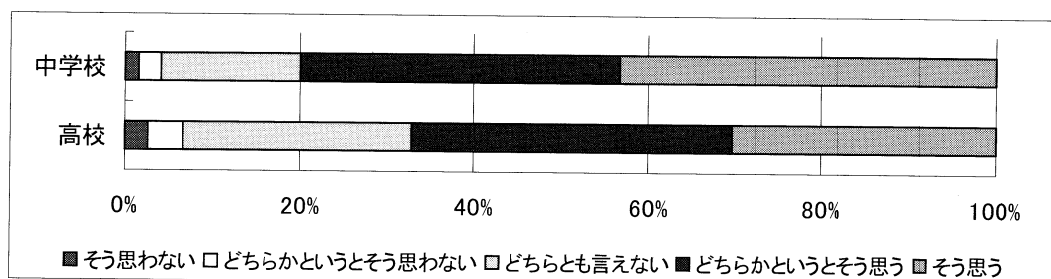


図18 直後：評価工夫

中学校教員の79%強、高校教員は66%弱が4レベル以上の肯定的回答である。「どちらとも言えない」と回答した教員が中学校では15.9%、高校では25.8%であることから、評価に関しては研修が全体として中学校教員により参考になるものであったことが推察できる。(資料－表12参照)

② 9. 授業改善

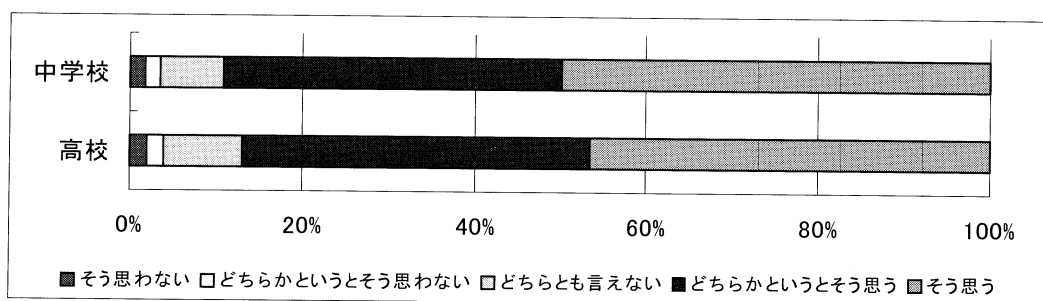


図19 直後：授業改善

中学校及び高校教員ともに同様の回答傾向を示した。どちらも、「そう思う」(中学校：49.8%、高校：46.1%)、「どちらかというと思う」(中学校：39.0%、高校：39.8%)という回答に集中した。集中研修直後では、参加した教員の多くが、自分の授業への反省と改善に対して前向きな態度を顕著に示していることが分かる。自分の授業を批判的な態度でとらえ、改善していくリフレクティブ・アプローチに関する研修が行われたことが推察できる。(資料－表13参照)

③ 10. 動機付け

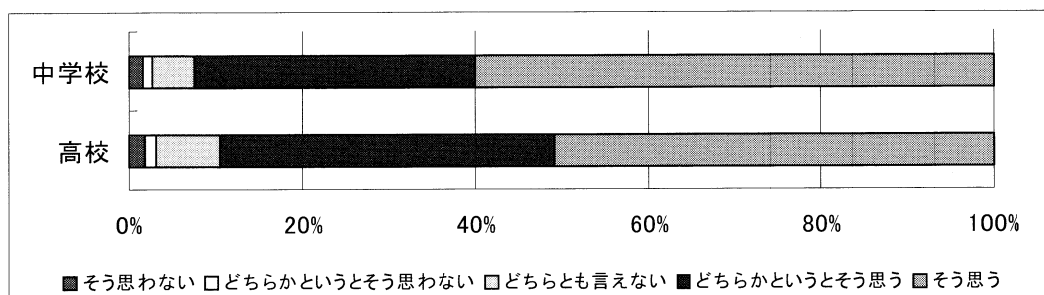


図20 直後：動機付け

中学校教員の59.9%、高校教員は50.4%が5レベルの「そう思う」と回答した。4レベル以上の回答は、中学校教員92.6%、高校教員88.8%となり、集中研修直後において、多くの教員がほぼ同様に、生徒の英語学習への動機付けの方法を工夫しようという刺激を受けたことが分かる。これは、上述の「授業改善」とともに高い数値を示している。この傾向が研修後も継続するかどうかを観察する必要があると思われる。（資料－表14参照）

④ 14. 自分アイディア

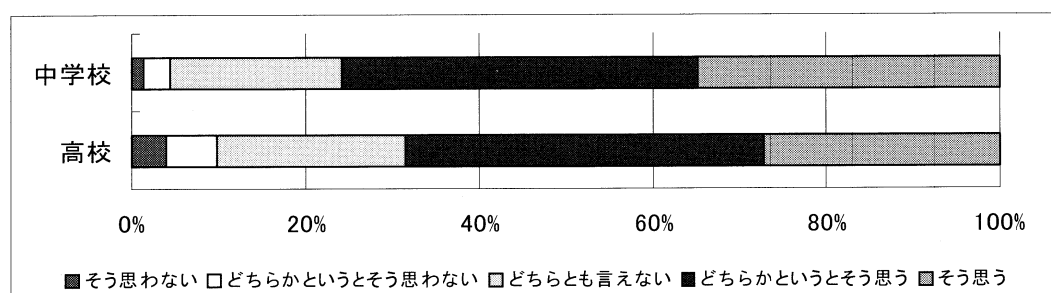


図21 直後：自分アイディア

中学校教員の75.6%、高校教員の67.8%が4レベル以上の回答をしている。前述の「授業改善」「動機付け」と比べ、肯定的回答が低い。これは、質問自体に能動的な要素が含まれているためだと考えられる。中には、「自分が考えている英語指導」と研修内容が同じであったと考えている教員もいたはずで、その人たちは1～3のレベルをマークしたのかもしれない。しかし、全体として肯定的回答は高い方だと言える。（資料－表15参照）

⑤ 15. 他人アイデア

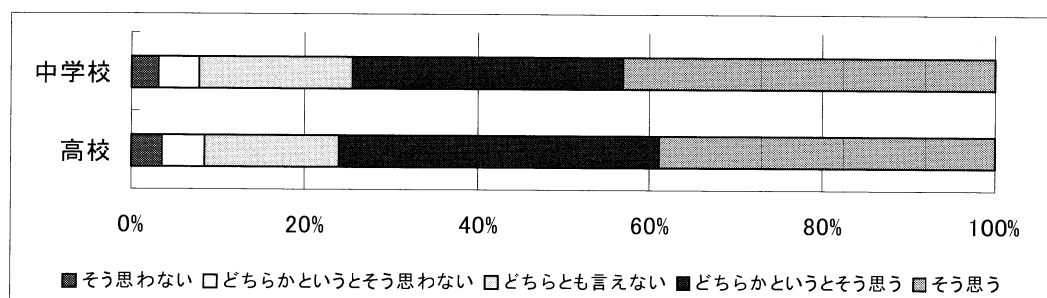


図22 直後：他人アイデア

中学校及び高校教員ともほぼ同様の回答傾向を示している。4レベル以上の回答は中学校教員74%、高校教員75.2%である。この質問内容は前述の「自分アイデア」と重なるところがある。あえて分類すれば、前者は「自己研修」の分類、これは「協同研修」の分類に入るかもしれない。今回の研修で、教員同士が話し合ったり、議論したりする機会があった地域となかった地域では、この回答に差が生じていると推測される。両者は「研修」に関わる項目で、いずれも研修に前向きな姿勢が現れていると言える。（資料－表16参照）

⑥ 18. ポートフォリオ

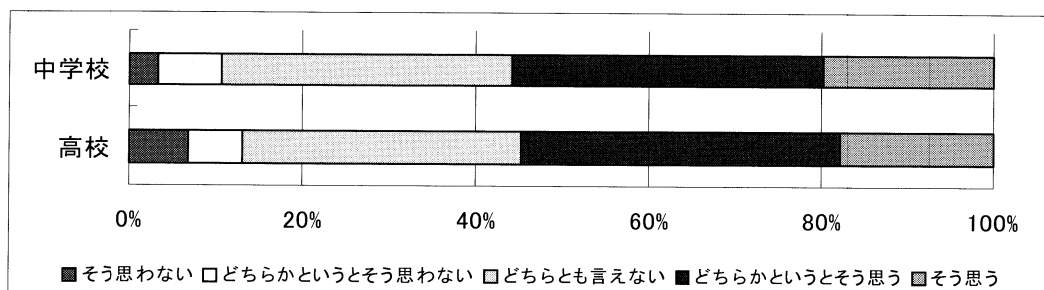


図23 直後：ポートフォリオ

他の質問と比べて否定的な回答傾向を示した。「そう思う」と回答した教員は、中学校教員が17.1%、高校教員が15.1%と低い数値を示した。4レベル以上では中学校教員が48.3%、高校教員が46.5%であった。特徴的なことは、「該当せず」という回答が、中学校教員で11.4%、高校教員で12.4%と高かったことである。この回答から、集中研修ではこの項目を扱わない地域があったと推察できる。（資料－表17参照）

(4) 専門知識や指導技術に関する項目

本項では、13. Lecture、20. 知識技術の2項目をまとめる。この2項目は「英語授業に必要な知識、技術、教養」に関わるもので、研修では主に講義やワークショップの形態をとり、回答はそれを評価するものと考えられる。

① 13. Lecture

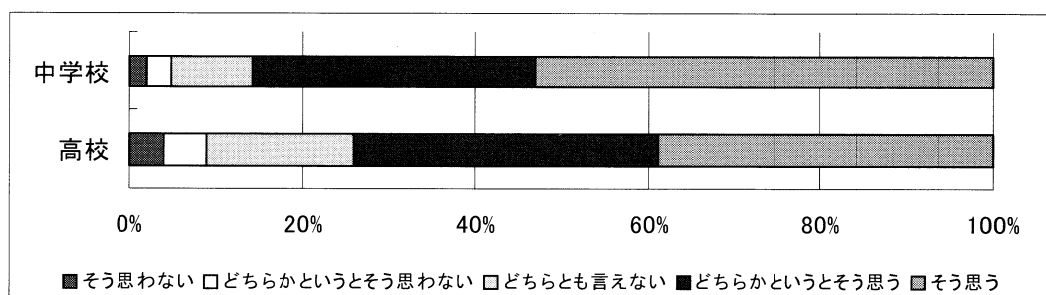


図24 直後：Lecture

4レベル以上の回答は、中学校では80.8%、高校では62.9%と両者とも高い割合を占めている。一方、1、2レベルは、中学校では4.6%、高校では7.6%と極めて低い。講義などが一定の評価を与えられたと言える。(資料－表18参照)

② 20. 知識技術

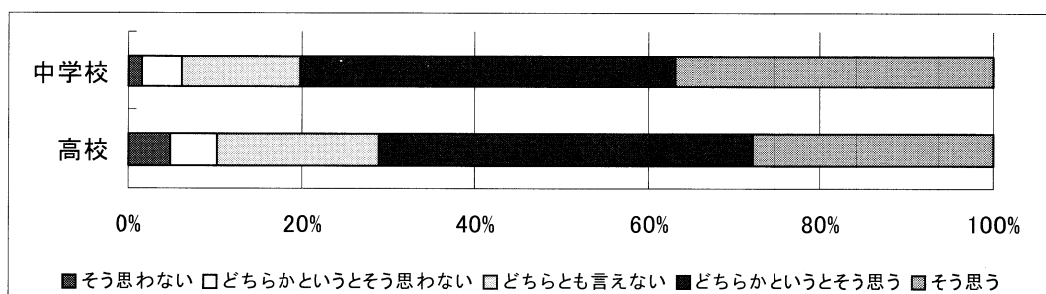


図25 直後：知識技術

4レベル以上の回答は、中学校では80.0%、高校では70.2%と両者とも高い割合となっている。一方、1、2レベルは、中学校では6.0%、高校では10.2%と極めて低い割合にとどまっている。Special Lectures と並んで、この研修が「授業に必要な知識、技術、教養」を向上させようとする刺激を多くの教員に与えたと考えられる。(資料－表19参照)

(5) 研修の自己評価に関する項目

研修に参加するために用意した16. My Goals、17. Self-diagnosis に関する項目である。どちらも研修の自己評価に関わるものであるが、基底では、自己研修の内容や方法につながる要素を含んでいると考えられる。

① 16. My Goals

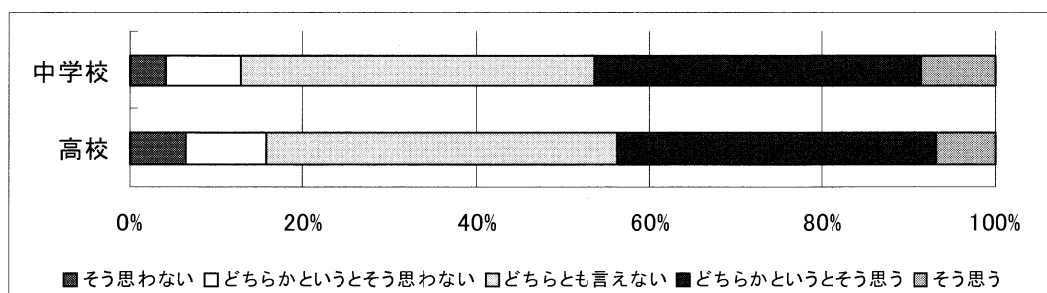


図26 直後：My Goals

4 レベル以上は、中学校では39.3%、高校では37.2%と両者がほぼ同じ割合で、高いとは言えない。特に5レベルは1桁の割合で、低い。3レベルは中学校、高校とも約35%である。この数値から見ると、My Own Goals の目標設定が必ずしも適切ではなかったか、あるいは、目標を設定すること自体に困難を感じたか、のどちらかの教員が多かったと推測される。(資料-表20参照)

② 17. Self-diagnosis

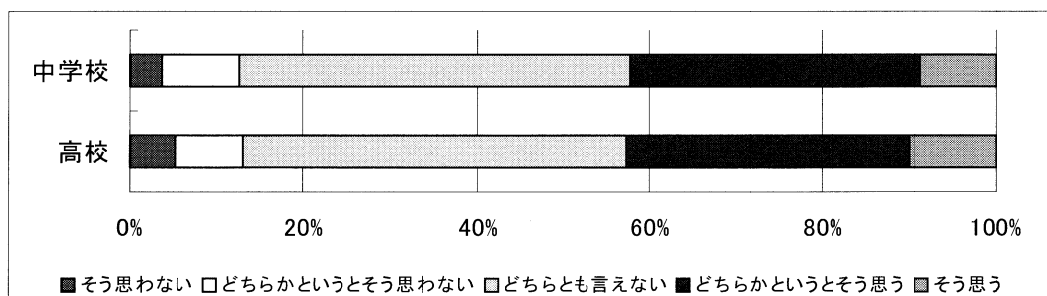


図27 直後：Self-diagnosis

4 レベル以上の回答は、中学校では32.9%、高校では32.5%とほぼ同じ割合である。5レベルの回答は1桁の割合である。3レベルの「どちらとも言えない」は中学校、高校とも約35%を占めている。この傾向は前述の My Goals とよく似ており、Self-diagnosis が必ずしも適切でなかったことを示している。さらに、「該当せず」は中学校17.4%、高校20.6%であることから、Self-diagnosis を設定しなかった研修が決して少なくなかったことが窺える。(資料-表21参照)

これら2項目の結果から、研修に対する自己評価をきちんと行うことができるようにするためには、次の点が今後の課題になると推察できる。

- ・研修の主催者側が、事前に、研修の目的、方法、プログラムなどの詳細を明示すること。
- ・受講者側が、日常的に目標を持って自己研修を行うこと。
- ・到達目標の事例、自己診断チェックリストなど、客観的に判断できる材料を開発すること。

3. 「研修2ヵ月後」のアンケート結果

1～19の質問項目に対する回答結果を、次のように分類して分析する。さらに、「直後」の項目と関わる部分では、その都度比較対照する。

(1) 授業外の英語使用量に関する項目

1. 英語読量
2. 英語聴量
3. 英語話量
4. 英語書量
7. 発音自信

(2) 授業方法の変化に関する項目

5. 授業英使
8. 聴力授業
9. 読力授業
10. 書力授業
11. 話力授業
15. 4技能授業
16. コミュ授業

(3) 授業の反省・評価・計画・準備の変化に関する項目

6. 知技向上
12. 評価変化
13. 批判改善
14. 動機付変化
17. ポート活用

(4) 自己および協同研修に関する項目

18. 自主研修
19. 授業研究

(1) 授業外の英語使用量に関する項目

19問の質問項目のうち、英語運用能力に関わる項目は、1. 英語読量、2. 英語聴量、3. 英語話量、4. 英語書量、7. 発音自信の5問である。これらの項目は、研修後に授業外で英語の4技能の向上を目指す自己研修の量が増えたかどうかを問うものである。1～4はそれぞれ英語を「読む」「聞く」「話す」「書く」活動量、7は、発音に関するものである。これらの質問項目のねらいは、英語運用力向上に関して、研修の効果が2ヵ月後も持続しているかどうかを見ることにある。

① 1. 英語読量

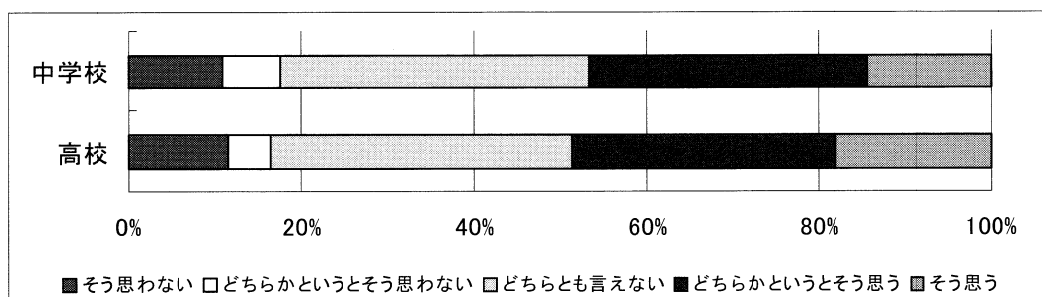


図28 2ヵ月後：英語読量

中・高とも4レベル以上の構成比は47%の前後で、2ヵ月後の数値としては低くない。5レベルの「そう思う」は中学校が14.2%、高校が17.8%である。1、2レベルを合せても、中・高とも16～17%程度である。研修を受講した半数近くの教員が、日常的に英語を読む量が増え、研修の効果が現れていることを物語っている。(資料－表22参照)

② 2. 英語聴量

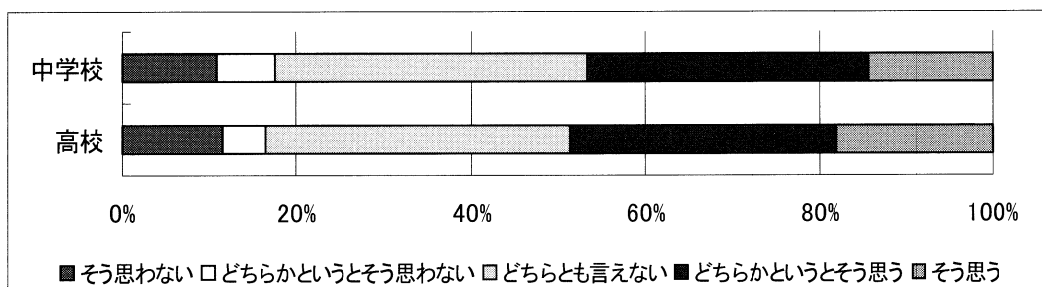


図29 2ヵ月後：英語聴量

回答者の53%程度が英語を聞く量が4レベル以上で増えたと回答している。5レベルでは、中学校16.3%、高校18.7%である。1、2レベルでも15%程度で、聞く活動に関しては、半数以上の研修受講者に効果が持続していることを示している。「読む量」および「聞く量」においては、わずかではあるが高校教員の方が量が増えている。(資料－表23参照)

③ 3. 英語話量

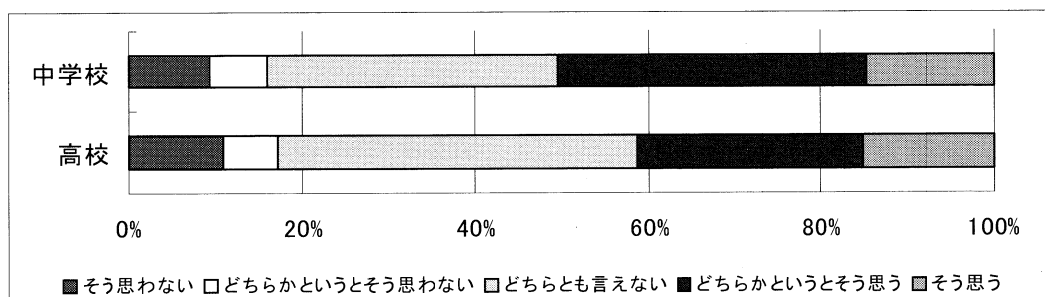


図30 2ヵ月後：英語話量

中学校では50%強、高校では40%強が4レベル以上で話す量が増えたと回答している。5レベルでは中学校14.6%、高校14.9%でそれほど差はない。1、2レベルでは15～17%である。数値的に見て、英語を日常的に話そうとする態度が、研修によってかなりの教員に育成されたと推察できる。(資料－表24参照)

④ 4. 英語書量

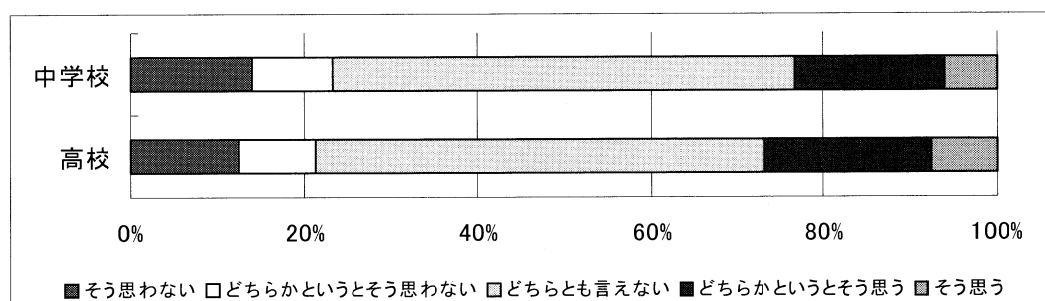


図31 2ヵ月後：英語書量

「読む」「聞く」「話す」活動に比べて、かなり数値が下回っている。4レベル以上で中学校は23%、高校では26～7%である。一方、1、2レベルではそれぞれ23%、21%強である。英語を書くための研修が、全国的に少なかったことを示しているのか、あるいは、英語を書く活動が比較的難しいことを表しているのか、この数値だけでは予断を許さない。ただし、Eメールの普及を考えれば、他の活動と比べても、英語を書く機会が少ないとは考えにくい。(資料－表24参照)

以上の4項目は、直後の質問項目「3. 自分自身の英語運用能力を向上させるために、今後は自己研鑽に努めたりその方法を工夫したりする」と関わりがあると考えられる。日常的に「読む」「聞く」「話す」「書く」量が増えるということは、「自己研鑽」に努めていることになるからである。図32には中学校の場合を比較対照したものである。

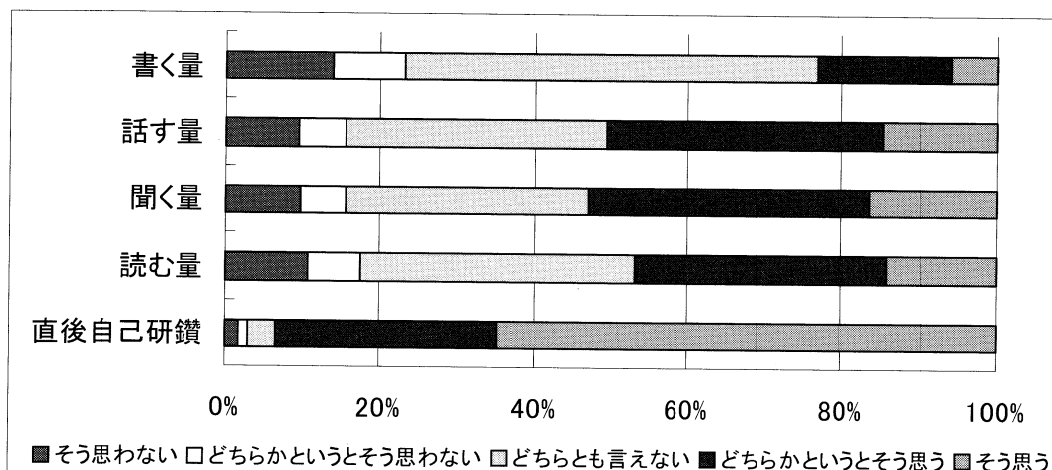


図32 中学校：直後「4. 自己研鑽」と2ヵ月後の英語学習量

下段の研修直後の構成比は圧倒的に4レベル以上が占めている。研修直後の興奮が伝わってくる感じがする。2ヵ月後にはその興奮が冷めてきつつあることを物語っているのか、あるいは、4つの技能に分散したのかの判断はつかない。しかし、「書く量」を除いて他の3項目が50%近く、あるいは、それ以上の教員が4レベル以上であることは、研修によって刺激を受け、英語運用力向上のための自己研修を何らかの形で継続している教員が多いことを表している。

④ 7. 発音自信

図33は、「直後」の質問項目「1. 自分自身の発音能力向上に役立った」と、2ヵ月後の「発音自信」を比較したものである。2ヵ月後の中学校では4レベル以上の構成比が22%程度、高校では20%弱である。それに対し、1、2レベルではそれぞれ22%、25%程度である。(資料－表25参照)

左側の1、2のレベルでは大きな差が見られないが、右側の4、5では直後と比べて中・高とも2ヵ月後の構成比が落ち込み、「どちらとも言えない」が増加している。多くの教員にとって、研修は発音の向上に役には立ったが、自信をつけるまでには至っていないことを示している。

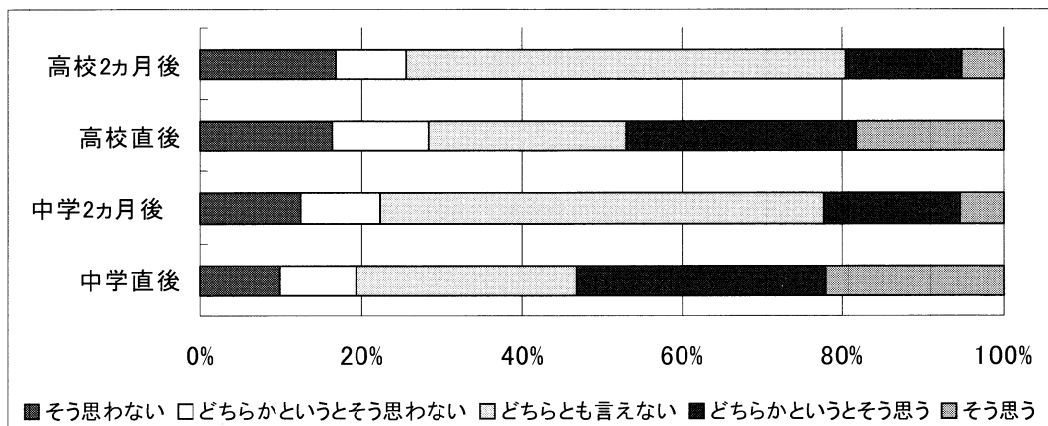


図33 2ヵ月後「発音自信」と直後「発音向上」との比較

(2) 授業方法の変化に関する項目

質問項目 5. 授業英使、8. 聴力授業、9. 読力授業、10. 書力授業、11. 話力授業、15. 4技能授業、16. コミュ授業は「授業方法の変化」という枠組みでくくれる項目群である。8～11、15、16は「直後」の質問項目との関連が強いので、比較しながら検討する。

① 5. 授業英使

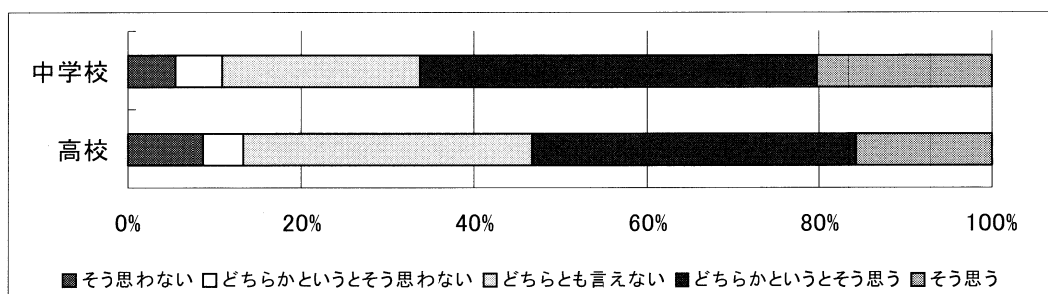


図34 2ヵ月後：授業英使

図35は「日常的に授業で英語を使う量が増えた」かどうかをたずねる質問に対する回答結果である。中学校では4レベル以上が65.8%、高校では52.8%である。そのうち、5レベルは中学校20.1%、高校15.5%である。数値的には、全体として授業での英語使用量が増加したと判断してよさそうである。また、高校よりも中学校の方が英語を使いやすい状況であるとも考えられる。どのような場面で英語を使用するようになったかは不明である。(資料－表27参照)

② 8. 聴力授業

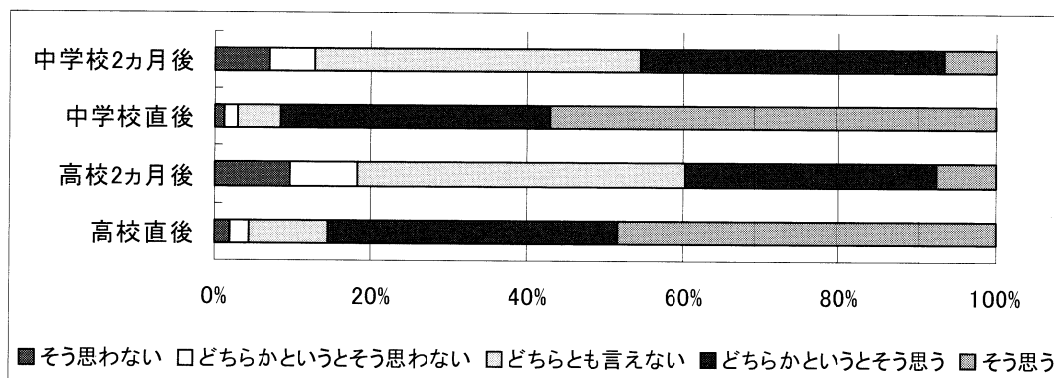


図35 2ヵ月後「聴力授業」と直後「聴力工夫」の比較

直後に「一層工夫しよう」と答えた回答と比べ、2ヵ月後での落ち込みは大きい。「聞く力」を向上させるために授業方法を2ヵ月後に変化させたのは、4レベル以上では、中学校45.3%、高校39.6%で、両方とも直後の5レベルよりも落ちている。変化したかどうかかわからないという意見を持つ教員は中・高校共に40%強に及ぶ。(資料－表6、28参照)

③ 9. 読力授業

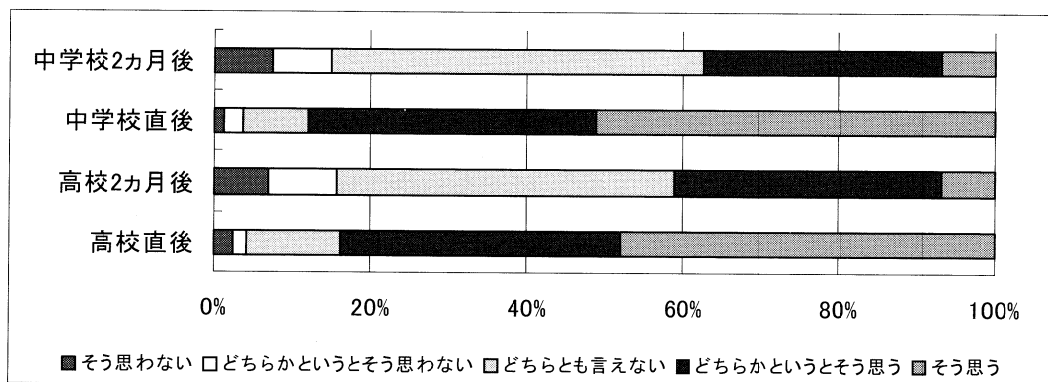


図36 2ヵ月後「読力授業」と直後「読力工夫」の比較

直後と比べ2ヵ月後はかなり落ち込んでいる。2ヵ月後に授業方法を変化させたのは、4レベル以上で中学校37.1%、高校では41.1%である。「聞く力」と比べ、中学校の「読む力」の変化が少なく、高校は若干多い。これは、「読む力」の向上に関しては高校教員のほうが中学校教員より僅かながら授業に何らかの変化を認めていることになる。(資料－表7、29参照)

④ 10. 書力授業

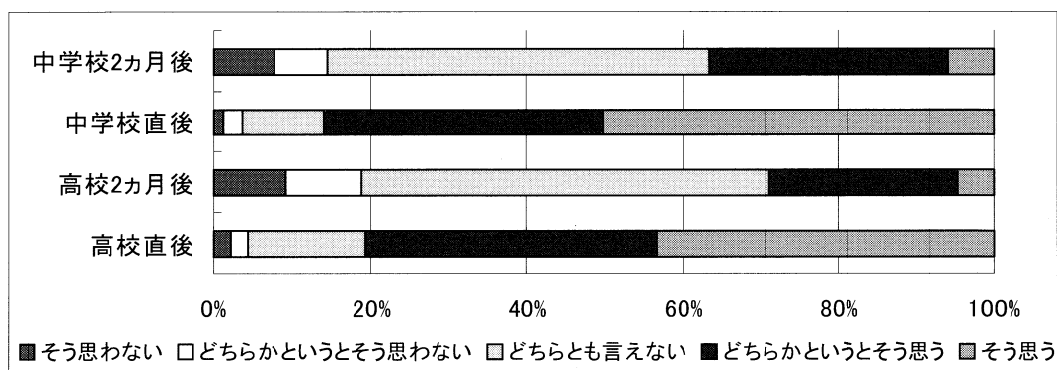


図37 2ヵ月後「書力授業」と直後「書力工夫」の比較

2ヵ月後4レベル以上で「変えた」中学校教員は36.6%、高校教員は28.7%である。3レベルは中学校48.6%に対して高校に52.0%になっている。次の「話力授業」を含め4技能の中では変化が一番少ない。「書く授業」の難しさが現れていると考えられる。(資料－表8、30参照)

⑤ 11. 話力授業

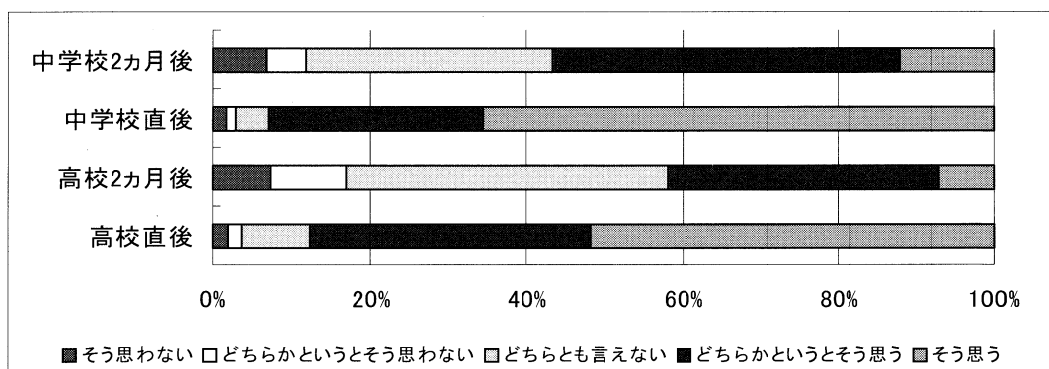


図38 2ヵ月後「話力授業」と直後「話力工夫」の比較

2ヵ月後の4レベル以上は、中学校56.4%、高校41.7%で両者の差が大きい。特に中学校ではこの授業の変化が最大である。研修直後の「話力工夫」は、「自己研鑽」「動機付け」と並んで高い値を示していたが、特に中学校の場合には、「話す力」をつけることが授業変化のポイントになっているように思われる。研修の成果が現れているものと推察できる。(資料－表9、31参照)

⑥ 15. 4技能授業

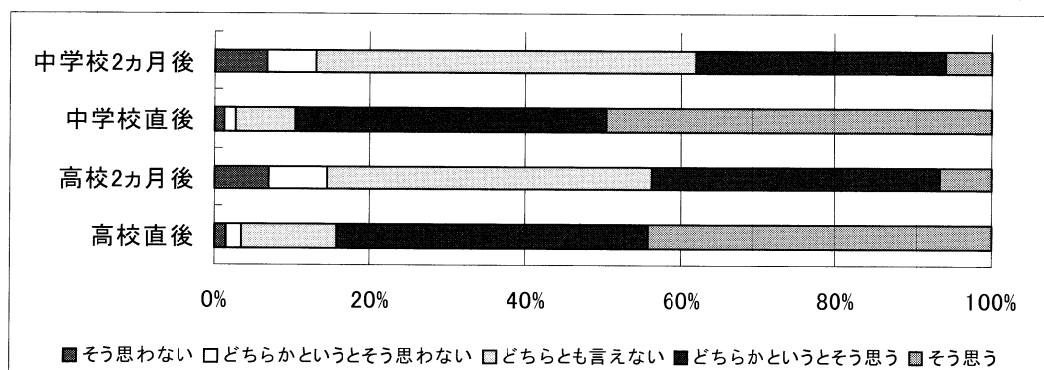


図39 2ヵ月後「4技能授業」と直後「4技能工夫」の比較

2ヵ月後、高校教員（43.6%）が中学校教員（37.9%）より肯定的に変化を認めている。直後と比べ、中・高が逆転している点に興味深い。これは「読力授業」との関連があるのかもしれない。2ヵ月後に、3レベルが中学校では48.6%、高校では41.5%に及んでいるのは、4技能指導定着の難しさを示すものであろう。（資料－表10、32参照）

⑦ 16. コミュ授業

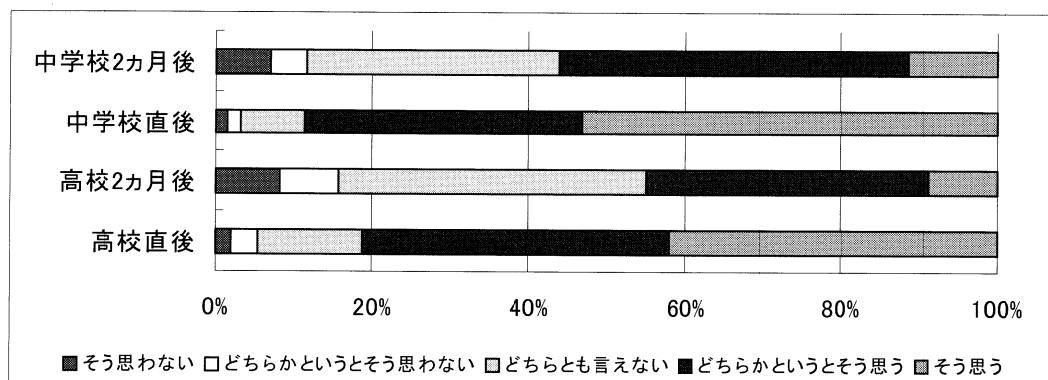


図40 2ヵ月後「コミュ授業」と直後「コミュ活動」の比較

2ヵ月後の4レベル以上の割合は、中学校では55.8%で高校は44.9%である。逆に、取り入れていないとする教員の割合は、中学校では11.4%、高校では15.7%である。この両者の数値は、「話力授業」と似た傾向を示している。3レベルの回答は、中学校でも高校でも3割以上に達しているが、個別のスキルを扱う授業法に比べるとこの数値は最も低い。（資料－表11、33参照）

(3) 授業の反省・評価・計画・準備の変化に関する項目

質問項目6. 知技向上、12. 評価変化、13. 批判改善、14. 動機付変化、17. ポート活用の5項目は主に「授業の準備・終了段階」に必要な構成要素である。それぞ

れの結果を、直後の該当する項目と比較しながら検討する。

① 6. 知技向上

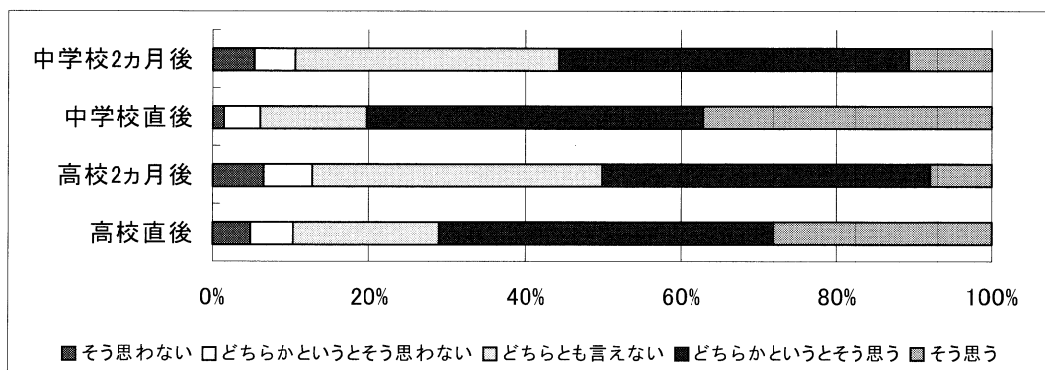


図41 2ヵ月後「知技向上」と直後「知識技術」の比較

2ヵ月後、中学校で55.6%、高校で49.9%が4レベル以上の回答をしている。教員の半数が専門知識や指導技術の向上を意識しているということになる。直後との差は20%台で、他の項目と比べ比較的差が少ない。専門知識や指導技術は保持率が高い可能性がある。(資料－表19、34参照)

② 12. 評価変化

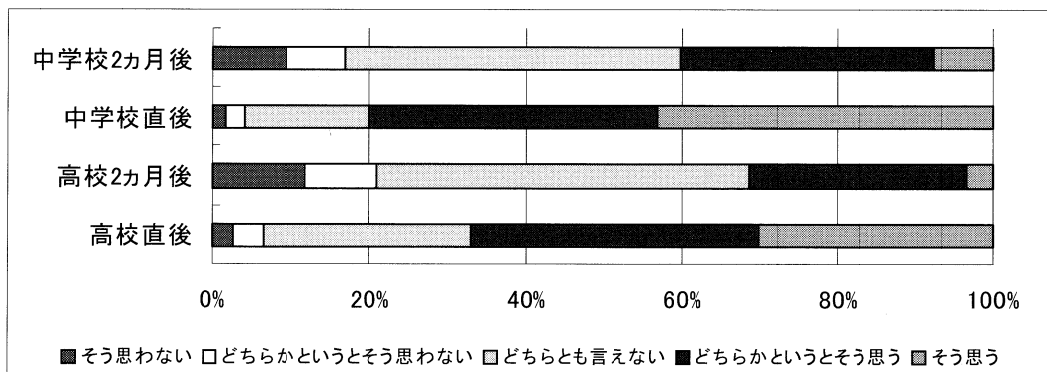


図42 2ヵ月後「評価変化」と直後「評価工夫」の比較

直後の回答と2ヵ月後の回答にかなりの落差(34~40%)がある。2ヵ月後、4レベルの回答は中学校39.8%、高校31.3%と高くはない。日常業務の中で、評価方法を変えるのは難しいということだろうか。(資料－表12、35参照)

③ 13. 批判改善

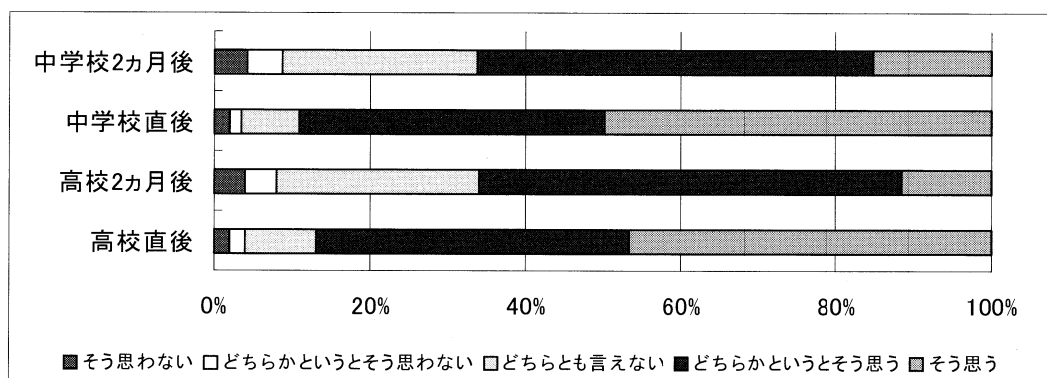


図43 2ヵ月後「批判改善」と直後「授業改善」の比較

2ヵ月後で4レベル以上の割合が中・高ともほぼ66%を維持している。直後と比べ差は20%程度であり、中・高併せ研修の効果が最も持続している項目だと考えられる。授業の終了段階における内省を本物にするには、今後5のレベルを増やしていくことが課題となろう。(資料－表13、36参照)

④ 14. 動機付変化

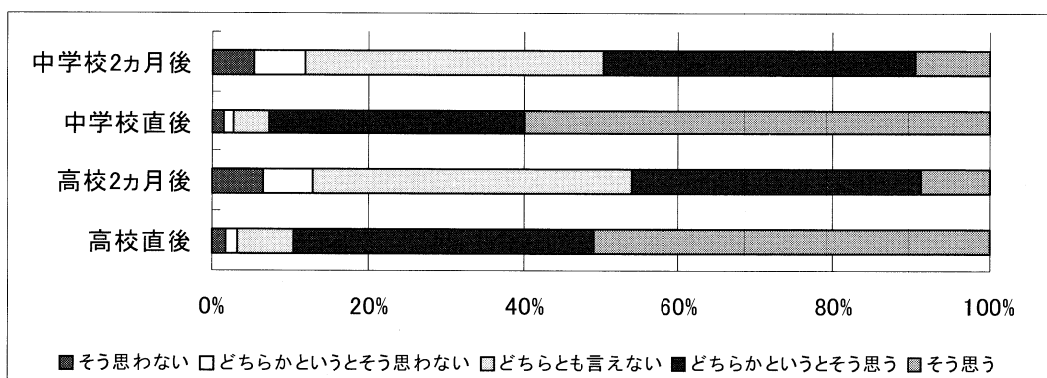


図44 2ヵ月後「動機付変化」と直後「動機付け」の比較

直後と2ヵ月後では、4レベル以上の回答構成比の落差が最も大きい項目のひとつである。直後では90%前後が「一層工夫する」ことを認めているが、2ヵ月後では45%強が「方法が変化した」にすぎない。中学校、高校とも43%程度落ち込み、「どちらとも言えない」が大増加している。教育現場・生徒の多様化による。動機付けの難しさを反映しているものと推察できる。(資料－表14、37参照)

⑤ 17. ポート活用

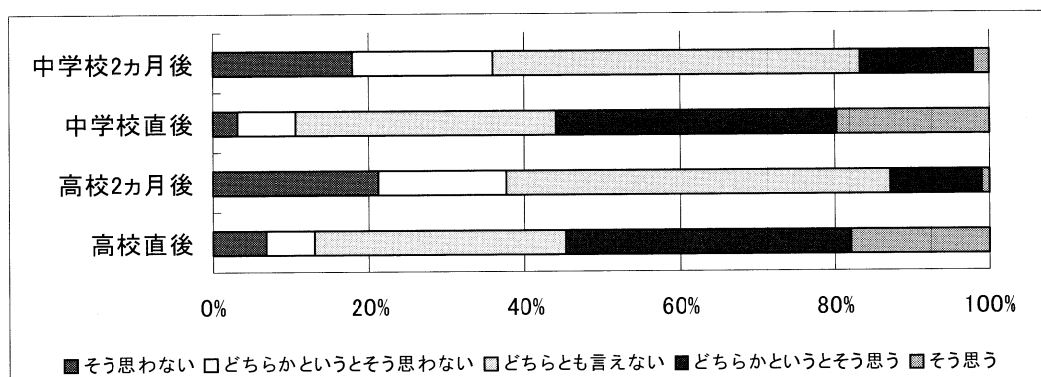


図45 2ヵ月後「ポート活用」と直後「ポートフォリオ」の比較

2ヵ月後、4レベル以上の回答は、中学校16%、高校11.9%にすぎない。19項目中最も低い構成比である。直後でも4番目に低かった。この結果から、ポートフォリオの活用は、まだ十分に理解されていないと推察できる。(資料－表17、38参照)

(4) 自己および協同研修に関する項目

質問項目18. 自主研修、19. 授業研究は自己研修や自校の同僚・周囲の学校教員との協同研修に関わる事項である。集中研修で触発され、研修の機会を広げたかどうかを問うものである。

① 18. 自主研修

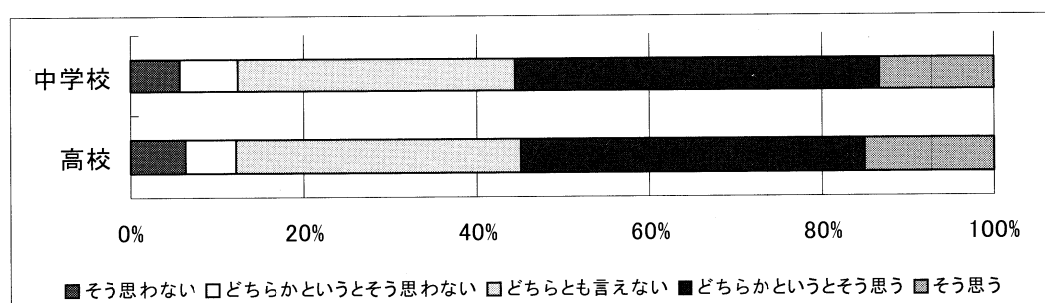


図46 2ヵ月後：自主研修

「研修受講前に比べて自主研修の目標は方法が明確になったと思う」(4レベル以上の構成比合計)は、中学校では55.3%、高校では54.5%であり、「否定派」(1、2レベルの構成比合計)は中学校では12.2%、高校では12.0%となっている。中学校、高校ともに「肯定派」が「否定派」を約4.5倍上回っている。

直後の「16. My Goals」と「17. Self-diagnosis」は、自主研修を重ねていないと十分に用意することができないと考えられる。結果はともに低い構成比(30~40%)であった。この点を考慮すると、2ヵ月後の結果は、集中研修の効果がかなり現れたと見るべきであろう。(資料－表39参照)

② 19. 授業研究

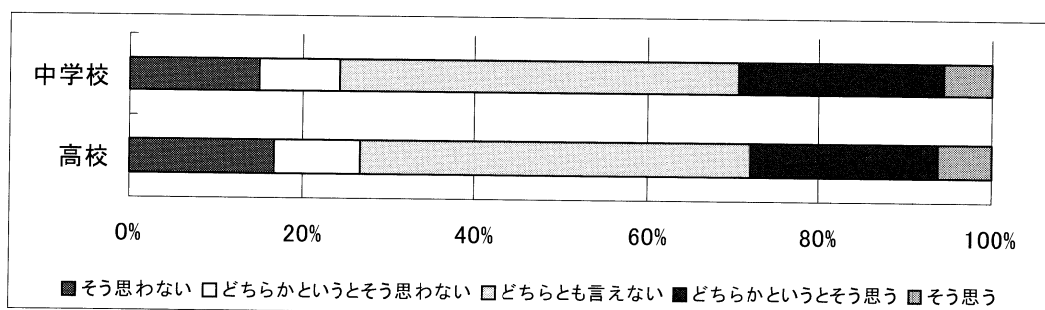


図47 2ヵ月後：授業研究

4レベル以上は、中学校では29.2%、高校では27.9%であり、2レベル以下は中学校では24.1%、高校では26.8%である。中学校、高校ともに「肯定派」が「否定派」をやや上回っているものの、「肯定派」「否定派」とともに約25～30%の範囲内である。この結果から見る限り、地域の学校間のみならず、同じ学校での校内研修も十分とは言えない状況だと推察する。前項の結果では、自主研修の目標や方法が明確になってきているようなので、今後は、校内研修をどう進めるか、あるいは、地域の学校間での研修の進め方、なども検討する必要があると思われる。(資料－表40参照)

V 資料—アンケート（多肢選択）集計結果—

A. 研修直後

1. 自分自身の発音能力の向上に役立った

資料—表 1 1. 発音向上

	発 音 向 上							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	11	110	106	305	349	246	2	1,129
構成比	1.0%	9.7%	9.4%	27.0%	30.9%	21.8%	0.2%	100%
高校	35	169	124	255	298	189	10	1,080
構成比	3.2%	15.6%	11.5%	23.6%	27.6%	17.5%	0.9%	100%
その他		2	4	9	9	12		36
無回答	2	8	3	10	10	11	3	47
合計	48	289	237	579	666	458	15	2,292
構成比	2.1%	12.6%	10.3%	25.3%	29.1%	20.0%	0.7%	100%

2. 自分自身の語彙力や文法力の向上に役立った

資料—表 2 2. 自分語彙

	自 分 語 彙							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	5	48	68	218	475	314	1	1,129
構成比	0.4%	4.3%	6.0%	19.3%	42.1%	27.8%	0.1%	100%
高校	33	101	122	276	366	172	10	1,080
構成比	3.1%	9.4%	11.3%	25.6%	33.9%	15.9%	0.9%	100%
その他			5	9	12	10		36
無回答		10	5	13	10	8	1	47
合計	38	159	200	516	863	504	12	2,292
構成比	1.7%	6.9%	8.7%	22.5%	37.7%	22.0%	0.5%	100%

3. 自分自身の英語運用能力を向上させるために、今後は自己研鑽に努めたりその方法を工夫したりする

資料一表3 3. 自己研鑽

	自 己 研 鑽							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	2	18	16	40	323	728	2	1,129
構成比	0.2%	1.6%	1.4%	3.5%	28.6%	64.5%	0.2%	100%
高校	24	25	14	50	296	666	5	1,080
構成比	2.2%	2.3%	1.3%	4.6%	27.4%	61.7%	0.5%	100%
その他		1	1	1	11	22		36
無回答		3		3	15	25	1	47
合計	26	47	31	94	645	1,441	8	2,292
構成比	1.1%	2.1%	1.4%	4.1%	28.1%	62.9%	0.3%	100%

4. 生徒の「聞く力」を向上させるために、今後は授業方法を一層工夫する

資料一表4 19. 運用能力

	運 用 能 力							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	2	33	67	197	457	371	2	1,129
構成比	0.2%	2.9%	5.9%	17.4%	40.5%	32.9%	0.2%	100%
高校	26	77	93	198	388	290	8	1,080
構成比	2.4%	7.1%	8.6%	18.3%	35.9%	26.9%	0.7%	100%
その他			3	11	13	9		36
無回答		7	4	5	17	13	1	47
合計	28	117	167	411	875	683	11	2,292
構成比	1.2%	5.1%	7.3%	17.9%	38.2%	29.8%	0.5%	100%

21. 今回の研修は、英語能力試験（英検、TOEFL、TOEIC 等）の受験に役立つと思う

資料一表 5 21. 能力試験

	能 力 試 験							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	14	139	160	398	269	146	3	1,129
構成比	1.2%	12.3%	14.2%	35.3%	23.8%	12.9%	0.3%	100%
高校	39	170	145	317	271	128	10	1080
構成比	3.6%	15.7%	13.4%	29.4%	25.1%	11.9%	0.9%	100%
その他	1	4	3	17	9	2		36
無回答		5	8	14	10	8	2	47
合計	54	318	316	746	559	284	15	2,292
構成比	2.4%	13.9%	13.8%	32.5%	24.4%	12.4%	0.7%	100%

4. 生徒の「聞く力」を向上させるために、今後は授業方法を一層工夫する

資料一表 6 4. 聴力工夫

	聴 力 工 夫							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	2	13	20	60	388	645	1	1,129
構成比	0.2%	1.2%	1.8%	5.3%	34.4%	57.1%	0.1%	100%
高校	5	22	26	108	396	517	6	1,080
構成比	0.5%	2.0%	2.4%	10.0%	36.7%	47.9%	0.6%	100%
その他	1		1	4	15	15		36
無回答		2	3	7	13	20	2	47
合計	8	37	50	179	812	1197	9	2,292
構成比	0.3%	1.6%	2.2%	7.8%	35.4%	52.2%	0.4%	100%

5. 生徒の「読む力」を向上させるために、今後は授業方法を一層工夫する

資料一表7 読力工夫

	読 力 工 夫							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	4	12	28	95	414	575	1	1,129
構成比	0.4%	1.1%	2.5%	8.4%	36.7%	50.9%	0.1%	100%
高校	6	25	19	127	385	513	5	1,080
構成比	0.6%	2.3%	1.8%	11.8%	35.6%	47.5%	0.5%	100%
その他	2		1	7	12	14		36
無回答		5		8	11	22	1	47
合計	12	42	48	237	822	1,124	7	2,292
構成比	0.5%	1.8%	2.1%	10.3%	35.9%	49.0%	0.3%	100%

6. 生徒の「書く力」を向上させるために、今後は授業方法を一層工夫する

資料一表8 書力工夫

	書 力 工 夫							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	1	14	28	116	404	565	1	1,129
構成比	0.1%	1.2%	2.5%	10.3%	35.8%	50.0%	0.1%	100%
高校	7	23	25	158	398	463	6	1,080
構成比	0.6%	2.1%	2.3%	14.6%	36.9%	42.9%	0.6%	100%
その他	2		2	7	11	14		36
無回答		4		9	14	19	1	47
合計	10	41	55	290	827	1,061	8	2,292
構成比	0.4%	1.8%	2.4%	12.7%	36.1%	46.3%	0.3%	100%

7. 生徒の「話す力」を向上させるために、今後は授業方法を一層工夫する

資料一表9 話力工夫

	話 力 工 夫							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	1	20	14	44	310	739	1	1,129
構成比	0.1%	1.8%	1.2%	3.9%	27.5%	65.5%	0.1%	100%
高校	4	21	19	92	384	555	5	1,080
構成比	0.4%	1.9%	1.8%	8.5%	35.6%	51.4%	0.5%	100%
その他	1	1		2	15	17		36
無回答		2	1	8	15	20	1	47
合計	6	44	34	146	724	1,331	7	2,292
構成比	0.3%	1.9%	1.5%	6.4%	31.6%	58.1%	0.3%	100%

11. 4技能の関連を図った指導について、今後は一層工夫する

資料一表10 4技能工夫

	4 技 能 工 夫							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	4	15	15	86	449	559	1	1,129
構成比	0.4%	1.3%	1.3%	7.6%	39.8%	49.5%	0.1%	100%
高校	8	16	20	130	430	473	3	1,080
構成比	0.7%	1.5%	1.9%	12.0%	39.8%	43.8%	0.3%	100%
その他	2		1	3	16	14		36
無回答		1	1	5	22	17	1	47
合計	14	32	37	224	917	1063	5	2,292
構成比	0.6%	1.4%	1.6%	9.8%	40.0%	46.4%	0.2%	100%

12. 自分の今後の授業に様々なコミュニケーション活動を増やす

資料一表11 コミュ活動

	コ ミ ュ 活 動							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	1	16	20	90	399	600	3	1,129
構成比	0.1%	1.4%	1.8%	8.0%	35.3%	53.1%	0.3%	100%
高校	4	21	36	146	418	451	4	1,080
構成比	0.4%	1.9%	3.3%	13.5%	38.7%	41.8%	0.4%	100%
その他	1	1		5	14	15		36
無回答		2		7	20	17	1	47
合計	6	40	56	248	851	1083	8	2,292
構成比	0.3%	1.7%	2.4%	10.8%	37.1%	47.3%	0.3%	100%

8. 生徒に対する評価の方法を今後は一層工夫する

資料一表12 評価工夫

	評 価 工 夫							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	7	18	27	179	411	482	5	1,129
構成比	0.6%	1.6%	2.4%	15.9%	36.4%	42.7%	0.4%	100%
高校	15	28	42	279	392	320	4	1,080
構成比	1.4%	2.6%	3.9%	25.8%	36.3%	29.6%	0.4%	100%
その他	1	1	2	9	11	12		36
無回答		4	1	14	15	12	1	47
合計	23	51	72	481	829	826	10	2,292
構成比	1.0%	2.2%	3.1%	21.0%	36.2%	36.0%	0.4%	100%

9. 自分が行っている授業を批判的な態度で反省しながら、今後は絶えず改善していく

資料一表13 授業改善

	授 業 改 善							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかという と思う	どちらとも言えない	どちらかという と思う	そう思う	無効回答	
中学校	3	20	18	84	440	562	2	1,129
構成比	0.3%	1.8%	1.6%	7.4%	39.0%	49.8%	0.2%	100%
高校	9	22	20	97	430	498	4	1,080
構成比	0.8%	2.0%	1.9%	9.0%	39.8%	46.1%	0.4%	100%
その他	1			2	19	14		36
無回答		2	1	6	17	20	1	47
合計	13	44	39	189	906	1,094	7	2,292
構成比	0.6%	1.9%	1.7%	8.2%	39.5%	47.7%	0.3%	100%

10. 生徒の動機付けの方法を今後は一層工夫する

資料一表14 動機付け

	動 機 付 け							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかという と思う	どちらとも言えない	どちらかという と思う	そう思う	無効回答	
中学校	1	17	13	52	369	676	1	1,129
構成比	0.1%	1.5%	1.2%	4.6%	32.7%	59.9%	0.1%	100%
高校	7	18	15	78	415	544	3	1,080
構成比	0.6%	1.7%	1.4%	7.2%	38.4%	50.4%	0.3%	100%
その他	1		1		16	18		36
無回答		3		4	16	23	1	47
合計	9	38	29	134	816	1,261	5	2,292
構成比	0.4%	1.7%	1.3%	5.8%	35.6%	55.0%	0.2%	100%

14. 自分が考えている英語指導のアイデアを発展させることができた

資料一表15 自分アイデア

	自 分 ア イ デ ィ ア							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	3	15	35	221	463	391	1	1,129
構成比	0.3%	1.3%	3.1%	19.6%	41.0%	34.6%	0.1%	100%
高校	6	42	64	232	442	290	4	1,080
構成比	0.6%	3.9%	5.9%	21.5%	40.9%	26.9%	0.4%	100%
その他	2		4	9	17	4		36
無回答		4	3	7	15	16	2	47
合計	11	61	106	469	937	701	7	2,292
構成比	0.5%	2.7%	4.6%	20.5%	40.9%	30.6%	0.3%	100%

15. 研修に参加した他の先生の英語指導についてのアイデアが参考になった

資料一表16 他人アイデア

	他 人 ア イ デ ィ ア							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	4	35	52	200	351	484	3	1,129
構成比	0.4%	3.1%	4.6%	17.7%	31.1%	42.9%	0.3%	100%
高校	8	37	54	166	395	417	3	1,080
構成比	0.7%	3.4%	5.0%	15.4%	36.6%	38.6%	0.3%	100%
その他	2	1	4	6	13	10		36
無回答		3	4	6	11	21	2	47
合計	14	76	114	378	770	932	8	2,292
構成比	0.6%	3.3%	5.0%	16.5%	33.6%	40.7%	0.3%	100%

18. ポートフォリオを今後有効に活用する

資料一表17 ポートフォリオ

	ポ ー ト フ ォ リ オ							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	129	32	71	326	352	193	26	1,129
構成比	11.4%	2.8%	6.3%	28.9%	31.2%	17.1%	2.3%	100%
高校	134	63	57	296	339	163	28	1,080
構成比	12.4%	5.8%	5.3%	27.4%	31.4%	15.1%	2.6%	100%
その他	4			14	9	6	3	36
無回答	1	2	5	19	9	10	1	47
合計	268	97	133	655	709	372	58	2,292
構成比	11.7%	4.2%	5.8%	28.6%	30.9%	16.2%	2.5%	100%

13. Special Lectures を聞いて参考になった

資料一表18 Lecture

	Lecture							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	56	21	30	99	348	565	10	1,129
構成比	5.0%	1.9%	2.7%	8.8%	30.8%	50.0%	0.9%	100%
高校	134	37	45	156	323	356	29	1,080
構成比	12.4%	3.4%	4.2%	14.4%	29.9%	33.0%	2.7%	100%
その他	6	2	3	3	9	11	2	36
無回答	1	4	1	9	7	22	3	47
合計	197	64	79	267	687	954	44	2,292
構成比	8.6%	2.8%	3.5%	11.6%	30.0%	41.6%	1.9%	100%

20. 今回の研修は、英語指導に必要な「専門知識や指導技術」の向上に効果があった

資料一表19 知識技術

	知 識 技 術							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	1	17	51	154	487	417	2	1,129
構成比	0.1%	1.5%	4.5%	13.6%	43.1%	36.9%	0.2%	100%
高校	8	51	59	199	461	297	5	1,080
構成比	0.7%	4.7%	5.5%	18.4%	42.7%	27.5%	0.5%	100%
その他		1	2	10	13	10		36
無回答		5	1	7	20	12	2	47
合計	9	74	113	370	981	736	9	2,292
構成比	0.4%	3.2%	4.9%	16.1%	42.8%	32.1%	0.4%	100%

16. 研修に参加するために用意した My Own Goals（自己到達目標）を達成することができた

資料一表20 My Goals

	My Goals							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	149	40	83	391	364	80	22	1,129
構成比	13.2%	3.5%	7.4%	34.6%	32.2%	7.1%	1.9%	100%
高校	143	59	86	370	339	63	20	1,080
構成比		5.5%	8.0%	34.3%	31.4%	5.8%	1.9%	100%
その他	6	2	1	13	12	1	1	36
無回答		4	7	13	17	4	2	47
合計	298	105	177	787	732	148	45	2,292
構成比	12.6%	4.6%	7.7%	34.3%	31.9%	6.5%	1.7%	100%

17. 研修に参加するために用意した Self-diagnosis（自己診断）は適切であった

資料一表21 Self-diagnosis

	Self-diagnosis							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	197	33	79	395	296	76	53	1,129
構成比	17.4%	2.9%	7.0%	35.0%	26.2%	6.7%	4.7%	100%
高校	222	43	64	364	269	82	36	1,080
構成比	20.6%	4.0%	5.9%	33.7%	24.9%	7.6%	3.3%	100%
その他	8	2	1	15	7	1	2	36
無回答	2	2	1	15	22	4	1	47
合計	429	80	145	789	594	163	92	2,292
構成比	18.7%	3.5%	6.3%	34.4%	25.9%	7.1%	4.0%	100%

B. 研修2ヵ月後

1. 研修受講前と比べて自分自身の日常的に英語を読む量や機会が増えた

資料一表22 英語読量

	英 語 読 量							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	1	58	37	191	175	77	2	541
構成比	0.2%	10.7%	6.8%	35.3%	32.3%	14.2%	0.4%	100%
高校	4	54	24	164	145	85	1	477
構成比	0.8%	11.3%	5.0%	34.4%	30.4%	17.8%	0.2%	100%
その他		4	2	2	6	3		17
無回答		7	2	19	12	7		47
合計	5	123	65	376	338	172	3	1,082
構成比	0.5%	11.4%	6.0%	34.8%	31.2%	15.9%	0.3%	100%

2. 研修受講前と比べて自分自身の日常的に英語を聞く量や機会が増えた

資料一表23 英語聴量

	英 語 聴 量						合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	
中学校		53	32	169	199	88	541
構成比		9.8%	5.9%	31.2%	36.8%	16.3%	100%
高校	3	47	23	150	165	89	477
構成比	0.6%	9.9%	4.8%	31.4%	34.6%	18.7%	100%
その他		3	1	6	3	4	17
無回答		5	3	18	14	7	47
合計	3	108	59	343	381	188	1,082
構成比	0.3%	10.0%	5.5%	31.7%	35.2%	17.4%	100%

3. 研修受講前と比べて自分自身の日常的に英語を話す量や機会が増えた

資料一表24 英語話量

	英 語 話 量							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校		51	34	182	193	79	2	541
構成比		9.4%	6.3%	33.6%	35.7%	14.6%	0.4%	100%
高校	3	51	30	197	125	71		477
構成比	0.6%	10.7%	6.3%	41.3%	26.2%	14.9%		100%
その他		4	1	5	4	3		17
無回答		6	4	17	16	4		47
合計	3	112	69	401	338	157	2	1,082
構成比	0.3%	10.4%	6.4%	37.1%	31.2%	14.5%	0.2%	100%

4. 研修受講前と比べて自分自身の日常的に英語を書く量や機会が増えた

資料一表25 英語書量

	英 語 書 量							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	1	75	49	288	93	32	3	541
構成比	0.2%	13.9%	9.1%	53.2%	17.2%	5.9%	0.6%	100%
高校	3	59	42	245	92	35	1	477
構成比	0.6%	12.4%	8.8%	51.4%	19.3%	7.3%	0.2%	100%
その他		4	1	6	3	3		17
無回答		5	5	23	10	4		47
合計	4	143	97	562	198	74	4	1,082
構成比	0.4%	13.2%	9.0%	51.9%	18.3%	6.8%	0.4%	100%

7. 研修受講前と比べて自分自身の英語の発音に自信が持てるようになった

資料一表26 発音自信

	発 音 自 信							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	4	67	53	297	92	28		541
構成比	0.7%	12.4%	9.8%	54.9%	17.0%	5.2%		100%
高校	8	79	41	256	68	24	1	477
構成比	1.7%	16.6%	8.6%	53.7%	14.3%	5.0%	0.2%	100%
その他		3	3	8		3		17
無回答	1	7	4	24	8	3		47
合計	13	156	101	585	168	58	1	1,082
構成比	1.2%	14.4%	9.3%	54.1%	15.5%	5.4%	0.1%	100%

5. 研修受講前と比べて自分自身の日常的に授業で英語を使う量や機会が増えた

資料一表27 授業英使

	授 業 英 使							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	3	30	29	122	247	109	1	541
構成比	0.6%	5.5%	5.4%	22.6%	45.7%	20.1%	0.2%	100%
高校	3	41	22	159	178	74		477
構成比	0.6%	8.6%	4.6%	33.3%	37.3%	15.5%		100%
その他	2	3		4	5	3		17
無回答		4	2	14	20	7		47
合計	8	78	53	299	450	193	1	1,082
構成比	0.7%	7.2%	4.9%	27.6%	41.6%	17.8%	0.1%	100%

8. 生徒の「聞く力」を向上させるための授業方法が研修受講前と比べて変化した

資料一表28 聴力授業

	聴 力 授 業							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	2	38	31	225	210	35		541
構成比	0.4%	7.0%	5.7%	41.6%	38.8%	6.5%		100%
高校	2	46	41	199	153	36		477
構成比	0.4%	9.6%	8.6%	41.7%	32.1%	7.5%		100%
その他	3			5	9			17
無回答		4	8	18	13	4		47
合計	7	88	80	447	385	75		1,082
構成比	0.6%	8.1%	7.4%	41.3%	35.6%	6.9%		100%

9. 生徒の「読む力」を向上させるための授業方法が研修受講前と比べて変化した

資料一表29 読力授業

	読 力 授 業							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	2	40	40	258	164	37		541
構成比	0.4%	7.4%	7.4%	47.7%	30.3%	6.8%		100%
高校	2	33	42	204	164	32		477
構成比	0.4%	6.9%	8.8%	42.8%	34.4%	6.7%		100%
その他	3		1	8	5			17
無回答		5	4	20	14	4		47
合計	7	78	87	490	347	73		1,082
構成比	0.6%	7.2%	8.0%	45.3%	32.1%	6.7%		100%

10. 生徒の「書く力」を向上させるための授業方法が研修受講前と比べて変化した

資料一表30 書力授業

	書 力 授 業							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	2	42	36	263	167	31		541
構成比	0.4%	7.8%	6.7%	48.6%	30.9%	5.7%		100%
高校	3	44	45	248	115	22		477
構成比	0.6%	9.2%	9.4%	52.0%	24.1%	4.6%		100%
その他	3	1	1	8	3	1		17
無回答		4	5	23	14	1		47
合計	8	91	87	542	299	55		1,082
構成比	0.7%	8.4%	8.0%	50.1%	27.6%	5.1%		100%

11. 生徒の「話す力」を向上させるための授業方法が研修受講前と比べて変化した

資料一表31 話力授業

	話 力 授 業							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	2	37	27	170	240	65		541
構成比	0.4%	6.8%	5.0%	31.4%	44.4%	12.0%	0.0%	100%
高校	2	34	46	195	166	33	1	477
構成比	0.4%	7.1%	9.6%	40.9%	34.8%	6.9%	0.2%	100%
その他	3		1	5	8			17
無回答		4	5	20	16	2		47
合計	7	75	79	390	430	100	1	1,082
構成比	0.6%	6.9%	7.3%	36.0%	39.7%	9.2%	0.1%	100%

15. 4技能の関連を図った指導の方法が研修受講前と比べて変化した

資料一表32 4技能授業

	4 技 能 授 業							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	2	37	33	263	174	31	1	541
構成比	0.4%	6.8%	6.1%	48.6%	32.2%	5.7%	0.2%	100%
高校	2	33	36	198	177	31		477
構成比	0.4%	6.9%	7.5%	41.5%	37.1%	6.5%	0.0%	100%
その他	3			8	6			17
無回答		4	2	28	12	1		47
合計	7	74	71	497	369	63	1	1,082
構成比	0.6%	6.8%	6.6%	45.9%	34.1%	5.8%	0.1%	100%

16. 研修受講前と比べてコミュニケーション活動を自分の授業に多く取り入れている

資料一表33 コミュ授業

	コ ミ ュ 授 業							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	2	38	24	175	241	61		541
構成比	0.4%	7.0%	4.4%	32.3%	44.5%	11.3%	0.0%	100%
高校	1	39	36	186	173	41	1	477
構成比	0.2%	8.2%	7.5%	39.0%	36.3%	8.6%	0.2%	100%
その他	2			4	9	2		17
無回答		3	3	15	21	5		47
合計	5	80	63	380	444	109	1	1,082
構成比	0.5%	7.4%	5.8%	35.1%	41.0%	10.1%	0.1%	100%

6. 研修受講前と比べて英語指導に必要な専門知識や指導技術が向上した

資料一表34 知技向上

	知 技 向 上							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	1	29	28	181	244	57	1	541
構成比	0.2%	5.4%	5.2%	33.5%	45.1%	10.5%	0.2%	100%
高校	2	31	29	176	201	37	1	477
構成比	0.4%	6.5%	6.1%	36.9%	42.1%	7.8%	0.2%	100%
その他	1		1	5	9	1		17
無回答		5	3	23	14	2		47
合計	4	65	61	385	468	97	2	1,082
構成比	0.4%	6.0%	5.6%	35.6%	43.3%	9.0%	0.2%	100%

12. 研修受講前と比べて生徒に対する評価方法が変化した

資料一表35 評価変化

	評 価 変 化							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	3	51	39	230	174	41	3	541
構成比	0.6%	9.4%	7.2%	42.5%	32.2%	7.6%	0.6%	100%
高校	1	56	44	227	133	16		477
構成比	0.2%	11.7%	9.2%	47.6%	27.9%	3.4%	0.0%	100%
その他	2		1	9	4	1		17
無回答		7	4	27	8	1		47
合計	6	114	88	493	319	59	3	1,082
構成比	0.6%	10.5%	8.1%	45.6%	29.5%	5.5%	0.3%	100%

13. 研修受講前と比べて、自分が行っている授業を批判的な態度で反省しながら、絶えず改善するようになった

資料一表36 批判改善

	批 判 改 善							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	3	22	25	134	275	82		541
構成比	0.6%	4.1%	4.6%	24.8%	50.8%	15.2%		100%
高校	2	18	19	124	259	55		477
構成比	0.4%	3.8%	4.0%	26.0%	54.3%	11.5%		100%
その他	2			2	10	3		17
無回答		4	3	10	27	3		47
合計	7	44	47	270	571	143		1,082
構成比	0.6%	4.1%	4.3%	25.0%	52.8%	13.2%		100%

14. 研修受講前と比べて、生徒の動機付けの方法が変化した

資料一表37 動機付変化

	動 機 付 変 化							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	2	29	35	207	217	51		541
構成比	0.4%	5.4%	6.5%	38.3%	40.1%	9.4%		100%
高校	2	31	30	195	178	41		477
構成比	0.4%	6.5%	6.3%	40.9%	37.3%	8.6%		100%
その他	2			10	4	1		17
無回答		6	4	14	21	2		47
合計	6	66	69	426	420	95		1,082
構成比	0.0%	6.1%	6.4%	39.4	38.8%	8.8%		100%

17. ポートフォリオを有効に活用している

資料一表38 ポート活用

	ポ ー ト 活 用							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	14	93	94	247	77	10	6	541
構成比	2.6%	17.2%	17.4%	45.7%	14.2%	1.8%	1.1%	100%
高校	24	95	73	222	52	5	6	477
構成比	5.0%	19.9%	15.3%	46.5%	10.9%	1.0%	1.3%	100%
その他	1	4	3	7	2			17
無回答		11	6	17	8	2	3	47
合計	39	203	176	493	139	17	15	1,082
構成比	3.6%	18.8%	16.3%	45.6%	12.8%	1.6%	1.4%	100%

18. 研修受講前に比べて自主研修の目標や方法が明確になった

資料一表39 自主研修

	自 主 研 修							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	2	31	36	172	227	72	1	541
構成比	0.4%	5.7%	6.7%	31.8%	42.0%	13.3%	0.2%	100%
高校	2	30	27	156	189	71	2	477
構成比	0.4%	6.3%	5.7%	32.7%	39.6%	14.9%	0.4%	100%
その他	1	1	1	5	4	5		17
無回答		2	4	13	19	9		47
合計	5	64	68	346	439	157	3	1,082
構成比	0.5%	5.9%	6.3%	32.0%	40.6%	14.5%	0.3%	100%

19. 自校や周囲の学校の教員間で、授業研究などのコミュニケーションを図る機会が増えた

資料一表40 授業研究

	授 業 研 究							合 計
	該当せず	そう思わない	どちらかというと思わない	どちらとも言えない	どちらかというと思う	そう思う	無効回答	
中学校	3	81	49	249	128	30	1	541
構成比	0.6%	15.0%	9.1%	46.0%	23.7%	5.5%	0.2%	100%
高校		80	47	216	104	29	1	477
構成比		16.8%	10.0%	45.3%	21.8%	6.1%	0.2%	100%
その他	2	3	1	5	5	1		17
無回答	1	10	4	22	7	3		47
合計	6	174	101	492	244	63	2	1,082
構成比	3.3%	16.1%	9.3%	45.5%	22.6%	5.8%	0.2%	100%

Ⅵ 結果(2)—研修直後のアンケート（自由記述）—1369人の先生の声

今回のアンケートのお答え頂いた全ての先生の自由記述を内容からの15のキーワードを拾って分類した。一人の先生の意見は必ずしも一つのキーワードで分類できるとは限りらない。しかし、複数のキーワードで括ろうとすると分類が非常に多岐にわたる。ここでは、多くの人に読んでもらうために読みやすさを優先し、キーワードを複数つけたり、一人の先生の意見をキーワード毎に分割することはしなかった。

また、記述に関してはできるだけオリジナルを尊重したが、研修を主宰した教育委員会や特定の個人名は、伏せた。これは、各教育委員会のプログラムの比較にならないようにという点と、特定の先生に講演依頼が集中することを避けるためである。また、あえて公開する必要のない個人や団体への非難も固有名詞も同様に伏せた。

この自由記述のまとめが、今後の研修や日本の英語教育の改善につながることを願ってやまない。

1. 行く前は不安だった。でも行ってよかった……………	66
2. 知恵の実ももらった……………	67
3. 仲間に出会えた。仲間が教えてくれた……………	77
4. 元気の素ももらった……………	80
5. 反省しています……………	83
6. 背中を押してもらった……………	87
7. また、参加したいんですけど……………	106
8. この研修、誇りに思います……………	109
9. やっぱり、テストは……………	110
10. ありがとうございます……………	113
11. こうしたらどうでしょう……………	120
12. 意見を聞いてください……………	143
13. 私の悩みを聞いてください……………	151
14. こんな願いを聞いてくれたら……………	151
15. このアンケートについて……………	155

1. 行く前は不安だった。 でも行ってよかった

研修前校務多忙の中意義を見出せず後ろ向きな気持ちでいましたが参加させてもらって、本当に光明が見えました。2学期以降実際に授業に活かせるノウハウを教授いただき感謝しております。ただ英語の力と教授する力は比例しないとは思っております。英語はできるにこしたことはないでしょうが… [中学校]

半強制的に参加した研修でした。最初のうちは10日間のプログラムが早く終わることだけを考えていました。今日全てのプログラムを終え、10日間（9日間）を振り返ってみると、参加してよかったと思える自分がいます。全ての研修内容が理解できたかということ、自信はありませんが、10日間なんとかついてこれた自分に、10日前とは少し変わった自分に、大きな拍手を送りたい気持ちです。また、いっしょに学んだ先生方、みんながいたからきょうまでがんばれた！！本当に感謝しています。研修の内容はとても興味深く役に立ちそうなものばかりででも時間が足りない。もっとゆっくり聞きたかった。 [中学校]

研修前は大変不安でしたが参加した勉強になることがたくさんありました。英語を話さざるを得ない状況におかれなとなかなか英語使うことがなくこの研修を通しずいぶん滑らかに話せるようになりました。また TOEFL の難しさを改めて感じました。 [中学校]

閉会式にO先生がいったことにつきます。研修前は、いろいろと不安や憂鬱な気持ちがありましたが、終わった今、この2週間を振り返ると知識だけにとどまらず、先生方のネットワークなど、本当に計り知れないいろいろなものを得ることが出来ました。この研修でもらった種を今後、しっかりと開花させていきたいと思います。 [中学校]

生徒指導に日々あけくれる毎日でした。教科指導がどうしてもおろそかになりがちな自分を戒めながら、夏休みに突入してしまいました。ある意味、強制され制限された環境に身をおくことになった今回の研修は、私にとってとても意義のあるものになりました。学んだことを生かし、楽しい授

業をしていくこと、それが最終的に生徒指導（全体的にも）にもつながると思いました。（個人的な意見ですが） [中学校]

自分自身がいかに努力を怠り、ぬるま湯に浸かった日々であったかを痛感しました。英語で、思うことを瞬時に的確にいけない歯がゆさ、もどかしさを感じ、やはり、自分が英語を使う喜びを感じなければ、それを生徒に伝えることなどできないのだと、改めて自分自身がその部分での情熱を持たなければと確認しました。 [中学校]

今回の研修は全く未知であり、いったいどういう内容なのかという不安でいっぱいのまま当日を迎えました。いざ始まってみると確かにハードな研修ではありましたが、親切な先生方と仲間を支えられとうとう最終日を迎えました。本当に充実した10日間でした。 [中学校]

研修を受講するまでは、非常に不安であった。内容や方法について、明確に知らされていなかったし、英語のみでの研修という点からである。しかし、終了したことで、自分自身のプロとしての意識や向上心がとても大切であるということ、また自分自身の skill 向上を目指していくべきであること、他にもたくさんが資質向上に非常に役立った。 [中学校]

研修を終えて大変有意義であったと思います。研修に参加する前は、どんなことをやるのか、どの様なカリキュラムなのか、情報が不足していて、疑心暗鬼になっていたように思います。次年度は、事前に研修内容などが明確に伝わっていれば、そのようなことは無かったと思います。 [中学校]

とても有意義な研修でした。正直言って初めはあまり期待していなかったのですが、英語教育を変えていくためのしっかりした視点がどの講座にも貫かれており、非常に参考になりました。また今現在の最先端の授業形態、手法に触れることができ、とても刺激的でした。ただ講座の内容が盛りだくさんで、時間が限られており、かなり密度が濃い（濃すぎる？）印象を受けました。 [中学校]

最初は何で私がやらなくてはいけないのか？と反発さえ感じましたが、この機会を持たせていただいて、本当に良かったと思います。結果（TOEIC）の2回目は、きっとダメだろうと思いますが、自分なりに努

力して勉強した姿は自分でも“よくやった!”と思っています。たぶんこんなに勉強したことは、ここ10数年なかったと思います。でも少しでも勉強をしてみて、案外できるかも…という自信のようなものを持つことができ、今後の教職生活に役立つ…と信じています。これからは、TOEICを毎年受けて、自己能力の向上にはげんでいくつもりです。 [中学校]

最初は参加するのが億劫でしたが参加して少しずつ自分が変わっていくのがわかりました。普段の生活では味わえないような貴重な経験ができてよかったです。

[中学校]

はじめは、どんな研修なのかと不安もあったが、研修を重ねるごとにだんだん面白くなってきて、講義や演習を十分楽しむことが出来た。いろいろな英語教師と意見を交換することが出来たのも非常によかった。ありがとうございます。 [中学校]

自分の英語力に自信がなかったため、始めはかなりいやでしたが温かいムードの中皆さんに助けていただいて何とか研修を終えることができました。分らないところがたくさんありましたが集中して英語の中にいるというのは大変有意義でした。ALTとの活動は特に参考になるものが多かったと思います。 [中学校]

研修前には指導方法や考え方について、いろいろと広がりを持てるようになるだろうと期待していました。実際にそのとおりでした。しかし、自分の英語力向上に関しては、何の期待もしていませんでしたが、KH-システムでの訓練はとても役立ったと思います。これは授業の方法にも幅をもたせてくれました。他の講師の方々については、以前からお話をうかがったり、本を読んだりしたことがあったので目新しくはありませんが、やはりとても参考になりました。 [高校]

参加する前に思っていたよりも意義がある研修だったと思います。他校の先生方とたくさん知り合えたことも良かったです。TOEFLの勉強の時間をもっととってもらえたらいいと思いました。 [高校]

始まる前はいったいどんな研修なのかと不安だったが、先生方と協力してがんばって終えることができたと思う。すべてが英語を通しての勉強であり大変学ぶことが多

かった。自分自身と改めて向き合い英語について考える、また生徒にどう教えていくか考えるいい機会となった。今回の研修は神様がもっと学びなさい!と言っている様な気がして臨んだ。その結果本当に気づきや発見があり今後の人生に役立つものとなったと思う。関係者の方々にお礼を申し上げます。 [高校]

受講前は不安や負担に思う気持ちばかりが先行していたが、こういうチャンスは与えられないと得られないもので、大変為になった。自身の授業について反省し、まだまだ改善の余地がある。今回の講義で示していただいた方々のような授業にはとうてい達するとは思えないが、できるだけ授業に取り入れて近づきたいと思う。 [高校]

研修前の精神的状態だけでなく英語学習に対する考え方が、研修後では大きく異なり、2点において大きな変化が感じられる。
①自己研鑽（英語力向上・授業改善）の必要性
②研修で学び、得たことを必ず実行し続けることの重要性 [高校]

2. 知恵の実もらった

(1) 目からウロコの指導法があった

今後の授業を行っていくうえで、ためになるアイデア、アドバイスをいただき、授業改善に対してよい動機付けができたと思います。 [中学校]

実際に役立つ授業の指導案、ワークシートの作成、模擬授業の演習がよかったと思います。 [中学校]

自分自身の英語運用能力の向上よりも、英語指導に関わることで、勉強になることが多かった。特に、他の先生方の実践アイデアはすぐに活用でき、参考になった。英語力については「勉強しなくては」というきっかけにはなったが、短時間ではそんなに力はつかないと思う。何よりいろいろな情報網ができたのでよかった。 [中学校]

自分の授業に足りないものは、文型のパタンプラクティスの要素ではないかと思ったことが収穫でした。 [中学校]

今回の研修では、技能別に指導して頂き、自分のこれまでの授業をふり返りながら、改善点を見つけることができました。いくつかあったアクティビティも今後に生かしていきたいと思います。諸先生方と意見を

出し合ったことで、様々な考え方を聞くことができ、良かったです。 [中学校]

英語教員の技術力を高める為には良かったと思う。 [中学校]

今年の中間期研修は (JTE & ALT、ALT、JTEs) Work Shop が 3 種類あり、今までよりも充実したものになっていたと思います。それぞれの Work Shop に提案やアイデアがあり、すぐに授業で取り入れられそうなものが多く、参考になりました。 [中学校]

自分の英語力がとても低いことがよくわかりました。ALT・JTE の十分なコミュニケーションこそ授業のレベルアップにつながるのだと改めて意識することができました。 [中学校]

ALT の中に入ってたくさん話をしたり、ALT の悩みや希望を聞いてやはり「こういうものだ」という思い込みではなくコミュニケーションを大切にしていきたいと思いました。JTE の先生方の発表もとても刺激になりました。自分自身の英語能力向上と併せて、生徒がより英語に親しめる授業を創っていききたいと思います。 [中学校]

改めて英語指導に関する理論などを勉強することができた。ただ、指導法の改善というものばかり、我々の英語能力の向上にはあまりつながらなかったと思う。日頃の指導についての情報交換の場、という感じがした。それはそれで勉強になりましたが…。 [中学校]

たくさんの授業で役立つことを学ぶことができた。また、自分自身の英語の力を上げる必要性を感じた。研修で話を聞いただけで終わらず、一つでも多く学んだことを実践したいと思う。 [中学校]

具体的な指導方法を体験することで生徒がどのように変わるか理解できた。 [中学校]

「基礎基本習得の為の活動とコミュニケーション活動のどちらに重点を置くべきか」といった論議が、私の学校のある地区の授業研究会でよくなされる。自分の場合はこの 2 つを両端と考えるのではなく、同心円のものにとらえて、どちらも大切にしてきたつもりだが、今回の研修で 'Ways of Focusing on Language' について学び、deductive/guided discovery/inductive/ways といった見方から自分の授業を見

直した時に各活動の目的 (目標) を明確にとらえられるようになり、この議論への答えも見つかったように思う。今回の研修は、理論的な話ばかりでなく、プラクティカルな内容であったため、今後、授業を見直したり、創っていく上で大変参考になった。 [中学校]

大変有意義な時間でした。ESL & ELT の教授法の講習をもっと学びたいと思います。 [中学校]

READING、LISTENING、SPEAKING、WRITING SKILLS の向上の具体的な方法のヒントがあり、これからの役に立ちそうだ。 [中学校]

まだ具体的にアクションリサーチに取り組んでいないので、どうなるかわかりませんがやってみたいと思います。英語学習の仕方について学べたことは良かったと思います。特に KH-システムの英語学習法は続けてやれば、確実に力がつくように思います。 [中学校]

TOEFL や各種資格試験を受験することで英語を学ぶことに意欲的にならないわけではないけれども、それよりもほかの先生方の英語教師としての姿勢や指導技術を学ぶ機会をいただいたことがわたしにとってもっとも効果があったように思われます。 [中学校]

教授法の講義や ALT とのワークショップ形態での研修は今後の指導に役立つものでありよかった。他の先生方のアイデアを聞くことができ参考になった。TOEFL 受験対策としては設定された時間が充分でないと思う。 [中学校]

中学ですぐに使えるような活動を紹介してくれたのでたいへん参考になった。自分にとってもいい刺激となった。 [中学校]

評価や授業の進め方について大いに参考になった。現場に戻ったら少しでも多く取り入れたいと思う。 [中学校]

3 日間のレクチャーは今後の授業改善に役立てたいと思います。特に 3 日めの講義の中には授業で使えるテクニックがたくさんありました。また、2 日めの講義で行った、評価の演習では、自分の中に、確かな基準を持つことがいかに大切かを再確認した。本当に難しかった。 [中学校]

評価の基本的な考え、そして方法が変わったことで、授業の変化・改善も求められて

いますが、それらの変化の基となる考え・方針などについては漠然とした意識しか持てていなかった。勉強不足だったということに認識するよい機会となりました。

[中学校]

夏季授業中に行われた ELEC によるセミナーは大変役に立ちました。日々の授業で即取り入れられるような活動を紹介していただき、また、自分たちもその活動を行って、体験できたことは大変良かったです。

[中学校]

自己の英語力向上の必要性。授業で使えるアクティビティ。評価基準の客観性と正確性。言語行動につながる、学習活動や言語活動の設定。ほかの英語教員との情報の共有。などが学んだこと、得たことです。

[中学校]

実際の学校現場では、10日間集中して研修するということは無理なので、大変有効であったと思う。一週間目は自分の英語運用能力の向上だけではなく、実際の授業に使える Activity など教えていただき、大変参考になった。二週目の評価の仕方や指導技術という点で、自分を振り返る契機となった。大変ではあったが、実りの多くの研修だったと思う。

[中学校]

以前から研修を受けたいと思っていた。ただ、個人の英語にも差があると思うので、今回みたいに内容が複雑な場合、日本語での講義で、助かりました。疲れましたが、すごくプラスになった研修でした。

[中学校]

評価について普段の研修の中では、ここまで詳しく討議をすることが少なかったので、非常に役立った。Interactive な授業にするために、発表したことは、これからの授業を進める上で、生きていくことだと思った。講師は、非常にすばらしい方達でした。アメリカで「優秀な教師達」に選ばれた方の授業を見せていただいたことがあるが、そのような方を講師に加えるのもっと研修会が有意義なものになると思います。

[中学校]

評価の学習はとても役に立ったし、他の人たちの presentation を見たことはとても勉強になった。

[中学校]

様々な教授法等を知ることができ、今後の自分の指導に役立てていきたいと思う。

[中学校]

今までに受講した研修の中で一番良かったと思うぐらいいろいろ参考になりました。特に、T 先生の具体的で、また T 2 先生のは明確で、目標設定、教案作り、授業の進め方等に活かしていきたいと思っています。

[中学校]

5 日間の研修で 7 名の講師の先生方からは評価基準の在り方と教師の取り組み姿勢、実践的コミュニケーションを高めるための指導方法に於ける効果的 skill、発音練習など内容の濃い研修であったと思います。教育現場でできるだけ多く活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

[中学校]

英語の使用についてもどの程度要求されているのか自信がありませんでしたが、受講してみてもかえって自信ができました。今後も研鑽していきたいと思っています。授業でも何が足りないのか、何が不必要か気づかされました。とても楽しく受けられたのが印象的です。

[中学校]

自分が普段考えていることのヒントや発展のさせ方がわかってとてもよかった。もう一度自分の授業を再構築したい。

[中学校]

今回研修に参加して講師陣の内容と充実度に満足している。一定期間に亘り自分の教科の研修が出来るのは有難いことである。また教科全体のレベルを上げるには全教師のレベル向上が何よりも大切であり、悉皆研修は必要であると思う。今回学んだ具体的な指導方法・内容を二学期から活かし、また同時に如何に長期的な展望を持った上で日々の授業を展開するかと考えると、これからの授業が楽しみである。もっと研修を活用して生徒に還元していきたい。

[中学校]

現場の先生である T 先生のお話がとても役立った。英語のブラッシュアップを今後ものはかっていかなくてはと改めて思った。

[中学校]

色々と参考になりました。今後の授業に少しでも活かせればと思います。

[中学校]

自分自身の英語力をこの短期間であげることは不可能だと思うが、自身の英語能力を向上させるために勉強しなくてはならないという刺激になると思う。教歴の浅い自分としては英語教授法のようなアイディアを注入することができ大変役に立った。

[中学校]

充実した5日間でした。表層の英会話ではなくコミュニケーションの本質について深く考えさせられました。また単にスキルを教えるのではなく、心を動かす一人としての成長という観点に立ったT先生の講義には考えさせられるものがありました。

[中学校]

今回の研修は毎日楽しく学べました。英語が好きになったのはなぜか、どうして勉強したいと思うのか。それは夢があり自分で知ろうという好奇心がくすぐられるからではないかと再認識しました。同じ気持ちを生徒とシェア出来ているのか？といえれば現実には厳しい。夢を見てもらえる演出の裏にある緻密な仕掛けを持つ先生方から非常に多くの遊び心、熱心さを感じ、感動しました。

[中学校]

今回の研修は、本当に啓発されました。私自身の英語力の未熟さを思い知り、さらなる努力が必要だと痛感致しました。また、授業改革をしたいと思いながら出来なかった今までの気持ちをふっきり、より communicative で且つ生徒が身につく英語の授業を目指します。

[中学校]

今回の研修は、とても充実したものだ。参考になるような授業の実例を見たり、詳しい講義を聞くことは、とても良い勉強になった。今後、自分の授業を見直して、生徒たち一人ひとりが主体的に英語活動にもっと参加できるようにしていきたい。

[中学校]

講義の内容によっては、学校現場とはかけ離れるものもあった。実際中学校での実践は発表の場をより身近にかんじられ、参考にしたいと思った。また、教師自身英語を話すことにより、積極的になることの大切さも改めて痛感させられた。

[中学校]

英語教育の到達目標が以前より明確になった。中学生や教師のいわゆる英語力の程度もより明確になった。今後は毎時の授業の中でコミュニケーションの本質を踏まえた授業になるよう工夫と改善の思考錯誤を重ねたい。

[中学校]

今回の研修は英語指導に必要な専門知識や指導技術の向上に効果があったと思う。また英語指導のアイデアもたくさん得ることができたが、自分なりにアレンジして実際に自分の授業で使うためには、校内の

他の英語の先生達と協力して段階を踏んで実施していかななくてはならない。教科会の充実の必要性を感じた。

[中学校]

コミュニケーションな英語の授業展開の仕方や、生徒の英語に対する学習意欲をいかに向上させられるかなど、実践的な内容が詰まった研修であった。この研修で得た知識を自分が英語を教えている中学校で活かしたいと思う。

[中学校]

大変参考になった。研修で学んだことを今後の授業でいかしたい。

[中学校]

3年時に debate をするための過程がわかってよかったです。これからは speech, debate 等に積極的に取り組みたい。

[中学校]

J先生の講義は、具体例、実践例が多く、体験的だったので、大変ためになった。

[中学校]

専門知識や指導技術の向上に役立ちました。

[中学校]

中学と高校との授業内容のちがいで、課題、高校の先生方が中学校での英語授業に求めるもの等がわかり、今後の参考になった。

[中学校]

中・高の教員が一緒になって行われたという点で、多くの情報交換ができたことが、本研修での大きな収穫であった。もちろん一つ一つの講義もとても興味が深く、有意義であった。

[中学校]

夏休み中の研修のなかで ALT の正直な意見（ビデオを見ながら）が参考になった。時間がないからと、自己弁解し、効果的なTTができていないことに気づいた。それにしても英語が週4時間にもどってくれたらとしばしば考える。

[中学校]

少なくとも ALT と会話することに「意欲」をもって取り組むようになったのが、1番の成果でした。また、自分の授業を振り返ることができた。選択授業で早速色々使用しており、とても有効です。

[中学校]

英語で話す習慣ができていないと痛感しました。英語で話すことを心掛けたいと思います。リーディングの時にどんな内容なのかをしっかりと考えて読むことが大切だと分かったので、意識して読むことを心掛けたいと思います。模擬授業でのディスカッションやその他の活動でのディスカッションはとても有意義でした。それから授業の

やり方をもう一度振り返って考えてみるなどいろいろなアイデアを得ることができました。[中学校]

大学の講師の講義を受け、やはり教えるには、多くの専門的な知識と経験が必要であると感じた。中学の教員もその必要があると思う。そのためにも、教員の多忙さを軽減していく必要がある。[中学校]

大学の先生の講義が一番ためになった。我々はコンピュータ（IT）時代に突入しているということを常に頭において、様々な活動を展開する（できる）ことを意識していきたい。夏の連続5日間は空調で体調をくずす人が出たのではないのでしょうか？もう少し早めに終わってほしかったです。また、盆明けで学校が2学期に向けてスタートする時期と重なっているのもどうかと思う。[高校]

参考になる点はあったが、期間が短いのでどれ程自身に定着しているかはわからない。少しは授業改善に役立てたい。[高校]

発音の仕方に少し自信が出来ました。音読の大切さも再確認し、毎日音読する習慣もでき、自分自身の授業評価を自分自身でし、生かして行きたいと思います。[高校]

今回の研修に参加し、たくさんの刺激を講師の方また、他の先生方から受けることができ、とても得るものが多かった。また、本当にたくさんの英語を聞くことができ、自らのリスニングやスピーキングのスキルの向上に繋がったと思う。[高校]

直接的には、受講者自身の英語運用能力の向上には、つながっていないと思いますが、様々な現場での実状を知ることができた点では、役に立ったと思う。[高校]

多くの教授法などにふれることができ、とても有益であった。今後の授業に役立てたい。[高校]

招いていただいた講師の方々が素晴らしかった。自分が課題として取り上げていたことが様々な角度から明確になったので、今後の自分の授業の工夫に大いに役立つものとなった。他校の先生方との交流の機会があり、色んな課題について話し合うことができた。[高校]

英語の授業法について様々な具体例を教えて頂き、大変参考になった。[高校]

Pre-reading/listening activity, During-reading/listening, Post-reading/listening activity, Developing writing skills)については、生徒の可能性を引き出す、IMAGINATIONとIDEASを膨らませるという点で大変参考になりました。多くの情報をご提供いただいたという感じです。[高校]

講師の中に、企業研修に携わっておられる方々があり、その方々の意見や英語教育改善の方法論は新鮮に感じました。[高校]

自己の英語運用能力の向上のための講演や演習と我々が一番大切な授業改善のための講座、演習があり、非常にためになった。今まであまりこういった研修がなかったので、今回は役に立った。[高校]

まだ何とも言えませんが、授業に役立つと考えられます。[高校]

基盤に action research を置いたことから、直接すぐに結果が出るものではないだろうが、今後の改善に長期的に見て役立つものと思う。[高校]

まず、英語を使う研修というものが私は今まで少ないと感じていた。そういう意味では、この研修はその不満を解消してくれた。現在の教育における流れを全て受け入れるつもりはないが、日々の授業に少しでも変化を出すためのアイデアをこの研修で見つけることができたことは有意義であった。[高校]

ELECの研修は大変良かったです。[高校]

近くの学校の先生方の実践を伺い、刺激を受けた。生徒の英語の学力差があるので、そのまま自分の授業に生かせるわけではないが、目の前の生徒をしっかりと見つめて、彼らが英語の関心を持ち学習を継続使用という気持ちを持つように日々の指導の参考にしていきたい。[高校]

各校のレベルが異なる先生方の意見は、いろいろな生徒を見るのに参考にはなったが、焦点を絞り、同学力程度の先生方で話し合うほうが、実状に合ってすぐに指導に使用できるので良いと思う。指導のレベルが違いすぎて、参考にはなっても、実践の場が現在はない。午後3日だけの参加ではあったが、ネイティブの授業も受けたかった。[高校]

ALTの指導は、無駄がなく、それでいて適度にユーモアなども入り、ゲームなどを取り入れた指導も今後授業での使用に大いに耐えるものでかなり参考になった。また自分自身の英語表現能力を伸ばす上で役にたつものであった。教員の「英語を使える能力」を向上させるためには、このALTの指導は今後も大いに必要である。

[高 校]

英語の4技能のそれぞれを効果的に使えるよう工夫されている何人かの講師の先生方のグループワークを受けてみて、それぞれがとても楽しかったし、自分の授業に使えるような方法もあったのでやってみようと思う。M先生のdebateのワークショップでは緊張の連続だった。

[高 校]

英語は実技科目のように、生徒の活動に重点を置いて、楽しい経験をさせることが大切。反復練習やトレーニングを工夫しながら体で覚えることが大切だと痛感した。

[高 校]

予想したよりはinterestingだった。しかしやはり最も参考になったのは、中学現場の先生のである。他のは生徒や私の能力不足ではなく、制度上、現在は実現に移しにくいと思った。

[高 校]

英語教育に関する理論から実践まで、多くの情報を得ることが出来た。小学校や中学校での授業の様子をかいま見ることが出来て参考になった。ビデオでの授業展開例や、実際に短時間ではあったが、スピーチ、TVニュースの模擬体験、ゲーム等、経験したものの中から、現任校の生徒達に合った方法を、自分の授業の中に取り入れてゆきたいと考えています。同時に自分の英語運用力を高める必要を強く感じている。

[高 校]

英語科教育法あるいは授業の展開において非常に為になる講義を聞いたと思うが、自分の英語力を向上させるという点では、不満が残る。

[高 校]

ABCテレビを使っのディスカッションや雑誌、新聞記事を使って、レポーターやインタビュワー、インタビューイなどの役づくりを考えてロールプレイングをするのは今後も総合的な時間などに活用できると思いました。またT先生が自由表現ノートを作らせて、生徒のコミュニケーション能力、自己表現能力をはかるように工夫さ

れていること。生徒が理解できるように、さまざまな工夫をされている姿に感動しました。

[高 校]

新しい考え方をういた教え方を工夫する上で、様々なideaをもらえました。英語のskillは個人で伸ばせますので、教授法を中心に研修が進んだので良かったです。

[高 校]

短時間の研修で自らの運用能力が急に向上するわけではない。ただ、教授方法を振りかえり、工夫のためのアイデアを得るにはとてもよい研修だと思う。講師の先生はどなたも大変熱心ですぐれた教育実践があり、勇気づけられました。

[高 校]

今回の研修を終えて、発音に関していろいろとまちがって覚えてたことに気づき、良かったと思う。たくさんの先生の話聞き、授業の工夫や取り組みなど、参考になることも多かった。ただ生徒の英語の力が普通についている者に対しての話に思えてならず、まったく英語の力が身につけていない者、英語が嫌いな者についてどうすればよいとか事例はなかったように思う。授業終了後に楽しかったなと思えること、これはわかったなと思えるものを目指すという話はなるほどと思った。

[高 校]

今回の研修で得た多くのアイディアや知識を今後役立てていきたいと思います。

[高 校]

今回の研修は、中学校・高校の先生方、それも教職経験年数が大いに開きがある構成で行われたので、いろいろな面で、学ぶことがたくさんあった。現場で、日々の学習活動もそれなりにやっているが、このような研修で、自分の指導方法などを大いに客観的にとらえることが出来た。

[高 校]

この研修をきっかけに自分の指導法について見直したいと思う。講師やALTから貴重な教材、アイディアをもらえて今後の授業にいかせると思う。

[高 校]

自分の授業スタイルにちょうど疑問を感じていたので、この研修はとても参考になった。中学校の先生方からの話を聞いたりできたのもよかった。教師は日々勉強しなければならないとつくづく感じた。この研修をきっかけに、努力していきたいと思う。

[高 校]

授業に取り入れていくべきアイディアをたくさん得ることが出来た。また、他の学

校の先生の実践も大変参考になった。自分の取り組みの仕方にもよると思うが、英語そのものの自分の運用能力を高めるという点ではまた別な方法がとられると良かったと思う。 [高 校]

大学や中学校、または他の高校からの情報がとても参考になりました。 [高 校]

県北地区の研修に参加しましたがALTたちとのコミュニケーション活動がとても有意義でした。講義については、日本人の先生のは難しかった。それに比較するとネイティブの先生のは工夫されていてわかりやすく大変良かった。 [高 校]

様々な内容のものがもりこまれており、非常に刺激的な研修でした。2つの大きな目標(①英語教員の英語能力の向上②授業方法の改善方法)に関しては①にそれほど重きを置かれていなかったように感じました。今後の課題だと、私自身のことを考えてもそういう風に思いました。 [高 校]

I先生の「教科書の創造的活用」の講義を受けて「目からウロコ」の感を持ちました。あらゆる角度からテキストを検討して授業に臨むことが非常に大切ということを学びました。これからの授業を少しずつcommunicativeなものにしていく努力をしようと思います。 [高 校]

全体的には、教員として大変参考になる研修であった。今後の授業をしていく中で使えるようなテクニックや知識を得ることができて良かった。ただ、教員の語学力の向上を目的としているような講義については、個人的に役に立ったのかどうかは疑問が残る。 [高 校]

直読・直訳はCommunication活動を増やせば、しなくても十分進めていけるということがわかりました。M先生のおっしゃった語、Vocabularyなどを十分行えば上手くいくことが、少しわかりかけてきたと思います。二学期は試行錯誤してがんばって見たい。 [校種不明]

わずか1週間の研修で「英語教師に必要な英語運用能力の向上」は望むべくもない。今回の研修も英語指導に必要な「専門知識や指導技術」の向上に重点が置かれており、それなりに妥当であったと思われる。 [校種不明]

各技能の指導法について有益な情報を得ることができた。 [養護学校他]

後期授業改善プロジェクトに向けて、課題や仮説の設定をするのにたくさんアドバイス頂き、とても役立った。

[養護学校他]

(2) 英語で鍛えてもらった

ディベートやシャドーイングがDevelopmentにとっても役に立ちました。

[中学校]

英語は教科であって語学でもあるということを感じました。私たちは語学を教えるものであるのでコミュニケーションや表現を大切にしていきたいと思います。

[中学校]

自分自身が英語を勉強する機会が、普段はあまり取れないので勉強になった。しかし学校におけるほかの仕事面で同じ学校のほかの先生方に大変ご迷惑をかけた。

[中学校]

国の教育施策としてこのような研修の機会が与えられたことに、感謝しています。講師の方々からは、それぞれの専門の立場から、今日的な課題について考察する視点を与えていただきました。また、我々自身の英語力向上に非常に役立ちました。特にM先生の「私共は職人である。職人には常に研鑽が必要である」という言葉を受け止めたいと思いました。 [中学校]

毎日新しいことに挑戦しなければならなかったので大変緊張しました。特にディベートは模擬練習なしでやったので、十分理解できないままでした。恥かしいですが、易しいテーマで初歩から訓練させてほしかったです。(英語運用能力別に分けてくださったたら効果的だったかとも思います。)C先生とN先生の講話は大変聞き易く、役立つ情報でした。 [高 校]

最初は長いと思っていたが、いろいろと活動が考えられており、たいへんためになる研修でした。特に毎日英語漬けでlistening, speakingの力は少しはよくなったと思います。 [高 校]

英語を聞き続ける機会はありませんのでListeningという点でも良い機会であったと思う。 [高 校]

英語運用能力研修は外人講師が優秀で、非常に参考になった。これからもこのような研修を受けたい。 [高 校]

もっとALTやNATIVE SPEAKERS

と話す機会を多くしてほしい。夏の ALT との TALKING が一番役に立ったと思う。

[高 校]

TOEIC と Debate は全員がやったほうがよいのでは。Debate は時間をかけた本格的なものでなくても効果があるように思う。TOEIC は全員が受けたほうがそれに向けて各自が Skill を向上するのに役立つと思う。また、もっと多くの人が英語が使えた機会があったほうがよいと感じた。全体的に不満もなくよいと感じた。[高 校]

6 日間の集中講座（地区別）がとても楽しかったし、英語のシャワーで能力も上がったと思う。毎日使うことで、英語を話すことへのおっくうさが減少した。[高 校]

このような training を受けたのは初めてで、まだ消化不良の点があるが、資料等をさらに詳しく読んで、今後の授業と、自身のレベルアップに役立てたい。[高 校]

コミュニケーション活動・教室内での自身の英語使用量を増やすためにもやはり自身のコミュニケーション能力が必要なのは言うまでもない。これからすべきことは見つかったことが、大きな収穫だったと思う。[高 校]

外国人講師による workshop は、非常に役に立った。それは、communicative language の一つとしての英語を話し、聞く機会だったからである。しかし、日本人講師を交えての授業実践報告会は、まったく時間と労力の無駄使いで、役に立たなかった。今後の研修会は、外国人講師を多く雇い、native speaker との交流の場を増やすことによって、われわれ英語教師の英語力向上に役立つようにしてもらいたい。

[高 校]

ALT との discussion はとても有意義だった。

[高 校]

英語運用能力を高めるためには、外国人講師の数をもっと増やして、Native English に接する時間をもっと増やしてほしい。グループわけで話し合っている、ネイティブが回ってこれないときは、あまり意味がない気がする。[校種不明]

(3) 教え方と英語を学びました

今回の研修は大変、有意義なものだった。今後の自己研修・授業改善など様々な場面で役に立つと思う。[中学校]

自分の英語運用能力の把握とその改善方法が習得でき、今後の自己研鑽に役立った。アクションリサーチの how to がかなり理解でき、授業改善に役立つ。[中学校]

前半の講義の phonovisual method は今後少しずつ授業に取り入れたい。また研修を重ね best command of English を目指したいと思います。[中学校]

Shower のごとく英語を浴びることができました。研修前に、このセミナーがどうなるかと心配していましたが、今は心より満足しています。3 人の講師の方々の、様々な工夫を凝らした方法に驚くと同時に敬意を表したいと思います。生徒の response のレベルに応じた様々な approach の方法や skill を知りました。2 学期に必ず取り入れていきたいと思います。[中学校]

日常の教育活動に刺激を受け、また自分自身の英語活用能力が自己判断でき非常に参考になる研修であった。要望：終了時刻は守って欲しい。[中学校]

(よい点) ・英語力 up ・専門知識 up ・ほかの先生方の指導法や考えを知ることができた。 ・自分が今まで困っていたことや迷っていたことに対する答えが少し見つかった。 ・市内の英語の先生とお話できた。 ・自分でお金を払わずに専門性の高い Lecture を受けられたことはとても運のよいことです。(その他) 具合が悪くて欠席した分は来年再履修ですか？ [中学校]

自身の英語運用能力の伸長は、この研修がきっかけとなって、これから自分が努力していかなければいけないと思います。様々な授業に役立つアイデア、ヒントをいただき役に立ちました。[中学校]

会話学校に出て研修ができたことが、今までになくとても良かったです。T 中学校でのいろいろな先生方の lecture も勉強になりました。[中学校]

期待していた以上にとても有意義な研修だったと思う。5 日間で何が変わるか？私(教師)の意識の変化である。「今何が求められているのか」疑問が少し解けた。目指すものが明確になれば、日々の授業のやり方も自然に改善していかなければならない。変えていこうと思う。自身の英語力不足にガク然とした。時間を作り出して自らの英語力を brush up していかなければ…と強く感じた。毎日少しずつ始めた。魅力的な

先生に出会えた。目標が出来た。足元にも及ばないけれど、せっかく教えて頂いたことを生かさなければ申し訳ないと思った。研修が本気モードだった。だからお世辞抜きにどの講義も有意義で、自分も頑張らねばという意識を強く持った。現実が学校生活が始まれば何もかも思うようにいかないかもしれない……（実際いかない）が歩みは遅くとも絶対前に進もうと固く決心している。研修は良かった！！ [中学校]

この研修に今年来ようと思ったのは、少しでも早くいい情報やアイデアを取り入れたいとおもったからです。でもしっかりついていけるか心配でしたが来てよかったです。自身の英語の力、授業の作り方などの見直しことができました。 [中学校]

英語力、指導力の両面の研修、とても有意義でした。新しい idea もたくさん得たので、さっそく 2 学期以降に実践してみようと思います。 [中学校]

コミュニケーション能力を身に着けなければならない状況・必要性を認識し、具体的な対策・指導法の改良に大きなメリットがあったと思う。 [高 校]

英語の 4 分野に関係するさまざまな情報・知識、それらを生かす技術等に触れて感謝しています。即効性のあるものとは考えていませんが、ほかの授業の中で徐々に生かされて来るものではないかと期待しています。 [高 校]

今回の研修を通じて、様々な先生方の授業実践例を知ることが出来た事は良かったと思います。特に TT において役立つ内容が多かった。また、今回の研修で、まだまだ自分の英語運用能力の不足が感じられ、努力の必要性を感じました。 [高 校]

英語力向上のためのものは、いろいろなアイデアを聞くことができてためになった。指導力の方は、各自の発表をもっと短時間にして（5分くらい）お互いにアイデアを出したり、意見交換をする時間がもっとほしかった。講師の先生の話をもっと聞きたかった。（特に 2 日目時間がなかった） [高 校]

(4) 他にもいろいろ学びました

疲れたけど講義は一体感があった。ALT との活動は楽しくリラックスして学習できた。TOFEL について理解できたこ

とはひとつの成果だ。 [養護学校他]

外国人講師の方の午前中の研修は、実際の現場にそのまま使用は出来ないが、とても手の込んだ内容だった。アクティビティー中心であったため勉強になった。また、午後の実践発表も他校種（普通高校）の先生方からいろいろ教えていただき大変勉強になった。 [養護学校他]

具体的な指導方法や内容が多くとても役に立ったと今思っています。 [中学校]

最初は重苦しい気分だったが、今は参加して本当に良かったと思っている。各講師の先生方が具体的に例を示して下さり、体験させていただいたことで、教室に戻ってもすぐに使わせていただけたと思っています。 [中学校]

講師の選択とその内容、概ね、良好でとても素晴らしいものがいくつかあり、結構でした。全体のバランスを考えると、これ以上の布陣は無理かもしれませんね。 [中学校]

とても勉強になりよい研修でした。 [中学校]

盛りだくさんの内容で、とても勉強になりました。Special Lecture ばかりで今後役に立てていきたいと思っています。 [中学校]

内容が濃く良い研修だったと思います。 [中学校]

大変勉強になりました。今後も、役に立つ研修に参加させていただきたいと思っています。 [中学校]

今回の研修が Native Speaker の All English で行われたことにより、自分の英語力の反省もでき、いい刺激を受けました。英語教育独特の表現も知ることができ、今後、教育書などを読むのにも役に立てそうです。自分で授業を想定する活動をもっとたくさん入れていただけると、より実践的で、今後に生かせると思いました。4 日間ですが、今回得たことを授業のどこかで生かしていこうと思います。 [中学校]

思っていたよりも楽しく参加できたとし、他の先生方とも交流でき、有意義な四日間でした。トレーナーの先生方とても熱心で我々の英語に真剣に耳を傾けてくれたし、色々なことを学びました。ただ、四日間で学んだ内容がたくさんすぎて頭に入りきれない、整理できない気がします。一日目の担当の方は、いきなりテストを始めた

ので、ちょっと面食らったというか挨拶くらいあってもいいのでは。[中学校]

初日は、英語を聞くことに慣れていなかったもので、理解するのが難しかった。さらに内容も難しかったので。参考になったこと、これは使える、使いたいと思ったものがあり、研修を受けてよかったと思います。

[中学校]

直接的に英語力が上がる・英語授業の指導力が上がるという研修ではありませんが、短い期間にたくさんのヒントやエッセンスを教えていただき、勉強になりました。

[中学校]

自分の日々の勉強不足を感じ、それぞれの講演は、どれもわかりやすく、勉強になった。現場でも実行しようというものもあったので課程を再度、検討し実践していきたい。

[中学校]

講義内容がとてもよくてもっと聞きたいと思った。そしてその講義がワークショップとリンクして実践にすぐに結びつくものとなった。大変有意義な8日間だったと思う。TOFELも初めての体験だったが今後の受験へのきっかけになったと思う。

[中学校]

非常に参考になる研修内容でした。

[中学校]

この十日間とても充実して過ごすことが出来ました。英語で教えることのみならず、教師として、どのように生徒に向かうべきかということを改めて考えさせられました。例えば、外国人講師の我々に向かう姿勢や、T先生のおっしゃられた、生徒に向かう姿勢、それらを私も今回は生徒の立場で感じることが出来たということです。とても大切なことをたくさん学びました。[中学校]

思っていたよりも有意義な研修でした。特に1週目が楽しかったし、2週目の理論も、普段そのような勉強をする時間がなかなかとれないため、しっかりと教えてもらってよかったです。また、自分の性格上、小グループの中で話し合うという活動は、とてもよかったです。

[中学校]

特に2週目の講義は、現場に帰ってから、即、役立てるような、実践的なものが多く含まれていた。このような専門的な知識を深める機会としてとても有効な研修会だった。講師の方々もすばらしく、2週間とても多くのことを学ぶことができ、大きな刺

激になった。

[中学校]

学校から離れて、集中してどっぷりと研修につかれたのが良かったと思う。学校に勤務しながらでは、学びきれないものが、多かった。1週目の研修では、やはり、レベル別に、段階を踏んで、活動内容を設定していった方が、効果が上がると思った。2週目の内容も、学校などで個人的に話し合ってもすぐに行き詰まって、解決できないものばかりだったので、大変役に立った。とても、有意義であった。

[中学校]

いろいろたくさん貴重な参考になるお話を聞くことができてよかったと思います。ただ、短期間に集中的に行われたので、うまく消化吸収できるか心配です。[中学校]

大学の先生の講義をきくよいチャンスでした。普段は教える立場ですが、今回は自分が生徒の立場のつもりで聞きました。英語+アルファの教え方についてもとても考えさせられたような気がします。[中学校]

企画、担任の先生方のおかげで有意義な講義がたくさん受けられました。[高校]

素晴らしい先生方の話を直接聞くことができてとてもよい経験になった。[高校] とても勉強になりました。[高校]

研修の内容が変化に富んでいて、勉強になることが多かった。学校以外の場所で英語教育に携わる方の話や実習は新鮮であった。それと同時に、学校現場での実践を積んでこられた講師の方の講演も非常に参考になった。

[高校]

自分自身の英語能力や生徒の実態の把握など、普段わかっている事実をしっかりと直視する機会がもてた。他人の実践例やいろんな観点での授業改善法が大変役に立った。

[高校]

8日間でも得るものが多かった。10日間、1ヶ月といった研修を希望者に実施できたらさらに効果が期待できると思う。

[高校]

始める前は、かなり不安だったが、初日、参加した時点で、ハードだが、なかなか役に立つと思った。5日間連続は、校務などとの関係できついと思うが。[高校]

研修は敬遠せずに積極的に受けるべきである。特に英語を聞く、話す機会は限られているので、できるだけ多く活用したいと思った。他の英語教員の英語運用能力や授業における困っている点などを知ることが

できたのも収穫であった。共通している点が多く今後の励みになると思う。最後に、5日間の研修はすべて英語で行われれば良かったと思う。もっともこのような感想を持つことができたことが、本研修の成果であると認めたいと思う。[高 校]

自分の気づかないことを気づかせてもらっているいろいろな参考になった。また、先生方の研究熱心さに感心した。[高 校]

私自身4年目で、地域移動後、最初の学校ということもあり自分の学校での英語の授業、HRの運営などで精一杯の毎日を送っている。今回の研修に参加して、他の学校の様子、様々な経験年数と個性をお持ちの先輩方の授業実践など、有意義なお話が伺えて、勉強になった。参加してよかったと思っています。[高 校]

この自由研修を受講することで、英語教師に求められていることが何であるか、具体的に目で見、授業を受ける立場で実演する中で感じ取ることができました。まだ課題があると気付きもしましたが、こういう方向で努力すべきだということが見えてきました。それから、何かを speak out するということは主体的に生きていないと難しいものです。その意味でも目的意識を持ち、具体的な目標をかげて行動することが必要とわかりました。受動的態度で何かを完璧に覚える等のやり方では、不十分であると思いました。[高 校]

非常に疲れたがためになったと思う。

[高 校]

大変レベルが高くてついていけないレクチャーもあったが全体的に大変おもしろくためになるものが多かった。[高 校]

小・中学校や他の高校で行われている授業、指導目標、指導方法を知ることが、たいへん有意義であったと感じました。

[高 校]

研修そのものは楽しく有意義であった。有名な先生方の講義を受講できたし、どうい内容が今求められているか理解できた。ただ自分の学校に应用できるかという点ではなかなかむずかしい。中味の濃い研修だったというのが正直な感想。[校種不明]

最近の英語指導法の動向を知ることができて、有意義だった。私が携わっている知的障害養護学校中学部における英語学習については触れられることはなかったが、小

学校での英語活動の実践(カリキュラム、教材、方法)はとても参考になった。またカリキュラム作成と評価方法についても参考となった。自分の英語運用能力の向上というものには至っていないが(短期間のため)、自己研修をさらに積極的にとりくもうという動機づけになった。[養護学校他]

3. 仲間に出会えた。 仲間が教えてくれた

他校、他地域の英語教員と情報交換できたことが最高でした。二度とない機会を貴重に思えました。[中学校]

参加されている他の先生方から、たくさんのアドバイスや情報を得られたのがよかった。指導案作成・授業の組み立てについても、もう少し学びたいと思います。

[中学校]

この研修会で良かったところは、県内の先生方と学校の様子や授業のアイデアなどの情報交換ができたことと、ALTの先生方と交流できたことです。やはり、英語で日本人同士が話すというのはてれると思いました。[中学校]

他の学校の先生との交流はとても勉強になりました。[中学校]

他校の教員との意見交換が参考になった。ALTのJTEを励まそうとする態度に元気づけられた。英語での講義は自分の力不足を認識させられ、よりBrush Upしなければと痛感させられた。実行あるのみである。[中学校]

他の教員とアイデアの交流ができよかった。[中学校]

この研修を通して、同じ英語教員の方々と現場のことや英語の指導方法について交流できたことが有意義であったと思う。

[中学校]

研修に参加したことによって、得たものは、他の先生方や講師からの様々なアイデアです。自分だけでは思いつかないような教授法や、悩んでいたことについての解決法など、すぐ実践してみる価値のあるものをたくさん学ぶことができたと思います。

[中学校]

英語仲間が増えたことで、授業のアイデア、悩みなどを相談でき、知識も増えると思う。4技能の能力が、確実にアップした

と思うので、こういう機会は、どんどん参加していきたいし、自分の仲間同士で自主的にたちあげていきたい。 [中学校]

たくさんの素晴らしい講師の講義を聴けて本当に良かったです。学校間や校種を越えて素敵な先生とたくさん知り合うことができました。企画して頂いたスタッフに感謝です。これからの英語授業を少しずつ向上させたいと思います。 [中学校]

各講師のお話を聞いて、最新の英語教育について学ぶことができたと同時に、自分の英語力の無さを痛感し、自己研鑽の必要性を痛切に感じた。しかし、何より、現場の先生方とお話をし、いろいろなアイデアを吸収できたことが大きい。 [中学校]

仲間が増えた。 [中学校]

私の学校には英語の教師が一人しかいないので意見を交換する場がなかなかありませんでした。この研修で今まで知らなかったアイデアや理論を学ぶことができ、とても参考になりました。今回学んだことを今後の自分の授業に生かしていきたいと思います。 [中学校]

ALT, JTE からいろいろな授業のアイデアを分かち合えたのがよかった。宿泊も一緒にして、外国の文化にふれることができた。 [中学校]

TOEFL のテストはあまり意味がないように思いますが。その他は、大変有意義でした。参加して良かったとつくづく思います。こういった形で、idea 交換やコミュニケーションを ALT, JTE と今後もしていきたいと強く思います。 [中学校]

授業のアイデア等いろいろ共有できたのでよかった。 [中学校]

他の先生方の指導法が大へん参考になったが、似たような世代の人が多かったので様々な年代の人が参加するといろいろな意見が聞けたと思う。 [中学校]

最初は、どんな研修になるのか…とかなり不安でしたが、10日間を終えて、振り返ってみると、とても充実感があります。教員間のネットワークが出来たことも財産です。もし、このような機会があるときには、お互いにテスト問題を持ってきて検討するなどより具体的なことをやってみたいです。 [中学校]

現場で働いている先輩の意見交換が一番ためになった。会話学校は良いが、高いと

思う。 [中学校]

有意義な研修だった。我々にとって、研修の必要性を改めて感じる良い機会となった。一緒に研修した仲間から多くのことが学べたような気がする。大切な財産となりそうだ。しかし、現場を7日もあけるのは、いろいろと迷惑をかけることが多く、気を使って、研修に来るのは、つらい思いがした。 [中学校]

たくさんの先生方と時間を共有し、よかったことがたくさんありました。いろいろなアイデアを得られたこと。私自身学習の意欲が高まったこと。高校の先生方と交流の機会をもてたこと。しかし、私自身の英語力はあまり向上していない。 [中学校]

最初（第1回目）だったので手探りの感があったが他の先生方との情報交換ができたことが一番良かったです。今後色々と改善の余地があると思いますが、とりあえずお世話になりました。 [中学校]

他校の英語教員の方々や ALT の方々との時間が多くもてたことが、大変良かったと思います。今回のような機会を得ていただくことで勉強しなおすこともできました。即、授業に生かせるとは思いますが、努力していきたいと思います。 [中学校]

週5日制となり、日々の授業、行事、学年、学校、分掌の仕事で追われる中、正直言って貴重な時間をとられることは残念なことでした。が、授業や仕事のやりくり、アサイメントを達成しつつこの研修に来てランチを一緒にしたり話をするのが私たち教員にフレッシュで若々しい刺激を与えてくれたと思います。夏は夏でとてもすることが多くもうムリかなと思うくらいタスクがありましたが、その中でとにかくやりぬいた、という経験、体験は何よりもかえがたいです。いくつもの課題をかかえて、1つ1つこなして、この研修での課題もこなしていったそのプロセスの中で何人もの先生方と対話し、アクティビティをし、話し合いをし、笑いあり、驚きもあり、1つ1つがよい思い出となっています。ことばをつかうというのは本来、人と人がよりわかりあえるためにあるもので、ハッピーな時間を共有できたことは、今後教室で生徒たちに英語をつかうことを促していく上でとても大切なアトモスフィアをおしえて頂いた気分です。 [中学校]

今回の研修では、日頃話す機会のない高校の先生方と情報交換をすることができてよかったです。自分一人では解決できないでいた悩みや不安が少し減ったような気がします。5日間ずっと英語によるディスカッションという点もとても刺激的でした。本校に帰ってからもこの気持ちをもち続けたいと思います。 [中学校]

他の学校や他校種の先生と一緒に研修したことは、授業について情報交換ができたり、自身の英語力について他の先生から刺激を受けることになり、大変勉強になった。また、ALTが参加したことにより、英語で話す必然性ができ、授業について意見交換するための語いや表現を学ぶことができた。 [中学校]

今回の研修では、まわりの先生方の英語力、特に会話能力の高さに大変驚かされた。研修中、常に手のひらに汗が出てくるほど緊張感のある内容であった。講師の先生方も親切でいいでわかりやすかった。同部屋の方々はいへんすばらしい人たちで、楽しく過ごすことができた。 [中学校]

ALTと意見交換するのは、参考になった。 [中学校]

ALTと話す機会が多く持つことができてとてもよかった。他の学校の先生方の考えや感じていることが多く聞けてよかった。 [高校]

中学・高校の先生方が合同で研修を行ったことで、様々な情報を交換することができ、今後の指導に大変役に立った。自分の授業を改善していく手掛りをたくさんいただいた。 [高校]

多くの先生方と情報交換や意見交換ができ、良い刺激になった。研修を受講して、英語教育について深く考える機会になった。自信の英語力、指導力を高める努力をしていきたい。 [高校]

他の学校の先生方と英語で自由に意見交換ができたこと、JTEの意見に対してALTやInteracの講師が適切なコメントを与えてくれてディスカッションが深まったことがとても有意義であったと思う。教師同士が、自分の言葉で自分の意見をわかりやすく相手に伝えられるようになること、相手の意見をきちんと理解できるようになることが、まず大切であると思った。 [高校]

県下には高い英語力を持つ先生方がいることを実感した。今回の研修は英語教育について英語を使って再考し発見する機会となった。中・高の教員の抱える問題の違いについても深く知ることができた。5日間で集中的に学んだが時期、期間など工夫があってもよいと思う。 [高校]

自分の英語力をアップさせるための動機付けになった。授業を改善する良い方法を色々学ぶことができた。たくさんの英語の先生と知り合いになれてよかった。 [高校]

大変有意義な研修でした。自身の英語力の向上に役立ただけでなく、考え、意見を交換しあうことの重要性を再認識しました。機会があればまた受講したいと思います。 [高校]

他校の先生方とアイデアを交換できたのはよかった。 [高校]

教員内での意見交換が参考になった。また他の教員のパフォーマンスが素晴らしく会話能力が予想以上なのに驚いた。生徒に英語を使った面白い授業を行えるよう少しでも努力したい。 [高校]

It was good to be able to get to know junior high school English teachers and senior high school teachers from other high schools. I hope that ever after this seminar is over we can stay in touch with one another so that we can exchange our ideas, which will help us grow individually and professionally. [高校]

中学・高校の先生方が互いに協力し合えたこと、相互に意見交換ができたことが非常に良かったと思います。 [高校]

自分自身の英語のbrush upだけではなく、多くの先生方からいろいろなアイデアを学べ、非常に有意義な研修だった。 [高校]

他の先生方の実践について何うことで、視野を広げることができた。 [高校]

普段他校の先生方の話を聞く機会があまりないので、今回の研修はとても参考になった。ただ、実際の教育現場では4技能以前のレベルであるようにも思う。 [高校]

同じ悩みを抱えていることがよくわかった。クラスの人数の多さ、授業時数の少なさ、多種多様な生徒、訳読授業から抜ける

工夫、英作文のチェックのやり方、生徒の日本語能力の低下、中学校での基礎力の低下、準備のための時間の確保の難しさなど。もっときめ細かく指導できるように習熟度授業を取り入れたり、ALT とのプレパレーションの時間を設けるなど、システムのにももっと改善の余地があると思う。

[高 校]

夏休みのローカル研修が、私にとって一番の思い出です。知人との情報交換、昼食時のおしゃべり、それが一番貴重です。特に ALT と仲良くなり、メールのやり取りも始まりました。TOEIC が最終日にあったことは、夏休み中よく勉強する動機付けになりました。いろいろ改革していかねばならないこともあると思いますが、特に夏休みに関しては、満足しています。

[高 校]

中・高の先生たちが一緒に研修できたのが良かった。

[中学校]

他の学校の先生方や、地区別での ALT の先生方に大変感謝したいです。様々なアイデアを教えていただき、とても楽しかったです。ただ自分が語彙力不足のために大学教授の話には解しにくい部分もありました。

[中学校]

全県の先生方との横のつながりを深められたことが何よりの収穫でした。連絡を取り合いながら、より見識を深め、様々なことを実践的に学ばせていただければと考えています。

[高 校]

一番よかった点は、多くの先生方と情報交換ができたことです。各学校での様子や授業のアイデアなどがいろいろわかり参考になりました。次は、インストラクターの熱心さです。用意された資料が多かったので、十分な時間がなかったのですが、休憩時間もそこそこに lesson の準備をし、熱心に教えてくれました。ほかの学校にも多くの先生方がいて、一生懸命教えているということを知っただけでもよい機会でした。

[高 校]

ほかの英語教員たちも情熱を持ってやることがわかりました。(もちろんやる気のない人もいましたが)

[高 校]

生徒もう少し交流があるといいと思う。

[高 校]

即実際の授業にむすびつくものもあれば、そうでないものもありました。しかし、他

の英語の先生と情報を交換し合い、刺激し合えたという意味において、有意義な研修であったと思います。

[中学校]

他の先生方と意見を交換できたし、新しい理論や知識を得ることができた。2週間という日程は厳しかったが、理論と実践が結びついて、うまく活用していければと感じた。

[高 校]

たくさんの先生と出会うことができ、交流及び先生方の話や考えを聞く機会が持てて良かった。

[高 校]

意欲的に自己研修を重ねている先生方や、素晴らしい教育活動をされている先生方等にお会いでき、自分を更に向上させたいと思いました。

[高 校]

ほかの先生方も、日々、授業の工夫、改善に努力されていることを知り、大変参考になった。

[高 校]

高校と中学では、生徒のレベルや質などが異なっているので、全てが活かせると思わないが、他の学校の現状や、指導の工夫を聞くことができて良かった。コミュニケーションの面に関してはすぐに変えることができるとは思わないが、結局は我々が変わらなければ何もかわらないのだということを講師は言っていたのだと思う。

[高 校]

高校の先生と一緒に研修することができ、自分の知らない世界を垣間見たようで、非常に刺激を受けた。内容については、少し専門的になりすぎて、理解が及ばない部分もあったが、高校で学ぶ前に何を身につけるべきかなどを考えるにはよい機会だった。自分のスキル不足を感じ、より一層の努力が必要だと感じた。

[養護学校他]

4. 元気の素もらった

I had a good time because I could study English teaching ways through English. During not only English lesson but also free time I could exchange valuable information with other teachers. After I come back to school, I want to study English harder in order to promote the students' communicative ability higher. Thanks a lot for 5 days.

[高 校]

TOEFL 受験に時計持参の指示必要あり。ALT の活用時間を OC 以外英作文 Reader

多々活用し、TTで展開したいので、複数増員の希望。教員海外研修派遣の公費扱い部門は指名制でなく、自己希望を第一原則とする。多数希望が集まると思われるが県教委の公平な姿勢が望まれる。検定試験では数名 TOEFL を受験している生徒がおり、教員の私が一度も経験していないため、進路指導に今後の支障を生じさせないためセミナーに参加させていただきました。教委が次々と意欲的に新教育カリキュラムに挑戦していることは大変好ましいと思います。今日のセミナーは県内から意欲的な先生が多数集まり、またインター及び ALT の先生も日本の英語教師の向上のため一生懸命我々に指導して下さっており、感銘を受けました。何かしら一時の英語教育～今後の歩むべき日本をしょって立つ teacher に目に見えない形の大きな大変貴重な使命を与えていた4日間に思えます。[高 校]

講師の方がすばらしくて、中身のある楽しい授業でした。活動も前向きな仲間にひっぱられ、意欲的に取り組めて、実りのある研修になりました。[中学校]

今回の研修により、英語を常に使用している授業に正当性が加わり、ますます自信がついた。Total Immersion はとても必要不可欠であると信じている。英語教師が常に英語を話していれば生徒も話すようになると思っている。[高 校]

自分自身の授業がマンネリ化し、時代の流れにそぐわないものであることに危機感を感じつつも何をどうすればよいかわからないままになっていたところがあったが、今回の研修を通じて自分の中にも、自分の授業にも革命を起こせるのではないかと自分に期待をしているし、そうでなければならぬと自戒しているところである。

[中学校]

すごくためになった。参加してよかった。9月から活かせないと意味が無いので習ったことを整理して2学期の準備をしたい。

[中学校]

英語教師としての自分の姿(現在・過去・未来)をしっかりと見つめることができ、新たな目標を見つけることができた研修であった。

[中学校]

今後も自主参加型のものも含めて様々な研修をしたいと思います。[高 校]

久しぶりにこの種の研修を受けて、コミュ

ニケーション運用能力の向上を目指すことが大切であると再認識した。[高 校]

個人の英語力から授業改善への手立てまで、多岐に渡る内容で、充実した研修でした。これで研修を終えるのではなく、個人レベルで、さらなるステップアップを図り、目標を持って仕事を続けていこうと思います。

[中学校]

活動には理由があり、意図があることを演習の中で、実際に行って説明されてわかった。そして、納得して行うとき、より意識して力をつけようとするものであり、生徒にも自分の力が伸びていく感じを味あわせたい。

[中学校]

教員に採用されて、疑問に思ったり、悩んだりすることがよくありましたが今回の研修で、気持ちをリフレッシュすることができたと同時に、忙しい毎日ですが、少しでも授業改善に取り組み、生徒のためと自分自身の向上のために、今後も取り組んでいきたいと思っています。

[高 校]

今回の研修は日程的に大変だったが、自己啓発になったと思う。

[中学校]

夏の研修を受け、ある意味「このままではいけない」という刺激を受けました。それは、自分の英語力の向上においても、授業の改善においてもそうです。講師の先生がおっしゃっていました。「忙しい、忙しいと言っても、もっと忙しい人はたくさんいる」という言葉に示されているように、重要な事は自分が本当にやるか、やらないかということです。夏の研修で受けたショックがある意味持続するよう頑張って、実生活に、現場に活かしていきたいと思います。

[高 校]

自分自身の英語力もつけていこうと感じました。

[養護学校他]

この研修で学んだことを明日からの授業で活かしたい。

[中学校]

頑張りたいと思います。今はまず、評価やシラバスを中心とした取り組みに忙しいですが、自分自身の英語の development も忘れずに！

[中学校]

かなり盛りだくさんの研修内容だったが、終わってみると「参加してよかった」という思い、手ごたえがあった。

[中学校]

大学を卒業して以来、自分の語学力のために学習することがなかったので、とてもいい刺激になった。自分が好きで楽しく学

おことができれば、また教えることに対しても意欲的になれると思う。 [中学校]

研修内容自体が「指導力の向上」に focus を置いた内容のものであったので、設問 1-2 の様に、私個人の英語能力の向上に役立ったとは思えないが、英語でお金を稼ぐ (?) 以上、プロとしてははずかしくない英語力、そして指導力を身につけていかなくては！と強く感じたものだった。今後もかつてネイティブの様に話し、聞くことを目指して勉強した日々の様に、勉強を続け、生徒に英語力をつけることのできるプロの教師に恥じぬ人間になりたい。

[高校]

普段仕事をしていると、なかなか自分の英語力向上の時間が持てませんが、研修という場を作っていただいたおかげで、集中し英語力向上のために時間をつかうことができました。目に見えて、どう向上したかは、これからの自分自身だと思いますが、「英語力をもっとあげたい」という気持ちになれたことが、私には一番の効果だったように思います。

[中学校]

自分の英語力に関しては正直いろいろな研修に参加させて頂いたときには、改善していきたいと願うのですが、なかなか実行がともなわず、反省しています。今回このような機会を与えて頂き、1つでも2つでもいいので何か覚えたことを実践していければと思います。英語の力と英語の指導は毎日の個人の研修が大切なのは、百も承知をしているので、これを機会にまず何か実践していきたいと思います。忙しいというのを理由にしないようにしたいです。

[中学校]

英語教師なので、英語を勉強し続けることが大切なのは分かっていますが、なかなか実行するのは難しく、今回の研修はとても有意義でした。ただ今回のような研修がなかったとしても、自分で英語を勉強したり、授業についてより深く考えたりという努力をせねばと感じています。

[中学校]

TOEIC のためのみの講義内容にとらわれず、一般的な分野にわたり (文化面や言語学の面など) 学ぶことができて良かった。ALT や他の英語教師の皆さんとの交流の中で、より刺激を受け、もっと一層能力向上を目指して努力していく気持ちになりました。

[中学校]

8 日間の研修は大変でしたが学生に戻ったような気分で英語に集中できて良かったです。この研修で学んだ事をいかに現場で活かしていくかがたいせつなので今後の頑張りが必要だと思いました。

[高校]

10日間というのはとても長く、とても疲れたが、今終わってみると、随分と勉強になった。1日中英語を使つての演習など今まで一度も経験したことがなかったが、外国人講師との演習は楽しみながらも、参考になる点が多かった。また、自信もついた。

[中学校]

10日間で資質が向上するとは思いませんが、自分の歩いてきた道をふり返し、これからどうすべきかを考える上で生徒の立場に身を置くことはとても有意義であったと感じています。教員はともすれば視野が狭くなりがちなので多くの先生の実践を知り、刺激を受けることが必要です。自分は25年以上勤務していますが、今日若い先生方からたくさんのエネルギーを得たことが最大の収穫だったと感じています。

[中学校]

研修に参加して、今まで自分なりに工夫してきた授業方法や教え方の切り口がまだまだ不十分であったと痛感しました。コーラスリーディングやペアワークなど、機能しないことを嘆いてるだけの自分を反省し、更なる一工夫で生徒が、生き生きと授業に参加することを知りました。工夫そのものは、複雑なことも、難しいことでもないのですが、発想の転換、柔軟な発想に至ることが重要だと思いました。また、input、intake、output の大切さや英文和訳の不都合な点については、書物等を通じて、知識としてはありましたが、授業の中で、うまく生かしきれていませんでした。自己の力量不足、研究不足が大きく影響していたと思いますが、自己の研修で自分が体験したことにより、前進へのヒントを得たと思います。どのセミナーも、非常に有意義で、受講できて、幸運だったと思います。とりわけ印象に残っているのは、T 先生の講座で、本当に元気を分けてもらったように思います。先生の授業は、「英会話」の授業ではなく、英語による人間教育であり、私自身そうありたいと願っている教師像を具現されておられました。私自身、教師生活の後半分を迎える年になり、本来なら、若

手教師の鑑となるべき年齢ですが、未熟この上ない現状があります。一步でも目標の教師像に近づけるよう、気持ちを新たにしました。これだけの研修を実施するにあたって、指導主事の先生方のご苦勞は並大抵のものではなかったと拝察します。ありがとうございました。今年度分もまだ残っておりますがよろしくお願いします。この研修の成果が5年後ではなく、すぐに現れるように、自分なりに努力したいと考えています。 [高 校]

生徒の学力が年々、低下していると感じ、教える意欲を失いかけていたが、初心に戻って、頑張ってみようと思った。 [高 校]

「教師側が最終的な目標をもって、毎日の授業を組み立てていかなければならない」というのは当たり前ではあるけれど、日々の忙しさでついいきあたりばったりの授業をしてしまうことがある。反省をしてこれから常に意識をして毎日の授業をしていこうと思う。 [中学校]

講師の先生方がいろいろと授業に工夫をこらして一生懸命授業をしていらっしゃるということがわかって非常に元氣になりました。私も少しマネをして自分の授業を新しくしてみたいと思いました。 [高 校]

今回の研修は、半分づつではありましたが、非常に中身の濃い、いい内容で授業の参考になりました。自分自身の英語力の向上をめざし、授業に対する取り組み方や、やり方に新しい工夫を加える原動力になったと思います。ありがとうございました。 [校種不明]

とても前向きに取り組もうと思えた。 [中学校]

日常生活において、学習以前の問題で日々苦勞している中、久しぶりに英語に浸かることで自分の英語力を高めるよい機会となった。 [高 校]

このような有意義な研修に恵まれて大変喜んでいきます。いろいろな意味で positive にやっていかなければという power や energy をみなさんからいただきました。この企画、準備、その他におきまして県教委指導課の先生方のお骨折りに深く感謝申し上げます。 [高 校]

様々な講師の方の話を聞いて、とても勉強になったし、がんばろうという意欲がわいてきました。 [中学校]

5. 反省しています

(1) 英語力が…

久しぶりに英語を使ったような気がします。実際に講師の先生方や他の JTE の方と英語でコミュニケーションする中で、自分自身がより力をつけていかなければ…と反省が残りました。今日で終わったわけですがこれをスタートとして努力したいと思います。 [中学校]

外国人の先生方の様々な授業を受けて、自分自身の授業について振り返り反省することができたとともに、自分の英語力のなさが改めてわかった。自分の英語力を高めて、子供たちにもそれを伝えていかなければと思う。学ぶことも多い良い機会であった。 [中学校]

今回英語で先生方がペラペラ話されるのを聞くことがとても難しかった。時々知っていることを話されるとほっとして疲れが取れたようだった。とにかく難しい研修だったと思った。日頃授業を一人でしていなく ALT が一人でするのに頼った面もあった。先生が話されるリスニングがとても難しく理解できない面が多くあった TOEFL も日頃長文に接していなくとても難しかった。知らない単語が中学校なのでたくさん出てきたからである。 [中学校]

5 日間の集中研修は大変刺激になりました。普段の自分の勉強不足を痛感させられました。英語をもっともっと話せるように常に勉強しなければならないことを強く思いました。生徒と共にがんばらなければと思います。大変でしたが、ためになりました。 [中学校]

大学を卒業してからの勉強の足らなさを感じました。日々生活や学校事務に負われていますが、年々レベルの高くなる英語教育をするために、自分自身の研鑽の必要を感じます。20年近く前に比べてずいぶん英語力が落ちているのに気づかされました。 [中学校]

自分の語学力の乏しさをひしひしと感じました。自分自身の学習を計画的に進め、講師としてくださった先生方や ALT の話をもっと理解できるように努力したいと思います。 [中学校]

第一回目の講義や TOEIC で自己診断す

るまではよかったが2日目は明確な目標をたてず時間つぶしとも思える内容だった。もう少し工夫がほしかった。が自分の英語力のなさを痛感し落ちこぼれていると改めて意識できた。

[中学校]

自分の英語力の衰えや、英語を勉強し直すことについてはよい機会だったと思います。教師が英語に対して興味を持たなくなったら生徒には教えることができないと感じました。そして少しでも、生徒が興味を持てる授業を目指したいと思います。

[中学校]

自分の英語力を高めるための努力を忘れては、生徒に指導ができないと原点を思い出してくれた気がします。

[中学校]

教職に就いてからは、自分自身の英語力を高める研修よりも、指導方法の研修に力を入れてきました。その結果、自分の英語力診断テストでは、非常に低い点となってしまう反省しています。日々の仕事の中で上手く時間を使って、力をつけたいと思っています。

[中学校]

自分の英語力のなさを痛感し今後自分の英語力を向上していく努力を積極的にしていきたいと思った。久しぶりに英語にひたることができ英語を話す楽しさを思い出し改めて英語教師という自覚を持った。

[中学校]

日ごろの授業以外の業務に追われ自分自身の英語力向上・保持に向けた努力を忘れたことを思い出させてもらいました。また、普段はあまり接点のない高校の先生との意見交換ができたことも貴重でした。

[中学校]

今回のセミナーを受講することにより自分自身の英語力の不足を反省しました。自分自身の語学力UPと生徒への効果的な指導方法を考えて生きたいと思っています。TOEFLなどのテストのため勉強がほとんどなかったのでテストでの力はあまりついてないと思う。

[中学校]

自分の英語のなさを痛感し、今後は向上させなくてはと思える良い機会になった。また、英語教育の考え方や、具体的なアイデアなど大変参考になった。知識を得るという観点からだけいうと、英語の理解力が低くて聞き損なってしまったことがたくさんあったことが残念である。

[中学校]

自分の英語力のなさを(恥ずかしながら)

強く感じた。今回の研修で学んだ内容を生かしたい。情報収集にも努めたい。

[中学校]

自分がいかに英語の力が足りなく、またその現状に対して今まで努力、研修を積み重ねてこなかったことに対して大変後悔している。

[中学校]

生徒はまちがいを恐れずに積極的に話そうと言っているのに自分がこの研修でまちがいを恐れて受動的になったところがあった。大変反省してます。

[中学校]

自分の英語運用能力の低さをあらためて痛感した。今後少しでも向上するよう努力したい。

[中学校]

自分の英語運用能力のなさを痛感させられ、今後努力する目標を設定することができました。授業をする上で大切な事項、言語活動と学習活動の違い、評価についてなど。そしてまた、実際の teaching plan づくり、presentation。大変な日程でしたが、いろいろ勉強できた2週間でした。

[中学校]

自分の英語運用能力の低さを痛感しました。レベルの向上及び、生徒の興味ある授業を展開したいと思います。

[中学校]

大変充実し、刺激を与えてくれる5日間でした。今後の授業の組み立て方からその内容にいたるまで、様々な改善点に気づかしてもらえた研修でした。日々の忙しさにかまけて後回しになっていた自分の英語学習もきちんとやっていかないとだめだなと反省しました。

[中学校]

まず自分自身の英語力のなさを痛切に感じ、深く反省すると共に、今後日々努力し、能力の向上に努めようと強く決心いたしました。指導についても具体的なヒントをたくさん教えていただき、明日からの授業を変えていくエネルギーをもらったような気がします。研修には積極的に参加し、自己分析と工夫を重ねていきたいと思っています。

[中学校]

自分に欠けている技術が再確認できて良かったと思います。教授の方の中には、もっともっと講義を聞いていたいと思う先生方もいらっしゃるって、学生の時に、知り合うことが出来ていたら、私の英語力も少しは向上していたのかなと思いました。

[中学校]

指導方法など具体的でたいへん参考になっ

た。また自分の英語力が不足しているの
たいへん気になった。もう少し英語力
をつけてからもう一度参加してみたい。

[中学校]

絶えず英語を勉強し続けたいといけ
ないということを自分自身に再認識さ
せられるものだった。

[高校]

研修を受けてみて自分の英語力の低
下が分りました。

[高校]

自分の英語力不足を反省する上でも
自らの授業内容を向上させる上でも
とても役立つ研修でした。

[高校]

自分自身の英語力向上に対する姿勢
を見直すことができた。

[高校]

とにかく自分の英語に関する能力、
特にリスニング、会話の力が不足し
ていることを痛感した。

[高校]

英語の運用力について考えさせられ
、反省もした。今後、自分からその
ような機会を作り、努力していきたい。
授業を実施する場合も生徒にその面
での楽しみが生まれるようにしたい。

[高校]

この研修を通して分かったことは、
自分自身の英語力の無さでした。予
想はしていたもののあまりにも「で
きない」自分に情けなさを感じまし
た。一方、他の先生方の英語力に感
心しました。なぜ世間では「教員に
英語力がない」と言われているか不
思議になりました。この点から明らか
になったのは、教員自身の問題より
も、日本の教育界の持つシステム
の問題がはるかに大きいということ
です。私自身は今後、英語力を伸
ばすためがんばろうと思います。

[養護学校他]

(2) 授業を…

自分の実践を振り返るよい機会にな
ったと思います。多くの先生方と知
り合え、情報交換できたこともよか
ったです。集中研修という性質上仕
方ない面もあるかもしれませんが、
日程の組み方を再考していただき
たい。

[中学校]

多くの方々から Teaching Skill
についてアイデアをもらい、本校に
あったものから実践してみた。生徒
には変容が見られたのだが、そこで
1 番問題になった課題は、私(教師)
自身の英語力であった。教師にな
ってからそこから逃げていた。しかし
、もう逃げることはできない。このセ
ミナー

を自分の教師としての再出発ととら
え、勉強をはじめることにする。

[中学校]

今回の研修で自分の英語力が向上
するということはあり得ませんが、
今回の研修を通じて、自分が今まで
に行ってきた授業や英語教育に対
する見方を見直す機会を与えて頂
いたことは間違いありません。これ
からも、英語教育として、絶えず
自己研鑽を積んでいかなければなら
ないと認識しました。

[中学校]

授業改善というより、英語運用能
力に重点を置いた研修であったが、
それぞれの内容が自分自身にも、
授業にも役立てることができると
思う。長期の休みなどを利用して、
定期的に研修を受けることが必要
だと感じた。

[中学校]

大変有意義であった。抵抗なく、
英語を話す力がついたと思う。ま
た、2 週間目の講義では、どれだ
け自分がいまいにやっていたかが
よくわかった。また、ALT 任せ
ではなく話し合いが大切だという
ことがよくわかった。

[中学校]

たいへん勉強になりました。「自分
の授業で何が足りないのか」とい
うことを考える良いきっかけにな
り刺激となりました。子供達が学
んでいて楽しいと思える授業を作
っていくために努力しなければと思
っています。

[中学校]

授業で実際に使えるアイデアを多
く学ぶことが出来た。自分自身の
英語能力に関しては、日頃こつこ
つとするしかないと思改めて思
うが、実際学校が始まると…。最
も学んだことは、生徒が英語を話
せないし、読めないし、書けない
のは、私自身の能力不足であるとい
うことである。

[中学校]

すごく勉強になりました。日頃自分
がいかに生徒のモチベーションを
向上させない授業をしているのか、
よくわかりました。生徒の英語力
の向上は、やはり「勉強しよう」と
いうモチベーションに左右される
部分が大きいというのが分かりまし
たし、自分の授業を振り返ってみ
て、音楽をもっと活用していこう
と思いました。

[中学校]

自分の英語力や指導力を向上させ
るために何かなくてはと思いつつ、
何もせずに時間が過ぎていった私
にとっては、とてもよい刺激にな
った。

[中学校]

生徒が理解して時間がかかること
を恐れ、授業中の英語をひかえる
のではなく、もっ

と使おうと思った。工夫しようと思った。

[高 校]

非常に工夫して授業づくりに取り組んでおられる先生方の講義を受けて、大変参考になりました。訳読中心の現状の授業を改善していかなければならないという思いで一杯です。初心に返って、授業の到達目標を再度練り直し、授業改善に向けて、努力していこうと思っています。ただ、3年生の長文読解や受験向きの指導に対してどのように工夫すべきかが大きな課題です。

[高 校]

自分の授業に多くの改善の余地があることがわかった。教師はプロとして、より効果のある授業を作りあげている義務があると思う。そのことを常に肝に命じて残り多くない教師生活を充実させていきたいと思う。

[高 校]

授業に対して安易に考えていた部分を反省させられる研修でした。色々な話をきくことができ大変刺激になりました。この経験を活かし授業改善に役立てたいと思います。

[高 校]

(3) 英語運用力も授業も

1 番良かったと思うのは自分の English ability 及び Teaching ability の低さを再確認させられたことです。辛いことですが、生徒がいる以上、このままでは本当にイケナイ！！と思った。楽しく学ぶことが多いと同時に、反省、反省の日々でした。すごく為になった。良かったです。ありがとうございました。

[中学校]

自身の英語力を伸ばすための努力の必要性。授業改善に必要な時間と持続力、継続性。

[中学校]

英語指導法の改善や自分自身の英語能力の向上について、強く必要性を感じた。その点においてこのセミナーはとても効果的だったと思う。

[中学校]

個人的には今回の研修に参加できて良かった。自分の英語力、指導力の無さを痛感させられた。そこから改めて頑張っていこうという気持ちになった。色々なヒントを得ることができた。また、ネイティブ・スピーカーと話す機会が持てたのは有意義だった。自分の英語力（総合英語力）を身につけたい、向上したいという気持ちを強く持った。

[高 校]

教授法についてはもっと早くからこのようなコースを設け、参加を促すべきだったと思う。TOEIC テストについては、自分の弱点について改めて考える機会となった。しかし、1 月に再受験するまでに研修を積むということにおいてはあくまで個人の意志と努力次第で決まると思う。私費で受験料を負担しなくてもよいのはありがたい。

[高 校]

英語の授業は雰囲気作りが何より大切だと感じました。今回生徒の立場になって授業の良い点悪い点を考えることができたので今後に活かしたいです。TOFEL は一週間の練習ではあまり効果が期待できないと思うので今後も勉強を続けなければと思いました。

[高 校]

自分の実践的英語能力のなさを痛感した。授業も教科書以外のもので、現代的な話題を取り込み、生徒にとって興味のある授業を展開できるよう努力したい。

[高 校]

英語教師として日常漠然と抱えていた不安を明確にして自分自身に叩きつけられた思いがした。英語運用能力授業における指導力、生徒のモチベーションを上げる技術力すべてに関して、努力不足を痛感し、再勉強に取り組んでいる。気付きときっかけを与えてくれた研修であった。

[高 校]

自分自身の英語能力や指導技術の向上を一番の目標にして臨んだが、研修を受けること自体で簡単に向上するはずはなく、その意味では日頃の自己の努力が不可欠であることを痛感した。プレゼンテーションをしたり、苦痛なこともあったが、逆にめったにない機会だともとらえている。

[高 校]

AET が駐在しているため、自分の授業計画に Team Teaching をおこむことで speaking, listening の分野は大丈夫だと錯覚していることに気がついた。生徒に対して何をゴールとするか目標を明確化せず、始めから生徒には無理だろうと生徒の自発的な英語学習の芽を摘んでいたと思う。今回の研修でももちろん自分自身の英語運用能力の質を高める必要性を感じた。そして今後将来に今回得た知識を活用していきたい。

[校種不明]

(4) とにかくもっと勉強しなければ…

普段は不可能な使用量で英語を聞いたり

議論できる点は良い。内容的には日本語での討論でも難しいテーマがあり（教育原理的なこと）その点が大変難しかった。勉強不足を痛感しました。[中学校]

自分が知らないことがたくさんあることに気づき、勉強不足を痛感した。目標を決め、達成したい。[中学校]

自分の中で何が欠けていたのかが明らかになり、更にこれからの方向が定まったような気がします。[中学校]

自分自身をあらためて見つめ直し、問題・課題とすべき点、方向性を知ることができ、良かったと思う。[中学校]

正直なところ大変きつかった。だけど自分の甘さがいやというほどわかった。ありがとうございました。[中学校]

自分の力を見直すとともにどうすればよいかなど具体的に考えることが出来ました。大変有意義でした。[中学校]

自分の思い込みや視野の狭さを改めさせられるような内容が多かった。英語が好きになる授業、自主的学習につながって行く授業、コミュニケーション能力を高める授業への希望を感じさせてくれた。大いに有益であった。[中学校]

他市、他校の先生方の意欲的な研修への参加態度を見て、私も頑張ろうという気持ちになった。子供達の学習意欲の低さから教科指導よりクラブ指導に熱が入っていたが、私が意欲を失っていると、子供達の学習意欲を引き出せないと反省した。[中学校]

この研修を受けさせてもらって、とても良かったです。今回の研修を終えて感じたことは、まず自分自身がもっと勉強しなければいけないということを最も強く感じました。それから、今回講師の先生方が、紹介してくださった言語活動などを体験して、私ももう一度中学生にもどって先生方の授業を受けてみたいと思いました。これからの授業のために、もっと勉強しなければ！！[中学校]

いろいろな課題や英語に関する技能、知識について、日頃接することのないものに多くの視点で与えてもらいました。もっと前から知っていればー！！と思うことが多く。これからの活かしたいと思います。[高 校]

自己を見つめ直し、新たに自分で目標を

持ち、これからの教員生活に生かそうとする気持ちになれた。どの講義も非常に自分にとっては有意義であり、自分の弱点を発見できるよい機会となった。これをきっかけに日常でも研鑽を積んでいきたいと思う。[高 校]

かなり出来ない、出来なくなったと諦めていたことが、講師の先生方の話をきき工夫をしたり、努力をすることで出来るようになることがわかった。自分の努力不足を痛切に感じた。出来ることから自分でも工夫して取り組まなければならないと思った。[高 校]

授業を行う前の計画がとても大切だということに気付いた点が良かったと思います。評価・指導方法の一体化、そして実践に必要な知識、技術を身につけるよう、努力しなければならないと反省しました。（自分自身を振り返ることができて、この研修を受けて良かった。というのが一番の感想です。）[高 校]

6. 背中を押してもらった

(1) 英語を頑張ろう

これからの英語指導に目標ができ、自分の英語力向上に努めていこうという気持ちになることができ、感謝しています。良い勉強になりました。[中学校]

長期に渡っての研修ということで、体はきつかったのですが、今年、この研修に参加してよかったです。今までの自分自身の英語に対する姿勢や授業の展開力について反省できました。これからはもっと自身の英語能力を高めるための目標をたてる。授業では生徒たちにこの時間では何を習得させたいのかという明確な目標を持ち、授業に臨みたいと思います。[中学校]

今回の研修内容に大変満足しています。今後、自分自身の英語力を伸ばしたい。[中学校]

授業を英語ですすめていく方法に迷いがあったが、徐々にクラスルームイングリッシュを増やしていく方法など、大変参考になった。[中学校]

十日間の集中研修は本当に楽しく、意義深く、ためになることばかりだった。私自身今まではスピーキングの力に余り自信がなく、英語の教師がとして大変恥ずかしい

ことだと感じてきたので、大勢の前で話すことはとても躊躇していた。しかし、今回の研修で、皆の前で presentation したりするうちに hesitation が減ってきて broken English でも全然構わないということをもっと感じ英語で話すことが楽しくなってきた。[中学校]

講師の方々がすばりしかた。Clear な発音や流ちょうな speaking にあこがれる。このセミナーは私にとって、たいへん有意義で刺激になった。今後、この研修をどう生かしてくかは、自分自身の努力次第だと思う。目標をもって日々努力し優れた英語教師になりたい。[中学校]

自分自身の英語能力向上に興味を沸かしました。授業だけでなく、教師自身の英語学習という意味で効果があったと思います。[中学校]

自分の語学力不足を痛感しました。以後研修にはげみたいと思います。[中学校]

10日間の研修は私にとっては大変ハードなものだったけど、今のままではだめだということが再確認され、今後、自分なりに英語力向上のため努力を続けて生きたいと思っている。[中学校]

英語をまとめて何時間も聞いていると、次第に聞き取るのに努力が要らなくなってきた。休みの日など、まとめて、少し長い時間英語を聞いたりする等英語に触れる機会を増やしていきたい。[中学校]

約10日間英語漬けの研修を受けることができ、私にとって大変いい刺激になりました。また、英語で発表したいけれどなかなか出来ないという自分の中のあせりもありました。「英語熱」が高まっている中で、英語教員は英語を話せて当たり前、話さなければならぬという事を強く感じました。ただ日々生徒指導等に忙しい中、英語教員のスキル向上と同時に私たちがより良い環境で英語を教えられるように考えてほしい。[中学校]

英語指導に関わる研修はこれまでもいろいろと参加したが、自身の英語力を高めることを目標とした研修はほとんどはじめてだったので、いろいろな面で刺激を受けることができたし、自分自身の英語力の向上の必要性を改めて感じる事ができた。できればもっと多くの時間を、英語力を高めるために費やせたらよりよかったと思う。

英語力を高めていくために、今後もいろいろと工夫しながら取り組んでいきたい。

[中学校]
私自身が英語教師として、自身の英語力を高めていかないといけない、と再認識されたことが一番の成果です。(会話力を含めたトータルな私自身の英語力を…)

[中学校]
英語を使うよき機会に恵まれました。さらに研さんをつみたいと思いました。

[中学校]
普段様々なことに追われてなかなか英語の勉強する機会がもてなかったがこの研修はいい刺激になった。自分としても勉強の時間を生み出して英語力を向上したい。

[中学校]
聞く力、話す力をより一層向上させる努力をして行きたいと思います。[中学校]

とにかく自分の英語能力を高めなければいけないと強く感じました。生徒が話せるようになるには教師が話せなくては行けないと分かっていながら、今まで具体的な努力ができていなかったのも、この研修を良い機会にできると思います。[中学校]

日ごろ自分自身の英語力を向上させる機会が取れないのでとてもよかったです。

[中学校]
英語を使う動機付けになると思う。忙しくても頭は使えるので英語で考える習慣を身につける。発音の練習はとても役に立った。

[中学校]
英語の授業を英語ですめることは、生徒の英語力の向上に深くかわかることを実感しました。実力をつける努力の必要性を実感しました。[中学校]

教師自身が英語の教え方や自分自身の英語力を日ごろから、つけていかなければならないと感じたりして、とても充実した研修だった。[中学校]

英語教育に関するたくさんの課題について情報交換ができたことは大変良かったと思う。自分の英語力の向上については短期間、しかもトレーニングの要素が少ない研修では無理だったと思う。しかし、これからは少しでも自分の英語力の向上に努力しようという気持ちになりました。[中学校]

今回は自分自身の英語運用能力について深く考えさせられた、研修であった。今後は継続して努力していきたいと思う。

[中学校]

新採用研修以来自分自身の英語運用能力を知る、よい機会でした。今後の授業に役立てたいと思っています。

[中学校]

個人としての英語の学習意欲はアップした。もっともっと英語運用能力の質的向上を図ろうと思う。ただ、教科指導法に関しては、授業の柱に教科書をおかねばならないのに TASK の話ばかり聞いても、現場で費やされる時間量とマッチしていないと思う。(TASK の話そのものは良かったと思う)

[中学校]

現役の教師が授業でどんなことをどういう風に教えているのかのワークショップが一番興味を持ち聞けたり、実際の授業に役立つと感じた。外国人によるワークショップは自分自身もっと英語を勉強しなければという動機づけになった。

[中学校]

語彙力のレベルアップの重要性を痛感した。

[中学校]

今回の研修は、非常に長く感じた。(全体を通して)ただ今回研修に参加して、自分の英語教育の指導能力を向上させる“きっかけ”になったと思う。4年教育をやってきて、忘れかけていた自己研修意欲が自分の中に出来た気がします。本を読もう、授業を向上させよう、英語をもっと話そう、そのような気になりました。

[中学校]

なかなか忙しくて自分の英語能力を高める努力を怠っているのでは時間を見つけてくれてブラッシュアップしていこうと思うよいきっかけになりました。

[中学校]

きっかけ(自分の英語力を Brush up)づくりになったと思う。

[中学校]

大学を出てから小学校に勤務していた事もあり、英語力は、もうすっかり中学生レベルの私にとっては、理解力がないために hard な面がたくさんありました。でも夏休みの ALT との Talking を交えた研修はとても良かったです。低レベルながらも英語を話したり、聞いたりし、他の先生方の ideas の感心したりできました。自信もつきました。レクチャーより、小グループでの研修をのぞみます。

[中学校]

地区別研修会の6日間は、楽しく充実した研修ができた。リラックスした雰囲気、積極的に英語を話す気になりました。

[中学校]

大変であったがやはりかなりの刺激を受

けられた。自分の英語能力不足を感じ、ブラッシュアップしたいと思う。

[中学校]

刺激になりました。Skill up は自己研修することなのは言うまでもありません。

[中学校]

実際に英語を使う機会・場面が多くあり、自分自身の英語力を向上させるのにはとてもよいセミナーだった。これを機会に、これから自分自身でいかに継続的に英語力のブラッシュアップに努めるかが大切なことだと認識している。

[中学校]

久しぶりに一日中英語を聞き、英語で考え、英語を話した10日間でした。ALT とじっくり話ができた4日間でもありました。彼らの生の声が今後とても役立つように思います。

[中学校]

自分の指導方法について振り返る良い機会になった。さらに自分自身の英語力を向上させるために今後どうすべきか、という目標を持つことが出来た。やはり、今まで自分自身の勉強不足から十分英語が使えていなかったのと、とにかく努力をしていかなければならないと痛感した。

[中学校]

英語科教員の英語運用能力の必要性を今まで以上に感じた。これからも生徒に実際に使える英語を指導していきたい。

[中学校]

いろいろな講義を聞いて、自分自身の英語力向上を目指す動機づけになりました。ただ、実際の向上には、なかなか10日間の研修では難しかったです。あとは、自分の研修だと思います。それと年間10日間の時期が、学校にも迷惑をかけてしまう時期になってしまいました。

[中学校]

ESL のイメージネーションに参加しましたが全て英語で行われ自分自身も英語を使わなければならないので運用能力が伸びた気がします。大変に役に立ちました。今後の英語の活動はやはりこのように行いたいと思います。

[中学校]

自分の授業を見直し、改善するための多くの視点を与えられたので、今後に生かしたいと思う。自分自身の英語の能力を高めようとする強い意欲を持つ事が出来た。

[中学校]

自分の授業の課題としてとらえていることを、研修を受けることで、直接的に改善できたことは感じないが、他の先生たちと意見を交流できたことは、大変よかった。

また、今回の研修に参加したことで、自分の英語力向上の必要を実感し、英語力向上に向けてのモチベーションをあげることができよかったと思う。[中学校]

自己の英語力の向上を意識づけることにとてもよい研修でした。しかし、もっと専門的なアプローチも知りたかった。(日頃、学校外で学ぶ機会が少ないので、いろいろな新しい情報として)リスニング能力やスピーキング能力を上げる Training があれば、さらに良かったです。自身としては自己を動機づけるにとってもよい研修でした。[中学校]

研修に参加し、今英語教師に求められているものは何か考える機会になった。国際社会の中で次の世代を担う中学生に本物の英語運用能力を身につけさせるために単に高校入試の指導にとどまらず「使える英語」を念頭に今後指導していく必要を強く感じた。そのために自分自身の英語力向上のため努力を重ねなければと痛感した。

[中学校]

自分自身の英語運用能力をもっと高めるように、努力したいと思う。[高校]

今回この研修を受け、自分の英語力のなさを痛感しました。自分の英語力を向上させることを真剣に考えようと思います。

[高校]

今の自分の英語力を向上させる方法がいくつか見つかりました。生徒に対しても、新たな取り組みを試したいと思わせられました。ありがとうございました。[高校]

10日間で英語運用能力が向上したわけがないと思うが、情報交換や講義による研修が、良い刺激となったのは事実です。

[高校]

改めて自分の授業を反省してみるよい機会になった。いつもは集中して英語を聞く時間が少ないので、英語での講義も listening の練習になり、グループ討議は speaking の練習になった。[高校]

自分の力のなさで落ち込むこともあったが、この機会に様々な情報が得られたこと、英語力を高めなければならないことを自覚させられ、その方法も幾分見えたことは役立ったところだ。[高校]

研修に参加した他の先生方とディスカッションをする機会を通して、授業改善や自己の英語力向上のために様々な努力をされ

ていることを知り、自分にとってとてもいい刺激になったと思います。[高校]

講演会の講師の選び方が非常に良く、自分自身の英語力の向上にすぐに役立ち、またモチベーションを高めることができた。今後どのような方向性をもって、学習をすれば良いかも形が見え始めている。

[高校]

英語を聞くことはだいたい慣れてきたが英語で考え話すことはスムーズにできないので努力したい。[高校]

わずか数日の研修で自分の英語力が上がったとは思えないのですが、自分と同じ英語の先生たちが高いレベルの英語力をもってしていると知って自分が勉強不足だと痛感しました。そういう意味でこれから英語力向上を目指すいい動機づけがこのセミナーでできたと思います。[高校]

講師陣がすばらしく有効な研修となった。自分自身の英語力をアップせねばという思いと、使える英語を生徒達に伝授したいと思った。[高校]

自分自身の英語力を向上させる機会としてよかったと思います。今後の活動に活かしたいと思います。[高校]

英語力の向上を計るよい機会になったと思う。[高校]

英語に触れる機会がほとんどなく、また自分の学習をおろそかにしていたため、この研修は自分自身のブラッシュアップになった。また、生徒の能力が低いと授業はすべて日本語で行ってきたが、ほかの先生の実践を聞き少しずつ classroom English に挑戦していこうと思えるようになった。

[高校]

英語を話す環境に自分を追い込むことが能力の向上を助けると思った。生徒にも同じだろう。[高校]

すべてが英語を使って行われたが、リスニングについては、思いのほか、分かったので自信を持ったが、スピーキングが、なかなか思うようにできず研修が必要だとわかった。これから、復習したり、工夫していく必要があると思う。[高校]

一日を通して英語づけの日々は、慣れてくるととても刺激的でいい経験となりました。講師、ALT ともにすばらしい方ばかりでもっともっと自分をみがいていこうと強く思いました。[高校]

とても刺激的な研修でした。自分自身の英語力アップに関して、授業に関して、初心にかえって厳密にやらなければ、という気持ちになっています。[高校]

自分の英語力の不足を感じ、これから毎日自己研鑽に努めようと思いました。論理的にわかりやすく話すことがいかに難しいかがわかり、その点を特に改善したいと思います。生徒にもっと生の英語に触れさせる機会を与える必要があると感じました。ALT やインターネットをもっと利用したいと思います。[高校]

私自身は今後、どの様に工夫して取り組むべきかである。研修を通して、自身の英語能力の向上につながったかどうかは、わからないが、今後の英語教育の展望を考えたうえで、英語力を向上させなくてはという気持ちにはなった。[高校]

英語教育のあり方がかつてと大きく変わり、自己の英語能力を向上させる必要を強く感じました。[高校]

講師の方の英語勉強法がためになった。もっと英語ができる人の体験談を聞いてみたい。[校種不明]

(2) 授業を頑張ろう

4つの技能(読む力・書く力・聞く力・話す力)の関連をはかりながらの指導を今後考えて一層努力し、自分自身も自己研鑽しないといけないと思いました。[中学校]

ディベートやスピーチ、(久しぶり?)ディベートは初めての経験で、ドキドキしながらやってみました。論理的に意見を伝える大切さを学ぶことができたと思います。Communicationする楽しさをこれからも忘れないでいたいと思います。[中学校]

全てがspecial Lectureであったのだが、理論あり、実践あり、自身のトレーニングありと、とても役に立つものが多く、得られるものが多い。有意義な研修であった。9月からの授業改善に活かしていきたいと思う。[中学校]

この研修期間中、本当に素晴らしい先生方の講義を聴くことが出来、有効なsuggestionをたくさんいただきました。自分自身で考えるだけではなかなか授業を変えていくことは難しいですが、このセミナーで得たものをもとに、出来るところから改善していきたいと思います。[中学校]

英語の指導で考えられるすべての分野について、素晴らしい講師からためになる講習をうけられたことは本当によかったと思う。この体験を今後の自分の研修、授業にいかしていきたい。お世話になりました。

[中学校]

日頃の現場での様々な課題を解決すべく、充実した内容を研修で参加できたことも嬉しく思っています。これからの意欲にずいぶんつなげることができ、新たな目標設定を必ずし、仕事をより楽しく充実したものとしていきたいと思います。まだまだがんばっていきます。ご指導に感謝しています。

[中学校]

その分野で非常に功績のある先生方からの講義を受けられてことが非常にラッキーだった。内容がもりだくさんだったので、授業に還元できそうなものをひとつづつゆくりといれていこうと思う。また、他の先生方から出された様々なアイデアが非常に参考になりました。

[中学校]

様々な分野に渡って有効な講義を受けることが出来、自分自身の学習が出来、大変ありがたいと思います。指導案作成や大変ありがたいと思います。指導案作成や授業実践なども、他の先生方から学ぶことが出来、今後の授業に生かしたいと思います。

[中学校]

全般的には、自分の英語の力をたかめるためのきっかけ、または授業をより良いものにしていくためのきっかけとなる研修だったと思う。実際、いろいろなことが学べた。ただ、能力テスト(TOEFL)の実施の意図がいまひとつ理解できていない。自分の力を把握するためなら、このような研修で一斉に受ける以外にも方法はあると思うのだが。

[中学校]

This seminar was very good for me. Because I could know my English ability again. From now, I'll change my English teaching method as possible as I can depends on students' situation. Thank you.

[中学校]

英語を教えようという私自身のモチベーションを上げることができたのが、最大の収穫でした。

[中学校]

英語だけで授業や生徒のspeaking力の評価法など、日頃悩んでいることについて3人の先生方から話しが聞けて大変参考に

なった。また、自分自身が生徒の立場になって考えることもできた。2学期以降の授業の中で自分なりに工夫して実践していきたい。

[中学校]

3つの講義、それぞれ、とても参考になりました。Speakingについてもっと力を入れていきたい。

[中学校]

本研修で学んだことを今後の授業の中で生かせるように工夫したいと思います。

[中学校]

今は、終わった直後なので、そう思うのかもしれないが、「授業を改善したい!」という強い思いでいっぱいだ。講義の内容をまだ理解しきれていないので、復習して頭の中を整理し、夏休み後の授業に生かしていきたい。

[中学校]

どの研修内容も実践的なものばかりで、興味深く、また楽しく取り組むことができました。教えて頂いた様々な技術や授業の工夫等を用いて、今後の授業改善に努めていきたいと思っています。

[中学校]

講義の中で、生徒が英語を楽しそうに話しているビデオを見てショックを受けた。今の自分の生徒たちと全然違う。あんな風にしたいと思う。ただ、すぐにはあんなことはできないので、段階をふやしてやっていく必要がある。何をどうしたら良いのか手探りですが、失敗してもいいからいろんなことをやってみたい。

[中学校]

今回の研修は大変有意義なものでした。素晴らしい講師の方々から目の覚めるような取り組みを紹介していただき、うなずきなくなるようなお話を聞いたことで、英語教育のあり方や自分の授業を見直そうと強く思いました。この思いを、ぜひ職場の方々や仲間にも伝えたいと思います。

[中学校]

今回の本当にボリュームのある研修は、これからの授業づくりにたいへん役立ちました。そしてまたそれ以上に自分自身の課題がかなり明確に見えてきました。ありがとうございました。

[中学校]

学期中の研修は物理的にも精神的にも参加することが難しいが、今回の研修は夏休み中に、多くの先生方からの講義を受けることができて、まずは「意識改革」という意味で非常に有意義なものであった。2学期以降の授業にどのような活かすことができるか、少し楽しみにしています。

[中学校]

正直、この研修を受ける前は、勉強ができるという前向きな気持ちもありましたが、強制されているという思いもぬぐいきれませんでした。しかし、多くの先生方の、今まで受けたことのない講義の数々により、まさに目からウロコが落ちる思いをし、心から楽しんで毎日の研修にのぞみました。欲をいえば、この研修がもっと夏休みの早い時期にあり、もっと早くアイデアをいただけたなら、残りの夏休みを使い、今までと変わった、よりよい教材作りができたのにといいいます。二学期から試してみたいことがたくさんあります。準備が間に合うか不安ですが、今回学んだことをこれからいかしていきたいと思っています。ありがとうございました。

[中学校]

様々なコミュニケーション活動が紹介され、とても参考になりました。自分の授業をもう一度見直してよりよいものにかえていこうと思います。

[中学校]

自分の力を知るとともに、英語力向上に向けて、努力しようと前向きに考えるようになった。英語の授業でも、集中研修で学んだことを役立てていきたいと思う。私自身、参加できて本当に勉強になったと思う。

[中学校]

発音やテキストの効果的な使い方、授業の様々なアイデアなどは今後の自分自身の英語学習や授業に使える材料がたくさんあった。この研修で学んだことを少しでも、これからの英語学習授業に生かしていく事が今後の課題である。

[中学校]

受講内容はすべて魅力的であった。さまざまな角度から現在の英語教育に必要な知識や情報を得ることができ、有意義なセミナーであったと思う。楽しい英語教育に向けて多くの課題を発見し、実践に努めたいと思う。

[中学校]

①4技能がそれぞれバラバラに高まるのではなく、相互に作用しあい英語力が高まっていくことがわかりました。②そしてやはり授業計画を立て、目標を設定し、評価して向上し続けることの大切さを知らされました。③グループワークやペアワークは生徒同士で理解を高めるのに役に立つしやはり同僚と問題について話し合うことの必要性も感じました。

[中学校]

講師の先生の講義は大変ためになり更に学習深めたいと思うきっかけになりました。

発音や音声指導について絞った研修を企画されると教師の英語運用能力を更に後押しできると思う。[中学校]

2週間、自分の英語力の向上や教授法改善にとっても役立ちました。有意義なセミナーで受講してよかったと思います。ただ、もう少し実践的であればよかったと思います。

[高 校]

自らの授業を見直すよい機会となったと思います。

[高 校]

3日間という短いものであったため、すぐに何かが身につくというものではないが、今後の自分の教授法等を考えるよいきっかけとなりました。

[高 校]

研修課題であるアクションリサーチに取り組むことにより、自分自身の英語力や生徒の実践に目を向けるようになり、授業計画をする時の意識が変わってきたように思います。

[高 校]

アクションリサーチのトピックを音読活動に設定しているため、工夫や数値の確認、アンケートなどを重ねて、今後の授業改善に取り組みたいと考えています。

[高 校]

宿題があったり内容が濃かったりしてとても疲れましたが、充実した研修だったと思います。今後の授業や教育活動に役立てられるよう努力したいと思います。

[高 校]

研修の中で特に、今後の指導に役立つ、感じたものは、S先生のPhonovisual Methodでした。自分自身もっと勉強し、深めていきたいと思います。

[高 校]

自分のこれまでの慣れ親しんできた授業を見直し、英語だけの授業とまではいなくても、もっとたのしく、おもしろく、また生徒にとって達成感のある授業が少しの工夫とアイデアと努力で実現できるということを再確認した。自分自身の英語のbrush-upと常に社会のできごとにも目を向けて、自分なりの考えを持つ姿勢を持つべきだと実感させられるセミナーでした。

[高 校]

よく計画された、いい研修でした。全国の様々なところで活躍されている名人(達人?)の授業を見せてもらったり直接お話が聞けるような機会がもっとたくさんあると良いと思います。今回そういう機会がありとてもいい刺激となりました。

[高 校]

5日間という身近い期間であったが、さ

まざまな先生方のご意見をお伺いして刺激になった。日々悩んでいる部分もあり、今後の授業計画の工夫の手がかりになった。

[高 校]

ほかの先生方の授業を見るとさまざまな点で工夫しているを感じた。自分は、低辺校ということもあり、なかなかうまく教科指導を行える状況にないが少しでも今回の研修を参考にして、今後の授業改善に役立てたい。

[高 校]

授業の工夫する必然性がよくわかり、自分の今までの怠慢な授業やほとんど日本語で指示する授業をぜひ変えていきたいという意欲が持てたことがこの研修を受けてよかった最も大きな点である。しかし、自分の英語の技能をあげる点では、もっと内容を工夫してもらいたい。

[高 校]

ほかの先生方も自分と同じ問題や悩みを持っていることがわかって、英語教師として前向きになれた。ずっと生徒指導の方ばかりで、教科指導から遠ざかっていたので、勉強するよい機会になった。

[高 校]

この研修の話がある人から聞いたのが去年の11月。10年研の社会体験学習が2年前の8月の最終日で、教科研修が11月だったのでもうすぐ丸2年になる。生徒の学習意欲の動機づけにレポートの重要性を選んだ。教師にとって必要十分条件として当たり前のことであったが私にとっては斬新なことであった。この2年間というものの、とても苦しかったが授業がとても楽しかった。時々生徒間の私語が多かったり、隣のクラスの先生方にはとても迷惑をかけたと思う。みなさんは我慢してくれてたと思っている。ただ周りの方々がとても温かい方ばかりであったと思う。みなさんの暖かい、私の今後に対する期待の念に応える為にはどうしたらよいかずっと考えていたように思う。それに応ずる為には自分の授業を今よりわずかばかりでもよいから改善の方向に向けることが大切だと判断した。9日間の研修は私の授業の改善には十分なすばらしいものであった。ある人は私にこう言っているように思えた。「逃げちゃいけないよ。自分を変えることに躊躇してはダメです。あなたに今必要なのは研修です。大事な株ですから、もっと未来を大事にしてください」。私にはそう聞こえました。僕は逃げませんでした。これである人との約束が果たせま

した。また明日からいつもの道のりを追いつつも美しい風景をながめながら、学校に行き、教卓の前に立ち、前をしっかりと向いて授業したいと思う。[高 校]

英語の授業は英語で行うことが益々重要な時代になってきたと実感した。自分の授業を様々な観点から改善していきたいと思います。[高 校]

様々な講師の方々の実践しておられる教授法には驚きでした。また思いも寄らなかった視点から斬新な方法を自信を持って教室で活躍されておられるのが、大いに刺激になりました。「これなら私にもできるかも知れない」という勇気を与えてもらったような気がします。[校種不明]

(3) コミュニケーションの活動を

英語の指導で様々なコミュニケーション活動を中心としたActivityの例が示され、今後の授業活動への参考になった。少しマンネリ化した自分の指導法を顧みて新たな刺激が与えられた。ただ、スローラーナーへの手立てとか指導法などについての講義や演習もあったらよかったと思います。

[中学校]

communicative English のための授業のヒントをたくさん得ることができました。大事なものはこれらをどのように実際に自分の授業に生かすかだと思います。ただ、教師自身のコミュニケーション能力を高める研修が少なかったのが残念です。[高 校]

今回、10日間にわたる様々な観点からの研修は、英語教員として今後、いっそう授業を工夫してコミュニケーションにしようという気持ちに火をつけてくれたと思っています。日々の勤務の中で忘れがちになってしまう「常に向上しようとする気持ち」が私の中に強烈に再び芽生えたのです。よりよい授業、よりよい教師を目指し、今後も努力していきたいと思います。本当にありがとうございました。[高 校]

Communicative Language Teaching Method については新しい information はありませんでした。20年前に私が研修で学んだことや Sandra Savignon, Stephen Krashen 等での著作で読んだことが中心になっていたように思いました。でも、後半はよかったです。しかし、英語教育の方向は、Communicative Way で行くという

のが main になっていることを知って、うれしく思いました。私も生徒の英語力を高めるために講師の示してくれた具体的な例を用いてやって行きたいです。[高 校]

(4) 私、向上します

講義の先生方の講義内容や話し方、演習が楽しいことに大変勉強になった。集中研修を行ってもらってとても良い意欲づけになった。自分自身の英語力向上をさらに頑張ろうと思った。授業も具体的に振り返る良い機会となっている。大変良い研修内容だった。

[中学校]

授業改善のためにも、自身の英語力および英語指導力のレベルアップを日常的にはかかっていく必要があると痛感している。

[中学校]

日々の授業に直接かかわる英語運用能力の向上に成果があったかどうかはわからないが、指導方法が目まぐるしく変化する中で、知識と技術について考えるよい機会となったし、また、自身の英語力向上を図っていこうとする意識を持つことができたと思う。

[中学校]

この研修5日間を終えて、自分自身が生徒を教える上では英語の力をつけなければならぬと思いました。今後もっと実生活で英語を使える生徒を育成するために、授業をより一層コミュニケーション活動を増やす等、改善していくべきだと思います。

[中学校]

教師としての自覚を持ち、自己の英語力・指導力向上のために大変役に立った。すべての講義が英語で行われたのは、きつかったがよかった。

[中学校]

10日間でしたが、もっと時間があればもっと一つ一つの講義が、さらに深めていただけたのだらうなと思うと、少し残念です。私自身は研修前よりも、自分の英語に少し自信が持てた（持つことが大切とすれば）し、また同時にまだまだ自分の思いをスムーズに英語で表せないもどかしさも感じ、今後努力し、授業についてももちろん考え方を新たにしていこうと心を誓っています。

[中学校]

明確な年間授業計画を立て、日々の授業がその計画にしたがって「線」でつながっていけるようにしていきたいです。「時間が…」ということが言い訳にならないよう

にしたいです。 [中学校]

研修に参加して英語の運用能力を高めた
と思う刺激をうけました。その研修だけ
でなく、参加するための自己研鑽を積もう
とする意識が高まりました。 [中学校]

カナダでの講座についての説明も聞きた
かった。多くの情報を知ることができ今後
の教育活動にとっても役に立てることができ
る。 [中学校]

自分の英語運用力や英語教授力がストッ
プしていることを近年とみに感じていたの
で、また、頑張らねば…という刺激をもら
いました。特に、コミュニケーション能力
の重視が叫ばれているので、さまざまな活
動の創造が必要だと感じました。 [中学校]

とても意義のある10日間でした。夏期の
研修ではイギリス人講師から「生徒が自信
を持てるように工夫しよう」というヒント
をいただきました。2学期始めの研修の評
価についての講話は、もっと早く聞きたか
ったと思います。今まで以上に評価と指導
のあり方についてははっきりと結び付けて考
えられるようになった気がします。今回研修
を受けたメンバーがお互いに情報交換する
ことができ、日々の授業に生かせるような
ヒントをたくさん得ることができました。

[中学校]

様々な講義や演習を通して、多くのこと
を学んだ。自分自身の英語力の向上のため、
また、授業改善のために努力していこうと
決意を新たにした。 [中学校]

ALL ENGLISH はハードな面もあるが、
自分の能力を向上させるためにはいい機会
だと思う。いろいろな分野の先生から講義
を受けることができ、よかった。 [中学校]

この十日間は、厳しくもありましたが、
非常に有意義な内容と講師の先生方、スタッ
フの先生方のおかげで、たくさん学ぶこと
が出来ました。 [中学校]

このようなすばらしい研修の機会をあ
たえていただいたことに感謝し、今後、自分
の英語運用能力、英語教授能力を高めてい
きたいです。ありがとうございました。

[中学校]

今回の研修を通して、①授業で使える活
動を学ぶことができ、今後、自分の授業で
取り入れたいと思う。②自分の英語力が分
かり、今後、少しずつでも、英語力を高め
るため、家で勉強したいと思う。 [高 校]

初めの研修なのでどのように研修内容を
充実したものにするべきことを常に考えてお
くことは大変でしたが、参加された先生方
のご協力のおかげで充実したものにするこ
うことができました。研修自体は自分の英語
運用能力を高めるのに大いに役立ったと思
います。今後も自己研鑽に努め英語運用能力
を高めると同時にコミュニケーションを重
視した授業を展開していきたいと思います。

[高 校]

英語教員が学ぶという事の大切さを新た
めて認識できた。教員の意識が少しずつ変
化すれば日本の英語教育の現状も少しずつ
変わりそうな気がする。今後も自身の英語
力、指導力の向上のために取り組んでゆき
たい。ただし校務が忙しい中での TOEFL
の受験はかなりきついものがあり、満身に
勉強できないままでの受験となったことが
残念である。数年後に再度受けてみたい。
長期的に英語力向上を目的に取り組みたい。

[高 校]

この研修では、具体的な英語力の向上と
いう点では成果があったかどうか分からない
が、これからの授業についてや、自身の
英語力向上について考える動機づけという
点では大いに役立った。 [高 校]

Oral class の教材の工夫をさらに進める
必要性を痛感するとともに、自らの listen-
ing, speaking の能力を高める努力を重ね
る決意をした。 [高 校]

自分自身の英語力をもっと高めなければ
ならないと思った。また、それ以上に授業
方法を改善していきたいと思った。大変有
意義でした。 [高 校]

自身の授業見直しや英語スキルアップへ
の動機付け、よいきっかけとなった。しか
し、やはり、10日間という短い期間で急激
にアップするはずはなく、その点もはじめ
から期待はしていなかったのも、今後も努
力を続けていこうというきっかけになった
という点で今回の研修はよかったと思う。
一つ一つの講座をより掘り下げてもっと詳
しく学びたかったという消化不良の点もや
や残るが、勉強になった。All English で
なくてもよいと思う。ローカルエリアだけ
英語、ネイティブの講師のときは英語…。
などと、flexible にしてもよいのではない
ですか？ [高 校]

日常の忙しさに追われる中で、この研修

に参加し、本当によかったと思っています。第一に自己研修の必要を強く感じ、第二に英語に対するほかの先生方の熱意に触れることができました。ALT 以外の Native と話す機会はほとんどないので、大学の講師の講義は大変アカデミックに感じられ、もっと自分をそのような環境において、英語能力と指導法を高めていきたいと思っています。

[高 校]

自分のためになりましたし、そのことが生徒のためになると思います。目に見える成果を期待されても、すぐにはあがらないと思います。少し時間をください。努力はし続けます。

[高 校]

発音の向上というのがメニューにあったので、特に期待していたのですが、実際私の属したグループでは実施されなかったので残念でした。ライティングの考え方がとても参考になりました。他校の先生方の実践内容を聞いて今後に生かしていきたいです。

[高 校]

10年研修を過ぎるとなかなか今回のような研修の機会がないので、改めて自分を見つめなおして、英語能力を向上させたり、授業の工夫を試みたりするよいきっかけになると思う。

[高 校]

久しぶりに研修を受けまして、大変勉強になりました。今後の授業等いろいろな面で役立つ研修であったと思います。

[高 校]

自分にとっては有意義であった。英語を通じて、英語を教える学校に来て2年目、自分の英語を聞く力、話す力を少しでも伸ばす必要を痛感していたので、自分でもすべての活動に積極的に取り組んだと思う。英語だけを使って過ごす時間を多くもてたこと、ほかの学校の先生の授業のアイデアを得られたこと、英語を使って行うのにふさわしい様々の活動を体験できたことは大きい。今後も継続してこういった研修の機会がほしい。ただし、最初の年ということもあろうが、スケジュールが何度も変わること、課題がきちんと与えられないこと、指導者の準備が不足していること、評価のためのアクティビティが変更されたこと、事前の指示が徹底していないこと、などは今後改善して、よいセミナーにしていってほしいと願っている。以上のような、改善してほしい点はあるものの、全般において

は、力がつくように工夫され、効果的でサクセスフルなセミナーであったと感じている。繰り返しになるが、こういう研修は、一回やったきりではその効用はだんだん薄れてしまう。希望者だけにでもよいから継続して毎夏受けられる講座を設けてほしい。もしくは、民間の研修を受けることの時間的、経済的サポートをしてほしい。

[高 校]

自身の英語力向上の観点からは、程遠い内容だった。(私は、定年後通訳または、翻訳をやりたいと考えており、通訳検定を受けつつあるので。)しかし、英語教育力・教授法に関してはとても役に立った。

[高 校]

直接日々の授業改善に役立つものではないが、自分自身の英語力の向上や指導法については考えるきっかけとなった点はよかった。

[高 校]

10日間、われながらもがんばったと思います。Unit A のとき、“You are a strong speaker and have a skill.” といわれ、自信ができました。

[高 校]

わずか10日間で教員が話せるようになるとは思わないが、きっかけ作りにはなったと思う。要は、これを機に各自が真剣に勉強していくかだと思う。一般企業のような厳しさ（結果が出なければ減給）を求めます。

[高 校]

研修を終えて、授業スキルアップに関してはもちろん、自分自身が研究すべき事柄も見出すことができた。また多くの先生方と意見交換をしたことにより、貴重な教授法や教材を得ることができた。

[高 校]

自分自身の英語運用能力の確認には役に立った。他校の先生方の実践を聞き、広い視野で指導法を考えるきっかけとしたい。日程的には厳しく、他の校務（部活動指導等）が十分できなかった。この点は今後再考していただきたい。自らの意志で参加したこと自体に意義を感じている。生徒を変えるためには我々自身が変わることが必須。その足がかりとなるよう今後努力したい。

[高 校]

この研修で変わったというより、reconfirm したという感じです。英語を聞き話す chance として、よかったと思います。

[高 校]

自分が変わらなければならないのだとい

うことを実感した。授業についての工夫もさることながら、自分の英語力を向上させる努力をしなければならないと強く感じた。また他の先生方からの話も大変参考になった。 [高 校]

大学の先生方による Lecture や、ALT によるコミュニケーションプラクティスでは参考になることや、今後に生かせる部分が多かった。ただ、年間10日間の研修ということで、夏季休業中以外の日程においては、学校を長くあけることになったので、授業やクラスのことなど気になることが多かった。 [高 校]

今回の研修に参加して本当によかったと思う。講演は英語教育の新しい視点に気が付き、ALT とのコミュニケーションプラクティスは参考になるものばかりだった。また、他の JLT の先生方と一緒に過ごすことで、その素晴らしさに触れ、良い刺激になった。変化する時代の中で、日本の英語教育がどうあるべきか、求められる英語教員の資質とは何かについて考えさせられた。ありがとうございました。 [高 校]

“My own goal”を決めることはしたが、それに従った活動ができなかった。しかし、そうかといってこの研修自体のあり方を疑問視するつもりはない。研修の数日間だけが主要ではなく、重要なのはこの研修後、私がどのように自己研修につとめるか、であると思っているから。 [高 校]

ALT の方々との交流もあり、様々なトピックについて学ぶことが出来たと思います。授業について情報交換することによって、今後の授業の改善点が見えてきましたし、改善方法についてもよい勉強になりました。 [高 校]

They were all interesting and inspiring. I believe all the ideas and techniques will be useful to improve my English ability and to make my classes more effective and lively. [高 校]

研修に参加したことで自分自身の英語運用能力が急に伸びるということは、ありませんでしたが、良い刺激になりました。今年度は、比較的出やすい立場にあったのですが、現場で忙しくしている教員にとっては出張にでると前後のツケを大きくまわってくるので大変だと思います。休業中に全てやっていただくと喜びます。 [高 校]

自分の英語力向上のために何が必要か、なぜ必要か、どう活用するのかの明確な提案を受けることができ、本当に勉強になった。これを機会に、もっともっと自己能力の向上に努めたい。同じ学校の教員の方と情報交換ができた点も良かった。 [高 校]

県には ELEC 等の会も少なく自己研修に励む機会が少ないので今回の研修はとても有意義でした。語学研修的な内容も組み込まれていればもっと良かったかなと思います。 [高 校]

自己研鑽の大切さ、及び、日々の授業の目標設定・評価の大切さが認識できた。英語教師は大変だ。 [高 校]

今回の研修を受けて、今、英語教育が求められていることが理解できた。また、教室で参考になる方法も教えていただいた。そのことを真剣に受け止めて、出来るだけ取り入れて行かなければ英語教師としても化石化するし、これからの国際化した世界を生き抜く子供たちに少しでも英語運用能力を高める方法を取らなければいけないと危機感さえ覚えた。 [高 校]

研修は自分の英語力や指導方法を振り返り、また新しい事柄を学ぶいい機会になったと思う。 [高 校]

研修に参加してよかったと思います。いろいろな観点から指導を受けることが出来、自分の力不足を実感し、また、学ぶべきことがたくさんあるということを再確認しました。このような気持ちを保ち、生徒への授業に少しでも反映しなければと思います。そして、できれば、自主的に研修へ参加できる問題意識を持った教師に近い将来はなっていたと思います。 [高 校]

自分の力や課題を見つめ考えるきっかけとなった。今後も課題に対して研修、実践をして変わっていきたいと思った。 [高 校]

間違いを恐れず、英語でコミュニケーションを行うことのモデルに教師がなって、class でも生徒達に英語を話しやすい雰囲気づくりを心がけようと思う。 [高 校]

講師の先生方や一緒に研修に参加した先生方から受けた影響は本当に大きかった。4 技能のバランスを考え、今後の授業展開をどうしていくか課題である。 [高 校]

本来、勉強や研修が好きで、採用後2年はそのことに誇りを持って続けていました。

が、現場の先生方に「勉強や仕事をがんばりすぎると長く続かないし、周りにプレッシャーを与える」という内容のことを言われ続け、気持ちが負けていたことを痛感しました。またその発言をされていた先生方は、私をリラックスさせるために言うただけで、本当は本人も努力されているし、それを評価して下さっていたことに、この研修がきっかけで気づきました。これからバランスをとりながら良い教師をめざしていきたいです。 [高 校]

英語力の向上という点では何とも言えないが、自己研鑽をしていこうとする良い刺激にはなった。マンネリ化を防ぐためには良かったと思う。自分の授業においても改善点が見つかった。 [高 校]

全10日間の研修であったが、振り返ると夏の5日間集中講座が、内容、量ともに充実して良かったと思われる。遠くからの参加であったため、研修前後の移動がかなり負担になった。研修授業を行う中で、自分の足りない所や工夫についての数多くの示唆をいただいて、大変参考になりました。スピーキングとリスニングに工夫を行って、平素の授業スタイルを大いに工夫していこうと考えております。 [高 校]

今回の研修は、自分の英語運用能力や英語教授法を反省し、さらに向上させていくという意識を持つことにつながったという点で多いに有意義であった。これを足がかりとして今後教員を続けていく限り、絶えず自己修練にはげもうと思った。また、他の色々な学校の色々な先生方の様子や助言もあり、大変得るものが大きかったと思う。強いて言わせて頂ければ、今回は初年度で仕方ないかもしれないが、研修内容についてもっと計画的で有効なものになればと思うところがあった。 [高 校]

英語教授力については、研修を通して多くのアイディア、授業改善に必要な視点などを学び、これから目指していくべき方向を考える良い機会となりました。ただ、英語運用能力については、まだまだ十分ではないと思うので、これから学んでいきたい。 [高 校]

今回の研修のみで、英語運用能力を上げるのは不可能であり、講義や他の教員とのディスカッション・プレゼンテーションを通して自己改革のきっかけ、ヒント、道

筋を知るためのものであったと感じる。

[高 校]

授業について、また自分の英語能力について得るものがいくつかあってよかった。授業変更をして参加したので授業が込んで忙しかった。 [校種不明]

(5) もっと研修します

3年間の授業の計画をたて、そのために今何をすべきかということが大切であると再認識した。その場限りの授業では発展性がないとしみじみ思った。特にT先生の話は感動した。同じ公立中学でここまで出来るのかと思い、英語を教えることが人間教育と深い関わりがあると再認識し、勇気をあたえられた気がする。ゆくゆく授業のビデオがあれば見たいので貸して下さい。教師の英語運用能力を伸ばすことも大切であるが、いい授業をすることで生徒は確実に力をつけ興味を示すのでそのことに重点を置いた今回の研修は意義があったと思う。いい授業のビデオや示唆を受けることで教師はいい授業をする為に自分自身を高める必要を感じるならば強制される研修よりずっと効果がある英語運用能力を高める為だけの研修は実際はなかなか生徒に還元されない。私個人としてはH先生のレクチャーは興味があったがこのレクチャーをはじめに持ってきて問題提起 (English as an International Language) をしたほうがよかったと思う。この5日間は私にとって有意義なときであり、また9月から初心にもどりがんばろうと決意を新たにしました。ありがとうございました。 [中学校]

自己研修を日常的に行うことの必要性を強く感じました。 [中学校]

研修自体が英語の運用能力を高めたというよりも、がんばって勉強しようというモチベーションが高められたという点で、この研修が良いものだったという評価ができます。準備ご苦労様でした。

[中学校]

教員自身が絶えず自己の研究と修養に努めなければならないということを改めて痛感しました。 [中学校]

とにかく集中して英語を聞いたり話したりしたので、かなり疲れました。自分の英語の力を知るよいチャンスになりました。率直なことを言えば、半日ぐらい講義形式

で息抜き(?)の時間もあるとよかったです。夏休み中はTOEIC-IPテストにむけて勉強したのですが、継続して取り組む必要性を強く感じました。(仕方ないのですが) 私にとってはエアコンが少々ききすぎでした。 [中学校]

研修を通じてディベーションは高まりました。これを持続させたいと思います。

[中学校]

英語教師として、“英語の運用能力向上”と“指導力の向上”という2つの課題の重さをあらためて認識した次第です。限られた時間の中で、如何に勉強していくかが課題であると痛感させられました。 [中学校]

大変参考になる講義等を聞いて良かったです。ただ、その分課題の多さ、大きさにも圧倒されています。一度には進まないと思いますが、1つずつ課題克服に向けて取り組んでいきたいです。 [中学校]

英語力をUPさせるためには、それなりの時間が必要である。そのため、たった10日間で力がUPしたとは言えない。また英語の教師の力量をTOEICの得点で判断されるのも疑問に思う。研修は継続的にやっていく必要がある。ただ、今回の研修が、自分にとってプラスになったのは事実だし、これから自分で研修を積んでいく必要性を感じ、自己研修の第一歩となったのは、事実である。5年間で英語の全教員が研修ということなので、5年後に730点とれるようにしていこうと思っている。 [中学校]

授業内で使える classroom English について学びたい。(教科書に載っているものではまかなえないので) 海外での教授法やその道具についても学びたい。 [中学校]

日ごろから英語力向上のため学習の必要性を感じてはいましたが、なかなか実行できずにいました。今回の研修は大変でしたが良い勉強になり、今後の学習へのよい動機付けとなりました。 [中学校]

日ごろの生活の中で英語を勉強する時間を持つことはなかなか難しいと思いますが、研修の時間を与えていただいたことで勉強にたいする意欲高まりました。他の参加者の方から刺激を受けたことも良かったと思います。 [中学校]

自分の表現力のなさを痛感する良い機会でした。他の先生方の流暢な英語を聞き研修の必要性を改めて感じました。これから

も頑張りたい。 [中学校]

長い教職経験にもかかわらず、貧弱な英語能力しかない自分が情けなく生徒には大変申し訳なさでいっぱいである。この研修会が新たなスタート台に立った決意である。

[中学校]

研修は教員にとって、とても大切なことだと改めて感じさせられました。特にリスニングや発音は勉強になりました。

[中学校]

中学校教師になって8年が過ぎ、自己英語能力を高めるような経験がほとんどありませんでした。もう一度、初心にかえって勉強しなおしたいです。 [中学校]

今後継続して研修に励みたいと思います。

[中学校]

講師の方々はみんな熱心に教えてくださいだったので、自分もがんばらねばという気持ちになり、二週間集中して取り組みました。とても有効な研修だったと思います。10日間の交通費をもっときちんと出していたきたかったです。 [中学校]

英語教員にこんなにも期待をかけられて、しっかりと還元しないと罰があたると思います。今まで以上に精進していきたいです。 [中学校]

なかなか生徒指導など他にも雑務で追われている毎日で自己研修に励む機会が少なかったがこれをきっかけに勉強しなければいけない自分に気づかされました。

[中学校]

研修内容はとてもハードだったが、英語教師としての意識の意識改革のためにはとても有効だったと思う。これを機に自己研修を深めたい。 [中学校]

厳しい中にも充実した研修内容で、自分自身の英語力、授業を見つめ直す本当に良い機会になりました。地道にコツコツと授業を少しでも良いものにしていきたいです。 [中学校]

3人の先生方がそれぞれの専門分野で研修されてきたことを短い時間であったが集中して受講することができ大変参考になった。今までの自分の授業を振り返るようでもこれからの授業力向上のためにも、これからの自己研修の意欲につながったように思う。 [中学校]

今回の ESL 特別講座は自分自身の目を開かせるものとなりました。英語教諭とし

て働き出したのは2001年の4月、大学卒業後1年の講師期間を経ての後です。赴任したのは小さな村の、生徒数の10名という小さな学校。私にとってはかなりのカルチャーショックでした。それまでに学んできた数々の活動を実践しようにも、1クラスが2名、3名、5名の状態では、グループワークはおろかペア・ワークもままならず、思考をこらしてもどのように活動もコミュニケーションにしていけばよいかわからずにいました。もちろんどう教科書の先生は他になく、他の学校の先生方もそれ程までの小規模校での実践方法について考えられず、初任の私はその状況を卑屈に考えるばかりでした。それでも、自分なりに研修を重ね、試行錯誤しながら2年間、その学校の子供たちと英語学習に取り組んできました。ALTの訪問がないため（局から年に最低1回はありましたが）、パペットを作り1人2役を演じたりと…。我が地方にはその様に努力を続けている方が沢山おります。そしてその多くが、若い先生方です。今年度は、前任校の閉校と共に生徒数25名の学校へ転勤しましたが、試行錯誤の毎日です。今回、Dr. Bの講義を受け、とてもわかりやすいB-SLIM理論、英語教育に傾ける情熱に触れ、「これなら（この方法なら）すぐに現場で実践しよう。」と思いました。これから現場に戻り、今回の学習を振り返り、自分なりにまとめ、自分のものにしていく予定です。そして、これからも研修を重ね、常にimproveし続ける教師でありたいと思います。[中学校]

自分の教授力がいかにワンパターン化していたかよくわかった。また、中学生レベルの英語に慣れてしまい、自分自身の運用能力のレベルアップのためのトレーニングを怠っていたことを痛感した。[中学校]

今回の研修には、とても期待をしていました。これほど集中して英語を学ぶのは久しぶりであり、まさに「英語のシャワー」をどっぷりあびることで、自分自身を英語力や指導力を見直すことができました。今後まだまだ研修すべき点も残っていますが、とにかく何かが私の中で動き始めています。すばらしい機会をもてたことに感謝しています。[中学校]

自身の英語力や授業を見つめ直すよいきっかけとなった。英語力の必要性を特に感じ

たので、今後自己研修に励んでレベルアップをしたい。英語の授業力については、今回の研修で学ぶことが多かったが、英語力の向上のためには、もちろん自分で学習することも必要だが、夏休み短期で海外語学研修のチャンスがあればいいと思った。（自己負担金が少し発生してもよいので）現行の語学研修では条件があって行きにくい。[中学校]

日々の授業や生徒指導などに追われ、自己の英語力や英語教授力の向上という意識がうすらいでいたように思う。今回の研修を通じて、もう一度原点に戻り研修を深めていこうという意識がわいた。“When, Where and How?”という課題を自分なりに克服していきたい。[中学校]

集中研修を通じてテクニックや理論的なこともですが、それ以上に自分自身を見つめ直す良い機会になったことが一番の収穫だったように思います。是非、自己研修を続けて目標をクリアにしていくことができる様に与えられたわずかな時間を有効に使って日々向上していきたいと思っています。[中学校]

研修に参加したことは、これまでの指導を振り返る機会になり、また、今の教授力や学力を考える機会になりました。さらに県内の先生方とも話をしたり、交流することもでき職場の多忙な中でも役立てていこうという気持ちもできました。思ったよりは回数が少なかったもので、今後の自己学習においてどれだけ自己啓発していけるか、心配はありますが、頑張るしかありません。ひとつだけ意見を述べさせてもらおうとしたら、中学3年の教職としては、進路事務を集中して行う時期の研修は、他の3年職員に負担をかけるものでしたから、少しでも時期がズレていると助かります。[中学校]

研修を通して、自分自身の英語力や英語教授力について、確認することができ、今後の自分の目標をより具体的に考えることができたと思う。研修したことを、しっかり活かしていこうと思います。ただ、日々忙しい中、いかにして自分の学習時間を確保するかはとても課題になります。じつくりと学習する時間がほしいと思います。[中学校]

個々の能力を養成する研修というよりも、

現在の英語教育の潮流や、それを支える理論、あるいは教育機器の利用といった背景的な事柄を学ぶことができた。これらのことについては、現状では Catch Up できておらず、それを学ぶことにより個々の能力を高めていくことの必要性を痛感させられ、自分の課題としてとらえることができた。

[中学校]

自分の英語力の向上につとめるようになった。授業の内容をバランスのとれたものにして工夫するようになり、今後も自己研修と改善につとめていきたい。[中学校]

この研修は非常に役に立ちました。これからは、自分自身が目標を具体的にたてて、自分自身を高めていく努力をしなければならぬと思いました。[中学校]

日頃の教員の仕事が多過ぎて、自分の力をつける時間確保が難しい為、困っています。ラジオやテレビで自然な英語を聞く時間を確保しようと努力していますが、最近では疲労から、ボーっと聞きながしたり、ついうとうとしたりで、スランプを感じていました。今回の研修に参加させてもらい、自分の新しい目標が明白になりました。時間のない中でどう取り組んだらよいかわかりました。どうもありがとうございました。

[中学校]

ポートフォリオの書き方についての詳しい説明がなくよくわからなかったため完成できずに研修に参加した状態であった。今後は自分なりに明確な目標をもちたい。

[中学校]

なかなか厳しい研修でしたが、自分には大いに刺激になったと思います。これからも自己研修に努め、授業を改善していきたいと思います。どうもありがとうございました。

[高校]

講師の方々は素晴らしく、示唆に富む内容であった。自身の英語能力向上のための研修の必要性を更に強く感じた。この機会をいかして、長期的な視野に立ち、取り組みたい。

[高校]

日々の校務に追われ、つつい…。となっていた自己研鑽の良い機会となった。自分の中での向上心がまた一層強くなってきた。研修は、ある意味で私の良いきっかけとなった。自分の弱点も明確になった。[高校]

このような研修の機会は、我々にとってはとても貴重なものであり、また必要なも

のと感じました。他の研修とは異なり、様々な分野の研修を、それぞれがつながりを持たせながら集中して勉強でき、モチベーションが大きく高まったように思えます。また、自己研鑽への意欲も高まり、すぐにでも深め、実践していこうと思っています。

[高校]

今回の研修はいろいろと学ぶことが多かったが、特に自分自身の勉強の良い刺激になった。

[高校]

発音・語彙力・文法力等、自分の英語運用能力の速効的向上に役立ったとは思わないが、今後それらの能力を向上させるために自己研鑽に努める大きな動機づけになった。今後は積極的に自己研鑽に努めるし、同僚や仲間と刺激を与えあって運用能力向上の他の点でも（指導法・評価 etc）共同して研究していきたい。このような気持ちが高まった点では、本セミナーは意義深かったと思う。

[高校]

とても楽しい雰囲気で、しかもわかりやすいレッスンでした。英語を話すことが苦手でしたが、自信がついたのと同時に、もっと勉強しようというやる気が出ました。P C 先生どうもありがとうございました。

[高校]

自分自身としては、このように集中的に英語の研修をしたのは久しぶりのことであったので大変刺激を受けた。ややもすると英語の維持・向上の努力をおろそかにしがちだが、日常的に研鑽とつんでいくように努力したいと思うようになった。

[高校]

充実した講義内容で大変刺激になった。「英語の授業を工夫してみよう」「自身を持って英語を使おう」新たな気持ちで、仕事に取り組めるように思った。この研修を活かし努力を続けたい。

[高校]

今回の研修は本当に有意義なものでした。これを機会に一層自身のレベルアップに努めたいと思っています。

[高校]

地区別研修（6日間）はとてもためになった。それは発表や発言する場が多かったことで、危機感を感じ勉強する時間が増えたことが一番大きい。また、ほかの先生たちの英語力も知ることができたので、この人のようになりたいという目標を得たのも収穫だった。

[高校]

初めの年だったので、受講している方も準備された方々も手探りで研修であった

のではないかと思います。自分が期待していたものとは違ったものだったがこれから色々勉強しなければという動機づけにはなった。

[高 校]

研修の最終目標は自分自身にあるのだと思う。この機会にさらに精進してゆきたい。

[高 校]

今回の研修では多くの学校の先生方が集まり、それぞれの学校で工夫されていることや、先生方の個人の意見やアイデアを交換できたことに大きな意義があったと思う。また、今後さらに自己の能力を向上させたいと思うきっかけとなった。

[高 校]

自分の知識を整理するために役立った。研修内容が浅く広くであったため、今後さらに深めてゆくために、国外で行われる研修の情報や現職のまま大学院に通える方法など様々なことを知りたいと思うようになった。

[高 校]

10日間の研修で、自分の英語運用能力が著しく向上したとは思えませんが、英語教員としての意識を変えるには大いに役立ったものとなりました。まずは自己の英語力向上のために自己研修を重ね、できるだけ多くの事を生徒に還元していきたいと思います。

[高 校]

非常に内容の濃い研修だったように思います。採用後、12年目を迎えましたが、自分の指導法を見直す価値ある研修でした。

8月に行われた前期研修のインパクトはとても強いものでありました。自分自身の英語力アップの必要性を痛感させられました。TOEFLでも目標点に達しなかったため継続的な学習を今後、していかなければなりません。この10日間で得たものを、研修だけで終わらせることがないように日々、自己研鑽にはげみたいと思います。高校教育課の皆様、講師の先生方には大変お世話になり、ありがとうございました。

[高 校]

充実した10日間であった。(疲れたが)自分の英語力向上、英語指導力向上のための足がかりをつかめたと思う。今後出来るだけ自己研修を継続したい。

[高 校]

自分の言語運用能力や指導方法を認識するのに役だったと思う。授業の改善に役立つアイデアをたくさん知ることが出来た。十日間の研修では、自分の英語力が飛躍的に向上したとは思えないが、今後も自己研鑽を続けて行きたいと思った。

[高 校]

今後の研修に活用したいと思います。

[高 校]

自分の英語力向上や英語授業内容向上の点でとても刺激があったが、計10回という5年計画の全員研修という観点からするときついものがあった。All Englishにこだわらない研修ももう少しあっていいと思う。

[高 校]

研修を受ける事は大切だと思った。授業をもっと改善したいと思っていたが、何をどのように変えたらいいのかわからなかった。この研修を受けて具体的な目標を持つことが出来た。

[高 校]

講師の方々がすばらしく久しぶりに学生に戻った気分でした。指名されるのではないかとグループ内で発表したりドキドキしました。まわりの先生の方の真面目な態度にも感心し、また自分も頑張ろうという気持ちになりました。ありがとうございました。

[校種不明]

私自身全く英語活用能力がないということを実感しながら、この研修をとっても楽しみに待っていました。5日間毎日とても楽しかったです。恥をかきましたが、「勉強しなければならないなあ」と我が身の学習への動機づけに役に立ちます。少しでも授業で生徒達に返していきたいと思っています。

[校種不明]

(6) 使えるアイデアがうれしい

ほかの先生のアイデアや指導法が参考になり刺激になった。なかなか研修するチャンスがないので、こういう場があってよかった。大学の先生の講義はすべて英語であったが、よしあしがあると感じた。今後の自己研修に勤めたい。

[中学校]

自分の英語力を見つめ、教材開発に対しても、他の先生のアイデアに触れる事ができ、よい刺激になった。

[中学校]

はっきり言って、「目からうろこ」が落ちたような思いです。様々なアプローチの仕方があるんだと痛感したし、日頃の自分の授業がつまらなく思えました。もっともっと改善していく余地があることが分かった。明確に授業の目標を持つことで、評価もかわるという重要性が認識できたことも大きな収穫です。2学期からの授業は、できるだけ英語でやるよう挑戦したい。

[中学校]

それぞれ専門的な立場で、いろいろなアイデアを学んだ。まず、授業のどの部分をまず改善するかを明らかにして、学んだ方法の中から解決法を探っていきたい。

[中学校]

英語を教え始めて、数年のため、すべて英語で行われた講義はなかなか難しく感じましたが、大変勉強になりました。ほかの先生方と交流ができ、授業のアイデアを交換できたのはとても嬉しかったです。これから、さらに勉強をしていかなければならないと痛感しています。

[中学校]

色々と貴重なideaを教えて頂きありがとうございました。今後共自己啓発に励みたいと思います。

[高校]

様々な学校の先生の意見やアイデアを聞けることは非常に有意義であった。自分が受講した内容を各自が勤務校に持ち帰り、他の教員に伝えていくことで英語科全体のレベルアップを図ることが必要だと思う。今後5年間といわずに、今すぐにでも全教員の意識改革を行う必要があると思う。英語運用能力のトレーニングについては、自分自身でやるものであり、今後もこのような教授力についての研修がさらに充実していくことを期待しています。

[高校]

英語力の向上にもつながりましたが、特に授業の進め方について研修できた点は非常によかったと思います。自分だけの進め方ではあまり効果はないだろうし、他の先生の授業を見るだけでもだめだと思います。いろいろなアイデアを聞くことができてとても良かったです。

[高校]

(7) 生徒の気持ちがわかった

今回の研修は自分の指導力を向上させるためにとても役に立ちましたが、それ以上に自分の意識を変えるのにとても有意義なものとなりました。まず久しぶりに学習者の立場になり授業を受ける生徒の気持ちを実感し、今までの授業を反省しました。そして一日中英語だけの環境に身を置き学ぶことで、自分ももっと英語を使いたいという気持ちになりました。今まで自分自身が授業で英語を使う割合が少なかったので、今後たくさんの英語のシャワーを生徒に浴びせ、授業中に日本語を使うことが不自然に感じるような雰囲気を作っていこうと思いました。

[中学校]

自分が生徒の立場になって授業(研修)に参加して強く感じたことは1. 英語は頭の中で理解するものではなく使うものであるということ2. 文法説明だけの授業はとてもつまらないということでした。自己表現をするためにも語彙を増やすことは必要なので、継続して行う指導を工夫したいと思った。Target Sentenceの説明がうまくできたとしてもスキルのことを継続しないと力はつかないと思うが、現実には授業時間数が多くてきめ細かな指導ができないのが悩みである。

[中学校]

自分の生徒の立場に立って物事を考えることができてよかった。自分の英語力を振り返るといより普段、このように英語のシャワーに浴びることがないので、(あえて、毎年の夏はそれをするために単身、海外の友人のところに滞在しに行ったり、海外でのセミナーを受けたりしていた。)よいチャンスになった。しかしながら参加された人が全て日本人なのでどうしても(休み時間など)日本語を使ってしまう。もしALTが一緒だったり、海外での研修であれば、一日中、本当に英語に浸れたのかも知れません。

[中学校]

生徒の立場になってみて、学ぶ事を再体験できた。学習で最も大切なことは、「動機」だと再確認した。教師は、常に生徒へ「目的」と「動機」を確認していくことを忘れてはならないと思った。

[高校]

一番参考になったのは、授業中に生徒が感じていることを自分自身感じられたことである。授業(講義)に明確な目的を持たせ、講師と受講者がそれを共有することができれば、内容の到達は簡単になるだろう。自身もそのように授業を行いたいと思うし、研修についてもこのことを希望する。

[高校]

(8) とにかく刺激的でした

ALTとの授業計画をはじめ、長期のプランがあいまいで目標がかすんでしまう傾向があったのだが、今後の改善の「動機づけ」になったと思う。

[中学校]

教師の英語運用能力、英語教授力共ない私でありましたが、一流の先生方の講義を受ける機会が持てて、たいへんラッキーであったと思います。また他の先生方からもいろいろと刺激をうけました。これからの

自分自身での研修がとても大切になるので具体的な目標を決めて継続していけるよう努力したい。 [中学校]

このような研修は我々教師にとって最良の動機付けになると思う。教師同士の切磋琢磨になる。 [中学校]

現場の教師の実情にあった良い研修会だった。どの講師も先生にも特色があり、いろいろな面で刺激をうけた。 [中学校]

私自身とても勉強になったと思う。Lectureの内容は、とても難しいものだったがとても意義のあるものだとおもった。 [中学校]

10日間こうして研修を受けることができたのは大変有意義でした。特に EiA から実際ヨーロッパで教えている先生方の話を聞くことができたのは、大変刺激になりました。今回の「行動計画」で私達英語教員がより良い研修を重ね、英語教育を変えていくことができたらと思います。できるだけたくさんの人間が、研修の機会を得ることができることを願います。 [中学校]

自分自身の意識を変えていくにはいい機会と思う。 [中学校]

大きな刺激となって良かった。少しづつでも、教えて頂いたことを参考にして活用したい。 [中学校]

教師になって以来初めて本格的に研修を受けて大いに刺激になり、学ぶものもたくさんありました。こういう機会も必要だと実感しました。 [中学校]

自分自身の英語運用能力を向上させようとする意識を強く持つことができた。大きな刺激となった。 [中学校]

今後の自己研修の励みになった [中学校]

夏休み中とはいえ、この研修は精神的に大変なプレッシャーを与え、ストレスが増加した。しかし内容は的を得たものもあり、長い間気づかずにいたことに気づいたりしてよい刺激となるものもあった。普段は週3時間で教科書をこなすのに必死で忙しい日々を過ごしているが、時間を何とか作って何か新しいことにチャレンジしようという気になった。 [中学校]

集中して英語に触れ、刺激を受けながら色々と学ばせていただきました。今後努力して、日々の授業に生かせるようがんばりたいと思います。 [中学校]

今回の集中研修は、自己点検、反省する

うえで大変役に立った。他の先生方の英語能力や指導方法に触れることができ、刺激にもなった。今後は自己研修を深めたい。そのための時間をどう作るのが課題ではあるが…。 [中学校]

研修を通して、自分自身の英語力や英語教授力をみつめ直すきっかけにはなったが、実際に自分自身の英語ブラッシュアップは、こうした形の研修でははかれない。意識改革という意味では、有意義であるが、研修のあり方、内容については一考していただきたい。「授業数の確保」と相反する研修時間の多さであった。 [中学校]

10回の研修で、大変よい刺激を受け、授業づくりの面でも自分の英語力に関しても、もっと厳しい目でとらえて日々とりまかなければと振り返ることができました。とても感謝しております。欲を言えば、NPO主催の英語セミナーから「達人」と呼ばれる方々をお呼びして、実際に演習させてくださるとより効果が実感でき、日頃の授業にも新しいアイディアを組み込んでいけるのではないのでしょうか。「自分のやり方」のみに固執してしまい、なかなか新しいものを受け入れるのは難しいでしょう。 [中学校]

良い刺激になりました。これを機会に忙しい日々ですが自分を高めるにいろいろな角度から新たに学んでいきたいと思います。 [中学校]

授業を自習にしてまでは困るが、10日というのは短い。特に TOEIC を受験する目的ならば6月からの準備では多忙な折難しい。日々の生活には刺激にある研修であった。 [中学校]

いい動機付けになったと思います。 [中学校]

British Council の講師による授業はとても判りやすく、また4日間英語漬けで様々な先生の意見も聞けてよい刺激になりました。TOEIC はⅢ、Ⅳ、Ⅶがきつかったです。更なる努力が必要だと感じました。 [高 校]

自分の様々な課題が見えてきて、これから大変だと考えさせられる研修であった。この研修の成果があったかどうかは今後の自分の取り組み次第であると考えるが、良い動機付けにはなったと思うし、研修内容も非常に様々なことを考えさせていただ

て良かったと思う。[高 校]

今後の自己研修を深めるきっかけになった。今後の英語教育改善の方向性が少し見えてきたと思う。[高 校]

各講義や活動ともバランスがとれて内容で大変参考になった。ただ、teaching plan 作成は、普段や研修の際にやっているもので不要だと思った。5日間という短い期間なので、資質向上というよりは、いい動機づけとなったと思う。[高 校]

教育改革が英語教科にどのような関わりを持つのか、教員の在り方などについて深く考える機会となった。10日間のまとまりのある研修を受けることによって、自分自身の英語教育に対する考え方も、良い方向になってゆくと感じた。[高 校]

日頃、忙殺されることが多くなり、特にこの1・2年公立高校の実態であると思う。All English の atmosphere に身を投じることで、極めて、refreshing summer school であったと思う。何かのきっかけ作りになったと思う。[高 校]

学校レベルが様々なので、直接参考になるかはわからないが、自分自身への良い刺激になった。夏休み最終日は会議等込み合っているので外してほしい。[高 校]

speaking (writing) についてどのように指導するか。赤本の模範解答でも、あまりにも不自然な英語だという記事を時々目にします。生徒の英作文のみならず、私自身の英文も、文法的に正しくても「自然さ」については全く自信がありません。AET にたずねても「…It is possible.」程度のコメントしか返してくれず常に不安感がありましたが、これからは「これが Japanese English だ!」と開き直そうと思います。[高 校]

総じて大変有意義な研修であったように思う。中高教員合同というのも良かった。お互いのギャップを認識できたし、刺激にもなった。[高 校]

教員生活が長くなってくるうちに、自然に安易な授業に対する姿勢がしみついていたように思います。各々の研修も参考になりましたが、他校の先生方の前向きな姿勢に最も刺激を受けました。研修の内容はセッションによっては内容が多すぎたり適度であったりしたものがありませんでした。[高 校]

英語の教員がそれぞれ工夫したり、研修

したりしていることがわかった。[高 校]

他校の先生方が実践されている指導法、英語教育に対する情熱は今後、自分が教師を続ける上で励みになると思う。[高 校]

今回の研修は良い刺激になった。特に大学教授の講演は久々に知的好奇心を満たしてくれた。忙しい日々の中で自己の英語力向上のことなど、なかなか考えられないのが現実だが、その必要性を再確認した。しかし研修の日程等で同僚や生徒に迷惑をかけたので県教委の配慮と改善を期待したい。[高 校]

教員にとって、研修の動機づけとして大いに役立つものであったと思う。[高 校]

非常に役に立ったし、何よりも、刺激を受けて、私自身の意識が変わりました。[高 校]

主体的に取り組む姿勢の一助となりました。[高 校]

実際、10日間で英語能力の向上は無理。ただ、意識の向上には大いに役立った。[高 校]

先生方の中には、自己研修をやっている人もいると思うので、そういう方にとってはこの研修に対してはあまり効果がなかったかもしれません。自分にとっては、消極的でした。やはり受講してよかったと思います。[高 校]

これまで自分の授業方法を種々に工夫し実践してきたつもりだったが、一度できあがってしまうと、いかに保守的な立場になるかがよくわかった。ある意味で自分の方法に限界を感じ始めていた時だったので、今回の集中研修は内容的にも自分の啓発にも非常に効果的だったと思う。自分のウィークポイント克服についても、「やる気」があるかどうかにかかっていることがよくわかった。[高 校]

研修の成果を現場にどのように還元していくべきか、が今後の課題だと思う。この研修の受講者が2年後、3年後に職場の英語教員に占める割合が増えてくれば必ず現場は変わると思う。初年度の受講者としてそのパイオニアとならなければならないと思う。[高 校]

3年間を見通した目標をもとに2年終了時に自分が教える生徒にどれだけ英語力をどんな風につけていくかを真剣に考えていくいい機会になりました。また TOEIC の

試験がどんなものか求められている読解力がどんなものかもわかった、が短期間では自分の英語力を向上させられない。不断の努力でBBCやCNNを聞くとか雑誌、小説を読んでいくしかないと思う。研修内容としては受信の英語のみならず発信の英語についてしてほしいと思う。[校種不明]

日々の校務に追われて、英語力を向上させる気持ちを忘れつつあったので、ものすごくいい刺激になりました。ただ、夏休みに十日間すべてを終わらせるのは厳しいスケジュールであるし、夏休み以降この刺激を持続させておくのは難しいと思う。

[校種不明]

本当に、自分がかわっていかねばならない思い実感した。この研修に参加して得たものを、今後活かして生きたいと思う。この10日間はたいへんだったが、すばらしい10日間であった。こういったチャンスを与えて下さって感謝している。自分のペースがあるが、頑張っていきたいと心から思う。

[校種不明]

中学の先生との意見交換、授業のビデオを見ることができ参考になった。また、ほかの先生ががんばっているのを見て刺激を受けた。

[高 校]

7. また、参加したいんですけど

4日間英語漬けになり、自分自身の英語運用能力が少しは上がったように感じられる。授業の計画を立てる上で大切なことと、そのときに大変参考になるアイデアなどをたくさん示して頂き、とても有意義な研修であった。またこのような機会があれば(時間があれば)、ぜひ参加したいと思う。

[中学校]

英語を指導する立場として、ある程度自分自身に英語に対する自信を持っていなければならないのは当然である。発音が良い、悪いなどではなく、「私はこうやって英語を楽しんでいる」というモデルとしても非常に大切なことである。指導法についてとやかく言う先輩方はたくさんいるが、根本的なコミュニケーション能力に欠けている英語教師が多いことが印象的だった。研修については、英語で進められたこともあり、集中して聞くことができた。特に Lesson Planning では実践的で現場で生きる活動

であった為とても有意義な話し合いができた。今後もこのような研修を設けて頂けるとありがたいです(大変ですが)。

[中学校]

一生に一度きりでなく、継続して研修できるシステムはできないものではないかと(とても有意義なものでした)。

[中学校]

今回、このような機会が与えられ、自分自身、とても勉強になった。1回限りで終わりでなく、継続して研修が受けられるようになるにとさらに嬉しいです。

[中学校]

このような研修に参加できてとても有意義でした。一度参加した教師もまた、希望すればこのような研修に参加できるような制度になればと思います。

[中学校]

ALTによる実践交流を通して彼らの考えやJTEへの高い要求を知ることができた。今後もこのような研修を長期休業中に設定してほしい。

[中学校]

初めは少し抵抗がありましたが、やり始めるとこれも必要なことだと感じ、4日間集中して取り組みました。TOEICを受けるのは大切なことだと思いますが、少し気持ちに負担がありました。しかし、こんな機会でもないと思えないので…。でもこの4日間の研修はとても充実したものでした。また研修のみならば受けたいと思います。

[中学校]

今回の研修では最初は不安でしたが、毎日、疲れたけれどとても楽しいものでした。英語を教えていく中で、使える方法がたくさん習うことができました。今は、自分の授業を変える気で満々ですが、いつも研修後しばらくたつと、忙しいことを理由に元に戻ってしまいます。Camel先生が言われたように、全部ではなく、少しでも変えていけたらいいと思います。今年受けた人も来年4日連続でなくてもよいので、単発でこういう研修を組んでもらえるとありがたいです。そして…海外研修も是非させていただきたいです。

[中学校]

こういう研修を受ける機会がもっと欲しいです。(一年間とか、そういう機会がもっと多くの人にあって欲しい。限られた人でなく。)自己研修には限界があります。まず自分の英語力を高めたいです。あと、高校の先生とは、現場で使用するVOCABULARYが違うので、一緒に研修を受けるにはいい刺激になりましたが、思

うように発言できず、というか、発言しづらかったのが、残念でした。いい研修でした。ありがとうございました。来年も受けたいです。

[中学校]

授業における教授法について、詳しく知ることができました。しかし、それを実践していこうと思うと、やや難しいと感じます。4日目は、初日に比べると随分と英語を聞き取れるようになってきました。また熱心な講師の講義は、授業方法を工夫する為に役立ったと思います。年間を通じて、受講できる機会があると良い。

[中学校]

集中して、英語の勉強をする機会が今までなかったのが、よい機会となった。英語学習は継続することが大切であると思うので、また、TOEICを受けるなどの機会を与えてくだされば、勉強の励みになると思います。

[中学校]

普段、自己流で常に問題点を多々感じながら英語の授業を行っています。ですが、その解決の糸口をみつけるための教員間のコミュニケーションの時間を確保するのが難しいのが現状です。もっと、どんな教員でもやりたい研修を用意して Skill up できるシステムが欲しいです。自費や研修もできますが。やはり、決められた期間に同じ研修を受けるだけでは、満足できませんでした。また、このように継続して受けられる研修の機会をもっと増やしてください。

[中学校]

10年間の研修とかなりの短期間で行ったので、正直かなり疲れた。しかしながら様々な講義や演習を通して今後の授業に役立てたいと思うものを数多く得ることができた。また多くの英語教師と意見を交換できたこともメリットであった。年に数回はこのような研修があってもよいのではないかと思います。

[中学校]

よい刺激となった。時折このような勉強の機会があると非常にうれしい。

[中学校]

もっと長い期間研修を受けたいです。特に前半での native speaker との演習は、もっと期間を延ばしてほしいです。

[中学校]

英語運用能力の向上のために、ネイティブスピーカーを講師とした研修はもっと長くて良いと思う。

[中学校]

とても良い研修でした。今後も、定期的にこういった研修があると良いと思いまし

た。

[中学校]

Y先生の講義では、生徒の関心をひくための授業の展開の仕方が学べてよかったです。K先生の講義も英語での授業の進め方が、学べて、また、このような講義がきければと思いました。

[中学校]

授業を行う中での様々な活動例、教材の選び方等、すぐに自分の授業に取り入れられるものも多く、大変参考になりました。自身の英語力の向上のために、ネイティブの先生の研修をもっと受けたいと思います。

[中学校]

今回の研修は、今までの授業を振り返り反省できることや、すぐに授業で実践できる活動例を紹介していただくなど大変有意義でした。このような研修なら、大歓迎、いつでも参加します。

[中学校]

英語運用能力の向上のための研修会をもっとたくさん行ってほしい。来年度以降の研修もすでに受講した人でも（毎日とは言わないが）一部参加可能のようにしてほしい。今回の研修はどの講師の先生も興味深いお話をしてくれましたが、M先生のお話も聞きたかったです。

[中学校]

すばらしい先生方の講義を受けることができ、今回の研修には大変満足しております。教えていただいたことを、自分の中で消化し、自分に出来るところから取り入れ、今までの自分の授業を振り返り、方法を工夫していきたいと思います。指導技術や自分の英語運用能力の向上のための研修はふだんはなかなかむずかしいので、今回このような形で集中的に時間をとって下さったことはありがたかったです。研修にはできるだけ参加していきたいと思いますので、今後とも今回のような研修の継続を希望します。

[中学校]

5日間の研修で、さまざまな授業展開を学ぶことができました。特に、T先生の講義には、今までにない位、感動しました。今回学ぶことができた中で少しずつでも今後の私自身の授業展開を改善していけたらと思いました。またこのように指導法を勉強する機会があれば、ぜひとも参加したいと思います。

[中学校]

今回の研修は今までで一番為になりました。講師の素晴らしい内容によりこうも充実するのかと驚いています。このような研修なら毎夏参加したいです。ありがとうご

ざいました。 [中学校]

この研修を通して、たくさんの方の力を学ぶことができました。今後は、自分の英語能力を高める努力をしていきたいです。そして、よりよい授業を行っていききたいです。また、一緒に学んだ方々の面識も増えてよかったです。月に一度、このような研修があってもよいのでは…と思います。今後は、中高それぞれの年間行事など考慮していただければ幸いです。ありがとうございました。 [中学校]

JTE の英語力を向上させる、このような機会を今後もぜひ継続的に作って欲しいと思う。大学での研修は、希望者は毎年参加できるようにしてもらいたい。ALT との研修は、今後も、定期的に持つ方がお互いの理解のためによいと思う。(ALT の率直な意見がきけるし、こちらの実力も分かってもらえる)。TOEIC などの資格試験も、定期的に受けさせて欲しい。 [中学校]

普段なかなか英語の授業に関して学ぶ機会がないのに、今回の研修は私自身とても役に立った。教員がしっかりと時間を持って研修できる時間を今後も多く使ってほしいと思った。 [中学校]

今回の研修で英語の指導方法がどんどん変わり、研究されているのがよくわかった。英語教師を目指し、自己の英語力の向上や指導技術の向上を求めながら実際に教師になってみると、日に 5 時間、6 時間の授業数に校務分掌、部活の指導、学級担任としての仕事、雑務、生徒指導等、1 日を終えるだけでやっとの毎日である。授業準備は、自宅でするしかないが、疲れきった体と頭では良いアイデアなど浮かぶはずがなく、創造的授業から遠く。忙しい毎日の唯一の救いは授業中の生徒の顔の輝きである。それに応えられない時の情けなさに耐えることが増えていく。自分も学びたいと思って勉強を始めるが続かないのが現状です。甘えたことを書いているのかとも思うが、向上していきたいと思っても、へとへとである。そういう教師はやめればよいという返事がききそうであるが、もし、もう少しせめて毎日 1 時間の空き時間の確保や英語教師間の (ALT を含む) 打ち合わせ時間を 1 週間に 1 回確保してもらおうとか、それだけでも意欲の向上になり授業研究ができる。そうすると当然自分の英語力、指導

力の向上のための努力もできると思う。評価のあり方、基準表作り、突然の少人数授業の導入、ALT の配置「あとは先生方でなんとかしてください」というあり方に振り回される現状をもう一度整理してほしい。また今回の研修も単発では実り少ないのではと思います。定期的な英語教師の研修会があればいいと思う。定期的な英語教師の研修会があればいいと思う。一つに自身の英語向上を目標にしたもの、二つに授業改善を目標にしたもの、どんどん研修をさせて頭の中で変えていくことで「英語を使える人材」を育てる英語教育に近づけると思う。 [中学校]

講義は新しい考え方などがとても勉強になりました。ALT を交えたコミュニケーション活動はゲームレベルにとどまらず、もっと Advanced な場面を設定して討論をしたり、プレゼンテーションをしたりというような場面もほしかった。でも研修の機会が持ててよかったと思います。出会いあり、学びあり、充実した時間が持てました。今後は自己研鑽のために参加していきたい。 [中学校]

初めて参加したが、日を追うごとに講義にひきこまれていくように感じた。今回、多くのヒントを得ることができた。機会があればまた、参加したい。 [中学校]

英語のシャワーを浴びるいい機会だった。JTE 同士が話す時も英語を使い、普段なかなか接する機会の無い中学校の先生方と意見を交換するいい機会でもあった。皆さん、特に中学校の先生方は good actors & good actresses で感動しました。また英語のシャワーを浴びたいです。海外研修に出してくださいー！ [高校]

英語力が基準に達していたので、午前中の研修は受けませんでした。自分で他の研修に参加しました。毎年研修をしたいので (活動例を増やすために) また、頑張っていきます。 [高校]

5 日間集中というのも良し悪しだと思った。これ 1 回で終わりでもいいのかということである。外国人講師の方の授業は素晴らしいもので、多いに学ぶことが出来た。まだ、さらに学びたい。継続して、研修できる機会を望みます。 [高校]

英語運用能力に関する研修は、非常に興味深い研修であった。自分の 4 技能を伸ば

せただけでなく、教員同士で、生徒になってとても楽しく活動できた。また、授業のコミュニケーション活動で、利用できるアクティビティがたくさんあったので、今後に生かしたいと思う。英語の教員には4技能の bursh up は欠かせないので、ぜひ ALT と研修できる時間を毎週もてるような制度を作っていただきたい。[高 校]

これからこのような研修があったら参加したい。[高 校]

夏季休業中にこのような研修講座に（今回受講した者も）日程の許し限り再度（毎年）参加できればいいのに、と思う。

[高 校]

自ら進んでこの研修に参加したが、それだけのものがあり、大変充実した10日間であった。出来ることなら、来年も参加したいと思う。関係者の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございます。

[高 校]

意識の向上のため、今後もこのような機会を定期的に開催してほしいです。

[高 校]

普段の生活でこんなに英語に触れたり、英語を使う機会が無かったのでとても刺激になった。また、JTE の先生方も才能に溢れ、交流を持つことができ、良かった。10日間というのは、部活との関係で多すぎると思うが、毎年、このような研修に参加したい、という気持ちになった。ありがとうございました。

[高 校]

普段なかなか作れないオールイングリッシュの環境に、数日とはいえ入れたのは良かったと思う。その環境の中で相手の言ったことが理解できない、自分の言いたいことが言えないというような状況で、何ができるかが本当の英語力につながっていくものと思われる。英語教師として、常にこのような環境に身を置くことは、継続的に必要と思われます。

[高 校]

大変 英語力向上に役立った。しかし1回だけでなく、継続して学習する機会を与えて欲しい。来年度から、研修を終了した教師も参加できるセミナーを無料で行って欲しい。

[高 校]

この研修に過度に期待するのは無理であるが、非常に参考となる点も多かった。ある程度必要とされる技術の skill up を図れる継続的な研修の場も必要であろう。

[高 校]

形式的にすぎるものかと想像したが、実際、英語教授のモチベーションを上げるものだった。内容に対して回数が2,3回増えればもう少し余裕があろうが、夏休みであって忙しいであろうが、と思うしだいです。

[高 校]

この集中研修は、8年ぶりに TOEIC をうけるきっかけとなったし、同僚と数ヶ月前から毎日少しずつ英語の表現（主に授業で使えるような表現）を覚えるきっかけにもまった。県外に行けば様々な研修があるが（つくば等）、家庭の事情もありそれは不可能なので、実のところ来年以降もこの集中研修を受けたいと思っている。複数回の受講は無理というか許可してもらえないとおもいますが。

[高 校]

1年限りでなく長期に渡ってこうした研修が受ける機会があれば良いと思いました。

[高 校]

今回きりというのではなく、自主的に参加出来る研修の機会を今後もぜひ欲しい。

[高 校]

このような研修の機会を増やしてもらい、自由に参加できるような研修がもっとあればよいと思う。

[高 校]

運用能力を高める研修は、もっと設定されているとよいと思います。現在、養護学校で英語の実践には携わっていませんが、楽しく受講させていただきました。

[養護学校他]

8. この研修、誇りに思います

我が市の研修の午後は会話学校に行ってブラッシュアップするところのみは、特にすばらしく、有意義なものであったので、今後も継続していただきたい。

[中学校]

全ての講師に対して何かしら得るものがあった。ただそれを生徒にどのように差し出すかは我々の仕事だと思う。他の委員会の話を聞くとこの市の研修が一番長くかつ内容が濃かったのを嬉しく、誇りにさえました。

[中学校]

わが市の研修は量・質ともに、現時点でベストの内容だったと思います。

[中学校]

本教育センターの研修は英語教師向けの研修としては最高レベルの充実した濃い内

容のものであった。授業の位置づけを認識し、後半の具体的な知恵をたくさん学び、英語を使った面白い活動を自ら体験し、また英語そのものに対する根本的姿勢をも再確認するというようにあらゆるひつような観点を網羅していた。この研修を受けられてラッキーでした。他県では英語ペーパーテストのみに終わるところもあると聞きました。ここでよかったと思いました。

[高 校]

9. やっぱり、テストは

大変疲れたという気持ちと最後までがんばったという気持ちです。TOFELの個人的な学習が不足していたと反省しました。今後もしっかり自己研鑽したいと思います。

[中学校]

TOEFLのテストを受験するのは大変ですが、若いときからこのような研修を毎年受けることができたなら、私の英語の力ももっとついていたと思います。「英語ができればよい英語教師」とは言えませんが、「よい英語教師は英語ができる」と思います。TOEFLのテストの結果だけで教師の力量を決められたくないけれど、よい授業をするために自己研修は続けていきたいと思います。

[中学校]

テスト類(自分の能力を測定する)は久しくやっていなかったのが最初は消極的であったが、今後は時々やってみようと思う。

[中学校]

(TOEICなど)検定を受けることは私はやっているが、いくらか補助が出るとありがたい。教員自身の英語力向上に関する、講座がないことが残念である。他県では、そのようなものもあるときいて、ぜひどの県でもやってほしいと思った。TOEICやTOEFL受験は、その年に研修に行く者だけでなく、みんな受けるようにする方がよいと思う。研究授業を他人に参観していたでいて、意見をもらうのはよいと思うが、評価を点数化するのはどうかと思う。研修時に提出した課題がどう扱われているか不明なのは不満である。

[中学校]

自分自身の運用能力を向上させるには大変役立ちました。中・高間の交流ができたことも何よりでした。TOFELテストの実施については必要かどうか疑問に感じまし

た。 [中学校]

日々超多忙な学校生活の中にあって自分の英語をbrush upできるような時間を確保するのは無理である。今年年間10日間という研修であったが、毎回英語のシャワーを浴びて学生時代に戻ったようで、とても楽しかった。ただ、TOEFL550点以上とれなかった場合は、今後またちがった研修を受けるように指導が入るのか、気にかかるところである。

[中学校]

英語能力試験とこのコースとの目的がはっきりしていない。このセッションは、英語授業の改善方法に役に立ちますか。TOEICはあくまでも自己能力を知るのみで、コースとの関連がわかりません。自己能力を伸ばすためなら、毎年1度すべての教員にすべきだと思います。

[中学校]

教え子が21世紀国際社会の同じ舞台でアジアの他の国の人々と英語で意見を戦わせるのか。今回の研修で私たち英語教師が鍛えるべきことが明確にならなかった。TOEICなどビジネス英語がメインのテストでは自分の力のなさが明らかになった。しかしあくまでもTOEICはひとつの物差しでありビジネスシーンで通用するをいくら知っていてもそれを目の前の生徒たちにどう迫っていくかが鍵だと思う。英語教師を磨くのなら少人数でレベル別にして追い込み集中講座にすべきだと思う。

[中学校]

TOEFLは自分の今の英語力を客観的に知り、見つめ直すのに役立ったので良いと思う。英語教師は自らの英語力をあげるのも大切だが、最も大切なのは、生徒に対する英語の指導力をあげることだと思うので、研修ではもっと授業実践などを話しあうと良いと思う。

[中学校]

こういう研修では、英語教授力は確かに向上すると思う。いろんな人との出会い、本との出会いなど、とても刺激が多く、非常に勉強になり、すぐ使えるものもたくさんあった。しかし、英語能力試験を受けるためには、結局、こういう研修ではなく、自分自身の英語の勉強が必要である(英語受験のような)。その時間がないのが、今の日本の英語教師の実態である。

[中学校]

つくばの研修では3週間連続で1回のTOEFLテストと聞いています。10日間とはいえ連続していませんし、日常の仕事(教材研究もままならない校務の中で) 2

日も TOEFL をうけ成績が上がるとは思いません。その分、別の講義（講演、演習）であった方がよかったと思うのですが。

[中学校]

TOEIC を受けて実力をつけさせることが目的ならば、もっとテストで良い点が取れるような講座を設けて、短期で力がつくようなコースを作ってほしいと思いました。結局自分で他のテキストを買って対策を練ったがとても大変だった。ただ、他の先生方のすばらしいところをみせていただき、自分自身の教授法を振り返る好機になりました。

[中学校]

TOEFL を受験、さらに TOEFL の受験勉強をする時間を確保し、自己の英語力を向上させていきたい。ただ、学校が始まる（二学期が始まる）と、学校の仕事で精一杯の生活に戻るなので、今心の中にある「勉強しなくちゃ」という初心を忘れはしまいかと心配だ。

[中学校]

TOEIC を受けることは自分の英語力を知るためによい機会になったと思います。しかし、TOEIC の score を up させるために何を、どう勉強すればよいか知りたかったです。

[中学校]

教師が TOEIC 等を手段として自己研修を進めることは大変よいことであると思う。しかし、現実「今日の授業」のために教壇に立つ自分に何が必要で限られた時間の中で、自分が何をすべきかを考えたとき、授業では使われないであろう語や TOEIC の準備をすることではないと思う。

[中学校]

TOEIC の受験をきっかけに文法や読解、リスニングに集中的に取り組み、自身の英語力の向上にはつながったと思う。仕事をしながらだこのようにじっくりと問題を解いていくような英語とのかかわりはなかなか難しいので。一方で、「指導力」という点で考えると、はたして今回の研修がそこへつながっていくかは分からない。とにかく中学校の教員が今一番求めているものは教材研究や授業の準備に費やす時間、ゆとりだと感じている。持っている力を生かせる授業のために時間がほしい。

[中学校]

TOEIC 受験の為にずい分時間を使った（研修の中で）。これは、自宅でやれることであるし、自宅でやったことの方がとても多かった。TOEIC〇点が目標というのが大きかった。これがあるからかなり勉強し

たが、この為の研修なら皆で集まって行うのはどうかと思う。この結果がどう使われるのかがとても不安だ。

[中学校]

教師自身の英語運用能力を測定するテストとして TOEIC が採用されたが、これが現場の英語教師に本当に合っているとは思えない。あまりに business English に片寄っている。もっと別の、よりふさわしい Test を採用すべきだと思う。

[中学校]

TOEFL の得点を向上させることと、ALT と英会話を通して運用能力を高めることとの両立は難しかったと思います。どちらかにまとめてもらったほうが、より効果的であると思われます。TOEFL は必ずしも能力を測定できるとは言えないと思います。英語を学ぶということの刺激になっても、つながっていかないのではと心配しています。

[中学校]

TOEFL の受験は研修生にとってかなりのストレスになったように感じました。教員の英語力向上はもちろん大切ですが、英語力向上と同時に人間力の向上も必要ではないでしょうか？英語を通じて教師 1 人 1 人の人間力が向上できる研修会は考えられないのでしょうか。

[中学校]

TOEFL-ITP を受けなければならない理由が今もってよくわからないので教えて下さい。大変なプレッシャーでした。研修の時期をせめてお盆よりも前にしていただきたいです。夏休みに入ってからテストのことが気になって、ずっとストレスの連続でした。

[中学校]

all English で行われたり、専門的な講師による研修活動は自分の英語力のなさを確認し、逆に周囲の人々の英語力を知り、とても刺激になり勉強の必要性を思い知らされたが、やはり、日常が忙しすぎて、現場に帰るともとのままである。しかし、英語を多くあびることは、とても大切なことだとわかった。しかし、現場には TOEFL 試験で高得点をとるより大切な教員としての資質が、もっと他の所にあると思う。試験は無意味だと思った。

[中学校]

研修の最初に担当の方が「どこかの地区のように研修の最初と最後に TOEIC などのテストして研修の成果をみるというような事はしない」と言われていたとおり、単純に教師自身の英語力アップのためだけの研修ではなかった。我が地方公共団体の研

修の方向性、内容については非常に共感できるものだと思う。[中学校]

TOEIC とてもつまりました。できない生徒の気持ちが分かりました。生徒が自分の学習成果に自身を持つことが出来るテストづくりをしていこうとおもいました。100問ありがとうございました。[中学校]

TOEIC のテストに対する対策はこの研修に結びつかないような気がします。一つの動機づけというか強制力になるとは思います。もう少し実践例をふんだんに盛り込んだ研修になるとよいと思います。

[中学校]

TOEIC の試験の結果については、大変ショックを受けました。勉強をどこまでしたらいいのか思案中です。[中学校]

TOEIC のテストは自分の能力を知る上で、参考になったと思うが、指導主事の方やその他の方が、まったく結果については「知らない」という約束の上で、試験を受けるようにしてほしいと思う。[中学校]

TOEIC テストの個人情報情報を主催者（県側が入手して、判断）するのではないかという不信感がぬぐえない。英語能力を高めるといふ目的と研修（英語教師として）を別にして研修することがあっていいと思う。[中学校]

研修の中で TOEFL 受験は必要でしょうか。[中学校]

TOEFL を受けさせるならば、研修の内容を変えるべきだと思う。[中学校]

英語教員であるが言語学習の指導者であることを再確認できた。この研修と TOEFL との関係が分からない。A 先生のレクチャーは素晴らしかった。[中学校]

自分の英語力が採用当時と比べてずいぶん落ちていることに痛感した。研修の最後 achievement test を行うのであれば、職場において自己研修のための時間が確保できるように措置をしていただきたい。

[高 校]

この種の研修の仕上げ（？）として TOEIC 等の受験を義務づける。あまりにも低得点者は現場からはさすがの荒療治が必要。そうでもしないとコミュニケーション能力の低い教員は排除できない。

[高 校]

参加者の態度についてずいぶんバラつきがあった。幸い私は、ポジティブに受講し

ているほうが多かったので、よい雰囲気の中で研修が行えた。県は、研修の評価と自己評価等でお茶を濁していた。どうせなら、TOEFL でも英検でも受験させればよい。そうすると自分の力のなさがばれてしまうから、組合がずいぶん反対したようだ。ばかばかしい。文科省の「英語ができる日本人育成のための戦略構想」に基づき、能力不足の教員はさっさと研修→解雇すべきだろう。後半は、ちょっと過激だったけれど、まあ、意識の低いレベルの人が案外多くてがっかりしたってことです。せっかく国がお金を出してくれるんだからもう少し有効利用しよう。[高 校]

研修最終日にもう一度 TOEIC を受けたほうがこの研修の意味があったかどうかという判断をしやすいのでは？（指導法等でなく教員自身の英語力という観点に限るが。）自己紹介の時間を増やしてほしい。趣味は娯楽の話を気楽にできるとよい。[高 校]

TOEIC の受験結果も届き、自分の英語力を客観的に把握することができました。研修の中でももう少し受験対策の時間を設けていただけたら、もっと得点できたかなとも思います。来年度以降にぜひご検討お願い致します。[高 校]

4 日間英語指導について取り組んできて、最後に TOEFL ITP を受けるという流れには、疑問を感じる。研修のゴールが何なのか見えない。また夜間研修の TOEFL 対策もあまり役に立たなかった。[高 校]

試験を強制されて受験することに抵抗するが、抵抗したことで我が家族が路頭に迷うことも困るので受験する。TOEIC750 点以上取れないと不適格教員の対象にするようなことがあれば、次の就職先を文部省、県教委でしっかり責任を持ってやってほしいと思う。[高 校]

TOEIC はアメリカで就職するためのものであり、日本の英語科教員がなぜ受験しなければならないのか。特にビジネスに関する部分は低い。またアメリカ英語にのみ慣れ、それを標準とすることにも疑問を感じる。[高 校]

研修の時期が問題だと思う。夏休の補講と重なってしまい学校の方が心配だった。TOFEL の点数が今後何かに使われることがあるのか。説明がなかった。TOFEL の問題集を配布するのが遅すぎる。日本で販

売されている解説つきの問題集が良い。

[高 校]

TOFEL の試験と中学校の授業はあまり関係がないような感じがします。[高 校]

TOFEL で点数を伸ばすことがこの研修の目的であるならば、受験に関する講義をすべき。教授法とあわせて講義をするので焦点がぼやけ、結局何をしたいのか理解できなかった。[高 校]

TOEFL にしろ TOEIC にしろ長期にわたって計画的に勉強しなければスコアアップは望めません。普段の学校での仕事をして夏、たった6日間の研修で TOEFL のスコアはアップなどしません。[高 校]

TOEFL-ITP テストを2回受けたが、その2日以外の講義・演習との関わりがあまりなかったと思う。(英語運用能力の向上と学習指導の方法との関連があまりなかったと思う。)[高 校]

運用能力を高めるための研修は自由参加にしてほしい。TOEIC や TOEFL の点数何点以上とか、英検何級以上とかの制約をなくし、英語の brush up をしたい人は、受けよとしてくれたほうが申しやすい。

[高 校]

TOEIC とこの研修の関係がわからない。日程の再考。[高 校]

TOEIC のスコアが個人情報であるのに県に勝手に使われていると思う。来年受講する先生には受験しないよう、すすめるつもりである。[高 校]

TOEIC Preparation の方法をもう少し考えても良いと思う。また TOEIC よりも TOEFL をテストとして組み入れても良いのでは？[高 校]

採用の時点で英検、TOEFL などの資格なら持っている人を採用すればよいのではないかと思う。そうでなければ自由裁量で各個人で貿易の通関士の資格とか、同時通訳の資格試験とか、本来、強制されるのではなく、自発的に取るべきだと思うし、自分の興味のあるものそれぞれを大切にしていけないと、TOEFL だけでは、留学生用の大学の中で使われる英語だけを評価の対象にしているのはすごく狭い英語評価だと思う。[高 校]

英語運用能力を高めるための練習・演習(TOEFL の点を上げさせるため等)の時間がもっとあればよかったように思います。

(研修最後に TOEFL を受けるので)

[高 校]

最後に受ける試験は TOEIC の方がよかった。この研修を受けただけに終わらないようにしたいが、教員採用試験の段階からこのことを考慮して人選をすると比較的スムーズと言える。他県では、TOEIC や英検のスコアを持っていると、2次の面接が免除されたりしているところもある。採用の段階からモチベーションの高い者を選ぶことができる。ただ、英語科だけに集中すると、教員本来の本質を見落としてしまう恐れも考えられる。自分自身、教員である“ゆえん”と英語教員として求められているものとのバランスをとっていきたいと考えている。[高 校]

自分の力をフィードバックして考えることができたので、TOEFL-ITP テストは受けて良かったように思う。より向上するよう今後努力するつもりである。[高 校]

TOEFL の受験は大変刺激になりました。リスニングの力をさらにつけたい(つけねばならぬ)と痛感しました。[高 校]

1. TOEFL の結果が管理職や教委に知らされ、今後の人事異動等に影響されないか不安。さりとて、十分に勉強する時間も確保できず、不満がある。2. TOEFL の前回・今回の平均点および最高点を公表してほしい。3. N 先生のお話は理想論であって、現実の低辺校や逆に進学校ではなかなか実現できない。生徒の素地・モチベーションに、整備されたグラウンドと荒地位の違いがある。[養護学校他]

盛りだくさんの内容で、価値があったと思う。内容がどの講義も充実していた。

[養護学校他]

私自身、現在知的障害の養護学校に勤務しており、英語の授業はおこなっていないが、英語教師として、また一教師として大変良い刺激となり勉強になった。時間があればもっと聞きたいと思う講師先生が多くおられた。発音クリニックは実践的でためになった。[養護学校他]

10. ありがとうございます

3日間という短い間でしたので、自分の英語能力を伸ばすところまではいきませんでしたが、他の先生方の発表や ALT の提

言などで刺激を受け、今後の目標ができました。ありがとうございます。 [中学校]

“speaking”を受講して、外国語を話す楽しさを改めて感じました。「むずかしいからつまらない」ということでは、小さなステップをどのように準備していくかが lesson であるということを実感しました。また ALT や講師の方たちはもちろん高校の先生達との情報交換ができたことが今後の活動につながっていくように思います。

[中学校]

大変良かったです。研修したいと思ってもなかなかその時間やきっかけがなかったからです。ただ、10日間は、校務を行ってのことなので、ずいぶん大変でした。

[中学校]

集中講習は大変勉強になりました。

[中学校]

研修の内容はもちろんですが、講師の先生方、Interac の方々、ALT の方々の魅力的な話、話し方に大変感銘を受けました。そういったことも授業改善の際の参考にしていきたいと思います。普段の学校生活に忙殺され、日頃の研鑽を怠っていた自分自身を深く反省し、努力しなければいけない点を見つめることができた5日間でした。先生方に感謝します。ありがとうございます。

[中学校]

高校の先生方や、他の先生方から刺激を受け、自分もがんばらなければ、と強く思いました。4日目となると聞くことについては、慣れてきましたが、話すことはままならず、もどかしさを感じました。やはり普段から教室で使うことが大切だと思います。もう少し実践的な内容があるとよかったと思います。ありがとうございます。

[中学校]

大変ではありましたが、自分の英語力、指導法改善のために、また高校の先生方との交流、意見交換ができて本当に有意義でした。

[中学校]

生徒と同じ英語の学習者という立場に、現実的にたちもどる経験は実に貴重でした。

[中学校]

教師として何が大切なのか？魅力的な授業とは？技を磨くことができて本当に参加してよかった。

[中学校]

夏休といえども長期研修を受けるのは時間の都合上難しいのですがこの研修を受け

ることができ幸せに思います。常に刺激を自分自身に与え続けたいと思います。

[中学校]

減多にない機会を与えられ学ぶことが多くあった。中央研修の地域版で顔なじみも多く楽しかった。

[中学校]

ありがとうございます。 [中学校]

単に教科の教員というのではなく言語や文化を伝える国際社会の窓であることを改めて自覚することができた。直接授業に反映するものばかりではないが学術的な機会を得て嬉しかった。授業のアイデア、同じ教科同士の良い関係を得ることができた。精神的、肉体的に厳しかったが得るものも多かった。

[中学校]

大変有意義だった。皆様の協力によって成り立っていたと思う。

[中学校]

十日間を通してみると大変有意義でした。

[中学校]

現状をよく捉えての解説や提案が多く、受け入れることができます。急に使うことができるとは限らないが、時間をかけながらも情熱をもって教育活動に貢献したいと思います。この機会に感謝しています。

[中学校]

普段の授業が論理的に整理されたと思います。他の先生方の英語力や考え方がわかってよかった。

[中学校]

講師の方が一日いてくださるということが驚きでもあり、うれしくもありました。また、学者の理想論でなく、現場をご存知の講師のかたであったことが、大変よかったと思います。

[中学校]

講義の内容が大変充実していて、ありがたかったです。

[中学校]

普段教科以外の仕事が多く、今回のような研修をする機会がなかなかとれない。このような研修に参加するとあらためて研修の必要性を感じる。

[中学校]

interactive な授業を目指して、自分の授業を改善するための手がかりがたくさん得られたと思います。有意義な研修をありがとうございました。

[中学校]

本来なら、なかなか受講することのできない講義を受け、専門家の指導を受けることができたことを幸運に思います。しかし、現場の教員が一番悩んでいる（学びたい）点と研修内容に多少ずれがあったように思います（TOEFL 受験もその一つです）。

講師の方々が皆、専門性のみならず、人間的にもすばらしく‘教師’の模範であり、出会いを幸運に感じました。[中学校]

とても勉強になりました！[中学校]

M先生の講義は分かりやすく大変参考になりました。できればもっと詳しく勉強したいと思いました。[中学校]

大変参考になり、良い経験になりました。忙しく、なかなかこのような研修には参加できないので、このような機会を与えていただき感謝しています。ぜひ今度、自分の英語力を伸ばしていけるように努力していきたいと思います。[中学校]

お世話になりました。ありがとうございました。[中学校]

研修は必要です。[中学校]

演習が50分というのが短いと思ったが、大変有意義な研修でした。[中学校]

やはり言葉なので、長時間使用することにより慣れて聞きとれる、なんとなく口にすることができるようになった（個人内評価なので他の先生方にはまったく及びませんが…）という思いを持てる場面がありました。評価についてもだんだん見えてきたような気がします。ありがとうございました。[中学校]

この度の研修は、自分の英語能力の乏しさを再認識せざるを得ない厳しいものでしたが、それと共に数々のアクティビティを通して英語を使いコミュニケーションをすることの楽しさも改めて実感することができ嬉しく思っています。大変良い刺激になりました。[中学校]

夏休み中の3日間×2の集中研修のせいか、英語に対する理解度が少しUPしたような気がする。[中学校]

研修することの大切さ、研修を受講できるありがたみを実感しました。自分（教える側）の技術を磨き、一人でも多くの生徒に英語を好きになってもらうように努力しないと思うようになりました。ありがとうございました。[中学校]

8月6・7・8日と第9回目のセミナーは自分にとって得るものが多かったと思います。[中学校]

この2週間連続の研修は、想像以上によいもので、勉強になった。特に後半の講師2名の選択は大変良かったと思う。M先生は、大変実践的な内容を教えてくださり、

自分自身の実践を何度も反省させられた。W先生の3日目以降の評価講義は、勉強不足の私にとって非常に勉強になるものでした。（最初の2日間はちょっと理論ばかりでつらかった。）前半の1週間の英会話は、生徒に戻った気分を味わえ本当に楽しかった。グループ内の先生達との絆もふかまり…。ただ、英語運用能力を高められたかというとかは疑問です。5日間じゃあ短いし、12名の生徒に1人のnativeでは少なすぎる。12名の生徒に3～4人のnativeがいれば最高だと思います。少なくとも2人は…。[中学校]

今回は、まとまった時間（長時間）英語に触れることが出来、自信の英語力、教授の力などの向上にとっても役立ったと思います。また仲間といえますか、同じ英語教師としての悩みを共有したり、意見を交換できたことも大きかったと思います。また、講師の先生方のさわやかで、明確で情熱的な講義にも大変感謝しています。ありがとうございました。[中学校]

どれをとっても非常に役立った。

[中学校]

最初は不安でいっぱいだった。内容はとてもハードだったが、非常に勉強になったと思います。他の先生方の姿勢を見て刺激されたことが、研修内容そのものに次ぐ大きな成果だと感じました。皆さんに感謝します。[中学校]

正直大変でしたが、勉強させていただいて感謝しています。教師の仕事に忙しく無いつきなどあり得ないので、時期を指定して、研修するこのスタイルは、仕方がないとは思いますが、出来ればもう少し早めにテキストをいただけるともう少し勉強できた気もします。とにかく、ありがとうございました。[中学校]

自分自身が勉強不足であることが、最も感じられた。普段は、ALTとの話ぐらしか英語を使うことがないので、大変よい機会であった。研修の内容が事前に知らされていなかったのも、その点では非常に不安のある研修でした。[中学校]

半日、一日だけではなく、10日間研修することは、とても大変だったが、集中して研修できたことは、自分にとって、今後英語を教えていく上で、実りのあるものになったと思います。英語の先生方同士で、たく

さんの時間を持ち、交流がもてて、良かったです。

[中学校]

自分の英語をブラッシュアップさせることと指導と評価のあり方を見つめなおすことにとてもいい機会になりました。

[中学校]

最初は大変不安なスタートでしたが、10日間の研修を終え、本当に参加出来てよかったと思います。M先生、W先生には、これからも教えていただきたいと思います。ありがとうございました。

[中学校]

講師の先生の熱心さや情熱（英語教育）がとても伝わる内容でした。英語漬けの10日間は、生徒の視点で学ぶことが出来、英語を浸かって話すことの面白さも感じる事が出来ました。

[中学校]

10日間つらくもありたのしくもあり、大変だったが、本当に有効な日々でした。自分の英語力のなさをひしひしと感じながら、でも逃げる事が出来ないのので何とか必死について行きました。同じグループの先生方にも大変感謝していますが、講師の先生方の熱意と素晴らしい指導力に感謝の気持ちでいっぱいです。このことを今後の自分の教師生活に是非生かしていくつもりです。ありがとうございました。

[中学校]

とても素晴らしい講師の先生方を5日間連続で呼んでいただき、各分野についてお話をいただいたので、大変有益でした。今回教えていただいた理論をぜひ現場で実践し、その後、フォローアップの研修会があればいいと思います。

[中学校]

大変楽しく有意義な研修でした。まるで大学時代に戻って集中ゼミを受けているような気がしました。特に専門的な事柄について原書に当たることもなくすごしてきたので、M先生、W先生の授業は新鮮でした、英語のディスカッションも面白く出来たと思います。後半になると日本語よりも、やはり英語は英語で理解し、英語でまとめ、発表するほうが自然だし、やりやすくなりました。力がついたので（自分では）思います。これを機会にほかの先生方とともに、professional development に進めたいと思います。担当の皆さんこの企画はありがとうございました。Niceです。自信を持って進めて続けてください。

[中学校]

今回の研修、今直面している課題そのも

のであったので、大変有意義だった。

[中学校]

午前中の素晴らしい講師陣によるSpecial lectures、午後の会話学校での研修…充実した7日間になりました。ありがとうございました。同僚たちと今回受講した内容を共有していきたい。

[中学校]

教育委員会の方のおかげで、素晴らしい研修になったと思いました。立派な先生方の話が聞けてよかった。「もっと聞きたい」と思えるような、講演、発表にはなかなか出会わないが、今回は違った。

[中学校]

毎日、英語に触れることで眠っていた英語を少し思い出せた。様々な、実践及び理論を学ぶことができた。いろいろな先生方との意見交換ができた。

[中学校]

5日半の研修は毎日毎日実に充実したものでした。暑い中せつせと通ったかいがありました。

[中学校]

全国の有名な指導者の方々の実践を知る機会が与えられ、非常に有意義な研修であった。クラブ、生活指導、新課程作成、その他の教科外の出張で、本務である教科指導研修の参加できずにいたので、このような悉皆研修を設けてもらったことに感謝したい。ありがとうございました。欲を言えば、TOEIC等のテスト費用を国で負担していただき、英語教員の英語を学ぶモチベーションを高められるようにしてほしい。特に我が地方公共団体は賃金カットが著しいので…

[中学校]

今回の研修はよい刺激となり、よかったと思う。

[中学校]

月並みな言い方だが、「目からウロコが落ちる」とはこのようなことを言うんだらうと思う。

[中学校]

今回の研修は技術面、精神面、それに計画面においてまでの幅広いエリアにわたってまで言及していただき、たいへん役に立ちました。ありがとうございました。

[中学校]

今まで何回か受けた研修の中で最も質的に秀でた研修でした。おそらくK先生（主任）の人脈のおかげだと感謝しています。今後もこういった研修をぜひ受けたいです。

[中学校]

実際に、中学校で行っている授業について教えて頂いたT先生のお話は非常におもしろく、心に感じるものがありました。講

義の内容も興味深かったのですが、生徒の立場で体験できるものが良かったです。

[中学校]

講師の先生方は、いずれもすばらしくて、どの講義も楽しく（緊張感をもって）参加できた。ただ90分単位は少し短くて、十分に意見交換ができなかったことは残念でした。

[中学校]

O先生はとてもスバラシイ人でした。私が思いつかないようなことをたくさん教えていただき本当に為になりました。ALTのいない環境に住んでいるので、自分の英語力に自信がなくなっていたところに今回の講座があったので本当に「助かった!!」という気持ちです。かなりハードスケジュールでしたが、少し自分の中のもやが晴れた気がします。このような機会を与えて下さりありがとうございました。

[中学校]

B博士の細かい授業の組み立てと理論に感心させられたとともに子ども達が明るく活発な活動の中で、きちんと積み重ねて、学習事項を定着させていることを今後の自分の参考にしたいと感じました。

[中学校]

All the workshops were very interesting, and it was a great opportunity to meet different teachers all over the prefecture, and learn various tips for learning activities. However, sometime, I felt like being put in a primary school myself while listening to the lectures. Sorry...

[中学校]

自分自身たくさんの刺激を受ける事の出来た研修でした。大変良い機会を下さったDr. BとALTの皆さんには、本当に感謝しています。ありがとうございました。

[中学校]

Dr. BのB-SLIMはコミュニケーション能力を伸ばす教え方に非常に効果的である。

[中学校]

夏休みに集中してやってしまうのもよいと思う。11月は文化祭のシーズンで忙しかったように思います。研修自体はとても役に立ついい研修でした。ありがとうございました。

[中学校]

10日間という非常に短い期間でしたが、自身の英語力、教授力を知るとても良い機会となりました。

[中学校]

今後の指導等に役立つアイデアを多く教授していただきました。ありがとうございました。

いました。 [中学校]

この研修を通して、自分自身の英語力や、教授法などについてゆっくりと考えることができたように思う。今後はそれぞれの授業にきちんとした目標をもって挑もうと思った。ポートフォリオは、忙しい中でもこの研修を振りかえる助けになってくれると思う。他のたくさんの英語の先生方と知り合えたことも、今回の大きな収穫だと感じている。ありがとうございました。

[中学校]

英語の研修としては大変に有意義であったと思います。時期的にもう少し早ければ良かったです。（個人的な意見ですが）

[中学校]

教育の専門家のお話は大変参考になり有益でした。

[中学校]

英語教授法等多くの講師の先生から、話を聞くことができ良かった。また、久しぶりの長期の研修で疲れましたが、参加させていただき良かったです。

[中学校]

研修には参加したくてもなかなか参加できない現場の状況がある中で、日程面、内容面ともに今回の研修は、負担よりもプラスになった面が多く、参加させていただき、大変良かったと思います。

[中学校]

全ての講義や活動が英語で行われていたので、自分自分のリスニングやスピーキング力の向上につながってよかった。しかし、意見交換の時だけは、限られた時間の中でもっとアイディアや考え方を奥深く交流したいのに、伝わりきれないところがあり、「英語」にしばられている感があった。日頃同じ教材について議論する機会がなかったので、時間がもてたことは嬉しかったが、自由に討議できず惜しかった。

[中学校]

自分自身の英語力の向上という点においては非常に良かったと思いますが、逆を言えば、自分の英語力の退化（＝なさ）をまぎまぎと思い知らされました。中学校に長くいると、中学校の教科書に出ているレベルの語彙力しかなくなってしまいます。今回のセミナーに参加して、「英語の勉強をしたい」という気になりましたが、中学校は教科を教えるということ以外の仕事の方が多く、毎日殺人的に忙しく、どうしてよいかわかりません。「もう少し私たちに研修する時間を与えてくれ〜」です。

[中学校]

非常にクオリティの高い研修だった。使

用言語を英語に設定されたのがとてもよかった。1回しか受けられないのが残念。教師自身の技能を上げる Training ベースの研修をどんどん設定して欲しい。[中学校]

英語運用能力の向上に役立ったと思う。
[中学校]

J 先生がとても熱心に分かりやすく指導していただいてありがたかったです。英語を話さざるをえない状況を4日間だけでも与えられてもっと brush up をせねばという気持ちになりました。後半の2日間は実際の text を使ってすぐに現場で使える idea の交流ができてよかったです。

[中学校]

All English で疲れたが、何となく英語で考える意識がついたように思う。やはり浸ることは大切。Writing の idea はとても参考になった。ありがとうございました。

[中学校]

非常に実践的な研修だった。内容が豊富で今後の授業に活かせるものばかりだった。我々自身のアウトプットが多かったこともあり楽しい研修だった。

[中学校]

自分自身の授業を振り返り、改善すべきものと、それをどのようにしてという how to~にあたる部分が具体的に見えてきました。3人の先生方の Lecture そのものがとても Listening Training の場となりました。TOEFL の勉強を少しだけでもやったことでボキャブラリーが少し増えました。

[中学校]

自分自身の英語力を含め、英語教授法についてあらためて探求する大変機会であり、各 lecture と TOEFL は、intensive で有意義であった。

[中学校]

自分の英語力と向き合うことが出来ました。

[中学校]

今回の研修を通じて、自分の意識を図るチャンスを得ることが出来た。発音についてはなかなか教授を受ける場もないので、良い経験もできた。

[中学校]

普段、1週間(5日間)集中して“英語に囲まれる”時間はとれない。ずっと英語について学んだり考えたりすることだけに打ち込めることは魅力ある状況であった。また、Listening や Thinking in English についても確実に効果があった。よい刺激の場であった。今後それをどう生かしていけるか課題である。

[中学校]

今回、ほとんどの先生が思ったことだと思うが、このセミナーを受講する前は、とても気が重かったのですが、一週目のインストラクターのおかげで、とても楽しく、そして、自然に英語が口から出るようになっている自分に驚きました。二週目の講義は、やはり、最初は気が重かったのですが、受けるにつれて、今後の英語指導にたいして、非常に役立つものばかりでした。本当にこのセミナーに参加出来てよかったと思います。

[中学校]

教員になって17年、自分を振り返るよい機会になった。特に最近、ALT との TT をして15年になりますが、CA や Procedure の進め方など、トラウマにかかったような…うまくいってなかったので、今回受講できてよかったです。やはり、Calibration のためにも、数年に一回こういう機会が必要であると感じました。

[中学校]

とても有意義な研修でした。英検準1級のリスニングテストに始まって、2日目、3日目の両外国人の先生方、5日目のH、Y両先生の英語による講義を聞き取るのに精一杯でした。

[中学校]

I really enjoyed this intensive training. ただ、もし教師の英語力をもっと向上させたいと考えるならば、内地留学のシステムのように、学校の仕事を免除されて数ヶ月間、国外 or 海外で集中的に研修を受ける機会を与えてほしい。

[中学校]

四日間の研修でよかったと思います。二、三日では慣れた頃に終わってしまうという感じですか？四日はやはり長く腰を落着けてやらないといけない気分になります。TOEIC も良い。評価する側からされる側になることの重要性を実感できたし、刺激になりました。

[高校]

大変良い刺激を受けることができた。

[高校]

我々教師は、常に最新の理論を学び、その中から何が生徒にとって役に立つかを考え、授業に応用しなければならないと思っています。その意味では大変良かったです。特に、D先生の writing の授業はすべて私の心にひびいてくるものでした。

[高校]

今回の研修は自己の資質向上と啓発において大変有意義であった。

[高校]

大変有意義な研修であった。

[高校]

夏休み最後の週ということで、とても残念であったが参加しない訳にもいかないので行った分、自分の英語力の向上に役立てようと考えて参加した。英語力が1週間で向上したかは疑問であるが、教授法等についても教えてもらうことができ大変参考になった。[高 校]

研修は教員にとって、とても有意義なものであることが改めて実感できた。

[高 校]

多くの講師先生の話が聞けたり、自分の授業改善につながる activity などもあり充実していたと思います。[高 校]

英語指導力を付けるためにはまず英語力が必要なので、我々の英語力向上に焦点を絞った研修であればなお良かったのに、と思います。少々焦点がぼやけている感があったので…。多くのスタッフや講師の方々の思った以上の温かい対応に、感謝しています。[高 校]

午前中の研修を担当していただいたB先生は経験豊富で、有意義な時間を過ごすことができた。[高 校]

素晴らしい講師の先生方のおかげで、緊張しましたが、とても充実した5日間であった。[高 校]

「自分の今後にどう活かそうか」という色気を持って臨んでいたら、いらいらばかり持ち帰ることになっていたと思う。そうした過度の気負いをすてて臨めた(=講師の先生方、皆さんが素晴らしかった)ので、率直に「有意義な研修だった」と言える。全く現場無視の時期設定、トップダウン的性格は、相変わらずで、不快に思うが、(特にこれからあと5回参加は非常に負担)そんなことを超えた、内容ある研修であった。本当に素晴らしい講師の方々に敬意を表します。[高 校]

遠い研修地まで通った価値が十分にありました。ドキドキしながらも、いろいろな役立つ情報を得ることができ、うれしく思います。[高 校]

教師としての意識向上に役立った。たいへん充実した(内容、講師陣ともに)研修でした。よくぞここまでの企画を実現していただいたと、感謝します。来年度以降もレベルを下げないで下さい。[高 校]

「月給ドロボー」といわれないよう工夫、努力を重ねたい。有意義な研修でした。

[高 校]

思っていたよりもずっと良い研修だったと思います。

[高 校]

とても感動しました。教職経験19年間で、このような意義のある研修は初めてでした。教育観がもてるようになりました。ぼやっと“こうじゃないかなあ?”と手探りで思っていたことはたくさんあったのですが、この研修で進んでいくべき道がはっきりしました。ディベート思考の重要性を再認識しました。ディベート思考と英語学習が初めて僕の頭の中でつながりを持ちました。

[高 校]

今回の研修を通じて、自分にとって為になったことは、小中高の教員ですばらしい実践をされている方がいるということを知った事です。特にT先生の密度の濃い授業にはただただ圧倒される思いでした。英語での表現能力を生徒に身につけさせるために考えだされたさまざまな方法には驚嘆するばかりでした。また、小学校での実践の進み具合や同じ校種の高校での身近な実践例を知ることができたことも有意義でした。

[高 校]

どの講師の先生の話も熱意があって充実しており、大変参考になった。[高 校]

自分にとって大変すばらしい機会でした。ただ、内容が非常に密度が濃く、午前中の授業のあとすぐにセンターへ来て、午後受講するには、消化しきれないところがありました。9月の授業より教えていただいたことを生かせるように工夫したいと思います。[高 校]

ALTの数が適切で、コミュニケーション活動が十分にできたと思う。TOEICテストは研修前と研修後の2回やった方が効果が確認できてよいと思う。Debateは経験したことがない教員も多いと思うので、段階で分けてでも全員の方がよい。全体的にとっても刺激になった研修で楽しかったと思います。[高 校]

大学教授の先生方の講義は勉強になりました。ローカルエリアトレーニングは、もう少し、綿密な計画を立てて、行ってほしいと思いました、ALTの人たちは、英語教育の専門家ではないので、ディスカッションなどのトピックは、もっと一般的なものにするとよいと思いました。今回の研修を通して自分の英語教育に関する勉強の足り

なさを痛感しました。今後は、日常の環境に慣れてしまうことなく、勉強を続けようと思いました。このたびの機会を与えていただきましたこと、感謝いたします。

[高 校]

レベルの高い研修をありがとうございました。全英語教員が受講することはいいことだと思います。今年受けなかった先生方頑張ってください。

[高 校]

ALT がとても身近な存在に感じた。スタッフの方々に感謝したい。

[高 校]

今10日間を振り返ってみて、長かったような短かったような感じです。そのことだけでも自分をほめてあげたいくらいです。TOEIC の点数は決して納得できませんが、もう一度気持ち引き締めて、英語に向きあえるのにはよいきっかけになります。ありがとうございました。

[高 校]

生徒が今後、日本社会の変化にともなって英語を使える必要性が増してくるのは確実であると思う。従って英語教師の研修も必要である。今回はじめての研修で全ての分野にわたって研修ができて、有意義であった。

[高 校]

今回の研修は、夏休みに集中しており、かなりハードでしたが、自分にとって役立つ情報が得られ、また、自分の英語の能力を伸ばすのにも役立ったと思います。ありがとうございました。

[高 校]

緊張の連続だったがとても有益だった。

[高 校]

大変参考になる研修でした。

[高 校]

研修は有効だった。

[高 校]

研修の内容は、バランスが全体的に取れていて良かった。とても刺激になる研修だった。

[高 校]

研修は毎回、決して楽なものではありませんでしたが、他校の先生方が情熱をもって授業や研修に取り組んでおられる姿に大変刺激を受けました。今後も自ら向上したいと思える研修の機会をいただき感謝しております。

[高 校]

Yさんの special lectures がとてもためになった。(5日中3日でしたが毎日でも聴きたいものでした)。彼の影響力は非常に大です。先日も英語達人セミナーでお話しする機会があったのですが、今自分がやろうとしていることは間違いないと改めて確信しました。また、第9回目の ALT と

のセミナーでいかに自分の勉強方法が間違っていたかはっきりしました。音をあまりにも軽視してきたのではないかと痛感しています。

[高 校]

3日間という短い間でしたが有益な研修をさせていただきました。特に多くの ALT と一緒ということで、speaking と listening の集中的トレーニングをさせていただきました。多くの ALT や JTE と話して得たことを今後の授業に生かしてゆきたいと思います。

[高 校]

内容は決して目新しいものであったわけではないが、四日間英語漬けでなったのはよかった。講師の先生はこの手の授業に慣れており、上手で分かりやすかった。教授法についても新たに、取り入れてみようと思ったものもあり、よかった。

[高 校]

全国的にも超有名な、優秀な先生方の楽しい実践例に触れさせて頂いて、とてもラッキーでした。養護学校なので、そのままは使えませんが、とてもいいヒントをたくさん頂きました。ありがとうございました。

[養護学校]

研修参加前の課題意識がほとんどクリアされるほど充実した内容だった。私はオリジナルアイデアを生み出す発想法にこだわったが具体的な実践例の中からヒントを得たと思う。講師の方々が示された実践例の中には、高校生レベルにはまだしも、目の前の中学生にはさらに一層の工夫を加える必要があるものが多かった。自分自身の運用能力については、これまでの体験と学習の積み重ねの成果が実感できてよかった。

[校種不明]

11. こうしたらどうでしょう

(1) もっと外国人講師で

教師のコミュニケーション能力をさらに伸ばすためには1グループにもっと多くの ALT を配置した方がよいと思います。

[中学校]

自己研修につながる講演やワークショップにより、自分の英語力を改善する1つのきっかけになりました。ただ、せっかく ALT の参加があったので、もっと我々の話す力やコミュニケーションの力を生かせる活動を行ってほしかったと思います。

[中学校]

ALT との活動をもう 1 ～ 2 日増やしてほしいと思いました。それによってもっと多くの役に立つアイデアを吸収できると思う。[中学校]

自分の学校の ALT と一緒に研修を受ける機会もあると思う。[中学校]

ALT との Free Talking の時間を時間は少なくとも回数が多くとれるともっと Brush Up できると思う。[中学校]

英語の研修なのに、ALT の数が少なかった。来年度は、もっと多くの外国人 (ALT) にも参加するように努力して欲しい。第 1 回目の研修なので、県教委の人は大変だったことは理解できます。

[高 校]

初年度ということでセミナーの内容に、改善の余地のある日もあった。特に ALT との授業では来日直後の ALT にセミナーの内容の説明もほとんどなされないまま、いきなり参加、アクティビティの援助をさせたので、あまりうまくいかなかった。民間からの外国人講師の教え方に比べ、ALT は「教える」ことのプロではないということを知らされた。今後 ALT については、授業に出る前に、もっと研修が必要なのではないかと思う。セミナー全般については、日常多忙の中、なかなか自ら研修する機会も少ないのでよい刺激になり、また、英語で授業をするきっかけにもなり良かったと思う。[高 校]

外国人講師と英語でコミュニケーションをする機会を与えられたことがよい経験となった。各校に最低 1 名信頼できる外国人講師を常勤してもらうのが私の願いである。コミュニケーションのための信頼できる教材一覧とその内容紹介を資料として用意していただけたとよかったと思う。[高 校]

英語教員としての英語運用能力を向上させるためには、5 日間午前・午後ともに native speaker による教授のほうが適していると思う。[高 校]

外国人講師による研修の内容の中で worksheet を使ったものは、1 日くらいでよかったと思う。あとは、英語教師の英語力を高める研修であると良かった。

[高 校]

私は、10 回中 3 回のみの参加で、授業におけるアイデア交換等をしたのだが、この研修が教員のコミュニケーション能力の向

上が目的であるというのならば、全員を対象に外国人講師によるワークショップを行ったほうが良かった。その方が研修に来る意義が高い。自由な日時に英語の研修 (外国人による) を受けられるシステムが良い。お金の援助をしてほしい。[高 校]

この研修では、5 日間のすべてが外国人講師との英語運用能力向上のための研修にしていただけるともっと良かったと思います。[高 校]

native speaker (教授、ALT) の講義が多いほどいいと思う。具体的な内容を盛り込んでいただきたい。机上の空論は時間がもったいない。[高 校]

英語力向上のために英会話スクールに通う教員の話をするが、ALT などをフルに活用すれば、多くのメリットを得られる。また研修は、1 年だけでなく、希望者には何度も参加できるようなシステムになるとよい。[高 校]

ALT とのコミュニケーションの場をもっと増やすか、英語教員の 5 年次、10 年次、新任研修は夏休み等を利用し、3 週間ぐらい海外でというのはどうでしょうか。(半額負担で) [高 校]

(2) 分けての研修は

今回は中高いっしょの研修だったが、討議の場面でかみあわないことが多かった (と思う) ので、別々にやった方がよいと思う。[養護学校他]

自分自身の英語運用能力をみがくことになるかもしれないが、学習は大人も子供もモチベーションが大切。本当に生活の中で必要と思ったとき、本当の学習への意欲が湧いてきて奮起するものである。全員同じ学習には限界があると思う。[中学校]

今回の研修は、自分自身にとってとてもよい機会となりました。研修によって自分自身の力と向き合うことができました。研修内容は、教授法と教師自身の能力アップの 2 つに明確に分けて行ってもらったとよりよいのではないかと感じました。大変お世話になりました。[中学校]

同じ英語教員であっても英語運用能力に差があるため、グループ分けの工夫をしてほしかった。また、英語を使うことが目的なれば、内容をもう少し易しくしてもらったと思う。[中学校]

この研修中、研修後、自分の英語力を向上させたいと痛感しました。同じくらいの能力の方々と研修できていたらもっと向上したのではと、悔やまれます。初日に TOEIC テストをしたのでグループ分けしてもらえると…

[中学校]

研修することができたことは大変ありがたい。しかし、この種のレベルは、20年前にも受けたし、今より必死な思いがあった。せっかく予算があるのなら、経験年数ごとの研修でもいいのではないだろうか。

[中学校]

選ばれて研修に参加しましたが、生徒と同じく、能力の高い人と低い人がおり、いっせいに指導されると、その能力に応じていない教材や教授がなされると、効果的でないと考える。個に応じた指導ではないが、個に合った内容やスモールステップを踏んで、確実に力が身につく内容を工夫していただければ有意義な時間が過ごせると考える。

[中学校]

1 週目の英語スキルアップに関しては、初日にプレイスメントテストを行い、適切にグループ分けをして、より効率よく英語学習が出来ると良いと思います。今回は英語を使うことに主眼がおかれ、UP まではいけなかったと思います。

[中学校]

中学と高校は分けるべきだと思います。生徒の力や教える内容が異なるので使えないものも少なくないし、教師の英語力も違うので。講義についても研修の狙いにあわないもの、研修する教師の実態に合わないものもあったように思います。

[中学校]

英語指導に必要な指導技術を担うために大変参考になった。特に video presentation や講師の先生方が様々な指導法を紹介してくださったのですぐに授業に使ってみたい。ただ自分の英語力を高めるという点では疑問が残る。最初に TOEIC を行ってレベル別に分けるなど、レベルにあった講座をしてはどうだろうか。

[中学校]

中・高の先生が別々であったことが残念だった。中学校ではノートを書いたことがなく（本文を書かない）、先生が作ったプリントを穴埋めするだけという生徒が多い。これについて中学校の先生の意見を聞いたかった。

[高校]

自分の英語運用能力が改善されたということはない。授業方法についてのアイディ

アの提示はあったが、もう少しレベルの高い内容でも良かった。全体的にいうと、あまり意味があったとは思えない。ただやったというだけで、実際役立つような内容ではなかったのが残念だ。各先生の授業実践も千差万別の学校で、お互いにあまり共通認識がもてなかった。せめて、同レベルの学校でお互いに話し合えるようにすればよかったのでは、どんな研修を受けていてもいつもがっかりさせられます。本当に英語教員が求めているものをやってほしいです。

[高校]

英語運用能力に関する研修について－私は今回免除されたので受講しなかったが、様々な力の人全員に同じ研修をわずか数日間受けさせることで、それにかけた労力と費用に見合った成果がでるのか、という点に疑問を感じる。英語指導技術に関する研修について－お互いに情報交換することについてはそれなりの意義を感じた。しかし、全く異なった生徒状況をかかえる教員同士が短時間で語り合うにはあまりに時間が少なすぎる。定時制生徒からいわゆる進学校生徒まですべての指導を 1 つの発表につきたった 30 分（発表時間も含めて）語り合うのには無理があると感じた。ある程度、生徒状況の違いに応じた分科会形式にし、受講者に選択させるべきではないかと思う。もちろん、必ずしも現在の勤務校に合わせた選択をしなければならないわけではない。その他－このような研修実施の際には、ぜひ現場の状況もご理解いただきたい。今回の研修実施の詳細が本校英語科に連絡されたのは、7 月も半ばに近づいた頃、その上、その 2 日後には受講者を決定し、報告せよとのことだった。私たち教員は、それよりずっと前から、夏休み中の補習授業の計画・合宿を含むクラブ指導の計画・生徒との面談の計画・自己研修の計画などを準備し、進めている。たまたま指定された日程に出張できる状態にあるのは、すでにその時点では、私一人しかいなかった。生徒指導・学校運営あってこそその「研修」である。研修の必要性・重要性は当然充分すぎるほど理解している。だからこそなおさら、全員一律という研修の考え方には大きな疑問を感じている。

[高校]

いろいろな能力の生徒がひとつの授業を受けた時、多くを学び得る場合とほとんど

無意味な場合があるように、英語の教員にもかなり能力差があって、同じ研修を受けるのは難しいかもしれないと思います。各自が、自分が苦手な分野、たとえば communicative な力か、読解能力か文法か、listening か、のように講座をえらんで受講できるとおもしろい、しかも、普通レベルと上級レベルがあると有効ではないでしょうか。 [高 校]

研修を受けている教員の英語運用レベルに差があり、いくつかの活動に関してはレベル別の組み分けをしていただいた方がより効果的であったのではないかと。 [高 校]

このような機会があるということはとてもよい。ふだん、頭ではわかっているけれども日々の生活に流されてマンネリした授業になっているので、よい刺激になる。英語運用能力の training ならば、レベル別のものが必要。英語能力の差がありすぎると discussion や group work になりません。

[高 校]

(3) コミュニカティブな内容は

英語を使用する場があり、それは大切と思う。しかし、それはすべてではなくこの数年で教員が英語を使うことにものおじしくなってきたり、積極的に努力していると思う。より効果的に communication として英語を使えるような研修であってほしい。さらに指導する側はより詳細に現場の状況を知る必要があると思います。

[中学校]

コミュニケーションな教授法は今後ぜひ実行してみたいと思いました。ただし、自分自身の英語力を（基本的なところで）あげるような研修もあるといいな—というと思います。

[中学校]

コミュニケーション能力育成のためのアイデアを数多く入手することができ、またそのようなスタイルの授業であっても大学受験に必要な知識・能力をある程度伝えられることも分かった。しかしこれはあくまでも“ある程度”としか言えないのが現状であり、今後いかにして伝達できる量を増やせるか考えていきたい。 [高 校]

多くの英語教師は旧来の授業を受け、その中からある有効性によって英語を身につけ教師となっている。そうして、教授法が受け継がれていくのである。Communica-

tion 能力の育成が必要というなら、それが育つことを身をもって体験できる training を教師に実際に施し、実感させていくのが best だと思います。今回の研修は教師自身の communication の training は全くなく、その周辺の理念だの論理だのばかりこねまわして、あまり今後につながっていくものと思えません。 [高 校]

(4) 英語運用能力を

有意義な講義でしたが、TOEIC との関連がよくわかりませんでした。方法論を学ぶ前に、英語そのものの技能を高める講座があるとうれしいです。 [中学校]

研修の最後（後から最初にも加えられましたが）に TOEIC を受験することや研修計画の例として TOEIC 対策が挙げられていたことから、自分自身の英語力高めることを目標に、この研修に参加しました。授業でよく使う英語表現を中心に学べると良かったと思います。それぞれの目標に適した研修を受けることが出来るとさらに有益だったのではないかなと思っています。様々な異なった目標を持っている人たちが同じ研修を受けるより、自分で研修方法を選べると良いと思います。 [中学校]

自分の英語力不足を痛感した。英語運用能力に応じたプログラムの研修を組んでみてはいかがでしょうか。 [中学校]

英語の教師への研修なのだから日常的な英会話がスラスラできるような語学研修プログラムにしてほしい。ビジネス英語について学習しても意味がない。もう1つは指導法についての学習をしたいと思っています。 [中学校]

要望ですが、英語の運用能力ほか、英語（特に speaking listening）に自信がない人対象の研修も実施していただければうれしいです。今回の研修はほんとうに勉強になりました。ありがとうございました。

[中学校]

今回の研修では夏の研修で AET の先生方と活動したことが非常に良かった。授業を撮ったビデオをみて話し合うことも今後の役に立ちます。また最終日の Debate はとても良かった。もっと Debate の時間をとった方が良かったと思う。 [中学校]

わが市では、このようなオールイングリッシュの研修を初めて実施するというこ

手探りの状態であった。従って、これからの研修（オールイングリッシュ）が改善されることを切に望む。また、目標または目的を絞り込んでいないとイージーゴーイング（英語力を高めるに必要なでないものも行ってしまうということです。）な研修になりがちになるということも感じました。

〔中学校〕

できれば、英語能力を向上させるようなプランもいれてもらえると TOEFL, TOEIC に対しても積極的になれると思います。

〔中学校〕

我々にとって必要な、実用的な会話能力を養うためのトレーニングを増やしていただきたい。

〔中学校〕

もっと speaking 力、listenig 力向上につながる内容の研修に時間をかけてほしい。たし、工夫をしてほしい。

〔高 校〕

教員の英語力向上と指導力向上はつながっていると思うが、どちらかにしほりこんで集中してやった方がよいと思う。まず、英語力を再度つける方がよいのでは？（教員の力があがってから）

〔高 校〕

この研修において、英語でコミュニケーションをはかろうとする態度が形成され、日常生活の中でも自然と英語で考えるようになった。中学校と高校との間の学習能力における格差は大きくなっているため、ぜひ校種を交えた研修の場をもたせて欲しかった。

〔高 校〕

指導法ではなく、個人の英語能力を高める workshop をしてほしい。指導法は別の機会でも研修することができる。毎日仕事に追われている教員たちは、「自分の」能力を高める時間をなかなか持てないでいる。TOEIC の平均点はひどいものではないか。こういう機会には、集中して、英語の基礎から高度なものへと移行する講座を用意してほしい。

〔高 校〕

様々な英語指導のアイデアを知ることができ、とても参考になった。しかし指導法ではなく、教員自身の英語を brush up するような研修がなく、その点については改善の余地があるのではないかと思う。全員に短期海外研修があっても良いのではないかと思う。

〔高 校〕

もっと、自分の英語力が伸びるようなトレーニングをする研修があっても良かったと思う。そういう点で、この研修は期待外

れだった。でも、多くの先生方とアイデアを共有できたのは良かった。〔高 校〕

今回の研修では、何より現場で今も指導されている先生のお話が印象に残っています。AET の先生方も研修くださいましたが、あまり、新しいことを学んだという気はしませんでした。また一方10年も前の実践を発表したり、言葉はよくありませんが、多くの生徒の実情とは合わない、いわばキレイごとの理論ばかりを述べられた講師の方もいて、その時はかなり残念でした。様々な語学力の差のある生徒にいかに対応するかが重要なのであって、もともと力のある生徒を相手にしたのではほとんど参考になりません。時間を有効に使った効果的な研修ができるよう一部の再考が必要だと思います。

〔高 校〕

英語で意見を言う事に「否」を唱える人がいる事に驚かされる。英語教師である限りどうか英語で伝えようとする姿勢は重要である。故に、運用能力を高めるための研修を増やすべきだ。

〔高 校〕

研修は、英語指導に必要な「指導技術」の改善や向上には役立つものの英語教師として必要な「英語運用能力」の向上にはむかない。英語力向上には、もっと時間をかけ、少人数で徹底的に力を伸ばすことが必要である。次回は、その特訓のようなものを作してほしい。

〔高 校〕

英語能力試験の受験にもっと直接的に役立つ内容にして頂きたい。（研修の最後に受験させるのであればなおさらそう思う）

〔高 校〕

英語運用能力向上のためのトレーニングが、個人の研鑽に任されていたましたが、トレーニング自体が研修内容にもう少し組み込まれていたらよかったと思います。

〔高 校〕

夏場の5日連続の研修はきつかった。Brush Up というより今の英語力を試すような研修だったと思います。英語力をつける（向上させる）ような内容を前半取り入れるようにしたいと思います。授業改善に向けて大いに役立ちました。〔高 校〕

今年度の研修は授業能力向上に傾いた内容であったと思う。個人的にはもっと英語運用能力を向上させたいと考えていたので、その点は期待はずれであった。ただし、1日だけでも「英語漬け」になることである

程度英語運用能力は向上したし、動機付けにはなった。[高 校]

英語力を向上させる方法を実際に体験できる機会が研修の中に数回でもあればよかった。[高 校]

自分で選び自分で臨む研修でないと、なかなかモチベーションも上がらないし、効果は薄いと思います（よほど内容が良ければ別ですが）。英語の運用能力は研修そのものだけでは身につかないので、自己学習をするための動機付けやアイデアなどがもっと教えてもらえると良かったなと思います。また、TOEFL だけでなく、ミニテスト形式でもよいので、英検や TOEIC を経験することも、（自分でできるだろうといわれればそれまでですが）あると楽しめたと思います。[高 校]

「使える英語」とは口頭英語を主に考えているのは当たり前であると思う。講師の先生方は、native speaker はもちろんすべて英語であったが、日本人の講師の先生方も、すべて英語で通して欲しかった。英語づけにしなければ、JTE は目覚めないと思う。[高 校]

(5) とにかく授業で使えるものを

毎日のようにこのような研修を受けていれば確かに少しずつでも自分自身の英語能力は向上する。年間10回で向上させるというのは難しいが、向上させようという気持ちを持つきっかけになった。また、自分自身の英語の能力と生徒への教える力とは違う。中学ぐらいではいかに興味を持たせるか、いかにインパクトのあるわかりやすい授業ができるかの方が大切になってくると思う。[養護学校他]

できれば、実際の授業で生かせる活動方法を更に多く教えて頂きたいです。

[中学校]

英語教授力向上についての講義、演習は大学院での授業のようで一方的に講師が話しをする場面が多く、あまり参考にならなかった。できれば、現場で教えた経験をもった講師が良いと思う。[中学校]

講師によってかなり異なる内容、授業のやり方があるようで、はっきり言って研修を受けてあのように一方的な講義のみという授業にならないようにしたいとつくづく思った。ISA からの Text や講師はどちら

かという理論が先行し現場の実状に即してない！現場で実践できるような研修であって欲しかった。二学期の教材研究等の準備が全くできなかったのも、そのことの方が気にかかる。[中学校]

ハイレベルな語彙や表現を学習し、いかに平易な形で指導に取り入れていくかを研修していきたいと思う。[中学校]

実践的なコミュニケーション指導の重要性はわかるが、その指導の過程で、必要な“書く”という作業についてはどうとらえているのか、初期の文字指導はどう導入しているのかをも知りたかった。[中学校]

少人数でやったほうが効果がある。講義形式よりも演習形式のほうが効果がある。中学校と高校の教員が一緒になることはほとんどないので、その点ではよい研修の機会だった。[中学校]

トピックが多く、またそれについてディスカッションのくり返しだったので、もっとすぐに授業で使えるワークシートをみんなで考えたり、具体的に授業で生かせる活動などを勉強したかったです。[中学校]

今回の研修は英語の教授法を習うことはできたが、やや実際の授業計画をたてるときのものとはかけ離れていた。英語を聞いて理解する機会は得ることができたが、その教授法について細かく指導を受ける必要は感じられない。こういう指導法があると、日本文での説明を読めば十分ではないかと思った。その分もっと Communicative な授業展開の仕方、Classroom English を具体的な場面で使用したり、聞いたりするなどもっと実践的な指導法を研修したい。なぜこの計画を立てたのかどういうねらいなのか聞きたい。またこの研修の最初に内容について、ねらいなど全く説明なくいきなり研修に入った。担当者に聞いても、「私は知らん」という答えであった。自分は英語能力も不足しているのである面とても役に立つ研修であったが、全体として無駄が多い研修だった。[中学校]

日本語でもなかなか言い表せない微妙な問題を英語で話すことはとても難しく結局、表面的なことしか話せなかった。自身の英会話力の向上には役立ったけれど指導力の向上に結びついたのかは疑問に思う。大学生時代に受けた教育理論講義と同じような内容で、現場に出てから、もう少し即戦力

になる講義をたくさん受けたかったです。

[中学校]

①もっともっと実践的な内容を増やして欲しい。授業が communicative になる方法が多く知りたいし、練習したい。②英語で説明されたことはとてもよかった。③8月の上旬にやっていただけると、2学期の準備時間に余裕があるので、もう少し早く(夏休みの)やる方がいい。

[中学校]

講座の内容がとても理論的でもっと現実の授業に即した内容であってほしい。実際の授業に役立てるかどうか疑問である。

[中学校]

「指導力向上」のため、先進的な指導をされている先生方の実践を聞く講座があれば良かった。

[中学校]

理論だけでなく、より多くの実践を紹介していただけた方が良いと思います。他の参加されている先生方とも授業について意見を交換できる時間があればより有意義であったと思います。

[中学校]

ふだん忙しくてなかなか勉強する機会がなかったので、よい機会をいただきました。ためになる講義もたくさんあり、良かったと思います。ただ、英語教員が話せても、生徒達が話せるようにはならないと思います。もっと授業に即生かせるような活動やワークシート等の紹介や、参加された先生方との情報交換があればと思いました。

[中学校]

授業に直接関係する内容の研修がよい。

[中学校]

自分の研修としては、大いに役に立った。講座の中に授業で生かせるものをもっとたくさん提示してほしい。

[中学校]

研修の目的と内容があまり一致していないように思った。教員の英語運用能力を伸ばすのならば、会話や発音などのトレーニングを盛りこんで欲しかった。ティーチングスキルならば、実際に使えるテクニックを具体的に学びたかったと思う。

[中学校]

実用性の高い指導法が示されたのがよかった。理論的な講義が多いのは有効とは思えません。県外、外国の指導法についての情報や理論も知りたかった。

[中学校]

もっと日々の授業(たとえば、各学年に分かれて、unitの授業計画をアイデアを出し合って、効果的なものを考えるなど)に即役立つ内容を期待していました。今日、

参加した先生が上記の研修を受けられるようにしてほしいと思います。宜しくお願いします。

[中学校]

特に中学校の場合は、英語が流暢だからと言って、良い指導者だとは限らないので、教師自身の授業力を高めるためのワークショップやビデオによる授業研究などのより実践的な指導方法がシェアできる時間がもっとあっても良いのではないかな。

[中学校]

ディベートの授業のあり方、具体的な指導ポイントについて我々の討論だけではなく、指導があるとさらによいと思う。自分にとっては、よりよい研修だったが、教師としてはここで、立派な結果を発言をしても「生徒にとってどういう教師か。」ということが最も大切だと思う。つまり生徒からの評価をどう入れるべきか。

[中学校]

教員の英語能力の向上なのが、理論なのか、実践的な技術なのか、参加前に目的がはっきりしていなかった。一番役に立ったのは教員同士の情報交換。英語力が向上したかどうかの疑問。もっと授業に関する実践的なアイデアがほしかった。

[高 校]

英語力向上が目的だが、英語教師として教授法も大切なので、そのことについても触れて欲しい。

[高 校]

指導法(教科書を使用しての)を具体的に示す時間がもう少し欲しかった。

[高 校]

生徒の語学力、クラスの規模、クラス内で育成するスキル(4技能)、目標教材の条件をそろえた中での活動内容を検討するワークショップを展開して欲しい。

[高 校]

研修では生徒役が先生であるためコミュニケーションに意欲的であり、英語運用能力の障害もなく、いろいろな活動がスムーズにいきましたが、英語が苦手な生徒にいかにもコミュニケーションを取らせるかという点についてもっと考える機会が欲しいです。

[高 校]

指導法に関する演習プログラムがもう少し多ければよかった。(教材編成やマイクロティーチなど)ELECプログラムは参考になったこと多々ありました。

[高 校]

具体的な実践経過・結果など、実際にどれだけ生徒の英語力向上につながる方法があったか知ることができれば良いと思う。

[高 校]

実践例を示しながら理論を展開されれば、聴き手も納得できる。理論ばかりが強調されると空疎になってしまう。[高校]

ディスカッションが多くて自分から話すというより無理やり話させられてるという感じの研修だったが、理論的なことのディスカッションより、授業でそのまま活用できるような情報を得る活動をもっと多くすべきなのでは？[高校]

メニューが過多で、高等すぎるものを割愛し、時間と内容のバランスを適正にする余地がある。使用教室などの物質的なものを改善して欲しい。この研修はプラスになると思うが、精神的肉体的な面においても受け入れやすいものに改善する余地があるように思われる。「現場」で還元させやすいものに Focus してほしい。しかし、いい勉強をさせていただきました。

[高校]

(6) 企画に関してですが

テキストの文字が、一部小さくて読みにくかったのもう少し大きくすると良いと思います。[中学校]

Best 3 は、1. T 先生、2. T 2 先生、3. T 3 先生のお話でした。今後の授業にすぐに役立つヒントを多く教えて頂いたと思います。授業の展開方法を教えてもらったのも良かったのですが、生徒をやる気にさせるちょっとしたテクニックも聴けて、大いに参考になりました。Native の先生による 2 日間は、それなりに楽しめたものの、校務や授業のあいだをぬって参加した割には、ねらいがはっきりしないものだったように思えます。Discussion や Speech をするなら、普段の授業に関してお互いに情報交換したりアイディアを出し合うようなものにすればよかったと思います。とはいえ、教授陣の方々も暑い中で大変だったことでしょう。5 日間どうもありがとうございました。〈英語教員の評価について〉今回の研修では、いきなり準一級の listening から始まり、度肝を抜かれましたが、英語教師として、常に自分自身の英語力の向上を図り、時にはそのレベルをチェックするのは必要でしょう。でもそれを全員に受けさせて、給料にまで反映させるというのはいかがなものでしょう。我が地方公共団体では、TOEIC を数年後には全員が受

けなければいけないという話を聞いています。本当でしょうか。TOEIC の勉強も英語力の向上には役立つと思いますが、給料を心配するあまり、あのようなビジネス向けに偏った英語文の勉強に夢中になり、授業研究がおろそかになる英語教師がでてきたら、ちょっと笑話です。どの教科にも、そのことに関する研究会がいくつもあり、様々なワークショップが開かれていることと思いますが、英語ほど一つのことを教えるのに多種多様なアプローチがあり、研究が必要とされる教科は他にあるのでしょうか。日本の英語教育の欠陥が指摘されて久しく、我々も常に自らの授業を改善を迫られてきました。ただ新しくコミュニケーションな方法がいい訳ではなく、受験に耐える力も同時に養成していかなければならない。だからこそ、それを実現している優秀な先生方の発表や、その他役立ちそうなセミナーがあれば、足を運んでいく。傍目から見れば、小さな変化であっても、それなりに努力を積んでいる教師が大半だと思います。校内では、実力考査、宿題考査、受験向け講習、不振者指導全てに、「英語はやって当たり前」という環境の中で、です。「もし、どうしても評価しなければならないなら、「授業検定」なるものを作って授業を評価したらどうでしょう。…ただし一人の教師につき最低 3 授業は見学して……」などという皮肉も言いたくなります。(でも、やるなら全教科やりましょう。) 我が地方公共団体の見解を何らかの形でお聞きしたいと思います。TOEIC をただで受けさせてもらえるなら、悪くない話ですが、論理的に納得できる説明を受けないで受験するのは嫌だだと思います。[中学校]

研修前に準備した My Own Goals は具体的な作成の指示がなくただ漠然としてので、正直言ってか書きづらかった。ALT に相談したら、何でもいいのか？と聞いていたが、このアンケートで My Own Goals の達成について聞かれるとは思わなくてびっくりした。ポートフォリオは ALT が check してくれたがアドバイスとかコメントがあると励みになったと思う。英語力を向上させるための研修なのか、英語指導力を向上させるための研修なのか、目的が不透明だったのではないのでしょうか？中途半端という感じでただただ疲れました。

[中学校]

本当に伸ばしたいものが教師の英語運用能力であるならば、研修方法を再考したほうがよいと思う。このアンケートについての説明が不十分であった。依頼なのが“have to”なのかなど。疑問に思う。

[中学校]

教師の英語運用能力向上のための研修であるなら、もっと別の方法あったはず。例えばより小グループにネイティブスピーカーを入れて、毎回、コミュニケーション活動をするとか。講義は大変参考になったが、英語力向上には、あまり関係なかったように思う。市町村単位でワークショップを数多くやったほうがよいと思う。 [中学校]

研修実施が決まってからの準備期間が短いので仕方ないかもしれないが、それぞれの内容を「運用能力向上」・「指導技術向上」のどちらに目標を置くかははっきりしたプログラムを組んでほしい。本当の研修は学校現場で生徒と共にするものだと思う。英語は communication の tool だから。夏休みといっても補習、部活、学園祭準備などで学会に行く機会の多いものにとって10日間はきつかった。 [中学校]

同じ英語の教員といっても一人一人持っている英語の能力や生徒への指導法が違う。この研修が教員一人一人の英語力を向上させることと、指導方法を改善させることと、どちらに重きを置く研修であるのか明らかにさせた方がよいと思う。もし英語力の向上を目指すのであれば、内容やレベルをある程度選択制にした方がよいのではないかと。 [中学校]

自分の英語力向上という点では、今回の研修は、とても有効でした。英語の環境にどっぷり浸ったことが良かったのだと思います。さらに、わたしにとって幸運だったと思うのは、研修の前後、最中、何も心配することなく集中できた職場や家族のコンディションでした。私の今年度の好条件を考えた時、反対にそのような条件でなかった方々にとっては、たいへんな日々だったかも知れません。このような機会は貴重だと思うので、自分にとって最適と思える時期に申し込むシステムが大切だと思います。

[中学校]

英語の授業の改善をはかるためにいつかのヒントを得ることができましたが、実際

に使う教科書を基本に授業案についてもっと学びたかったです。英語教員としての知識を学ぶことができましたが、全てを英語ですするというのは…？また、開催時期について3回目の宿泊研修は、なくても良いのでは。2日連続くらいで分散した方が良かったと思います。 [中学校]

英国からの指導者の一週間のセミナーがあったが、これは大学生向けで現場向けではないと思われる。全国で活躍されている、現職教員（また元教員）の技や理念を研修に取り上げるべきである。また、英語力向上のみを目的とすれば、教育だけでなく、もっとバラエティに富んだ話題を内容とすべきであろう。 [中学校]

コミュニケーション能力ということで、英語を話すことに重点を置いているようですが、まず相手の話をしっかり聞く能力（というよりむしろ聞こうとする能力）が最低必要だと思います。また、話す能力というより、自分で考えて文にする（日本語でも良い）。その考える力が大切だと思う。語彙が減らされ、授業時数が減ってくる中、「感じ、考える」こと、またそれを表現する能力が著しく低下している生徒たちに対し、どのように対応していくのかもっと研修したかった。 [中学校]

今回の研修は、一律なもので、自身の英語能力を高めるには、中途半端のような気がする。力に応じてクラスを分けて、それなりに力をつける講座にするなどの方法をとることにより実質的な力をつけることができるのではないかと思います。反面、英語指導法についての研修は、ほとんどが実際担当している生徒のレベルから離れたものが多く、2学期からの授業に生かしていけるか疑問です。 [中学校]

色々な大学の先生の話聞いて指導技術についての理論について深く考えることができた。しかし、本当に指導技術を向上させるのであれば授業を All English どのように展開していくかについてもっと実践的な講座があってもいいと思った。

[中学校]

各県によって様々なやり方をされていると聞いております。授業研を行い、同校の先生に評価してもらいましたが、お互い見慣れているのを見るのではなく、研修を受けている先生方が互いに見合えるといいな

と思いました。また、JTE 同士でグループ討議をし発表…という場が多く、それはそれなりに成果はあったと思いますが、次の点で改善が必要だと思いました。JTE 同士の英語は理解しやすいですが、ALT との会に1月に参加したとき全く違うと思いました。また、同じ目的意識を持っていないと難しいです。単に楽しい FUN だけの授業はだれです。[中学校]

もっと現場の教員のニーズにあった研修をしてほしいし、それにあった lecture を準備してほしい。そのためにもどんな研修を必要としているのか現場に耳を傾けてほしい。たくさんレポートを提出したが、それに対するコメントもいっさいないのも無責任だと思う。あと最後に TOEFL のテストを受けたが、これは実際の現場での教授力とは全く関係ないと思う。どうせ評価されるなら、現場にきて、その中でどのように努力して教えているか見てほしいし、教え方も評価してほしい。[中学校]

ただ、アプローチの方法論を英語でのべるだけの講義は意味がない。なぜこのアプローチが有効なのか、深い分析をききたいと思う。[中学校]

研修方法がパターン化していたように感じました。もっとバリエーションを豊富にした方がよいと思います。5日間お世話になりました。[中学校]

二週間(実質10日)にまたがる研修は長期休業中でもあっても長いと思う。研修期間設定に工夫が必要だと思う。また、地元にある大学などをもっと開放して、気軽に社会人が参加できる研修(時間帯にも留意して)を諸外国並みに広めていくほうほうもあるのではないかな…。[中学校]

評価についても研修があれば今後の参考になるのでお願いします。[中学校]

こういった研修があるのはとてもいいことだと思う。また参加させていただいて参考になりますがもう少し少人数で行われるとよいと思います。内容も事前にアンケートをとるなどして今一番必要としていることを研修させていただきたい。[中学校]

夏休み以降に急に10日間の研修ということで、2学期は出張が多くなり授業に支障が出るのが困ります。長期休業中にまとめていただきたい。もしくは個人で夕方のレッスンを受けれるなどのシステムであれ

ばありがたい。実りあると思う。[中学校]

自分自身の英語力のブラッシュアップができました。役に立つ部分もたくさんありますが、内容が多すぎてもう一度自分の中でまとめなおす必要があります。具体例や実際の場面での問題解決法などをもっと学びたかった。[中学校]

英語力のブラッシュアップが授業に関する研修なのかをはっきりさせて、どちらか一方にすることでより効果があったと考える。[中学校]

英語教育に関して、様々なアプローチ法を教えていただいたので、これからの授業を考えられる上で参考になると思います。ですが私たちは日々、生徒と向き合った実践の中で、実際に起こりうる色々な問題(考える上での難しさ、3年間を通してどのように段階を踏んでいくと力が付くのか…)を抱えています。せっかく同じ地区の英語の先生が集まるなら、もっと実際困っていることを交流してそれに対しての対処法を情報交換できるとうれしいです。また、TOEIC に関して、自分自身の英語力のレベルアップは必要と思いますが、実際なかなか時間が取れないのでこういう機会に勉強させてもらえるとありがたいです。[中学校]

同時通訳訓練法に挑戦する時間をもっとさいてほしかった。[中学校]

ほかの参加者英語運用能力や授業法などに大いに啓発された。全体会の内容をもう少し見直さなくてはいけないのではと思った。[中学校]

この研修があることを知ったのが遅かったので心構えが充分でなかった。クラスの生徒のことを考える余裕がなかったので、夏休中といえども第一に考えたい。今後は ALT による定期的な英語教師のための英会話教室を期待したい。[中学校]

大変有意義な研修ありがとうございました。私は46歳ですが、この研修は年齢の高い人からどんどんやらせないともったいないと思います。私の中学には私より上の人が三人、下の人が一人います。若い人はあともいいですが、53歳の人は5年後では遅すぎるでしょう。今までの研修は中途半端です。(県や市のも)お金をかけないと…。私個人でいうともっと早く10年次などで、このくらいやって欲しかった。でもあと14

年ぐらいはあるので、今回のことを役立てます。必ず。 [中学校]

教師そのものの英語力向上を目指すのか、英語教育力向上を目指すのか？どちらも中途半端に終わった気がする。もっと何の力を伸ばすのかを明確にして、カリキュラムを作るべきだ。 [中学校]

英語で講義がされているが、全員にその内容を伝えるのか、英語を通してリスニング力やスピーキング力をつけるのか、明確な意図が見えなかった。きいて内容は理解できたが... 夏に行った ELEC の研修は英語力を高める上でとても役に立ったし、やりがいがあった。評価とか実践的なコミュニケーションの講義などは日本語でもいいと思います。英語力を高める研修（ワークショップ）が多い方がいいと思います。

[中学校]

英語を使うという意識は出来てきたが、正確さや表現の仕方については、あまり向上したとは思えない。前半の英語でのワークショップの中に、我々が身につけておきたい表現や語句を使っての対話があってもよかったと思う。また、授業のプランを立てて、プレゼンをするのももっと回数があったのもよかったと思う。このような機会がありませんから。

[中学校]

全体的にはとても有意義な研修でした。さらに個のニーズに応じたプログラムが組んでいただけるとより効果が上がったと感じました。（事前調査のようなものを通して。）

[中学校]

初任者研修、2 年次研修とずっと研修しているため、自分で研修したことを消化する（考えて実行する）ことができない。少し研修の持ち方を考えて欲しい。内容については、自分の実力を知ることができて良かった。もっと大学の先生の専門的な話を聞きたい。

[中学校]

どの方の講義も大変中身の濃い充実したものでした。参加する前は、大変気が重くついていけるかどうか心配でしたが、終わってみればあっという間の 5 日間でした。ただ、時間が限られてるため英語指導法について考える研修、教師の英語力を高める研修とどちらも中途半端で、一方的話を聞くだけで終わってしまったように思います。研修時間 3 時間、交通に要する時間 4 時間というのは、大変時間のムダが多く、私個

人としては、どうせするなら、午後まで入れた研修計画にさせていただきたかったです。そうすれば、質疑応答や参加者どうしの交流ももう少し可能だったと思います。

[中学校]

90 分一コマの講義でしたが、どれも内容が濃く、もっと詳しく聞きたいものばかりでした。せっかくの機会だったので、研修時間を伸ばしても良いのではないのでしょうか。

[中学校]

やはり英語教育の達人だけあって、各先生方の英語力、理論、授業への工夫には、学ぶべきものが満ちあふれていました。是非もっと学びたいと感じました。また各先生方の教材、理論、etc を本やビデオにさせていただいて、私も含め、多くの英語教師が Brush up できるチャンスを増やしていければと思います。（日本の英語教育の発展のため）

[中学校]

とても中味のしっかりした研修でした。惜しかったのは 90 分の講座の時、時間が足らなくて、Q & A の時間がほとんどとれなかったことです。特に T 2 先生、Y 先生、T 先生の理論に基づいていた実践の紹介が良かったです。更に、それらの活動の評価と、評価の生徒への返し方も示してほしかったです。

[中学校]

自分自身の英語力向上への研修かと思っていたがあまりそうではなかったことを残念に思う。これだけたくさんの日数 ALT の講義を行っているのでもっと英語力を向上できるもの、また、授業で使えるものを取りいれてもらいたかった。英語ですべてやるのがよいものかどうか考えさせられた。伝えたいことや話したいことがうまく話し合えない。教授法について英語ではなく日本語でもといった感想を持った。

[中学校]

今回の研修が有意義であったかどうかという点については、はっきりと有意義であったということが出来る。しかし、その内容、方法は中途半端であったといわざるを得ない。「英語運用能力の向上」を目指すのであれば英語を使った研修のほうがよいが、「専門知識や指導技術の向上」に英語での研修、講義はわからない語彙や表現も多く、わかりづらかったように思う。

[中学校]

AIE = Action in English のことが NHK で報道されていたが、その研修をしたかっ

た。他、色々と感じたことはあるが、ここに記入できません。 [中学校]

自由選択コースなどを取り入れ、会話練習コースや writing コースなどを取り入れてもよい。 [中学校]

自分自身の英語研修する機会として大変有効だったと思います。欲を言えば、もう少し細かく、私のレベル？人それぞれ違うと思いますので、基本的な事項もやってほしい。また、教師としての指導技術の研修がもう少しほしかったです。しかし、全体的には緊張感もあり、大変有意義な研修でした。 [中学校]

今回参加して、大変有意義であった。しかし、あえて今年が初年ということもあったためか、この研修計画がゆとりを持って、教師側に提示して欲しかったという点である。数年にわたるものであったにかかわらず、人数調整のためか、個人的な事情や登校日の出勤不能なことについて、現場にかなり迷惑をかけている。また、担任としての新学期の諸準備が後手に回る日程である。重要な研修なので、今後きちんとした方向性を取って欲しい。研修内容は講師任せな点も気になった。 [中学校]

研修前のレポートが、研修の中であまり役に立っていない。(レポートB) 必要ないのではないかな。英語が話せるようになっていない。 [中学校]

English Proficiency と English Teaching Skills の両方を Goal に挙げながら、研修内容は English Teaching Skills にかたより、English Proficiency を伸ばす研修は、AET による夏の研修 1 コマと TOEFL TEST のみだった。 [中学校]

このような研修はもっと早くから行うべきだったと思う。教師に対して、「できないから、指導力を向上しよう」というのは、とても悲しい。良心的に努力してきた教師も多いです。できないのは、今までにみんながそれほど必要性を感じていない人が多かった訳で、今までこのような研修をしてこなかった方も考えてもらいたいです。外国では、毎年研修があると思います。また、今後も効果的でよりよい研修を企画してください。そして、英語の教師だけではなく、他の教科に対しても、このような研修が必要だと思います。 [中学校]

英語科教員として、英語運用能力を高め

ることは、非常に大切なことだと思います。正直いって、どれだけ生徒に伝えたり、教えたり教えられるかがむずかしいかと思っています。今回の研修では自分自身の勉強にはなりましたが直接生徒の指導に結びつくものはあまりありません。本当に英語を使う能力を高めるためには、もっと他の方法(短期留学)があると思いますが今回のような方法ももちろん有益だと思います。英語の授業を上手くやる研修のような。残念ながら英語を使える英語の先生がよい授業ができるとは限らないこともあります。 [中学校]

文科省の意図とこのセミナーの内容にかなりのギャップを感じた。講義は大学で学んだ内容に過ぎず ALT とのワークショップは常日頃クラスでやっている内容であった。もっと英語教員の英語力を向上させ技術を具体的に伸ばせるような内容にしてほしい。 [中学校]

大変良い研修であると思うが、JTE の技量の底上げには不十分であろう。(キッカケにはなるかもしれない)。 [中学校]

今回の研修の目的が、教員自身の英語力を高めるためのものだったのか、それとも、教壇にたって実際に指導する場合の指導力の向上をめざしたものなのか、わからなかった。なかなか受けることが出来ない大学の先生方の講義を聴けたことは、大変有意義なものだったが、地区ベルの6日間は、夏休みの最終日までをついやす価値はなかったと思う。県研修センターの「実践的コミュニケーション能力を高めるための研修」のほうが2日間ではあるが、即実践に使えるもので、大変勉強になる。その準備におそらく1年以上案を練り上げてくださる指導主事の先生の努力も計り知れないが、文科省がきめたから、何の準備もなく、しかたなく行われる研修今年度は、とにかく試行錯誤でも、やればよい、という印象はぬぐえなかった。 [中学校]

自主研修で勉強している方は多いと思う。英語教員なのだから、実用的な能力アップの機会をもってほしい。教員以外の一般の人へのほうが英語力の向上に優遇されていると思う。 [中学校]

私の場合英検1級(TOEFL620)をすでに取得してあるのですが、そういった者も一律に受講させるというのはいかがなも

のでしょうか。英語力向上以外の英語科教育の講習は受けても良いとは思いますが。何年も前、受けた筑波の研修のように日本人の英語を input として聞かざるを得ない状況では、スピーキング力の向上も含めて余り向上は期待できないと思います。自分としては native の native による native の英語を聞きたいと思います。具体的には映画の日常会話が聞き取れるようにしたいのです。[中学校]

大学の講義は大学で受けて現在に至っている、あまり有意義でないものも多かった。現在の中学・高校で活躍されている素晴らしい先生は周りにもいる。授業の組み立て、高い運用能力などについて話してもらう方が実践的である。[中学校]

県教委は、今年が初めてだからと言い訳をして、十分効果のある研修を用意できなかった。ただ native speaker を講師にすればよいというものではない。十分な経験と熱意を持った講師を集められなければ、どうしてプロの JTE に十分な影響力を持ちうるのでしょうか？ [高校]

計画がずさんであり、インストラクターになった人たちは、こんなにも各学校の実状とか、学校によって生徒の能力に違いがあることをしらない。また、インストラクターたちによって、やる内容がずいぶん違ってたと聞いている。計画運営側は、きちんとインストラクターたちと連絡を取り合ったのだろうか。[高校]

講師の ALT の方々のご苦労には感謝します。若手の要望としましては、①ALT 同志の共通性（同一性）を持つような打ち合わせの工夫。②全県での実施状況（研修会の内容）を知りたいと思います。ほかの県のことが気になりますので…。[高校]

総合的な内容であったので、深化した内容の研修を受けられたという気がしない。特化した内容をみっちり行いたかった。今後の自己研修に努めたいと思う。[高校]

この研修は問題が多すぎました。[高校]

教材が多すぎて消化できないものも多かった。教員の英語力を伸ばすのには、もっとほかの方法がいいと思う。英語の指導力をつけるのには適切ではないと思います。コミュニケーションな教授法をもっと学びたかった。

た。[高校]

久しぶりに英語で授業を受け、自分の listening 能力の向上にはなったと思うが、それだけだったように思う。[高校]

教員は研修に努めなければならないと思います。県主催の研修があっても当然だし、私たちも卒先して参加すべきだと思いますが、その目的はあまりにも不明確で、拙速で、場当たりの感じがしてなりません。「ただ実施した」というのではなく、現場の教員がすぐに活用できるもの、また、研修後も単なる開放感を持つだけでなく、次につながるものを計画してほしいです。県教育委員会の先生方の努力や態度には頭が下がりますが、私としては、今回の研修は 40/100 位でした。[高校]

この短期間のみで英語力、指導法のすべての分野で向上を企めるのは無理。英語力については、自己研修の方法や体験談についての workshop のほうが有意義ではないか。指導法については、希望の分野にしぼって、深く掘り下げないと何も残らないと思う。[高校]

個人により、重点を自由に選べるようにした方が効果的と思えた。また、講師の先生が必ずしも高校現場での教授経験がないなど、話がかみ合わないこともあった。ALT を活用するなどの工夫が必要と思われる。研修内容の指示も直前に出されるものがあり、よく考えたり、調べたりという余裕がなく、日数をこなしたの感が否めない。内容、運営に一層の精選が必要と思われた。テキストもさまざまな本からの寄せ集め的で、もう少しオリジナルにきちんと作れなかったのでしょうか？ [高校]

かなりの金額をかけて、この研修を行っているようであるが、まったくの無駄遣いとこの研修を通じて感じました。それだけのお金を何故、別の用途に使わないのでしょうか？例えば、語学の学習を 40 人 1 クラスでやっていて成果を出せというのがどんなに無理な話か誰もがわかっているところだと思います。しかし教員数、施設（教室）がなく、この状況を受け入れて誰もがいるのが日本の教育です。教員数を増やし教室を増やすことにこのお金を是非使っていただきたい（特に不況の時代に雇用、仕事を供給できるように）せめて 1 クラス 20 人であれば、会話の授業も成り立ちますし、もっ

と生徒個人を見た授業ができます。一方、ALT を高校に配置したおかげで、実際英語教員の運用能力は、上がっていると思います（十分とはいえませんが）。また、昔と違って、20代、30代の先生方は、海外で過ごした経験（期間の長短、内容の差はありますが）があり、ほとんど英語で ALT と会話（交渉）するのに困ることはないと思います。そのような先生方に対して、ありきたりの表面的な研修は、得るものが非常に少ないと思われます。たとえば、「physical expression を speech の中に入れましょう。自分を指すときには鼻ではなく胸ですよ」などという研修では、あきれてものが言えません。馬鹿にされていると感じます。教員の中にはさまざまな方がいると思いますが、1つのことについて、深く掘り下げられる研修でなければ意味がありません。全くのむだです。たかが10日間の研修で英語の四技能の向上と、四技能の教授法すべてをできるわけがありません。お金の使い方をもっと考えてください。私はクラスサイズが先だと思います。しかしもし研修を、というのなら、きちんと練った実りのあるものをお願いします。特に現在不況の真っ只中で、リストラされ生活に困っている人も多く、また、公務員の給料もカットされている時代なので、無駄遣いは困ります。[高 校]

英語教授法に関する理論の講義も必要であると思う。長期の研修などに出なければ、きちんと学ぶ機会がなかなかないので、表面的なことだけでも、英語で講義する時間があるとよかった。さらに詳しく、各自が自主的に研修するきっかけになると思う。[高 校]

今回の研修プログラムは、全く不十分なものでした。きっとプログラムを考えた方の能力がなかったと思いますが、それにしてもひどいものでした。このような研修はやらないほうがよろしいかと思います。[高 校]

県教育委員会の考え方がよくあらわれた研修だった。すぐに役立つものはほとんどない。何も変わらないと思う。[高 校]

集中研修は10日間、英語漬け、英語だけの生活を体験できたという点では成果があった。このことについて自主研修について、もっと時間的、財政的援助があってもいい

のではない。年々長期休業中の研修が（研修届、研修報告書を作る作業は問題外）時間的に確保しづらくなってきている。

[高 校]

県教委のアンケートにも書いたことであるが、1 グループの人数が多すぎる。これで英語運用能力や教授法の向上に大きな成果が得られるとは思えない。[高 校]

確かに参考になったが、計画（案内）が、唐突過ぎる。せめて、前年度に発表してほしい。[高 校]

英語教育についてもっと専門的な資料・参考文献などを textbook に載せてほしい。今研修の明確な目標が伝わってこなかった。講師によって行う内容が違い、少々戸惑った。[高 校]

多忙な時期に10日間も現場を離れた割には収穫が少なかった。実施内容に工夫改善が望まれる。[高 校]

外国人講師が講義の中で、“immersion”の指導方法をすすめてくれた。確かに、その方法をとれば、中高6年間で、英語を話せるようになる生徒は増えるだろう、と思われる。一方で、大学受験に必要な reading, writing の力を持たせるためには、文法指導も今まで通り行わなければならないと思う。この時に、日本語を使う方法を取ってしまうだろう。現在の英語教育は「読むことはできるが話せない日本人」育成になっていると思う。Immersion での教育になると「話すことはできるが、読み書きができない日本人」を育てる [高 校]

最後の宿泊研修は、全員宿泊で行った方がよい。[高 校]

問題点→①開催時期（まとめて、年2回／長期休業中にしてほしい）②内容（講義が多く、あまり実用的ではなかった。／TOEIC などのための研修でもいいのでは？）良かった点→①同じ悩みを持つ他校の教員と交流できた。②他校の授業への取り組みが良いと刺激となった。[高 校]

・実施期間（宿泊研修）が11月だったので、校務が忙しく、学校を空けるのが大変ためられた。・実施内容も、多岐に渡っているのは良いことなのかもしれないが、目的が見失われやすい。・研修免除の対象者も、「TOEIC750点以上（例）の者など」に拡大すべきだと思う。[高 校]

なぜ研修の内容以外の質問がないのか

(研修期間、教師の仕事実状等)。研修に関連する質問がないと不十分。[高 校]

外国人講師のアイデア・教授法は高校生の授業にはそぐわないような気がする。

[高 校]

講演は私自身の英語力を高める方策について、いろいろと考える機会を与えられ、有意義であった。英語教員が共通して望んでいるリスニング、スピーキングの能力の向上に直接結びつく内容がほとんどでないことは不満を感じる。[高 校]

この研修は研修の体をなしていないと思う。ものすごい税金の無駄使いである。個々に好きな方法で研修すればよい。実際、自分で本を読んだり、ワークショップに参加している人は多くいるはずだ。大学の先生ももうちょっとまじめに考えるべきだ。

[高 校]

夏期、冬期休業中の研修は、補習や懇談もあり、参加が大変困難であった。メール等を使った assignment を取り入れ、各自で取り組める内容も考えていただきたい。英語能力試験に取り組むための教材提供(情報提供)をしていただきたい。

[高 校]

自分の英語運用能力と授業改善とを両方 brush up しようという目標はよいが、実際には難しい。普段の学校での仕事などが変わらないまま研修での課題、テストの勉強をすることは現実には十分できなかった。休暇を利用して集中的な講座を設けるとか、海外研修に参加するなどの機会がほしい。年令と意欲減退のせいでもあるが、集中して勉強することが難しい。[高 校]

集中研修は自己啓発の点からも大いに役立つものだと思う。集中研修の方法をさらに研究してほしい。[高 校]

研修内容については、大学の先生方の講義は興味深かったが、それ以外は group でディスカッションという形式が多く、受講者に頼りきった内容だったと思う。また、ディスカッションの内容についても、漠然としてものが多かったり、時間が十分ではないものがあったり、話し合うことによって、どういう意義があり、どう役立つのか不明確なものが多かった。[高 校]

ネイティブスピーカーが講師だったのはよいが、話す内容、スピードが時々はやすぎ、理解不能なところがあった。[高 校]

Mr. B の Suggestion と Lecture はとても参考になりました。補助してくれる ALT については、研修参加 JET との communication への意欲等で、個人の善し悪しを表に出さないことを、個人と仕事をきちんと認識して、取り組める人を望みたいと思われま。[高 校]

こういった研修をもう少し難しい語彙、もう少し速い英語を通じて行えば、1 年間たったらきっとかなりの英語力が付くだろうと思う。日常の校務の中で英語教員の英語力アップのために何かがなされなければ(もちろん、そのためには他の仕事の軽減が必要だと思うが)、英語力アップは望めない(たかが夏休みの中の One shot の研修くらいでは)。[高 校]

講師の人選をきちんとしてほしい。

[高 校]

大学教授の講義も非常に抽象的で分りにくく自分の授業には役立たなかった。自分の英語を聞く機会には良かったがこんなことをしても時間の無駄に近いと思う。我々が英語力を高めるために教員を海外に派遣するとかもう少し予算の思い切った使い方をしないと効果は上がらないように思う。中途半端に予算を消化することは税金のムダ使いにもつながる。もう少し考えてもらいたい。[高 校]

短期間のうちに資質向上というのとはなかなか難しいと思う。それよりも。教師になった理由や背景、出身学部も様々で、まして現在の勤務校の実態も多様な中で、一緒に研修を受けるのもどうかと思う。他に、現在の30代以上の教員は、高校時代に英会話の授業などなく、年齢が高ければ高いほど文法中心の強制ばかりで、非常にやりづらかったのではないだろうか。そういう人たちに資質向上と言っても…。[高 校]

今回の研修では、英語のとても「専門的」な分野を興味深く学習することができた。しかし、今回の研修は“英語教員の資質向上”が目的なのであり、英語の専門性を追求するものではない。英語教員が英語の専門性を高めるのは言うまでも無く大切なことであるが、それに付加して英語教員の資質として高めなければいけないものはあるはずではないか。今後の研修では、“教育学”の専門的な領域、また、「文化としての英語」の専門的な領域等にも着目した講

義が必要であると考えた。今回の研修のみでは、授業に大いに還元しにくいものがある。[高 校]

従来の教育庁の指導主事による運営にばかり頼らず、もっと広く英語教育や研修を考えていくべきではないか。苦手で意欲のある教員をリーダーシップの取れる立場につかせ改革の流れを速めて欲しい。

[高 校]

「教員の資質向上」は分かっているが、今回の研修は少し主旨が違った。[高 校]

この研修のゴールが明確に伝わってこない。教師としての英語運用能力を高める為に、そして TOEFL で具体的にどの位成果が上がったかを見る為の研修なのか、指導技術を向上させることに主眼を置いたものなのか、研修の性質や意図があいまいな感じで、一回々々の研修が通りいっぺんのものに終わってしまった気がする。

[高 校]

残念ながら、他県は知らないが、本県の研修内容には全く満足していない。講師に偏りが見られ聞きなれた話を繰り返されたこと。初年度とは言え、実施する限りにおいては受講者にとっては1回きりなのに実施者側の準備が十分だったとは思えない。受講者が各研修内容を自分のものにできるような時間をあたえてほしい。[高 校]

このセミナーの目的が①意識の改革なのか②運用能力の向上なのか終始不明確であった。①ならば効果は(自分にとっては)あったが、②ならばその効果はあまりなかったように思う。

[高 校]

各学校の実状とセミナーの内容が必ずしも一致したとは思わない。しかし忙しい中、他校の先生と交流する機会をもったのはよかったと思う。しかしその分のシワよせが、やはりあったように思う。[高 校]

英語教員の資質を向上させる為というのが、今回の研修の目的ということであるが、英語教員に求められる資質とは何かが明確にされていないため、主催する側の意図と研修を受ける側の期待がかみあわないままに終わってしまった。[高 校]

学究的な講演は役に立ったが、外国人講師の紹介するゲーム等はあまり好まない。ゲームには成績目的があるというが、今後の協同授業にはあまり使っていく気はない。

[高 校]

数年前に受けたつくばの研修(1ヶ月)は宿泊が伴い大変だったが、英語運用能力を高めたりスペシャルレクチャー受ける機会に恵まれたので役に立ったという満足感があった。今回の10日間は集中度も高くないし学校の業務の間に自身の研修をするのは私にとっては負担が多いようで、研修の前と後の準備、整理ができないまま、ただ通ったという負担ばかりが大であった。

[高 校]

10日間のみの研修なので、もう少し的を絞ったものであるとよいと思った。

[高 校]

今回の研修は、それなりに役に立った。しかし、養護学校で教えている先生や、長らく定時制(夜)で教えていて、もうすぐ定年を迎える先生にとっては、今回の研修は果たして役に立ったであろうか。生活保護家庭がクラスの何分の1も抱えている先生にとっては、英語指導授業よりも生徒を学校にこさせるのが優先してしまう先生もいるのですが。

[高 校]

前半の内容は、教員のスキルアップ、としては内容がややレベルの低いものもあったが、十分に対応できたとはいえないので、参加しないよりは良かったということなのだろう。有意義な活動も多かったが、ゆきあたりばったりの印象は拭い去れない。後半は大変有意義だったが、もっと時間をかけられれば良かったと思う。[高 校]

外国人講師と行った様々な演習はとてもためになった、単に4技能の向上というだけでなく教材の活用法、語彙力充実のためのアドバイスなど、すべての英語教員が受講すべきであると思った。免除される人たちには、少々物足りない研修ではないかと思いました。

[高 校]

研修に参加した人の多くは海外での留学経験があったり、何度も海外旅行に行ったりした人が多く、英語でのコミュニケーションにはそう不自由していないように感じた。そういう意味では、外国人講師の分については果たして本当に必要だったのかどうか疑問を感じる。

[高 校]

コーディネーターが毎日変わるというのはどう考えてもおかしな話してある。参加者の方が「この話題はおととい話しました」など、言わなくてはならないのはばかげている。個人的には、自分の勤務校よりレベ

ルが非常に高い学校の授業の内容を知る事ができて良かったが、逆にそういう学校の先生方は、あまり得るところがなかったのでは?? [高 校]

研修そのものは良かったが、この研修に関する通知が届いた時期、英語運用能力に関する研修を受けないでいい基準がかなりあいまいであった点など、問題点も多かった。 [高 校]

今回は、語学免除で、指導方法演習のみの参加であった。そのため、運用演習は受講していません。その運用演習に参加した人たちは、口々に「参加してよかった」とのこと。一番よい Native の先生に教えていただけるのなら、希望参加したかったくらいです。 [高 校]

コーディネーターが毎日変わるのはあまりよくないと思う。前回参加者の中ではいろいろな話し合いの積み重ねがあるのに、コーディネーターがそれを知らないのでは、発展性も深みも生まれないと思う。また、話しすぎのコーディネーターがいた。また、連絡がよくなかった。発表の日がいつなのか知らされていないし、各グループのコーディネーターもどのようになっているのかよくわかっていなかった。さらに、そもそも、今回の研修は、あまりに見切り発車的であると感じる。研修があることを知らされたのが、7月にはいつからというのは失礼な話である。研修内容についても、もう一度ご検討願いたい。すべての教員に同じ研修を義務づけるのはどうなのか。我々は、日々研修しているのに。 [高 校]

集まって情報交換するだけでも刺激になり意味はあるが、なんだか同類が集まって、お互いの傷をなめあっているような気持ち悪さを感じたのも事実だ。コーディネーターは、外部の人間のほうが客観的なコメントを出せるのではないか。とにかく、これで解放されると思うとほっとする。 [高 校]

自分が受けたと思う研修を受けられるようなシステムだとありがたいです。

[高 校]

5日間で、密度の濃い研修であった。高校向けのレクチャーをもっと充実させて現場のニーズにもっと対応していかないといけない。小・中学校の取り組みは大いに参考になったが17歳、18歳の比較的勉強のできる生徒の効果的な取り組みは全く紹介さ

れていなかったようだ。このアンケートは名前、学校がすぐわかるので正確に思っていることは書きづらいものとなっています。 [高 校]

残念ながらこの研修だけでは自身の英語力の向上にはあまり役立たないので丸1日の研修を10日間くらいはしないと効果がないと思う。また高校の教員にも大学院で研修するための補助をするなど研修しやすい常態を作るべきだ。この研修中ディスカッションをしてあまり充実感がなかった。ただ授業をどう工夫していくかなど役立つ研修内容もあったので、もっと充実させてほしいと思う。 [高 校]

研修の目的が、英語教師の英語運用能力の向上にあるのか、指導技術の向上にあるのか最後までわかりませんでした。ポートフォリオの活用方法もわからないまま終わってしまい、今後、明確にしていってほしいです。 [高 校]

大学教授による lecture はなくても良かった。夏休み中の集中研修はよかった。

[高 校]

もっと本人の英語力を伸ばす training を増やしてほしい。英語教育法に関する discussion よりも…。 [高 校]

この研修の第一の目的が何なのか最後までよくわからなかった。教師の英語力の向上ならもっとよい方法があろうと感じた。指導力向上…。なのでしょうかね? これもまた不明確だった。今年は雑務に追われながら参加したのでちょっと批判的になってしまいました。 [高 校]

地区別または全体研修会はレベルの高いものであり、ほぼ満足いく研修だった。一方、夏休みに行われたブロック別研修会はALTが進行役にもかかわらず、打ち合わせ不足による研修と思われることが多くあった。ALT自身が教育を専門に学んでいる人ではないので、ディスカッションとはいっても、普通の会話となっていた。もう少し、工夫していただき、内容の充実したものにしてほしい。ただ英語が話せるだけで、教員をトレーニングする立場となるのが不思議。内容がなければネイティブであっても無駄な時間となるだけだと痛感した。

[高 校]

第Ⅲ期の研修については場所の設定となぜ宿泊が(希望者に対してでも)必要なの

かについてよくわからない。第Ⅱ期のM先生の講演について意見、質問を言える時間が少なく、進行の方法もあいまいで残念だった。

[養護学校他]

特に目新しい内容なし。もっと目的や内容をもっと絞り込んだ方がよい。

[養護学校他]

学期が始まってからの研修は、クラスの状況を心配しながらの参加です。犠牲にするものがあったとしても参加して良かったと思えるような内容であれば良いと思う。高教研の延長のようなものであれば無視して時間を作る意義がない。個人の能力UPにつながるものであれば更に良いと思いますが、今回はまだそこまでは達していないと思う。契機にはなった。

[高 校]

集中研修ではあったが、もっとハードな内容を期待していたのだが、少しもの足りない気がした。研修期間を10日間ではなく、もっと長くして、内容を充実させて欲しい。(できれば、2倍、3倍でも良いと思う。)ただし、半年ではなく1年のロングスパンでやって欲しい。

[高 校]

英語を勉強しようという動機付けが英語教諭自身においても必要であると思う。普段授業に追われて自身の向上のために勉強ができないのでとてもよい機会となった。ぜひ続けていただきたい。

[高 校]

SPECIAL LECTURESは講師によって、充実度があまりにも違うので評価をまとめるのは難しい。どのレクチャーも最後の質疑応答の時間がなく不満である。

[高 校]

1～2年間に1回ぐらいの短期(2,3日間)研修を全員が受けるようにした方がよいと思う。土・日に行って、手当をつければ、文句も出ないし、日常業務に支障をきたさない。あるいは、ITを使っただけの研修も可能ではないだろうか。教師一人一人が、「絶えず自己研鑽や研修が必要なのだ」という自覚を持つようにして欲しい。

[高 校]

日頃の英語教員の英語力を維持またはアップするための具体的な方法を各教員から聞く時間がほしい。(勉強方法、資格試験受験記など)実際の授業に役立つ、今すぐ役立つ指導技術、ideaを教えてほしい。

[高 校]

自己研鑽のための動機付けや、他の英語

教員との交流・情報交換という点で役に立った。もっと実践的な研修を期待していた。

[高 校]

英語教授法についてはさまざまなスキルを紹介していただき、非常に有効であったが、教員の英語運用能力の向上については、全体の研修でさまざまなレベルに対応できない。またはフィードバックできないのであれば、3日間であればその分各自でセミナーを受けるなどしてけるようにしたほうがよい。

[高 校]

非常に有益な講義と稚拙なものが混在しているので、プログラムの編成に一考の要あり。

[高 校]

英語の教員として、自己研鑽に努めるべきだと思うので、TOEIC, TOEFLなどの試験に取り組んでいきたいと思った。今後全ての教員にこのような研修を義務づけるのならば、内容をもっと増やしても良いと思う。そして、教員数を増やすなどして、当該教員の授業時数を減らし、研修に専念するようにするのも良いかもしれない。

[高 校]

集中的に十回で終わってしまうより、年間を通して継続してはどうでしょうか?課題をこなしながらつきに一回くらのペースで。(一ヶ月先の宿題をこなしてから行う)

[高 校]

教授法についての講義を多少減らし、英語力向上のための講義を増やして欲しかった。

[高 校]

今回の研修はそれぞれの講義の中で今の自分が今教えている生徒に対して利用できるアイディアや活動がいくらかはありました。けれども、教科書の進度、受験とのかかわり、クラスの中の生徒の能力の差、勉強する気のない生徒、授業の準備の時間の少なさ、といった点にふれて話された先生はあまりなく、結局、課題は自分で解決するということになります。そのあたりの問題解決に対するヒントをもっとききたかったと思います。なんとかがんばってみようと思っていますが。

[高 校]

実際のところ、自らの英語運用能力をもう少し向上させたいと思っていたが、10日間終わってみて結局自分が今まで努力してきた力を発揮する程度でそれ程英語力の向上は感じられない。もう少し、TOEICやTOEFL 対策的な講座にしてもいいのでは

ないか。他の先生方とは、いろいろな意見交換が出来て有意義だった。 [高 校]

コミュニケーション能力の育成という点では、とても効果があったと思います。ただ、教科書を使った指導法なども少し現場の実状に基づいたレクチャーを増やしてほしいです。 [高 校]

講義の方向性を統一した方が良いと思う。グループワークは、最終目標に向かう為に、もう少し有意義に組み込んだ方が効果があると思う。 [高 校]

自分を少し変えることはできたと思うが、具体的な授業改革についてまだはっきりしない部分がある。指導法の勉強や英語運用能力集中トレーニングの機会が（時間が）もっとあったらいいと思う。 [高 校]

何をどのように、どういう目的で行うかという説明を研修前にしっかりしてほしいと感じた。（Brush Up 研修自体の大きな目的ではなく、それぞれの研修日に行う内容－ディスカッションや発表など－についての目的）最後にその目的に沿ったまとめをきちんとしていないので、研修が終わって、何の意味があったのかわからない研修がいくつかあった。話し合いを深めるのが目的なら、日本語での話し合いでもいいと感じた。教員間のネットワークができたのはとてもよかったと思う。 [高 校]

教授法トレーニングとしては良いものだと思いますが、自身の英語運用能力開発にはあまり寄与しない内容だと思いました。 [高 校]

「英語運用能力の向上」については、研修の最後に TOEFL が実施されることがきっかけで個人で勉強した成果が表れたものであり、今回の研修の中では、特にその向上に役立つプログラムはなかったと思う。発音の訓練などがプログラムにあればいいと思った。 [高 校]

大学の先生の講義だけでなく、現場で工夫した授業を展開している先生方の話を聞いたり、授業を見てみたい。（達人セミナーなど）英語力アップのための研修内容をもっと少し考えていただきたい。Discussion ばかりでいいものかどうか。段階的なトレーニングなど。 [高 校]

研修の意義はわからぬではないが、内容ややり方はもっと考慮の余地があってもよいのではないかなと思う。やたら理論や理想

について話し合うよりも、他の都道府県がやっているように、授業で即使えるアイデアの交換をしたりする方がよほどありがたい気がする。 [高 校]

社会や生徒のニーズに合った授業作りをするためには、背景となる最新の理論を学び、自分の中に明確な教育観がなければならぬということがわかりました。今後は、より特化されたテーマ（例えば「異文化教育と英語教育」、「指導力を高めるための取り組み」など）についての研修会があれば参加してみたいと思います。また、TOEIC、TOEFL 等の資格を取得するための方法、アイデアを他の先生と分かち合う機会があればよいと思います。 [高 校]

5年間で全中高の英語教員の研修は、やはり日程、個人の都合、学校の都合で合わないことがある。研修内容においてもいくつかの選択権があってもよいと思う。例えば、夏休み中に海外研修に出かける、または、大学の講義を受講する、英会話学校に行く、または、年間を通して計画を立てそれを県と相談しながら進めていくなど、様々なやり方があると思う。一律に135人を缶詰にして研修するのは無理だ。 [高 校]

講師の先生を日本人ではなく、資格をもった外国人の方に教えていただいたほうがより効果的だったのではないかなと思います。グループで話し合っただけという単調な形式が多かった。具体的な指導法をもっと学びたいと思いました。 [高 校]

200名以上の教員が集まって研修する意義はあるが、どのような研修が提供され自由に受講できる講座の開講を希望する。また、情報が得られるようなコンピュータを利用した Website があればいい。 [高 校]

教室での自身の英語使用量を増やし、生徒に理解させる工夫・努力をしたい。今回の研修にそれを期待したが、具体的なヒントはあまり得られていなかった。 [高 校]

日本の英語の先生に英語の能力が足りないことは、自分達自身が一番良くわかっていることで、その能力をつけるもしくは取り戻してあげれるようにすることが一番大事なことであり、みんなが望んでいることである。授業改善も大切だが、英語の先生

に自信を持ってもらうことがもっと大事な
ことでは？そのためのセミナーならば毎年
でも参加しますよ。 [高 校]

先生方の実践報告レポートを当日では
なく早めに配布していただけると当日の意
見交換がもっとスムーズに行くように思
います。報告と意見交換で30分では少
し時間が足りなかったです。 [高 校]

英語運用能力の演習は、有意義だった
が、ライティングにもう少し時間をとっ
てほしかった。参加者同志の discussion
の時間が多すぎて、その間の自分の英語
の評価がほしかった。音読・発音指導に
ついて考えるべき点が多く大変参考にな
った。他教科の方々にもこのような機会
があれば有意義だと思った。 [高 校]

英語指導技術に関する研修については、
日本人教員で「達人セミナー」を開いて
いる人たちを講師に迎え、workshopの
形式にしたほうがはるかに勉強になる
と思う。 [高 校]

この形の研修は座学が多く、発表者以
外は受身になってしまい退屈である。も
っと参加者が頭を使い、体を動かす研
修にしてほしい。 [高 校]

中学校と高校の先生方を同じ様に研修
させるのであれば「中高連携」の視点
が研修のプログラムの中にあっても良
いと思います。また、英語教員の「英
語運用能力」の向上と「英語教授法」
的なものの二本立てを明確にした方が
研修を受けやすいのではないかと思
いました。 [高 校]

もう少ししていねいにプログラムをた
てればよかったと思う。 [高 校]

今回の研修では、多くの方々と指導法
についてなど、多くの情報を交換する
ことができ、また自分の指導を変えな
くはならないという、自己改革のき
っかけになったと思う。しかし、そ
れぞれの lecture が discussion
で構成されており、技術的な改善を
意図していたとしたら（国や県が）
内容改善が必要である。また日程も
4泊5日というものは精神的・体
力的にきつい。 [高 校]

日本人のベテラン英語教師、通訳（
翻訳）の分野のスペシャリストなど
の講義もとり入れてみてはいかが
でしょうか。 [高 校]

英語は言葉であり、コミュニケーション
の手段となれるようそれを学ぶ、指
導して

いるのは十分理解しているが、実際の
ところ、文法指導や読解指導に力を
入れなければならぬ現実があると思
う。今回は理論が中心だったので、理
論と実践的なものを半分ずつにして
もよいのではないかと思う。今回の
研修は中学・高校が一緒だったので
状況や問題点などが情報交換でき
たと思う。 [高 校]

大学の先生の講義は知識としての
バックグラウンドを支える上で役に
立ったが、生徒指導上の問題は無
視されているので机上の空論的な
ものもあった。中学や高校の先生
方の講義を増やした方がよいと思
う。わが市の研修はスタッフの方々
のおかげで大変実りのある良いも
のでした。 [高 校]

四日間の研修にしては内容が多すぎ
ると感じました。少し内容を精選
するとよいと思います。 [高 校]

集中的に4日間 All Englishで講
義を受講できたことは、自身の英
語運用能力の向上につながった。
しかし、講義自体が Controlled
形式をとることが多く、他校種・
他校の先生方との意見交換の場が
もう少しあると良かった。自分の
現在抱えている問題を提示し、
解決法を探る機会もあると良
い。 [高 校]

全体として「初任者研修」あるいは
「大学の授業」のようでした。自分
たちが試行錯誤しながら、ある
いは他の先生方と相談しながらや
っていたことが、理論で補強され
た感があるので、ある意味、自信
のようなものはつきましたが、4
日間、この時期（他の研修等もあ
る）にやるだけの意味があったか
、と言われると疑問です。中学校
の先生からの話も聞きたかったし
他の学校でやられていることも知
りたかったです。こういう形の研
修を望まれる先生もいらっしゃる
でしょうから可能であれば事前に、
①自己能力アップ型（おそらくま
だ経験が少ない先生向きかと）、
②情報収集型（結局、教員は現場
の体験をどれだけ積みかだと思
います）、のように、複数の研修
を用意していただいて、選択でき
るとより有意義だと思いました。
とはいえ、久しぶりにきれいな英
語をたくさん聞けて、楽しい4日
間でした。 [高 校]

「授業改善」と「本人の英語運用
能力向上」の2つを同時に研修で
やったので、それぞれに分けては
どうか。 [高 校]

ポートフォリオの作成方法、活用方法について研修があると良かった。研修の必要性を強く感じるが今後の研修方法、施策の進め方について説明があるとなお良い。このままでは次に続かないと思う。[高 校]

研修中の活動の行い方によっては、英語を使う(話す)量が多くよかった。ただ各活動を振り返ってfeedbackする時間がほとんどなかったのも、その面においては残念だった。またこの地区では話し合いにおいて、なかなか意見が出なかった。意見を述べることの重要性などの英語教員の意識改革も必要と思うし、そのためにも留学・海外研修がよりよい方法だと思った。

[高 校]

大変有意義な研修でした。自分の英語力を自覚出来たので、今後は自己研鑽に努めたいと思います。欲を言えば、各先生方で話をしていただき、教えていただくことが重複しないようにしていただきたいと思います。中には私たちがoutputするだけの授業もあったので。

[高 校]

もっと厳しくやってくれても良いと思う。宿題、課題をもっともっと出してもらいたかった。

[高 校]

講義では、講師の先生はもっと黒板を使用した方がよいと思った。英語をきくだけでなく、板書の内容もみれば、もっと理解がすすむと思った。

[高 校]

最初の2日間は教材をこなすことに追われているようで、忙しすぎた。1分、30秒、5分など時間を区切られる課題が一日中続いたので、集中力が下がるように思われる。課題Bのスピーチは当日訂正されたものが返却され、10分後スピーチだったので、せっかくなら、前日に返却し、訂正された英語で準備できればスピーチの機会をさらに有効利用できたと思う。

[高 校]

午後の指導法については、それぞれ持ちが良かった方法について議論にするよりもいろいろな工夫をすでに行った(実践された)先生方の授業などを発表していただいたほうがもっと良いヒントになると思う。

[高 校]

後半だけの参加でしたが、様々な授業実践例を知る事ができて、参考になりました。今回同じグループに同じ学校に教員を3名全員入れていることが多かったようですが、内容がかぶることが多いので、分けたほう

が良いかもしれないと感じました。また、コーディネーター(アドバイザー)の方がせっかく資料を用意したにもかかわらず、レクチャーしていただく時間をあまり設けていなかったのは残念です。あまり短時間でやれというのも失礼だとも思いますし、改善していただきたい点です。また、最終日に気づいたのですが、講師の先生方が休憩時間にお茶を飲む用意もされていなかったようです。コーナーを設けて、セルフサービスで出来るようにしておくのが礼儀かと思います。間借りしているので大変かもしれませんが、一日中、講師をされる方にとっては、負担が大きいのでそれくらいは…。

[高 校]

意見・情報交換の場として有益であったが以下の点を検討してほしい。①クラスをさらに分けて小さなグループで話し合い、後にグループ代表が要旨を発表する。②Moderatorは3日間同じ人が好ましい。

[高 校]

外国人講師の控え室・受講の先生方の控え室の設置があったほうが良いと思いました。休憩やお茶・食事のできるところがという意味です。講義内容は楽しく学べる良いものであったと思います。

[高 校]

英語指導技術に関する研修のコーディネーターの方は3日間とも同じ方の方がよいと思いました。話の流れが途切れてしまったり、重複したり、ということがありました。

[高 校]

今までの官制研修の中では最も良かった。不満は、指導法ばかりがfocusされ、英語運用能力の向上についてはあまりプラスはなかったこと。もっとオプショナルな内容にして、自分の求めているものを選べるようにしてはどうか。

[高 校]

どの研修も大変有意義であったが、前後の研修の間にもっと自由時間を設けて質問できるようにして頂きたかった。出来れば1日一続きで、同じ講師で、一つの問題をじっくり掘り下げて頂きたい。

[高 校]

5半日という限られた時間にできることには限界がありますが、後になって自分で発展させていけるような、講義だったり提案だったりすると、より効果的だと思う。

[高 校]

本や雑誌で読むだけでなく、実際に話を聞いたり、workshopで体験することがで

き、授業でも使えそうな気がした。今度は、さまざまな研修の機会をもうけていただき、それぞれの教員が希望するものを受けられるようにしてもらいたい。[高 校]

勤務校によると、各学年で複数の担当者が配置、かつ共通テストを実施することもある。そんな場合の教員間のチームプレイはとても大切である。そのあたりのお話も聞いてみたかった。[高 校]

発表や output 重視だったが、input の研修を増やした方が良いと思う。[高 校]

他の県からの授業を映したビデオや指導案でなく具体的なアイデアを参考にできるもの提供して欲しい。[高 校]

ディスカッション中心であったが内容をもう少し工夫してほしい。[高 校]

ディスカッションやディベートの時間がもっと増やしたほうが良い。[高 校]

これは大がかりなことをやっても授業が変わっていくかどうか疑問だ。学校運営でも個人的にも大学教員による講義は多岐にわたりすぎて、もっとターゲットをしぼった方がいい。ローカルトレーニングで他の先生のビデオは、あまりあんなチャンスがないのでよかった。多忙だったがまあやってよかったかな。ただやり方、授業人数などに工夫がほしい。[高 校]

合同研修会は講義内容も充実していて、とても研修になりましたが、ブロック研修は、目標が明確でなかったように思います。教員同志が相互に意見や経験を交換し合うだけではなく、日頃きけないような講義をきいたり自己の発音や、英語運用能力をスキルアップできるような機会を与えていただければよかったと思います。また、TOEIC の結果は、どのように利用されるのでしょうか。[高 校]

研修の場所を改善してほしい。(机やイスのない部屋での研修は能率を半減すると思われる。)[高 校]

今回の研修は、教員たちが集まり、英語の指導法についてのアイデアを分かち合ったり自分自身の経験について話し合っただけで、英語運用能力の向上には効果はほとんどないと思う。[校種不明]

中間期研修と後期研修を、前期研修のようなものにして欲しい。[校種不明]

(7) 基礎の徹底や遅れがちな子にも目を

教科書どころかひらがなの読み書き、日常会話に障害のある生徒と英語の授業(むしろ英語的活動と言うべきか)をしています。教科書や入試、テストにしばられないので、私の好きなように授業をやっております。ただし、生徒が興味、関心を持てるような教材を探し、教材作り、授業方法は、いろいろなところからひっぱり探しております。もっぱら利用しているのはNHK「えいごリアン」とアルク社の「こども英語先生」(旧 kids com)です。今回の研修は「なぜ私が!？」と思いましたが、とても楽しかったです。久しぶりに「英語の授業をしたな」と感じました。アクションリサーチの方法は、養護学校ですでに「個別(の)指導計画(IEP, Individualized Education Program)」という形で行っています。ただし養護学校は生徒数が少ないので1人1人の目標設定をし、指導実践評価ができる部分があると思います。30人~40人もいるクラスでは難しいでしょうね。国が早く定数を減らしてくればいいのです。[養護学校他]

研修は、大切だと思いますが、時間のとり方が難しい。人間形成まで学校に求められる今、勤務時間内に仕事が終わる日は年に数える程度です。また、授業日に研修も難しいですね。授業を自習にするのは…。研修に行く英語科の教員と同じ学年だと迷惑だと内心思った人もいるのでは?また、英語のコミュニケーション能力が…と言うことですが、生徒にまず必要なのは母国語のきちんとした力だと思います。国語力、また創造力の低下こそ、まず改善すべきだと思います。[中学校]

教室英語を効果的に使用し「英語が話せる」「英語が難しくない」「楽しい」という実感を持たせることが大切だと思う。高度なことは深く学習したい者が高等教育で選択すればよいと考えます。中学校では基礎の徹底に全力を傾けたい。[中学校]

自分の英語力に関したもっと研修を積むべきと思うが日々の忙しさの中では時間が取れない。また日本語での説明も理解しにくい生徒たちにそれほど高い英語力が必要なのだろうか。中学校では英語の基礎を十分に教えそれ以上の技能を身につける根となるようにすればいいのではないかな。半年

の間に10日間の研修は現場ではかなりの負担になることを知っていただきたい。

[中学校]

理想と現実のギャップを感じます。週3時間の英語授業では生徒の定着度が以前より低く、語いの定着も十分でない生徒が出てくる。コミュニケーションに必要な英単語の意味や発音の定着といった基礎的な部分で日常の英語指導に難しさを感じます。表現の前に理解の力が必要と思うのです。

[中学校]

受けていても時間を忘れる程楽しい講義でした。ただ現場の生徒は教科指導だけではないかないケースも多く、slow learnersをどう扱うか、ということにももっと踏み込んだ講義があっても良かったのではないかと思います。なぜ英語科教員だけが…という思いもありますが、来年以降自由参加が可能であれば受講したい講師の方もありました。

[中学校]

本当に低位の生徒に対する指導の仕方を学びたい。講義をしてくれる先生の多くは、ある程度のレベル、または動機を持った子供の集まりを想定しているような気がする。本当の下位のところで困っているのだが…。

[中学校]

「話すこと」にあまりにも重点が置かれすぎていて基礎的事項の向上が図れない。40人でいかにコミュニケーションを増やしていくのか絶望的に困難である。自分自身の英語力向上の必要性は十分にわかったつもりである。

[高校]

Roughly speaking, this workshop didn't seem to focus on how teachers should handle the students with (no or) least motivations and let them get interested in listening to English, which dissatisfied me a little. One class is made up of many kinds of students in terms of motivation-degree. Can it be ok that teachers leave unmotivated students behind?

[高校]

英語の文字が読めないレベルの生徒の英語能力向上のためにどうすべきか。今回の研修では全く極められなかった。学校の実態に合った指導法の研修を計画すべきである。文科省が目指している生徒とはどんな生徒集団なのか？中学で手をかけてもらえなかった生徒たちは、高校の40人学級の中

で、また再び無視されていく。[高校]

初任が暴力的で荒れていた学校で、授業そのものが成り立たない学校であった。一年次の目標は全員が自分の名前をローマ字で書けるであった。現在3校目となったが、学区の最底辺である。20数年英語教師をやってきてこういった研修に参加してみても思うのは、日々「英語」に接することがほとんどないことである。自己の努力以上に壁が多すぎると感じてします。勤務5年なり10年なり勤務を要しない研修日として設定でもしなければ、英語教師としての自分を見失ってしまう。

[高校]

現任校は中退率が高く、不本意入学の生徒が多い。英語は数学と並んで苦手とする生徒が多い。授業は生徒の暴言はもちろんのこと、時には、身の危険さえ感じることがある。そんな生徒たちとどう授業づくりを進めて行くかについての視点を持った研修も受けたかった。

[高校]

講師の先生方のお話はどの方のも示唆に富みよかったと思います。ただ見せていただいた授業は、中学生であったり、比較的学力のある生徒の学校であったりして、勤務校の生徒の学力と、大きな隔たりを感じました。生徒指導に追われる学校で英語を教える場合、中学校の文法やアルファベットからのスタートです。始めから英語の落ちこぼれを自称する生徒や初めて英語を学ぶ生徒に、どうやって英語…というだけでなく、ことばの豊かさを伝えるか、日々格闘しています。音楽(歌)や映画などを利用したり、個別指導をしたり…まだまだ、努力が必要だと痛感しています。Native(ALT)などを定時制に呼ぶには、いくつかのハードルがあり残念です。底辺校から進学校まで、様々な学校を網羅した指導法研修は難しいと思いますが、しんどい学校でのスピーキングやリスニングなど、よりコミュニケーションな授業実践を期待しています。中高生方が楽しめるバイリンガルな放送や字幕スーパーのついた放送があれば、生徒はもっと身近に英語を感じることができると思います。音楽番組や若者向けの番組など。文部科学省がここまでコミュニケーション能力に力を入れてくださるならば、学校教育の場だけでは無理ではないでしょうか。

[高校]

12. 意見を聞いてください

(1) 現場は忙しいんです

自分の語力の少なさ、speaking、listening 力の少なさを痛感しました。しかし 54才という自分の年齢では現場の多忙性、私的生活のゆとりのなさ等から向上ははかれそうにない。このような研修を 35才までに受講していればこの私でもいろいろ前向きに考え、また、努力の成果も得られたのではと言いつけています。[中学校]

大学時代を思い出して LL 教室での演習が特に嬉しかった。我々の英語力向上にはとてもよい機会だったと思うが、指導面とは別だと思う。だから、このアンケートの NO 4～12には前向きな ANSWER は出来ない。学校はあまりにも忙しく、複数年を持っていて。とても毎日大変。[中学校]

自分の意見を発表するにはいい機会だった。そして、英語を聴くにもいい機会だったが、実際、英検や TOEFL などを受けるには、そのようなコースなり、講座なりが必要だと思う。国や県が英語力を求めるのであれば、忙しい中でがんばっているの、なんとか対策をお願いしたい。

[中学校]

同じ立場の人同士が集まって研修することはすごくいい刺激になりました。自分の授業の改善もできたり、今後の授業のあり方についても考えるいい機会でした。ただ、校務が忙しい中、生徒を残して研修に来ることは大変なことです。休み中にしてほしいと思いました。現場の状況をもっと考え、日にちを設定し、もう少しゆるやかにしてほしいとも思いました。

[中学校]

研修をうけてやる気になっても日常の忙しさの中で難しい。それでも時間を見つけてするようにするが、もっと勤務に「ゆとり」がほしい。

[高校]

もう少し時間に余裕を持った研修内容にしてほしい。日々多忙な中で、自己研修をする時間がない。自腹を切って様々な学習方法を取り入れているのですよ。[高校]

英語力向上というのなら、生徒対応やら雑務に追われる現状をまず改善すべき（自己研鑽は自覚の問題だとしても、こう忙殺されているとできない）。[高校]

日々の仕事が多忙すぎて、倒れそ

うな状況です。そんな中でこの研修はさらに負担でした。

[高校]

自分の英語力を維持、向上させる時間を保証してほしい。今の現場は雑務が多くて、それだけで忙しくて健康を害している同僚も多い。その中で「英語教員の…」と言われても…。自己研修する時間を保証してください。現場は今にも入院しそうな人でいっぱいです。ブラッシュ UP 研修も、もっとより実のあるものにするためには、その年の該当教員の持ち時間数の軽減がされるべきと考えます。

[高校]

私は赴任 1 年目なので、研修に参加するのなら今年度しかないと思い受講しましたが、他の先生方は校務多忙の中、渋々参加している方も多く、参加意識の差がかなりあると感じました。そういう中でのディスカッションやデモンストレーションは、ファシリテーターの役割が大きいと思いました。

[高校]

初任研、3 年目、6 年目、英語指導法集中講座、自己申込の大学院のセミナーなどを受けてきているのでそれほど新しい事項はなかったがこれまでの復習や再検討ができそうである。英語教員として働いている時間は 20% 以下です。雑務が多すぎて専門家としての意識が持ちにくくなっています。

[高校]

他の研修にはない研修内容を取り入れ忙しい中参加しても有意義であると思える内容にしていきたい。8 日間は貴重な時間である。

[高校]

教師が自己の研鑽にはげなければいけないことは、自ら一番よくわかっていますが、多忙すぎる日々の中でなかなかできません。正直なところ長期休暇ぐらいしか自分の勉強ができないのが現状です。こういう研修は勿論ですが、もっと研修の選択肢をひろげて認めて頂きたいと思います。

[高校]

(2) 「行動計画」について

この 10 日間の研修を通して、英語が使えるようにはならない。今後の研修が必要である。個人的に研修する時間はないので、英語教員 (ALT、JTE) を大幅に増員して、ゆとりをもった授業時数をうけ持つことができるようにする。そして、そのゆとりの時間を研修や ALT と JTE ミーティ

ングに充てる。現状のままでは、問題は解決しない。[中学校]

10回の研修の中で得られたものや良い経験だったと思う反面、これに参加したからといって「英語が使える日本人」になるわけではない。なるためには、自分自身で勉強するのが一番だと思う。しかし、日常の仕事（中学校）はゆとりがなさ過ぎる。とても自分の英語の勉強をする時間がない。そのシステムこそ改善してほしい。

[中学校]

「英語が使える日本人」の育成のための行動計画にはあまり賛成できません。全員必修の教室での教育は洗脳的な要素を含んでいると思われます。今回の研修も強制的なもので、とても不快で現在の日本の状況と一致して、文部科学省の徴兵制度のように思います。

[高校]

択一式の回答方法では、すでに答えが一定方向に誘導されてしまっているため、微妙な気持ちのズレを答えに反映できない。どんなに研修を強制されようと、本人の「やる気」が伴わなければ効果は低い。教師個々の自主性を支援する研修を望む。「英語が使える…計画」とは一体何なのか？達成すべき目標として妥当なのか？それと英語教員に対する研修とはどのような関連があるのか？一切説明を受けていないことに疑問を感じている。

[高校]

「英語が使える日本人」の一環でこの研修が国家プロジェクトとして実施されているようだが無意味です。日本人が日本国内で英語を使用しなければならない環境がどこにもないではないですか。限定された環境ではありますが、学校の教員に「英語が使えない日本人」の責任を追わせるような政策は馬鹿げている。国務大臣、国会議員は全員英語が通訳なしで話が出来てないでしょうが！西武の松坂投手は、常に通訳を介して話をする身分になりゃいいんではという発言をしているし、あきれた政策です。英語が必要な言語環境にすることもしないで、文科省の役人は何を考えているのやら、文科省に入省したら少なくとも学校教育現場で、教師として3年間は働いてみれば、今、自分たちのしている仕事は、現場を知らないでしていると痛感するのでは？[高校]

(3) 「強制」について

強制的に参加する研修は学習者もモチベーションを低める。また、TOEFL テストの強制、及び期間内に設定された目標をクリアさせるというのは暴挙である。

[中学校]

文科省の考えや意図していることはわからないが、これまで grammatical な指導をしてきた（現場で）教員に実践力がないからといって、こういった強制的な、しかも10日間休みを使っただけの研修はどうかと思う。現場の実態をもっと調査し、分かった上でこういった研修を考え、内容も考えて欲しい。特に生徒指導などで大変な公立中学校では、英語の授業さえ成立しない学校も多いのが実態である。

[中学校]

「ねばならない」状況での勉強も大切だが、自らやりたいという自己研修も大切だと考えている。

[中学校]

研修を通じて感じたのは英語教員の英語の質は言われているほど悪くないということです。また、それぞれが様々な工夫をしてがんばってやっているということを感じました。このような強制的な研修ではなく、各自が自分の力にあわせて選べるような研修を受けたり、長期の休みを利用して海外を体験する方が有効のようにも思います。

[中学校]

強制的な研修でなければ、心から楽しんで受けられたと思います。内容など、とても分かりやすくよかったです。宿泊研修は、子どもが幼いため大変でした。通える研修であってほしいです。

[中学校]

短期間（わずか10日）の研修で、（それも日本国内で）はあまり効果はない。研修は、各自が日々不断に行うものであることに変わりはなく、強制的にいてもこれまたあまり意味はない。またある程度の年齢を過ぎた人（例えば50歳以上の人）などは失礼ながらあまり研修の実があがらない。頭がかなり fossilization してしまっていると思われるから。（そういった人は、実に気の毒に思いました）政府の文科省はお金の使い方を知らない。若くて有能な人はたくさんいるのだからそういう人を1年～2年くらい海外に派遣して本場で本格的な研修をさせるべきである。将来、未来への投資をしなくてはいけない。このような国内での短期間の研修はある意味で茶番のよう

に私には思われます。実際お茶を濁したような講義やグループ内の議論、プレゼンが行われたのは少し残念でありました。

[高 校]

年間10日間は多すぎる。5日程度でよい。「研修」は自ら望んで受けるものである。強制的なものは効果がない。苦手分野を選択させるなど、広く柔軟に行う必要あり。最後の TOEFL は受けさせてどうしようというのか不明。自ら受けている資格試験で十分である。

[高 校]

この研修の目標・目的がよくわからなかった。ここの自己目標は出されているが、研修の内容は画一的というか、皆が同じ内容を押し着せに研修する点が気になった。

[高 校]

強制の研修は良くない。強制しないと教員は研修しないという認識ならば失礼極まりないと思う。

[高 校]

学習における最も重要なことは、モチベーションだと思います。人間はどんなに素晴らしいものを与えられたり、教えられたりしても、その当人にその気がなければ、向上は望めません。そもそもこの研修は、一体どんな「必要」に迫られて企画されたものなのか、私は今だに理解できません。日頃からたくさん勉強会や研修に参加している自分にとって、この強制的で内容の薄いセミナーは、下手をすると自分のやる気をも失わせてしまうぐらい酷いものでした。生徒も先生も、自主性が大事だと思います。

[高 校]

どうしてもやらされているという感が強い。講師と称し、同じ役職のコーディネーターに「最後に拍手を」と拍手させられるのもなじめない。

[高 校]

現場の教師に対するしめつけを強化し、自由な発想と研修の機会を奪っておきながら、「強制参加」によって、教師の力量を高められると思っている教育委員会関係者がいるとすればとても悲しいことである。

[高 校]

研修の機会の与えられ方が機械的で自由でないのが困る。情報提供も遅すぎ、その後急遽、予定を組みなおさなくてはならなかった。また、現場が多忙に過ぎ、もう少し研修に出て行きやすい余裕がほしい。教育委員会の監督・指導のもとで行かされている感がぬぐえず精神的負担が無駄で、自

由な研修意欲を阻害しているのではないか。

[高 校]

研修の機会を与えていただいたこと自体には、感謝をしていますが、進め方がトップダウンすぎる印象を持ちました。また、この研修にだけ言えるということではありませんが、本気で現場の悩みや実情を知ろうとされているのか少々疑問です。

[高 校]

疲れましたが、勉強になったことは多かったです。強制的でないと、何もやらないところもありますので、こういう研修はともよいとお思います。英語だけではもったいないので、他教科についてもぜひやってあげてください。指導課の先生方も大変そうでした。お疲れ様でした。

[高 校]

今さら何が…？と今回の文科省の決定には大きな不満を感じる。それを戦前教育のように画一的右へならえと全国でこの研修が行われていることに怒りと恐れを感じる。

[校種不明]

(4) 他の先生にも

なぜ英語科だけ？上位生徒、ボーダー上の生徒に実際に具体的にどう指導すればよいか、見せていただきたかった。[中学校]

日本人の日本語力向上のための研修を小学校教員・国語科教員の方々に行うことも大切だと思います。

[中学校]

英語科の教諭だけがかなりの負担になる。その他の教科に比べて。

[中学校]

多くの英語教員が自己研修に努めていると思います。ただ、現場で一教員としての、教科指導以外にかかる負担は他教科の教員と変わらない中、時々「なぜ英語教員ばかり…」という声も聞こえます。もちろん、21世紀に求められる英語力を考えれば、そんなことはいつてられません。

[高 校]

わが県の場合5地区にわかれての研修だったが様々な大学の先生方が各地区に配られたし、講義も受けていたので他の地区の講義も受けたかった。小学校の先生にも参加していただくべきではなかろうか。まず小学校できちんと理論を踏まえて教えていただきたい。

[高 校]

自分の授業を振り返るのにとっても良い研修でした。是非、英語以外の他教科でもこのような研修を行って欲しいです。

[高 校]

教員12年目で、自分の授業に行き詰まりを感じつつも、なんとなく惰性で授業をこなしつつあったので、とてもいい機会。是非全員に参加を義務づけるべき。でも、なんで英語教員ばかりが資質向上、資質向上って言われるの？他教科は英語より資質が高いのか！！と少し頭にきてます。[高 校]

(5) 入試について

研修に出るたびに「頑張ろう」という気持ちを新たにし、英語授業を more communicative にと考え、実践しているつもりです。今回の研修でも同じように考えています。こうして私以上に熱心実践しておられる先生方は、特に、中学校の先生にはとても多くおられると思います。しかし、先日、県内の某公立高校の入学説明会に行きますと、入学試験に関する一通りの説明のあと、わざわざ時間をとって「もっと英語の力をつけて高校に送ってほしい」といわれました。もちろん英語の力とは、ペーパーテスト＝大学入試及び模試をさしています。「リスニング問題も入題されない大学が圧倒的に多いので、リスニングの力は必要ない」とまでいわれました。高校、あるいは大学の先生方の意識がかわるような研修、あるいは、制度改革をしていただけたらと、いつものことながら考えます。

[中学校]

2日目の講義については、理論そのものはわかるが、入試という大きなカベをどう乗り切れるかが疑問。TOEFL を実施した意義が未だに分かりません…。[中学校]

同じ英語教育の実践を聞いてみたかった。研修の意図するところはよく理解できたが、たとえば入試制度はどうなるのか避けられない問題であり、「高校入試・大学入試も改革されるであろう」では楽観的過ぎると思います。親は「力」を求め、生徒は「楽しさ」を求めてきます。研修を活かして、生徒に楽しく、また英語運用能力を高めることができればと思います。[中学校]

大学入試の改善には、具体的なメスは入っていないのでしょうか。[高 校]

大学受験の対策を重要視しなければならぬので、今夏の経験をすぐに取り入れられない。その点に触れた内容も欲しかった。決して大学受験（現在）のが悪いわけでは

なく、これが日本の教育が低下するのの最大の歯止めになっているのでレベルを低下させるには反対である。[高 校]

自分の授業を見直すために役立ったと思うが、日本の教育システム、大学受験、入試制度、入試問題の現状と今回の研修の理想とするような教授法との間にかなりギャップがあるように思え、フラストレーションを感じた。あと最後の TOEFL と研修内容とにあまり関連性があるように思えなかった。研修の個々の目的を明確にしてほしい。

[高 校]

コミュニケーションと重視した今回の目標は自分の英語能力の欠点を真正面から指摘された感じがある。自己を啓発するのは、教員研修の目的の答えであることは確かである。ところが一方で、大学入試をつねに念頭において教えなければならないのも確かであり、コミュニケーション英語で教授ができるか不安である。[高 校]

大学受験という出口を考えると、grammar translation と interactive reading のバランスが大切だと思う。(1長1短)

[高 校]

目標に掲げられていることと、日々現場で直面することのギャップの大きさを実感した。自分自身が研修等を通じて自己研鑽に努めるべきなのは言うまでもないが、学校行事等による多忙化、他教科との連携の難しさ、対応すべき生徒の数の多さを思うと、余裕を持って自己研鑽することが非常に困難に思われる。現実的な課題（例えば大学入試対策）と今回の研修とは結びつきそうにもない。[高 校]

今回の研修は、自分なりに勉強になった。しかし、英語における英語教育は、文部科学省の学習指導要領で明確であり、わが地方公共団体の教育目標としては、知事が言明するように「国立大（東大20名以上）～名私立大学合格者」の数を提案されている。だから今回の研修も研修参加者の資格を英検準1級取得者・トーイック・トーフル等の点で分けているので、この研修の到達目標を明確にしてもいいと思う。[高 校]

大学入試で interview 形式を行うことが radical に改革する道であると思う。教師の研修のみでは、元の形に戻るが目に見えていると思います。切に大学入試の改革を望みます。[高 校]

多くの学校でコミュニケーションを中心とした今回の研修は有用だと思う。しかし、〇〇人入れることが暗黙の了解ですと校長に言われ、50分で1課進むようにと教科内で圧力がある場合どんなものだろうか。もちろん、改革は必要だろうが、コミュニケーションを増やすことにより、東大、一橋などへの入学者が増えなければ、勤務校では、説得力がないようだ。海外の大学での資格をもっと官庁が認めるべき。私企業では、そういう会社もあるので終わってしまう。

[高 校]

この研修になぜ ALT もよばないのかと思う。ネイティブスピーカーであるだけでは不十分だとこの研修に聞いてみてわかる。課題のセットのしかた、流れ等参考になる部分も多い。研修先で先生がおっしゃっていた人が印象に残った。次第に向上すべきなのは教員だけかと、「テキストはどうなんだ?」「カリキュラムは?」「制度は?」「文科省は?」実際入試の問題傾向を変え、テキストも変わっていないかと、学んだことがいかせる部分が限られると思う。

[高 校]

今回の研修で、講師の先生方の熱意や授業の工夫がとても参考になったし、刺激にもなった。ただ、現在勤務している学校は、進学する生徒が多く、週5日制、授業時数(英語)の減少などで読解だけで目いっぱい。大学入試の長文など、日本語の訳を読んでも生徒は理解できないものを、どうやって英語でわかるように引き上げるか。また以前勤務していた学校は、生徒を教室に入れたり、席に着かせるだけで大変だった。生徒がやる気のある学校では、受験指導に汲汲として、受験の制限がなく、自分が自由に目標が立てられる学校では生徒にやる気がなく、授業が成立しない、というのが実感です。自分は現在高校2年生担当。

[高 校]

(6) 中学校の英語が週3時間について

研修は、ありがたいことですし、効果は大きいと思います。しかしながらその成果を生かすには中学生の週3単位時間は少なすぎます。せめて週4単位～5単位は必要です。総合学習をそのままシフトすればすむことですが、

[中学校]

総合的な学習時間が導入されて教材研究

を始め教科指導にあてる時間が減りました。自己研修も必要ですが、それもままならない状態です。そこで、①総合的な学習削減または、廃止。②勤務時間内のこのような研修会の設定。をお願いしたいです。

[中学校]

週3時間では4技能を関連させて指導したり、コミュニケーション活動を行うのは無理があります。どうかしてください。また ALT の研修をもっと増やしてください。

[中学校]

(7) その他もろもろ

英語で授業することが最終目標だということですが、やはり英語のみで授業することに力を注ぐ必要がそんなにあるのだろうか? 読解力不足は日本語においても言えることで、日本語の表現力も落ちてきているのですから現実には生徒に声を出させることに苦労しています。教師の力量を高めなくてはいけないのはよく分かるが、また自分もそうしたいと思っているが、研修で力量は高まるでしょうか?

[中学校]

今回の授業は英語教授法を理解するためには大変役立ちましたが、自分の授業を改善するためのアイディアはそれほど得られませんでした。

[中学校]

現段階では何とも言えない。ある種のカタルシスがあるので、次のアンケートに詳しく書こうと思います。

[中学校]

まだ2日間しか研修してないので何ともいえません。リスニングの訓練にはなかったが授業をする上での慣習ではなかったと思う。

[中学校]

すごく緊張感に包まれた研修だった。

[中学校]

It's a little bit hard to get a lecture by an English. It was very hard. But It's very helpful for all teachers.

[中学校]

教師でも話せる雰囲気でないと話さない。その「話せる雰囲気」を作ることがまず大切であることを痛感した。

[中学校]

アットホームでよかったです。でも運用力向上ためには短すぎる。長期研修がしたいです。

[中学校]

勤務時間内の研修は良かった。他人の運用能力には直接関係ないと感じた。日頃の他人的な学習とあまり変わりがなかったの

で。各地区のレクチャー資料がほしい。

[中学校]

毎日を英語で過ごす環境は英語運用力向上に大変役立った。TOFELを最終日に受けるという目標もあったので日頃多忙な中でできないでいた英語の勉強に取り組めてよかった。コーディネーターとして取り組んだが、プログラムの構成はどうだったか他の参加者の意見をぜひお聞きしたいと思う。少人数構成は大変良かった。[中学校]

初めての年なので運営されている先生方も手探り状態なのかなという感じを受けました。今後この研修がより usefulなものになればと思います

[中学校]

勉強する機会を得られたことを大変嬉しく思います。ただし、現実的にはこの十日間のために犠牲になったものもたくさんあるということを考えてほしいと思います。

[中学校]

「READING」の内容がよくわからなかった。

[中学校]

英語力も重要ですが、実際の授業でのあり方、たとえば一斉授業を考え直すときが来ていると思います。自分がイギリスの大学で授業を受けたときは25人でした。しかし日本の大学の「英会話」の授業で60~70名、これで使える英語というのは無理だと思っています。レベル別の少数人学級に力を入れることによって、日本人の英語力の向上につなげるのではないのでしょうか。

[中学校]

この研修をもっと早く始めてほしかった。(10年前)

[中学校]

語学の技術を身につける前に、英語科の教師の資質をもっとコミュニケーションな人材として育成する講座が必要な気がします。J先生の講義が楽しいと感じるのは、先生が entertainer だからです。特にコミュニケーション能力の育成を主眼において生徒を育てなければならない英語科の教師には、人を楽しませたり、喜ばせたり、つまり授業をコミュニケーションに活気づかせる資質がまずとても大切だと思います。受身の先生方が多いことに少しがっかりしました。

[中学校]

研修は有効な点が多くありましたが、校務をしなければならないので、現状の中学校では問題点もあります。

[中学校]

オーラルコミュニケーションの授業形態

の改善を強く望む。最高20人クラスにできるよう、文科省の方に取引計らってほしい。よい研修を受けても実践する上で40人の生徒と、コミュニケーションな授業は決してできないと思う。

[高校]

中学1年の英語の教科書は会話文ばかりで、あれで力をつけるのは難しい。このことをある校長も指摘していたが、はやく60年代の長文の多い教科書にもどすべきだ。生徒から英会話は学問には思えないと言われたが、かなりの生徒が同じ意見のようだ。日本の発展は技術書の英文和訳によることが大だと思うので、あまり英会話の重大さを言うのはどうかと思う。中学の先生が「勉強する生徒が激減した」と言っていたが、このことを早く改善しないと日本はお先まっ暗になるかもしれない。

[高校]

10日間のセミナーで多くの新しい教授法を学ぶのは良いことであるが、連続10日間はかなり日程的に厳しいものがある。

[高校]

英語の枠(教科)だけに限らずに国際理解として、国際協力の実状や世界での日本人の活躍や援助状況などの具体的な異文化理解教育に役立つものも英語教師が知っておくべき情報としてもっておくべき。

[高校]

グループディスカッションをすべて英語で行うことは、自分自身の英語運用能力を高めるためには、とてもいいことだと思う。しかしながら、現実には、目の前には、英語以前に様々な問題をかかえた生徒がおり、英語の能力よりはむしろ人間性を豊かにするほうが大事である。現場の人間としては。

[高校]

個人の英語の能力と教室内での授業をする力とは大して関係がないように思う。

[高校]

夏季研修の内容はいずれも興味深く、ためになるものではあったが、自己の英語運用能力の向上と授業改善をたった5日の研修と、数日(?)のOJTで達成できるとは思えない。(たったこれだけの研修で結果を求められても困ります。)

[高校]

teaching methods について勉強させていただいた。ALTやほかの先生方と様々な意見を交わせたことは有意義だった。このセミナーでは刺激を受けたが自身の英語力向上や TOFEL 受験に役立つものとは

言い難いと思う。[高 校]

自分の英語運用能力向上にはいい動機付けとなったと思いますが、時期的なものと、この研修だけに集中できない環境等もあり、その点ではベストではなかったと思う。精神的にも身体的にも確かにストレスを感じるものがあったと思います。[高 校]

大変勉強になりました。中高の交流ができたこと刺激になったことが良かった。しかし学校の特科などができず高校の方でも出張や初任研などで人手が足りませんでした。代わりの先生を頼んでいただきたいと思います。[高 校]

10日間も参加したのに充実感、達成感がない。[高 校]

研修は官制のものがあれば増えるほど、反発と意欲の減退を招く。外部の講座を受講し、一定の成果が出れば費用を援助するという形のほうが参加意欲がわく。国の支援を受けた研究だからといって、個人資料の横流しをするな。少なくとも事後承諾でなく事前に資料を利用する可否を問い合わせるように、守秘義務云々といってもまったく信憑性がない。[高 校]

私のような年輩の教員には今回の研修はあまり効果はないと思う。30歳位までの若い教員には吸収できることが多く非常に有効だと思う。私も若い頃 ELEC や旺文社の主催する研修を受けるために何度か東京へ行った。その研修で学んだことが授業で役に立ってこれまで続けてこられたと思う。[高 校]

半日5回の研修では指導法の表面的な紹介に終わってしまい、十分なものは決して言えない。本来ならば1年ぐらいかけた教師の英語運用能力の向上も含めたものであるべきだと思う。5年間で全英語教員を研修させるというのは聞こえは良いかもしれないが、ごまかしでしかないような気がする。予算面のこともあるだろうが、それが主たる理由なら、もっと予算を増やすべきだ。[高 校]

全員対象に浅く広く研修しても無駄。公費でよいから1名ずつ1年間でも外国に派遣すべき。TOEIC等の具体的目標（これ自体に意味は見出せないが）をだすなら全員に（受験料を半分でも負担して）うけさせて、思弁的に講座でも開く [高 校]

40代50代の教師相手にこんなことをやっ

てどんな“改善”があるのだろう。大臣は全くわかっていない。教師が準1とったりTOEIC750とったりしたら生徒もかしこくなっているんだから。英語教育を変えるには英語教師を変えること、これは正しい。それには教員養成課程（大学など）や教採うかってからの1年ぐらいは教壇に立たせず、指導法研修がいると思う。TOEIC970とって授業崩壊している例を知っているし、英検もTOEICももってへんけど立派に授業してる例も知ってる。まあこれ読んでるエライ人にはわからへんやろうけど。[高 校]

集計結果と分析をフィードバックして下さい。[高 校]

今年度から全英語教員対象の研修という意味では今回の様な内容、順序にならざるを得なかったと思う。英語教員と言ってもひとくくりにすることはできず日々接している生徒あるいは校内環境を考えると、かえって落ち込む日々もあった。たとえば教育大付属中・高の授業内容、組み立てに関する発表を聞いたり、ビデオを見たりしていると教師の力量はもちろんだが生徒の学力を抜きにしてはできない事であり、大変すばらしいとは思いますが、はっきり言って今の自分の日々の授業に役立つ情報かどうかは疑問だ。しかし、様々な高校から参加しているので、それはそれで大いに役だった先生方もいらしたことだろう。私の場合はむしろ小学校での授業についての発表の方が参考になった。T先生の指導され、工夫された授業には本当に興味したが、NHKで放送されたビデオを拝見すると、少人数でしかも英語教室での授業という恵まれた条件である様に見えた。AETにより私達自身の研修は楽しかったが、それともかなり継続的に行って効果が出るものだと思う。今回初めての試みなのでこういう形にならざるを得なかったと思うが、本当に充実した英語教育、それもコミュニケーション能力重視の教育を目指すなら、まず英語の授業クラスの人数を最高でも10~15人くらいにする事の方が大事だと思う。また教授法にしても、教員はあらゆる能力の生徒を、またどのような環境でも教えられなければならないというのが前提だが、実際には日々の現実において善良の方法を模索せざるを得ない。もっとそれぞれの教育現場の現実

に即した研修を望みたい。 [高 校]

全国の英語の教員または、英語が一定レベル以上の人たちは、どのようにして、現在の英語運用能力を身に付けたのか？特に中学、高校時代が素晴らしい（人間的にも英語力のうえでも）先生に接した者のみが英語力を伸ばしたのではあるまい。もちろん自分自身、人一倍英語の研鑽を積んでいるつもりがだ。英語が好きでまたは、必要性を感じる者が個々人で猛烈に努力しているのが実情ではないのだろうか？もちろん良き教師に教えてもらう方が、良い事は論を待つまでもないが…教師の英語力をきたえたら、日本人全員の英語力が付き、ほぼ全員が英検2級程度（これとて低いが…）の力がつくとは思にくい。目標が高校生に準2級か2級程度の力をつけることで、その手段として、教員も英語力を養うのであれば、いっそのこと、英検に合格しない者は全国一律、英語の単位取得を認めないまたは、卒業させない（自動車の免許取得のように）としたほうが効果的だと思います。教師の教育力に期待し過ぎだと思います。私個人は、海外に5度ホームステイしたり、数カ国の人々と、数十年間メールを交換もし、海外の大学でも講演を受けたり、生徒を数度海外に引率したり、大いに気をはいているつもりですが…。 [高 校]

今回の研修で授業の改善のヒントとなるものがいくつか見つかったと思う。しかし、これを実践にまで持って行くにはさらにトレーニングが必要だろう。これを機会に興味を持った指導法等についてさらに実践的な技能にするために恒常的な研修の機会を提供してもらいたい。官制研修だけでなく、民間の団体の研修参加に補助金を出す。さらには、一定期間、職場を離れての研修も必要だろう。そこでは単に指導法だけでなく教員の教養を高めるための研修も加えてほしい。今までは単に教員から夏休みを奪い疲れさせるだけになることが心配だ。

[高 校]

Debate等のProjectを設定し、生徒の内発的な学習意欲を刺激しつつ、step by stepに有機的に関連づけられた学習活動をつなげていって彼らの表現力を高めていく…なるほど結構なことだが。英語という一教科だけでやっているだけではその時間限りのgameに終わってしまうのではない

か、全教科学校生活のあらゆる側面において、生徒の発表意欲を高める動きがなければ、更には社会全体がその方向に変わらねば、われわれが教室内でやることは無駄なものがきにあるのではないかという疑問が残る。

[高 校]

1. 教員の日常の研修を評価して、一方的な設定による研修はやめてほしい。自分が一番必要性を感じているので、自分で出来る。2. 免除される条件に納得できないものがある。3. 基準を達成したあとの扱いはどうなるのかを知りたい。 [高 校]

到達目標などがある取り組みやすい言語習得法を考え出してもらいたい [高 校]

良い研修でした。非常に役だったと思いますが、研修自身の英語能力の向上に役立ったかというところ「？」です。それならばもっと研修期間を増やさなければいけないでしょう。 [高 校]

英語が話せるように技術をつけるだけでなく、積極的にコミュニケーションしようとする態度や何を伝えるのかというその内容や人前で話す度胸まで指導することが英語教員に求められるのだろうか。何が英語教員に求められているのか。多すぎて把握できなかった。 [高 校]

20数年このような研修を受けたが、ごく前と違って参加者の多くが、実に積極的に話せる（話す）ようになっていると思う。ただ実際の授業の生徒数（40人前後）がこういう問題にならないのが不思議でならない。Instructor（英・米）の先生の国でも、普通語学の授業は10数名なのだそうで、クラスサイズの問題はすぐ取り上げられるべき問題だと思う。 [高 校]

いろいろな研修に参加したいと思うのですが、学校の事情等でなかなかむずかしいです。今後、継続だった研修（短期ではなく）を行ってくだされば、時間の許す限り参加したいと思います。（ただし取材はおことわり！！） [校種不明]

これは実験ですか？本当に研修の成果を思われるならば、これを企画した主催者、指導主事が参加せねばいけないのでは！

[養護学校他]

自分自身は養護学校の小学部に所属しているので、実際の授業では、今回の研修をいかすことはできない。しかし、先生がとても親切でやる気を持って研修に望むこと

ができた。改めて教師の人柄や態度が、生徒のやる気に影響を与えることを感じさせられた。
[養護学校他]

13. 私の悩みを聞いてください

今後の指導で改善点が多く見つかった。しかし、個人の英語力は現場に戻るとうらやましかった、となりがちである。高校英語教師がすごいと思うと同時にうらやましかった。自分の英語の勉強が出来るからである。より高い英語力が必要とされないため中学レベルの英語は、指導法の改善のみであり、個人の英語力が低下しつつある。

[中学校]

私は何年前まで自分でこのような研修を自分に課してきました。その当時、今より英語力もあったと思います。向上しようとする意欲もあったと思いますが、転勤などにより学校環境の激変、長時間の勤務、部活動など諸条件のため（これは言い訳か？）日に日に動機も下がり、勉強もしなくなっていました。今の率直な意見はこれからどうしようと仕事をやめるか能力を向上することを決意し、仕事を続けるか？

[中学校]

K市が小中一貫の英語教育を打ち出すなど矢継早に取り組みらしいが、現場は程遠いムードです。今回の10回の研修は教師にとって見ればそれなりの意義があるのでしょうか、帰って、現場で生かすという気に今ひとつつなれないのはなぜ？

[中学校]

英語を話すという観点ではよい研修ではあったと思うが、やはり現場（実際の授業など）での悩みの解決には結びつかないとも感じた。

[中学校]

この研修は自己の英語力を判断（TOEFLや英語でのディスカッションを通して）する上では有効であったと思うが、自己の英語力の向上にはあまりやくだたなかった。日常の生活にもどると、日々の授業の準備や点検等に追われ、自分の能力向上のための時間を生み出すことが困難である（言い訳かもしれないが）数日間続けた研修の方が有効かと思われる。[中学校]

この1週間英語に集中しても、現場では英語指導の前に生徒指導、躰指導があり、研修が活かせるかどうかは？

[高校]

少々疲れましたが、研修は楽しめました。

5日間はあまりにも短いですが、この研修中に得たものは今後何らかの形で活かされることだと思います。ただ、自分が教える学校にすぐに使えそうなアイデアが全く得られなかったことが残念です。[高校]

現在の自分の授業とのギャップを感じた。

[高校]

大研修室での中学校採用試験のシミュレーション（N教授の講義）でもわかったように、教員は英語の能力が落ちているように思う。時間とともに英語力は何もしなければ落ちていってしまうものだが、この研修を通し、焦燥感や義務感を持った教員は少なくないと思う。そのことに気づけただけでも成功だと思うが、やはり、国際社会に使える英語力を養うためには、まだまだ改善が必要だと思う。[高校]

全体を通していろいろな種類の研修を受けたけれど、平日に通算5日も出張があり、ただ研修内容をこなすだけになってしまったのが残念。10日間夏休みに集中してやりたかった。ALT 中間期研修での発表はどうしても「それ用」の授業になってしまい（同じ悩みを持ってないからわからないだろうと思い、コンセプトをもっとわかりやすく見て楽しいものへと変更した）実態とずれてしまった。別モノとして扱うことはできないのでしょうか？

[高校]

14. こんな願いを聞いてくれたら

(1) やっぱり海外研修

それぞれの学校事情もあると思いますが、授業の準備にもっと時間をかけることができるように学校運営に関わっている方をお願いしたい。また英語の教員の特殊性を考えると海外での研修は必要だと思う。国内の研修も良いが海外に出て勉強する機会を一部の教員だけではなくもっと広く機会を与えてほしいと思う。[中学校]

研修を今後も継続していくことの大切さを痛感しました。教員が自主的な自費研修（e. g. 長期休業中の外国などでのトレーニングなども職専免等がとりやすい制度を望みます。）

[中学校]

英語での研修を受講するため、夏休みに莫大なお金をかけて海外までわざわざ行く必要がなくてよい機会に恵まれた。文化などを知る意味では海外へ行く利点はあるが、

勉強するには、日本でも良いと思う。ALTを増やすのもいいが出来れば他の国のようにその雇うお金でJTEを留学させたほうが良いのでは、と思うこともある。自国の教育のためになるから。[中学校]

中学校での授業にやっと慣れてきた時だったけど、自分の授業について自分の英語能力について考え直すいい機会になった。海外に語学研修に行きたいと思うが、チャンスがないので、そのような機会があればいいと思う。[中学校]

講義をすべて英語で、ということで、リスニングの練習にはなった。一クラスの人数(42人)は多すぎると思う。音声学の講義は、演習も多く取り入れられ、とても役に立った。実際に外国で生活することで体得するような、イントネーションの違いなども、わかりやすかった。ALTとの会話だけでは少なく見逃していることが多いのだと思った。海外での研修をもっとしやすくして欲しい。留学したい…しかし、仕事・費用などで難しい。普段の生活では、考える暇もなく、ふと振り返ったときに、とても不安になる。英語圏だけでなく、その他の文化に触れる機会もあればと思う。このアンケートについては、項目の中に「今後は」というようなところがあり、答えづらかった。日々努力してきた点については「今後も」と感じるからで、せめて、「今後にも」にしてもらえませんか？[中学校]

海外か外国人だけが相手の集中研修がよいと思います。[中学校]

教師の英語力を高めるための研修か、それとも英語指導力を高めるための研修かははっきりしていなかったように思えます。これだけの日数があれば、外国に行って現地の学校に行ったりすることも可能だと思います。[中学校]

この集中研修の開催に際し、準備、運営に関わった全ての方々に感謝しています。正直なところ、あまり多くは期待しないで来たのですが、この研修を通して、様々な学校(特に中学校)の先生方と情報を交換でき、今後改善したい点も見えてきました。これからの指導に役立てたいと思います。ただし、教師自身の英語力向上という点では、何ら得るものはなかったように感じます。これについては短期の研修では難しいので、希望する先生方に海外等で自主研修

(自費でけっこうですの)させる機会をもっと増やすべきだと考えます。[高校]

教授法に関する研修だけ参加したが、このような形式の研修ならやらなくても良いと思った。時間とお金の無駄遣いはやめたほうが良い。こんなことをするなら、長期休業中の海外研修をいろいろうさく制限せずに許可してほしいと思った。[高校]

10日間の英語のシャワーをあび、様々なアクティビティを紹介され実践できたことは、とても意義あることだった。文科省が「英語教師のコミュニケーション能力を高める」ためにこの研修を企画実践されていることはとてもありがたいことだと思うが、わが県では「海外研修」や「自宅研修(夏季休業中)」が実質、許されていない(認めてもらえない)ことに、とても苛立ちを感じる。同じ10日間でも海外で24時間宿泊施設に缶詰で研修をさせてもらえたら、もっと大きな効果が期待できると思う。

[高校]

9月に入ってから3回の研修は時間的に厳しいかったがALTといろいろ話ができてよかった。希望者には夏休みなどに短期の海外研修があったもよいのではと思う。(英語科指導力向上講座の一環として)

[高校]

生徒は、英語の授業だけでなく、外国の諸事情を話してやると強い興味を持って聞く。それゆえ、英語の教員がもっと外国旅行しやすい環境を作るべきである。単なる観光旅行に終わらない研修旅行になるであろう。

[高校]

講師のレベルが低すぎる。せっかくの10日なら休みにしてもらって自費で海外の大学のLectureを受けたほうがましである。

[高校]

研修センターでの英語研集(10日間)よりも、英語教育を海外語学留学に積極的に参加させる(夏休み中など)方が、確実に、英語力の向上になると感じた。[高校]

(2) 日程も考えて

研修内容が工夫されていて、今後の授業で研修したことをいかしていきたいと思いました。また自分自身の英語学習の必要性を強く感じました。最後に行われた11月の研修は学校を連続して4日間あけるということは文化祭前という事もあり、出にくかつ

たです。 [中学校]

ALT を講師に招いての演習は楽しく、skill up につながったと思う。ALT のほめ方、ユーモアのセンスは授業に必要なことなので学ぶ点が多かった。夏期休暇中の10日間の研修はかなり負担となるので内容を精選して5日間に短縮してもよいのではと思う（夏休がとれなかった先生もいるそうなので）。 [中学校]

日程が少しハードだった気がします。

[中学校]

4日間の研修は有意義なものだと思いますが、日程的に学校の会議と重なってしまうので、そのあたりの考慮をお願いしたいです。 [中学校]

日程上、なかなかハードだと思う。

[中学校]

とても充実した満足のいく研修でしたが、研修日程が学校での業務にかなり支障がありました。時期をもう少し考えていただきたかったです。 [中学校]

研修内容のレベルも高く、とても勉強になったが、これを生かして授業を行う準備時間を取るのはとても難しく感じている。日程の工夫と、まとめて準備するための時間の確保は必要。10日間学校を留守にした分、生徒の活動（部活動）には、大きな支障があった。 [中学校]

夏季休業中の研修日は、8月上旬にしてほしかった。 [中学校]

中学校教師としては、学期が始まっての研修はとてもきついし、同僚に迷惑がかかり大変です。時期は改善して下さい。

[中学校]

今回の研修では自分の指導力不足を認識させられ、今後の授業改善のためにたいへん有意義な内容でした。しかし、実施期間や実施内容が改善されればさらにその効果がのぞめると思います。たとえば、今回のように8月末では、研修で得たことを実際に授業に活かすための工夫を考える時間がありません。学校が始まるとそのための時間がなかなか持てないので。 [中学校]

集中研修は効果的な面が大きいと思うが、その分、夏期休暇中の日程を決められている分、独自の日程をたてにくいものになっているので精神的負担がかなり大きい。研修内容を豊富にそうしていただいて、日程も各自で選べるようにしてほしい。自分にとっ

て一番必要としている研修を選んで自発的に受けさせてほしい。 [中学校]

女性教員の中には、子育て中や介護をしながら、続ける人も多く、宿泊を伴った研修は非常に負担が多いと思う。宿泊は自由選択となれば、参加人数も増えると思う。今後、短期の研修を各々（夏休み、冬休み、春休みなど）1泊2日…のような機会を増やしていただけるとありがたいと思う。

[中学校]

授業のやり方、英語力アップは、1日、拘束する研修ではなく、半日で指針を与え、半日は、各先生方にまかせる方法（自己研修の方）がいいのではと思う。 [中学校]

5年に1回10日間よりも、3日間か5日間毎年にして欲しい。 [中学校]

今回の研修で授業を計画する上での様々なアイデアを得ることができました。同じ環境の先生方と話すことでアイデアもたくさん出し合えてよかったです。日程について二日（前半）二日（後半）という風に分けて頂けるとありがたい。一日中英語聞いているのはいいのですが、さすがに疲れます。夏だけでなく、冬にもこの研修があるといいなと思いました。定期的に自分の英語をブラッシュアップするためにもあって欲しいです。（今年受けたらもう来年はだめですね） [中学校]

大学教授の講義を3日間受けることができたことが何と言っても一番の収穫でした。集中研修の期間を短くして、複数回実施した方がいいかもしれません。かなりの体力と精神力を要しました。 [中学校]

内容の充実した研修だったのですが、それを自分なりにアレンジしたり、勉強したりして2学期から取り組むためにはもう少し早い時期に設定していただけるとよいと思います。興味深い講義でした。ありがとうございました。 [中学校]

英語力の向上という点から見ると、五日間だけの研修だけでは足りないと思います。やはりある程度の期間（六ヶ月～一年）を設定してもらった方が力をつけるのには有効なのではないかと感じます。 [中学校]

10日間連続した研修は日程的に大変厳しいものでした。夏に5日、冬に5日と分けていただけると、校務に支障があまりないように思いました。この研修の前後が大変忙しいのが、身体的にも、精神的にもつら

いと思います。 [中学校]

集中的に7日というのではあまり意味がないと思います。会話学校は、月に一度ぐらいの割合で出張で研修させていただくとよいのでは、 [中学校]

非常に役立ったが、時間的な拘束は厳しかったし、他の校務にも苦労した。

[中学校]

研修の期間、時間にはやはりもう1つの工夫の余地があると思います。 [中学校]

どの講義も今の自分にはとても役立つものであったが、欲を言えばもっと中・高の先生方に来ていただき、具体的な実践例を学ぶ機会を増やしていただきたいと思う。TOEFLやTOEICについて学ぶことができ、今後受験してみたいと考えている。自分の英語力の無さを痛感する良い機会となった。やはり10日間必要なのだろうか。校務や部活動もあり、長過ぎる気がするのだが…

[中学校]

授業の改善の点からも自分のburshupにも大いに役立つ研修でした。ただ夏休みの前半10日をとられることは正直現場の実情から多少、疑問も感じる。 [中学校]

講義方式の時は多少疲れました。もっと活動や実践例を体験したいと思いました。10日間連続で何も無かったので良かったですが、現場、また家族には多少迷惑かけることになりました。5日ずつやるとかもう少し日程を減らすなどの工夫があればと思いました。 [中学校]

部活動との両立が難しい。運動部の先生は参加できないようです。 [中学校]

Ⅲ期に分けた日程のうち、特にⅠ、Ⅱ期の日程が、クラスを担当するものにとって、大変無理のある日程で、正直に、困った。

研修内容については、他の先生方の英語力を知ることとなり、刺激にもなり、授業で取り入れてみようと思うものもあった。が、他の先生の授業実践などを知る機会があればよかった。 [高 校]

得るものはあったと思うが、四日間は厳しかった。 [高 校]

日程がきつかった。英語運用能力についての向上は、この1年だけでなく、続けて受けられるように支援して欲しい。語学するには金がかかるが先生個人でかつてにやってくれではやらないものはとことんやらないだろう。システムとして、きっかけとい

うか後押しが欲しいと思う。 [高 校]

実施の時期をもっと早くしてほしい。4日間の集中研修が終わるとすぐ学校が始まってしまい全く慌ただしい。 [高 校]

日程的に少しハードだったと思います。もう少し休憩時間や時間にゆとりがあるとよいと思いました。 [高 校]

七月下旬が適切だと思う。英語が使える日本人の育成のための研修ならば研修受講者の対象外を設定するには矛盾していると思う。 [高 校]

参考にはなりましたが、夏休みもとても忙しく、仕事があるので4日間という期間は長いと思います。2日間くらいでやってもらえればありがたいと思います。

[高 校]

日程がきつい、四時までにすべき、帰りの時間も入れて欲しい。 [高 校]

この時期は学校で夏期補習が実施されており8日間も研修に参加しなければならないのは負担が大きい [高 校]

研修に時期は考えてほしい。この時期に2名研修者を出すことは特科があるので難しい。せめて1名にするか時期を変えてほしい。 [高 校]

授業を自習にしくなくてもよい時期に研修を行うべきである。 [高 校]

業者に頼んでいるのがとてもよかった。(官制研修はつまらなくて役に立つと思ったことがない。)出来れば、通う期間や時間にもっと自由度を持たせてほしい。

[高 校]

目的を明確にし、日程、方法を十分に再検討すべき。 [高 校]

研修自体は有意義だが、夏休みを10日間も削られるのは現場無視。実施時期や方法を変えるべきです。 [高 校]

研修の時期について、考慮してほしいです。 [高 校]

10日間では少なすぎると思いますし、研修日が分散しているのもよくないと思います!! 宿泊研修にしては、いかがですか??

[高 校]

七月下旬にやって欲しい。 [高 校]

このような研修は中長期的に計画を立て、定期的に行うのが望ましいと思う。

[高 校]

通知(スケジュール)をもっと早くしてほしいかった。Presentationとdiscussionの

時間が短すぎたかもしれない。教師の mind set という意味までは役に立ったかもしれない。[高 校]

もっと期間を長くしてほしい [高 校]

スケジュールが過密で、精神的に余裕が持てず、疲労感が残りました。[高 校]

基本的な内容構成はよかったが日程や運営についてはもう一段改善の余地があるように思われる。[高 校]

研修はできる限り連続した日程をとり、集中が持続するように設定してほしい。

[高 校]

このような研修は必要性を感じるが、継続性、日常性がないと決して身につかないと思います。普段の授業日はなかなか時間がとりづらいとは思いますが、短期集中型の研修は、私にはあいません。普段から、研修の時間をとればと思います。[高 校]

宿泊研修はいかがなものか [高 校]

今回の研修参加は、午後だけだったためか、あまり役に立たなかった。また、主催者側からの申込時の連絡時期が遅くて非常に困った。もっと早く各学校に連絡してほしい。[高 校]

今回の研究の通知が遅すぎる。もっとゆとりをもって、計画してほしい。[高 校]

(3) その他いろいろです

日程…部活動の新人戦等とは重ならないでほしい教師自身のスキルアップ…英語、理論についての話し合い…日本語とわけた方がよい [中学校]

研修時間を定期的（日常的）に確保して欲しい。[中学校]

多くの先生方に教えていただいた教授法やアイデアを、自分の授業の中で活かせるように努力していきたいと思いますが、生徒の英語運用能力を最大限にひろげてやるために、中・高の教諭以外からのサポートも不可欠だと思います。地域、県、国の力で、将来の世界に通用する人材を育てるためのプログラム、または、制度などをたくさん作ってほしいと思います。[中学校]

8 日間は長すぎる、夏休みといっても補習・部活動があり、生徒指導が必要だから。講義はネイティブスピーカーがよい。日本人の英語はわかりにくい。TOEFL の受験は意味がない、ALT との活動は参考になった。すべて英語はいいと思う。多くの人の

意見を聞くことができた。[高 校]

研修に参加するために用意した My Own Goals と Self-diagnosis は、一つにまとめることが望ましい。話の展開上この二つは密接に結びついているため。[高 校]

養護学校において、他校、他都市（県）ではどのような取り組みをしているか、専門的な立場から「養護学校における英語教育」についての話が聞きたかった。

[養護学校他]

中・高等学校の先生方との情報交換（授業実践、生徒の実態、指導についたなど）ができたことは参考にはなった。しかし、特殊教育諸学校では、あまりにも生徒の実態も、授業実践も、異なりすぎており、実際に現場へ持ち帰って生かせる内容は少なかった。その点で、もっと現場（特殊教育の）で、生かせる情報交換と研修もあればよかったと思う。一律、同じ内容で研修を行うのは無理があったのではないだろうか？

[養護学校他]

15. このアンケートについて

長期的な計画をばくぜんと立てていたが、しっかりした目標に向けて線でつながるものではなかったが、22～24の2から○は全て工夫して現在やっているので選べません。

[中学校]

研修の案内から決定が7月にはいつてから（研修は8月）であった。いろいろな計画・行事の入る8月の研修の案内を7月に行うとは、常日頃「シラバスだ。授業計画だ。」と一般教員に計画性を求める教育委員会にしては、ずいぶんいい加減ではないだろうか。「英語指導技術に関する研修」のみに出席したが、各校が自分の実践や生徒の実態を話すといった進形で、他校の様子を知るといった意味では興味深いものがあったが、それぞれ生徒の実態があまりにも違いそれと相応する教育理念も違うので、「指導技術に関する研修」としてはどれほど意味があるのか疑問。また、アンケートの質問項目の表現・思想が非常に狭いところから発想されているように感じる。文部省が行うアンケートから、政策的誘導を行いたいという意図からこのようなものになることは理解できるが、これは一応独立した大学の研修なのではないでしょうか？こ

のアンケートの文言・表現では、現場の教員がこの研修で受けた印象などをつかまえないところが多いのではないか。例えば、「変わる」事が非常によいことのように前提とされているが、現在いろいろに工夫している先生にとって「変わる」ことはどういうことなのか。行政が「こうなってほしい」「こうなると宣伝したい」という方向を一方的に「よし」とするような方向づけがなされていると感じた。[高 校]

研修場所をもう少し各地区に置いて離れている勤務地の者にも通い易くして欲しい。アンケートの文言が不適當で失礼である。例、「今後は授業の方法を一層工夫する」。これは、「今後も」であろう。それぞれが工夫を重ねてきて、さらにまた工夫をするのであるから。[高 校]

コーディネーターが毎日変わる点がよくないと思った。前日までの流れを理解できない。質問項目の4～8, 11など、「今後は」という表現が「今後も」というほうが、今までもやっているのが適切かと思う。

[高 校]

研究対象として研修を受けているわけではないので、研究会からこのようにアンケートを求められることは不愉快である。

[高 校]

アンケートの設問の一部が不適切。→3(自己研鑽したくない教員はいない。)内容が多すぎて消化できない。→教育実践の発表・討議の時間が少なすぎる。[高 校]

アンケートがまるで今まで自発的に研修していないことを前提にしているようである。特に9番などいつもこのような視点に立って考えている者にすると「今後は」とあり、さも今まで自分の授業を振り返る事がなかったと断言しているようで失礼な表現ではないでしょうか?以後、是非改めていただき、アンケートの内容、表現を精選して下さい。研修については、5年に1度くらいの実施で何が出来るのかと思うが今まで研修に参加し、是非考え方を変えて欲しいし、そういう教員達を変えられる内容であって欲しいと思う。併せて、やる気のある教員向けにいろいろな講座を開講したり、国内外での研修を柔軟に扱って欲しい(民間の研修に休暇をとる必要性を失くす、もって研修を周知するなど)また研修も良いが、週休2日制になり忙しすぎて自己の

英語能力を引き上げるための英語学習をする時間内、精神的ゆとりがない。何とかならないのでしょうか? [高 校]

3番から7番までの質問は、今まで授業方法の工夫がなかったという前提に立つ質問であり、大変失礼だと思う。教師はみな、それぞれの現場で苦勞し、工夫しているという事実を認識してほしい。[高 校]

設問3以降はあまりにもこちらを馬鹿にしています。何ですかこれ。今まで何も自己研鑽に努めてなかったと言うのですか。場当たり的な研修を押し付けておいて、なんて失礼なのかあきれてものも言えません。[高 校]

アンケートの日本語になじめない。特に4～11の文中の「今後は」という断定表現と「一層」という表現は失礼であると感じた。常に「一層」の意識は持っているし、「今後も」工夫していくつもりである。教師ならば、当然であろう。動機が強い自主的な研修をサポートするシステムを強く望んでいる。研修内容にもこのアンケートにも残念ではあるが、落胆した。[高 校]

アンケートの3～11の「今後は」という記述は、まるで今まで何の努力もしてこなかったようなニュアンスとなり、答えようがない。質問の再構築をお願いします。

[高 校]

設問の文言が不適切な箇所があります。〈今後は～〉というのは、いただけません。今もやっております。やっていないと決め付けて、問いかけをするのは、如何なものかと思います。こう言っては、何ですが、私は、常々、通訳を学んでいて、その立場から、どう使える英語を身につけさせるかを考えています。無理に今回の研修でいろいろな方の実践を伺ってためになったわけですが、だからといって、〈今後は、どうするか云々〉といわれる筋合いはないと思っています。是非改めていただきたいです。

[高 校]

このアンケートについて何の口頭説明もなく、ただ配布されて、マークせよというのは納得がいかなかった。そう考える私の考え方は変ですか? [高 校]

Ⅶ アンケートから見た評判の良い研修プログラムの紹介

アンケートの自由記述から、受講者の多くが「高い」評価を与えていると考えられる研修プログラムをその研修プログラム担当者から提供していただき、紹介することにした。

ただ、研修の講師の名前は伏せた。それは、その講師に研修依頼が殺到すると、当然迷惑に感じられる場合があると考えたからである。

また、ここで最後に紹介する相模原市の研修は、ここで紹介するプログラム以外に、会話学校での研修が行われた。ここで紹介する研修プログラムと会話学校での研修のセットで評判が良かったが、会話学校での研修のメニューは提供されていない。

ここで紹介するプログラムが、他の地方自治体の研修プログラム担当者の参考になり、多くの英語科の先生がいっそう充実した研修を受講できるようになることを願っている。

大阪府の研修プログラム.....	158
高知県の研修プログラム.....	162
仙台市の研修プログラム.....	165
相模原市の研修プログラム.....	171

平成15年度中学校「英語指導法」研修実施要項
—授業の達人への近道—

- 1 目的 英語担当教諭等としての専門的資質と指導力の向上を図る。
- 2 対象者 中学校、盲・聾・養護学校（中学部）の英語担当教諭等
※教職経験者研修Ⅰの選択対象研修
- 3 日時 （1回～5回） Aグループ：7月22日（火）～28日（月）
Bグループ：7月29日（火）～8月4日（月）
Cグループ：8月18日（月）～22日（金）
Dグループ：8月25日（月）～29日（金）
※全日程とも、9：15～12：30
（6、7回） 別途通知するが、数校に分かれて授業見学、授業研究を実施する。研修日については選択制とする。
（8、9回） 11月17日（月）または18日（火）のいずれか1日
※ともに9：00～17：00
（10回） 別途通知する。
- 4 研修内容等
（1回～5回）

回	日 時	研 修 内 容	講 師 等
1	A 7月22日（火） B 7月29日（火） C 8月18日（月） D 8月25日（月） 9：15～12：30	「最近の指導方法及び評価の在り方」 〔講義・研究協議〕 「コミュニケーション重視の学習指導」 ・効果的なチーム・ティーチング の工夫	
2	A 7月23日（水） B 7月30日（水） C 8月19日（火） D 8月26日（火） 9：15～12：30	〔講義・演習〕 「コミュニケーション能力診断・育成」 ・テストの工夫 〔講義・演習〕 「小学校英語活動に学ぶ（Ⅰ）」 ・小中連携をいかにスムーズに行う か	
3	A 7月24日（木） B 7月31日（木） C 8月20日（水） D 8月27日（水） 9：15～12：30	〔講義・演習〕 「小学校英語活動に学ぶ（Ⅱ）」 ・チャンツ、歌、ゲームの効果的な活用 〔実習〕	
4	A 7月25日（金） B 8月1日（金） C 8月21日（木） D 8月28日（木） 9：15～12：30	「クラス指導（Ⅰ）」 「クラス指導（Ⅱ）」 ・授業構成と実際 ・実技指導 〔実践発表・研究協議〕	
5	A 7月28日（月） B 8月4日（月） C 8月22日（金） D 8月29日（金） 9：15～12：30	「目的・習熟度別指導」 ・指導と評価 〔講義・演習・研究協議〕 等	

(6回～10回)

回	日 時	研 修 内 容	講 師 等
6	9月頃 (別途通知) 14:00～17:00	「小中の連携を考える(小学校等)」 ・授業見学 ・授業研究	大学関係者 小学校教諭
7	10月頃 (別途通知) 14:00～17:00	「効果的な授業づくりの研究(中学校)」 ・授業見学 ・授業研究	中学校教諭 大阪府教育センター 指導主事
8 9	11月17日(月) または 11月18日(火) のいずれか1日 9:00～17:00	「スピーカー及びモデレーター等の体験研修」 ・外国語指導助手(JET) 中間期研修	大阪府教育センター 外国人講師 等
10	1月頃 (別途通知) 14:00～17:00	「授業実践の診断と評価」 ・マイクロ・ティーチング	

5 会 場 〔第1～5、8～10回〕

大阪府教育センター

(大阪市住吉区菟田4-13-23 電話 06-6692-1882)

〔地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m〕
〔JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m〕
〔近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m〕

〔第6、7回〕

研修日については選択制とし、その日程・会場については別途通知する。

6 担当室 カリキュラム研究室

7 その他 (1) マイカーで来所しないこと。

(2) 受付は30分前から。

(3) 印鑑を持参すること。

平成15年度高等学校「英語指導法」研修実施要項
—授業達人への近道—

- 1 目的 英語担当教諭等としての専門的資質と指導力の向上を図る。
- 2 対象者 高等学校、府立盲・聾・養護学校（高等部）の英語担当教諭等
 ※教職経験者研修Ⅰの選択対象研修
- 3 日時 （1回～5回） Aグループ：7月22日（火）～28日（月）
 Bグループ：7月29日（火）～8月4日（月）
 Cグループ：8月18日（月）～22日（金）
 Dグループ：8月25日（月）～29日（金）
 ※全日程とも、13：45～17：00
 （6、7回） 別途通知するが、数校に分かれて授業見学、授業研究を実施する。研修日については選択制とする。
 （8、9回） 11月17日（月）または18日（火）のいずれか1日
 ※ともに9：00～17：00
 （10回） 別途通知する。

4 研修内容等
 （1回～5回）

回	日 時	研 修 内 容	講 師 等
1	A 7月22日（火） B 7月29日（火） C 8月18日（月） D 8月25日（月） 13：45～17：00	「最近の指導方法及び評価の在り方」 〔講義・研究協議〕 「コミュニケーション重視の学習指導」 ・効果的なティーム・ティーチングの工夫	
2	A 7月23日（水） B 7月30日（水） C 8月19日（火） D 8月26日（火） 13：45～17：00	〔講義・演習〕 「効果的な『読む』『書く』活動」 ・指導力・育成力向上のために 〔講義・演習〕 「中学校英語活動に学ぶ」 ・中高連携をいかにスムーズに行うか	
3	A 7月24日（木） B 7月31日（木） C 8月20日（水） D 8月27日（水） 13：45～17：00	〔講義・演習〕 「ディベート、ディスカッション、レシテーション、スピーチの指導」 ・基礎から発展まで	
4	A 7月25日（金） B 8月1日（金） C 8月21日（木） D 8月28日（木） 13：45～17：00	〔講義・実習・研究協議〕 「進路別指導法の改善（進学）」 「進路別指導法の改善（就職）」 ・目的に合った指導 〔講義・実習〕	
5	A 7月28日（月） B 8月4日（月） C 8月22日（金） D 8月29日（金） 13：45～17：00	「シラバス作成及び指導と評価の一体化」 ・テストニングの工夫 〔講義・研究協議〕 等	

(6回～10回)

回	日 時	研 修 内 容	講 師 等
6	9月頃 (別途通知) 14:00～17:00	「中高の連携を考える(中学校等)」 ・授業見学 ・授業研究	大学関係者 小学校教諭
7	10月頃 (別途通知) 14:00～17:00	「効果的な授業づくりの研究 (高校、大学等)」 ・授業見学 ・授業研究	中学校教諭 大阪府教育センター 指導主事
8 ・ 9	11月17日(月) または 11月18日(火) のいずれか1日 9:00～17:00	「スピーカー及びモデレーター等の体 験研修」 ・外国語指導助手(JET) 中間期研 修	大阪府教育センター 外国人講師 等
10	1月頃 (別途通知) 14:00～17:00	「授業実践の診断と評価」 ・マイクロ・ティーチング	

5 会 場 〔第1～5、8～10回〕

大阪府教育センター

(大阪市住吉区荻田4-13-23 電話 06-6692-1882)

〔地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m〕
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m〕

〔第6、7回〕

研修日については選択制とし、その日程・会場については別途通知する。

6 担当室 カリキュラム研究室

7 その他 (1) マイカーで来所しないこと。

(2) 受付は30分前から。

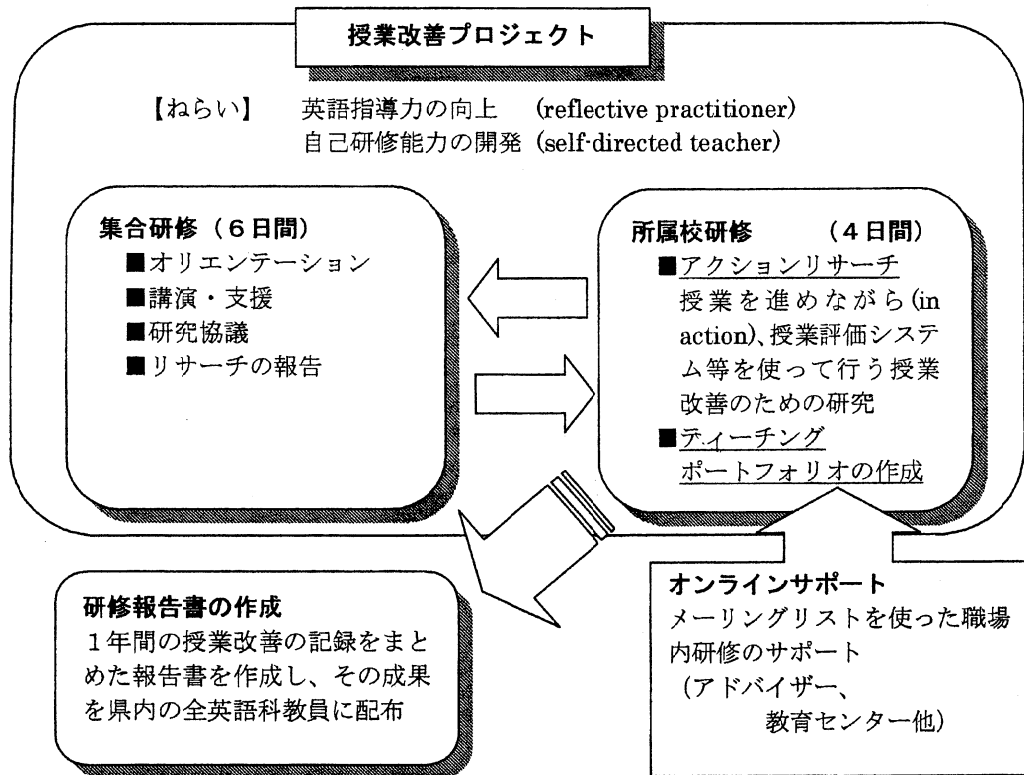
(3) 印鑑を持参すること。

平成15年度英語教員指導力向上研修 夏期集中研修
Professional Development Seminar for EFL Teachers (2003-2004)
SUMMER SEMINAR

- 1 期 日 平成15年 8 月 4 日 (月) ～ 8 月 8 日 (金)
2 会 場 土佐女子短期大学 (高知市大津乙2500- 2)
3 主 管 高知県教育センター
4 日程及び内容

9:00 9:30 10:00				12:00	13:00	14:20 14:30	16:00
8/4 月	受 付	事 務 連 絡	開 会	【特別講演】 「実社会が求める英語と英語教員に求 められる資質」 —English Training for English Tea chers—	【診断テスト】 コミュニケーション能力自己診断 【A】	【クリニック】 発音等クリニック 【B】	ポ ー ト フ ォ リ オ 返 却 事 務 連 絡 ア ン ケ ー ト 記 入
					【クリニック】 発音等クリニック 【A】	【診断テスト】 コミュニケーション能力自己診断 【B】	
8:30 9:00 9:50 10:00				12:00	13:00	15:20 15:30	16:30
8/5 火	受 付	【選択】 フリート ークセッ ションⅠ	【英語指導法Ⅰ】 「ディベートを活用した英語教育」	【英語実技Ⅰ】 DEBATEⅠ		【Research Project】 授業改善 プロジェクトⅠ	ア ン ケ ー ト 記 入
8:30 9:00 9:50 10:00				12:00	13:00	15:20 15:30	16:30
8/6 水	受 付	【選択】 フリート ークセッ ションⅡ	【英語実技Ⅱ】 DEBATEⅡ	【英語指導法Ⅱ】 「実践的コミュニケーション能 力を育成する授業設計と授業改 善の視点育」		【Research Project】 授業改善 プロジェクトⅡ	ア ン ケ ー ト 記 入
8:30 9:00 9:50 10:00				12:00	13:00	15:20 15:30	16:30
8/7 木	受 付	【選択】 フリート ークセッ ションⅢ	【英語指導法Ⅲ】 「指導と評価の一体化」	【英語実技Ⅲ】 同時通訳訓練法に挑戦！Ⅰ		【Research Project】 授業改善 プロジェクトⅢ	ア ン ケ ー ト 記 入
8:30 9:00 9:50 10:00				12:30	13:30	15:30 16:20	
8/8 金	受 付	【選択】 フリート ークセッ ションⅣ	【英語実技Ⅲ】 同時通訳訓練法に挑戦！Ⅱ	【Research Project】 授業改善プロジェクトⅣ		オンライ ン研修後 期に向け て	ア ン ケ ー ト 閉 会 記 入

1 「授業改善プロジェクト」の概要



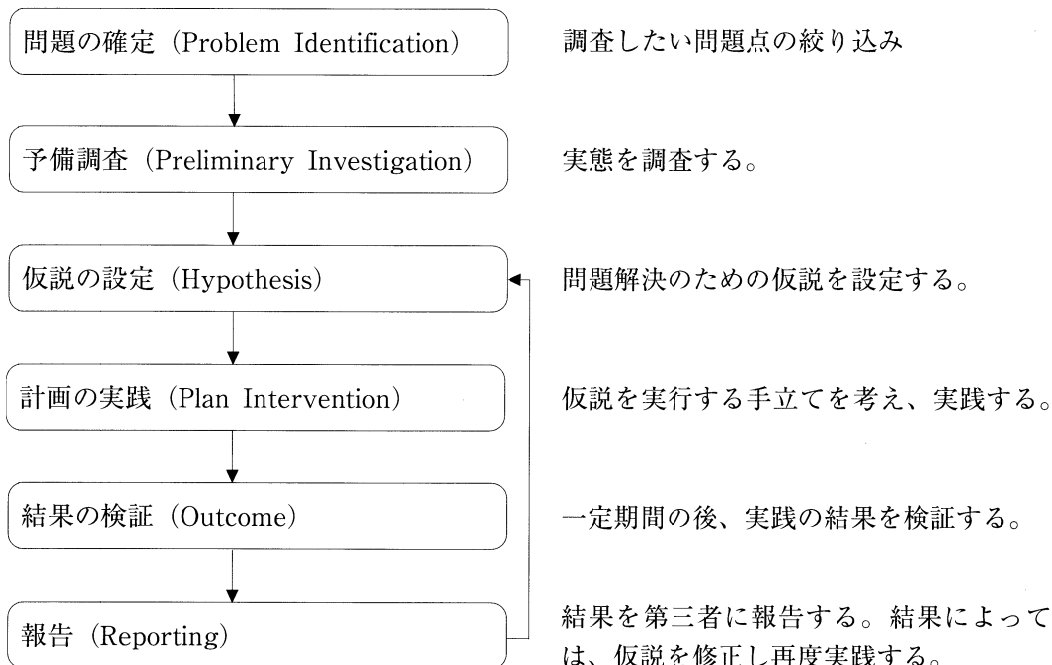
- ✓ 所属校研修でのアクション・リサーチと集合研修での研究協議を組み合わせ実施します。
- ✓ 所属校研修でのアクション・リサーチを効果的にかつ簡単に進めることができるように、アクション・リサーチ・アドバイザーから課題を4回送付します。
- ✓ 4回分の課題に取り組むことで、アクション・リサーチの基本的な流れが身につくようになっていきます。
- ✓ 4回分の課題の終了をもって、4日分の研修終了とみなすこととします。
- ✓ 所属校研修をサポートするために、メーリングリストを設置します。
- ✓ 1年間のリサーチプロジェクトは、その経過と結果をティーチング・ポートフォリオに蓄積していきます。
- ✓ 1年間の研修の成果を報告書にまとめ、県内の全ての英語科教員で共有します。

2 アクション・リサーチとは

「教師が授業を進めながら、生徒や同僚の力も借りて、自分の授業への省察とそれに基づく実践を繰り返すことによって、次第に授業を改善していく授業研究」

(佐野正之著『アクション・リサーチのすすめ』大修館書店)

〈アクション・リサーチの流れ〉



3 ティーチング・ポートフォリオとは

「ある一定期間行った教授活動に関するあらゆるものを、参加する教師自らが積極的に保管・整理することによって、教師としての自己成長の過程と結果を記録するシステム」

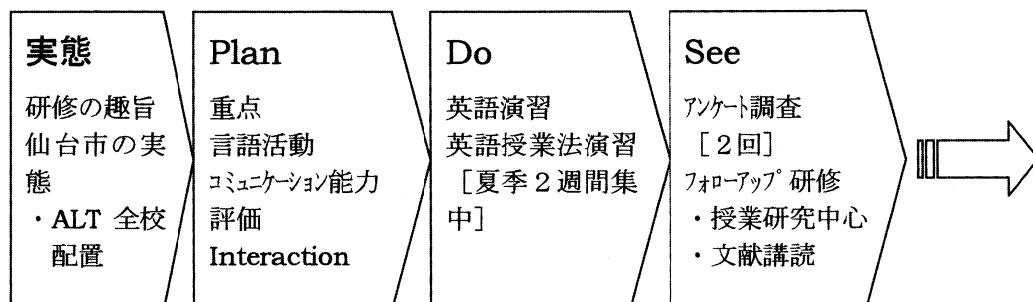
(横溝紳一郎「アクションリサーチとティーチング・ポートフォリオ：現職教師の自己成長のために」*The Language Teacher* 23: 12)

- (1) ポートフォリオに含めるもの
 - ①授業改善プロジェクトに関する課題等[必須]
(研修課題、指導案、授業評価の結果など)
 - ②本研修に関する資料、自己研修資料等
- (2) ポートフォリオの提出
 - 第1回 平成15年8月4日(月)
 - 第2回 平成16年1月5日(月)

平成16年 2 月23日

「英語教員の資質向上のための研修」の実施計画案策定の基本方針
仙台市教育センター 指導主事

◇新規研修事業を立ち上げるに際して次の手順で研修事業を推進



〔新規研修事業の説明〕

平成14年10月16日（水）東京〔場所：ホテルフロラシオン青山〕で行われた文部科学省平成14年度外国語教育担当指導主事連絡協議会で、平成15年度より新規実施予定の研修事業について説明が行われた。その説明を受け下記のとおり新規研修事業実施の基本方針を策定した。まず、新規研修事業の趣旨は、当日の配付資料によると次のとおり。

学校教育における英語の授業をコミュニケーション能力を重視したものに改善するためには、教員の英語力及び英語授業力の向上を図ることが必要不可欠である。

このため、英語教員の英語力の目標を設定する一方、英語教員の英語力の向上

を図るため、5 か年計画により、中・高等学校の全英語教員約 6 万人に対し、集中的な研修を実施する。

〔仙台市の研修事業立ち上げの基本方針〕

仙台市研修内容を決定するにあたり、文部科学省の「『英語が使える日本人』の育成のための英語教員研修ガイドブック」（以後、「英語教員研修ガイドブック」）の趣旨を生かすことを第一義として、実りある研修とすることを目指す。特に、「第 1 章英語教員研修の基本コンセプト」にある、

「英語コミュニケーション能力育成のための能力」を、「教職」として求められる資質能力、英語運用能力、英語授業力からなる総合的能力としてとらえ、これを英語教員集中研修の主目的とし、必要な英語授業力の習得を図る中で、教員自身の英語運用能力を同時に涵養。（「英語教員研修ガイドブック」）

を踏まえて、仙台市の研修においては「英語運用能力」「英語授業力」に焦点をあてて研修内容を編成する。

◎研修内容は仙台市の実態に応じて編成する。

英語での communicative activities について、理論と実践のバランスのとれた指導が可能な講師を招聘する。

[講師依頼の候補者]

「英語演習」の講師は、(財)英語教育協議会所属の外国人講師、「英語教授法演習」の講師は、次の文献の執筆者に依頼したい。「日本における英語教育の研究」には、M氏により「コミュニケーション能力」「学習活動」「言語活動」の概念が分かりやすく適切に整理されている。さらに、理論から実践までの過程が詳しく記述されている。また、もう一つの文献「英語のコミュニケーションの指導」では、W氏により教室内での生徒と生徒、生徒と教員による“communicative activities”や“interaction”の理論とその実際が詳しく解説されている。

英語担当教員集中研修講座フォローアップ研修講座

1 集中研修講座のねらいと内容及び実施状況

- 英語担当教員の英語運用力の向上、言語活動、評価、Team-Teaching に焦点化した研修を企画、実施した（期間、平成15年7月28日～8月8日）。
- 外国人に英語を教えることのできる資格をもった外国人講師（5名）、大学 大学教授、英語担当教員の英語運用力及び授業実践力を確実に鍛えることのできる講師陣を配し、研修を実施した。
- 研修の成果は、受講生60名、研修初日は堅さもみられたがしだいに受講生どうし打ち解け、講師陣の指導もあり英語運用力及び授業構成について基礎的な知識や技能を確認し習得することができたことと思われる。また、それ以上に、受講生間のネットワークが構築され、受講生間で英語授業の研究会を行おうとする気運が高まっている。

2 フォローアップ研修計画

●文献講読会及び授業研究会の実施

集中研修で学んだことや確認したこと等を授業改善の評価と今後の方途の観点から組織的に検証する必要性を認める。

既存の教育指導課主催の英語教育講座、仙台市中学校教育研究会英語部会で実施している、講演会、地区別授業研究会などとの協力も視野に入れながら、企画、実施する必要があると考えられる（一部調整中）。

「年間実施予定」にあるように日程を定め英語教育関係基本図書の講読会及び授業研究を実施する。年間を通して英語担当教員集中研修講座の研修を継続させ、受講者への研修後の支援事業として実施し、研修の成果を確かなものにする。

●ねらい

集中研修で学んだこと、確認したことを実際の教室の中でどう生かすか、生かすことができるのか、集中研修後の研修により授業研究を通して改善のさらなる明確な方途を探る。

●内容

授業研究及び文献講読

●年間実施予定（平成15～16年度）

日時（予定）	曜			
5月 日	金	文献講読		教育センター
7月 日		授業研究		〃
7月下旬～ 8月初旬		集中研修講	外国人講師 M、W講師	教育センター 及び外部施設
11月 日	火	文献講読		教育センター
1月 日	水	授業研究	M、W講師	〃
3月 日	水	授業研究		〃

※受講者は、「英語担当集中研修講座」受講者

※教育センターで実施の場合は、第10・11研修室使用（予定）（午後）

[参考資料 1]

**平成15年度
英語担当教員集中研修講座フォローアップ研修実施要項**
(敬称略)

- 1 目 的 集中研修で学んだこと、確認したことを実際の教室の中でどう生かすか、生かすことができるのか、集中研修後の研修により授業改善のさらなる明確な方途を探る。
- 2 主 催 仙台市教育委員会
- 3 対 象 仙台市立中学校英語科担当教員、平成15年度講座受講者
- 4 期 日 平成15年12月5日(金)、平成16年1月7日(水)、3月12日(金)
- 5 会 場 仙台市教育センター 第10・11研修室
- 6 日程・内容

12月5日(金)	15:30			17:00	
				【演習】「文献講読」 仙台市教育センター 指導主事	
1月7日(水)	10:00	10:30	12:00	13:30	
	【オリエンテーション】 教育センター指導主事	【講義】 「英語科授業研究の理論」	昼食 休憩	【研究協議】 「ビデオによる英語科授業研究」	
3月12日(金)	15:30			17:00	
				【演習】「文献講読」 仙台市教育センター 指導主事	

7 講 師

【講義】 【研究協議】

W教授

【研究協議】

M教授

【演習】

仙台市教育センター 指導主事

8 その他

- ・ 【演習】「文献講読」は事前の準備は必要ありませんが、
H. Douglas Brown. "Teaching by Principles." Longman.
Jeremy Harmer. "The Practice of English Language Teaching." Longman.
の2冊をご持参ください。

平成15年度英語教育専門研修講座計画書

目 的		実践的コミュニケーション能力を育成する指導を充実させるために、集中的な研修を通して英語教員の英語教授力及び英語運用能力の向上を図る。	
回	日	研 修 項 目	研 修 内 容
1	8/4月 9:00～ 12:00	オリエンテーション 1 英語教育動向① 2 英語教育動向②	・研修のねらい、全体計画の説明 ・「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」について ・小学校英語の動向
	13:30～ 16:30	3 スピーキングスキルアップセミナー① 4 スピーキングスキルアップセミナー② 5 TOEIC セミナー①	1 テーマ Meeting 1 2 テーマ Meeting 2 3 TOEIC Listening Part 1 & 2
2	8/5火 9:00～ 12:00	6 指導法改善①②③ 7 演習「タスク活動の実際」 8 講師	・タスク活動についての説明 ・タスク活動作成演習（小グループ） 中学校教諭
	13:30～ 16:30	9 スピーキングスキルアップセミナー③ 10 スピーキングスキルアップセミナー④ 11 TOEIC セミナー②	4 テーマ Restaurant 1 5 テーマ Restaurant 2 6 TOEIC Listening Part 3 & 4
3	8/18月 9:00～ 12:00	12 指導法改善④⑤⑥ 13 講義「これからの英語教育」 14 講師	・これからの英語教育に望まれるもの
	13:30～ 16:30	15 スピーキングスキルアップセミナー⑤ 16 スピーキングスキルアップセミナー⑥ 17 TOEIC セミナー③	7 テーマ Travel 1 8 テーマ Travel 2 9 TOEIC Reading Part 5
4	8/19火 9:00～ 12:00	18 新しい教授法①②③ 19 講義「コミュニケーション活動の工夫」 20 講師	・授業におけるコミュニケーション活動の工夫 中学校教諭
	13:30～ 16:30	21 スピーキングスキルアップセミナー⑦ 22 スピーキングスキルアップセミナー⑧ 23 TOEIC セミナー④	10 テーマ Everyday Life 1 11 テーマ Everyday Life 2 12 TOEIC Reading Part 6
5	8/20水 9:00～ 12:00	24 授業実践演習①②③ 25 演習 英語による授業運営 26 講師	・英語のみを使用した英語授業運営
	13:30～ 16:30	27 スピーキングスキルアップセミナー⑨ 28 スピーキングスキルアップセミナー⑩ 29 TOEIC セミナー⑤	13 テーマ Interests 1 14 テーマ Interests 2 15 TOEIC Reading Part 7 - 1
6	8/21木 9:00～ 12:00	30 授業実践演習④⑤⑥ 31 演習 ALT との TT 授業作り 32 (ALT 7 人参加)	・ALT との有効な TT の指導案作り (小グループ)
	13:30～ 16:30	33 スピーキングスキルアップセミナー⑪ 34 スピーキングスキルアップセミナー⑫ 35 TOEIC セミナー⑥	16 テーマ Health 1 17 テーマ Health 2 18 TOEIC Reading Part 7 - 2
7	8/22金 9:00～ 12:00	36 授業実践演習⑦⑧⑨ 37 演習 模擬授業実践 38 (ALT 7 人参加)	・前日に作成した指導案に基づいての模擬授業発表（各グループ毎）
	13:30～ 16:30	39 TOEIC チャレンジ① 40 TOEIC チャレンジ② 修了式	TOEIC 模擬テスト実施 (後日、直接受講者へ結果を送付)

※毎日9時から30分間ミニ発表会として受講者の授業実践報告をする

平成15年度
科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書

**現職英語教員の教育研修の実態と
将来像に関する総合的研究**

A Comprehensive Study of In-Service English Teacher
Education in Japan
—from status quo to renovations—

平成16年3月20日 発行

発行者 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B)
英語教員研修研究会
(Teacher Education Research Group)
研究代表者 石田 雅近

〒141-8642 東京都品川区東五反田 3-16-21
清泉女子大学文学部英語英文学科 気付
電 話 03-3447-5551

印刷所 ヨシダ印刷株式会社
〒130-0014 東京都墨田区亀沢 3-20-14
電 話 03-3626-1301

本書の一部あるいは全部を引用または複写複製する場合には、
本書より引用したことをお断り下さい。